Vol. 67通巻766号
昭和61年1月25日発行
毎月1回25日発行
昭和24年3月19日第3種郵便物認可

建築と社会

1986 1

ARCHITECTURE AND SOCIETY

特集●これからの住空間―都市型集合住宅にみる―



日本建築協会

旭シポレックス

——「シポエース壁」がいま，話題を呼んでいます。新製法による単体の900mmワイド幅。気泡が細かく安定した性状。新構法採用による免震性の向上，施工のスピード化そして安全性。現代建築が要求する苛酷な条件に，ひとつ一つ的確に応え得るＡＬＣとして，設計，施工の皆様にそしてまた，ご採用いただいた施主の方に高く評価されています。

●ここにご紹介する作品は，事務所建築の外壁に採用されたシポエースです。従来幅600mmから300mm幅広になった900mm。ゆとりが感じられます。気品が感じられます。

ＡＬＣの壁面構成を大きく変えたこの意匠。シポエースならではの外部空間の創出です。

●シポエースの物性は，従来ＡＬＣと全く同一で，その製造に際しては「JIS A 5416軽量気泡コンクリートパネル」の規定に従っており，すべての数値をクリアーしています。

——ＡＬＣを越えるＡＬＣとして，ＡＬＣエポック・メーカーとして，シポエースは脚光を浴びています。

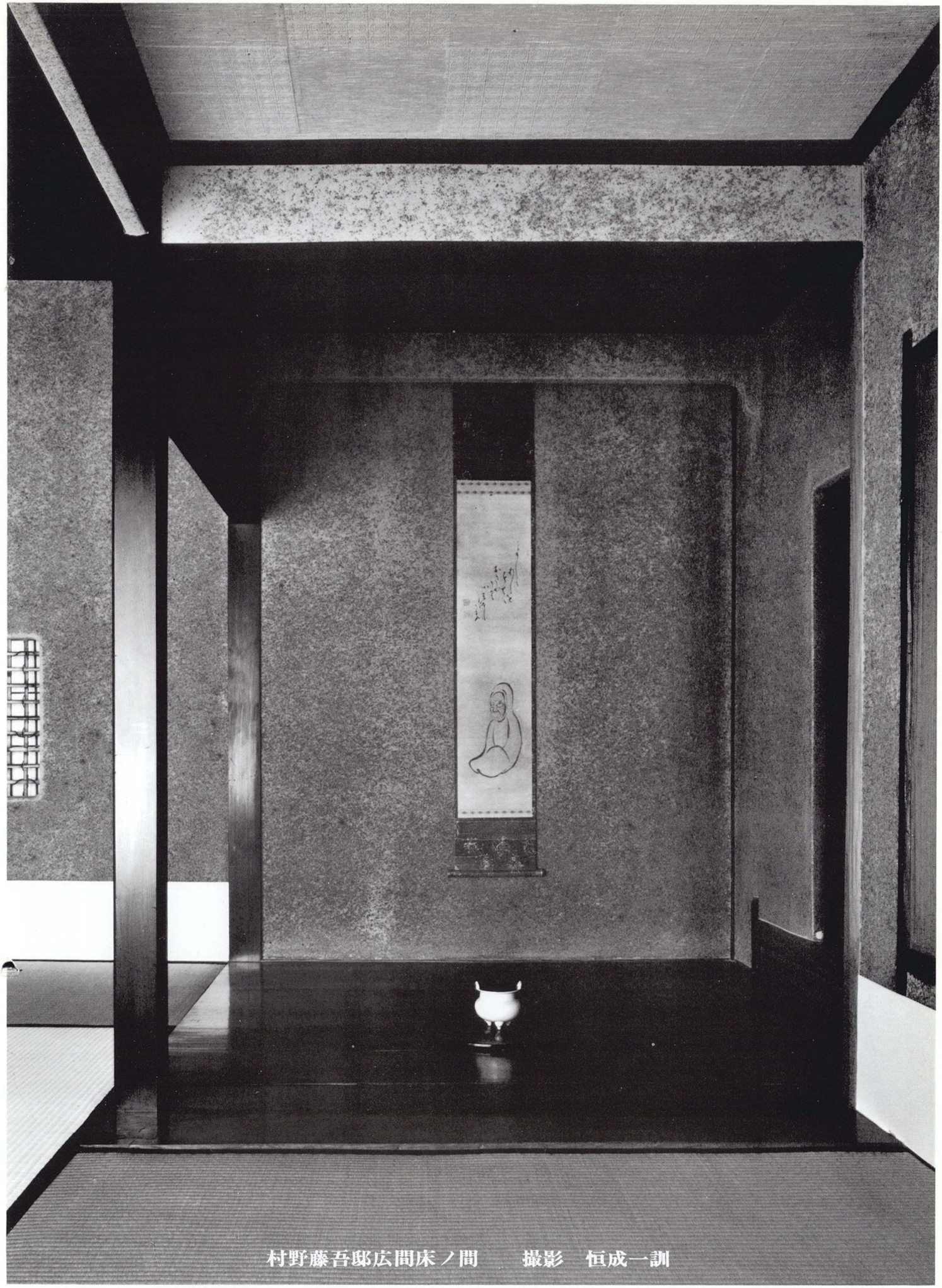
●「シポエース技術資料」を用意しております。ご請求ください。

ALC新世紀
シポエース

新製品



東日本・中日本・西日本
旭シポレックス株式会社
東京(03) 254-7100　大阪(06) 538-0521　名古屋(052)581-7421　富山(0764)41-5175　京都(075)343-1992
神戸(078)531-7111　岡山(0862)24-2417　広　島(082)221-5276　福岡(092)771-7271　高松(0878)51-9665　和歌山(0734)53-3390



村野藤吾邸広間床ノ間　　撮影　恒成一訓

謹賀新年
1986

1986年を迎えて

社団法人日本建築協会会長　佐野正一

明けましておめでたく存じます。
1986年、この年の皆さまのご多幸と建築業界の繁栄を心から祈りあげます。
建築業界はここ数年慢性化したかに思える不況下にあり、昨年は関西新空港、阪奈和丘陵研究学園都市の着手など、待望の大きなプロジェクトの始動の話題が年始を明るくしたのでしたが、景気好転を先導するかに見られた先端技術や輸出関連産業は、その後の国際貿易事情によってはかばかしく展開するに至らず、今年にもちこまれたようであります。
それにしても国際、国内に大きな出来事が目立った年で、米ソ首脳のジュネーヴ会談が硬直した両国関係に新生面をひらくかと思えば、メキシコシティの大震害、コロンビアの噴火災害、マルタ島のハイジャックの悲劇など暗い事件、またわが国では電電公社・専売公社の民営移行、筑波科学万博、神戸のユニバーシアードの成功というイベントにならんで、日航ジャンボ機墜落の胸痛む事件で忘れられぬ年であり、人間の築いた複雑で巨大な社会では事故のもたらす被害もまた巨大化していることに肌寒いおそれを感じさせます。
これらの出来事は直接建築界にむすびつくものではないにしても、情報化社会のひろがるに応じてインテリジェントビルやキャドなどの新語が昨年大いに流布したように、世の要請と技術の拡大の相乗によって急激に巨大な結実をもたらすという時代の動きとつながることを感じます。われわれ現代に生きるものは、可能性を拡大した技術の進歩は人間と社会に生長と希望をもたらすものでなければならぬことを祈るばかりであります。
それはともかく、この慢性化した不況下でこそ建築界の将来の発展のために業界のもついろいろな課題に十分検討を加えてゆきたいものです。
課題はさまざま、不況に耐える新技術の開発、あるいは建築界の体制問題など、社会の要請を見極めながら対応策をたててゆくことは今こそ機会だと思います。
わが建築協会は、建築界の各分野を構成員として成立し、その独自の総合性を発揮して今日までながい歴史を重ねて参りました。「建築と社会」、会誌の名にいみじくもあるように、わが会は広い視野に立って建築界と社会の間にある諸問題にとりくみを続けてきたわけです。今年もまた建築界のために、社会のために寄与を続けてゆくことを念願しております。

表紙デザイン●吉田隆一
（東畑建築事務所）
フレデリクスボー城　コペンハーゲン郊外の美しい湖にのぞんで建つこの城は、17世紀の初めに建てられたヨーロッパの名城の一つです。画は城門脇から冷たい雨を避けながら、礼拝堂と王様のウイングを眺めています。

1917創刊
1986
第67集
建築と社会 © ARCHITECTURE AND SOCIETY
CONTENTS
JOURNAL OF THE ARCHITECTURAL ASSOCIATION OF JAPAN

■特集予告
2月号／屋根－その歴史とデザインと素材
インテリジェントビルの建築・設備計画
3月号／現代デザインの動向

1 通巻766

年頭のことば
作品作風・新建築
Gallery－まち・建築・ひと
デザインコンクール
建築と社会ニュース
設計者のプロフィール
見学記
この人
書評
私が読んだ本
新建材紹介コーナー
日本建築総合試験所だより
すまいづくり講座17
建築の眼
会告
特集
序論
事例
資料
構造の頁
設備の頁135
施工材料の頁134
本年の抱負
月報

会　長　佐野正一
副会長　足立　孝・市川　宏
松村雄二・薬袋公明
編集委員会（昭和60年度）
編集委員長
◎井上　滉
編集理事
井上　滉
今井潤之介
金井　弘次
金多　潔
木内　清三
竹中　錬一
武田　恭一
長谷部明郎
松村　慶三
渡辺　忠
編集委員
（特集小委員会）
■計画分科会
足立　啓
岡田　信幸
奥村　礼子
金澤　成保
杉本　章子
田附　尚
＊田中　直人
中山　徹
藤田　治彦
舟橋　國男
本多　友常
山根　勝利
■構造分科会
日下部　馨
阪本　隆敏
田中　茂樹
西田　理
＊真塚　達夫
保野　博
山田　裕治
■設備分科会
磯田　憲生
＊遠藤　進
加賀和伊久男
柿内　隆雄
川戸　敏雄
河津　隆之
久須美高朗
中尾　信之
桑　學
■施工材料分科会
荒木　弘之
田中　光紀
西牧　忠吉
前田　松和
＊水口　譲
横井　征夫
■法令分科会
押川　兼宏
＊広江　雅樹
松田　洋三
南出　和延
（投稿規小委員会）
赤井　富弘
伊藤　郁郎
小林　正純
○中馬　博良
永原　守
堀畑　裕一
（作品作風小委員会）
荒川　朱美
浦山　哲
大泉　研二
小椋　豊久
加藤　俊明
菊池　稔
○北村　恭一
黒川　省二
浜崎　彰
松村　孝治
湯地　龍一
（広告企画小委員会）
○伊藤　敬祐
池渕　俊男
大墨　正
木原　幹雄
北村　潤
嶋田　聖二
中井　進
原田　常介
平等　一之
広田　和正
藤田　孝吉
山下　修司
⊗吉田　健次
○渡辺　忠
○副委員長　⊗副委員長代行　＊幹事

編集人　松井昭光
印刷　昭和61年1月20日
発行　昭和61年1月25日
発行人　吉田悦二
発行所　（社）日本建築協会
大阪市北区梅田1-1-3-2100
電　06－348－0635
振替口座 大阪1-39975
印刷所　日本写植印刷株式会社
電　06－606－1111㈹
大信印刷株式会社
電　06－451－7631
定　価　950円（送料共）

特集●これからの住空間－都市型集合住宅にみる
SPECIAL FEATURES ON SOME DWELLING SPACEES IN FUTURE

1986年を迎えて／佐野正一 —— 2
守口市河原地区市街地再開発事業B棟－京阪百貨店、三和銀行、富士銀行 —— 4
設計監理：守口市都市再開発部、安井建築設計事務所　施工：竹中工務店・錦高組共同企業体
守口市河原地区市街地再開発事業A棟－守口プリンスホテル、テルプラザ、大阪ゆうゆうの里 —— 6
設計監理：守口市都市再開発部、久米建築事務所　施工：鹿島建設・大林組共同企業体
大月真珠本社ビル —— 設計監理：日建設計／大阪　施工：鴻池組 —— 8
鹿児島県交通安全教育センター —— 10
設計監理：鹿児島県土木部建築課、ＡＯＩ美建　施工：小牧建設・前屋敷組建設共同企業体
ＴＭビル —— 設計監理：泉沢建築設計事務所　施工：金山工務店 —— 12
やすらぎの館 —— 企画：アーバンライフ建築設計事務所　設計：ユソニアン一級建築設計事務所　施工：新井・浜田共同企業体 —— 14
GARDEN HOUSE西神荒台第２ —— 住宅・都市整備公団関西支社住宅事業第２部 —— 16
ショッピングプラザアスパ —— 設計：東畑建築事務所　施工：竹中工務店・福井建設共同企業体 —— 18
おやさとやかた南右第三棟 —— 基本設計：宗教法人天理教教会本部　設計施工：竹中工務店 —— 20
洛西コーポラティブ住宅－ユーコート－ —— 22
コーディネート設計：京の家創り会設計集団洛西コーポＰＪチーム　施工：松村組
サントモビル —— 24
第31回工高生デザインコンクール（テーマ：郷土資料館） —— 26
第17回中部建築賞 —— 29
寺嶋繁久（Sim建築事務所）氏を訪ねる／インタビュア・中井進 —— 31
状況としてのモラトリアム－寺嶋繁久氏設計の松岡邸を訪ねて／本多友常 —— 32
新宮晋（彫刻家）／聞き手・伊藤郁郎 —— 33
建築バカにならないで！／橋本敏子・新刊寸評 —— 34
少々偏りぎみを反省／山形政昭 —— 35
「プレコ・リターダー」／長橋英彦 —— 36
生コンJIS改正に伴う粘土塊量の試験方法の改正について／星野善孝 —— 38
100万戸の大家さん（その２）－トラブル・事故と住まい方の手引き－／永田幸夫・坂下貞次 —— 40
個からの視点／東孝光　都市の美観を考える－その１／山田耕蔵
「売れ残り」の教訓／高田昇　建設業のイメージが悪くなる／井上司郎 —— 42
ニューインテリア時代の家具－長原実に聞く－ —— 43

これからの住空間－都市型集合住宅にみる

これからの住空間を求めて —— 52
これからの住空間－都市型集合住宅の事例にみる－ —— 54
淀川リバーサイド／千里山ロイヤルマンション／ルーブル富士神宮外苑／ヴィルセゾン小手指／City21ルネ御苑プラザ／ステュディオ新大阪／ベル・パークシティ／パレ武庫川プルミエールⅠ／グロリア初穂ときわ台／広尾ガーデンヒルズ／ノバオリンピアードタワー／ルネ門前仲町パークステイツ／ポートピアプラザ／ザ・スクエア／テラス岡本／カサベルデ六甲／光が丘パークタウン／グランドパレス君影／ファミリートーク新北島／ハンディキャップ者配慮住宅／センチュリーハウジングシステム（CHS）／自然エネルギー利用システムパイロットプラン
これからの住空間・KEY WORD —— 68

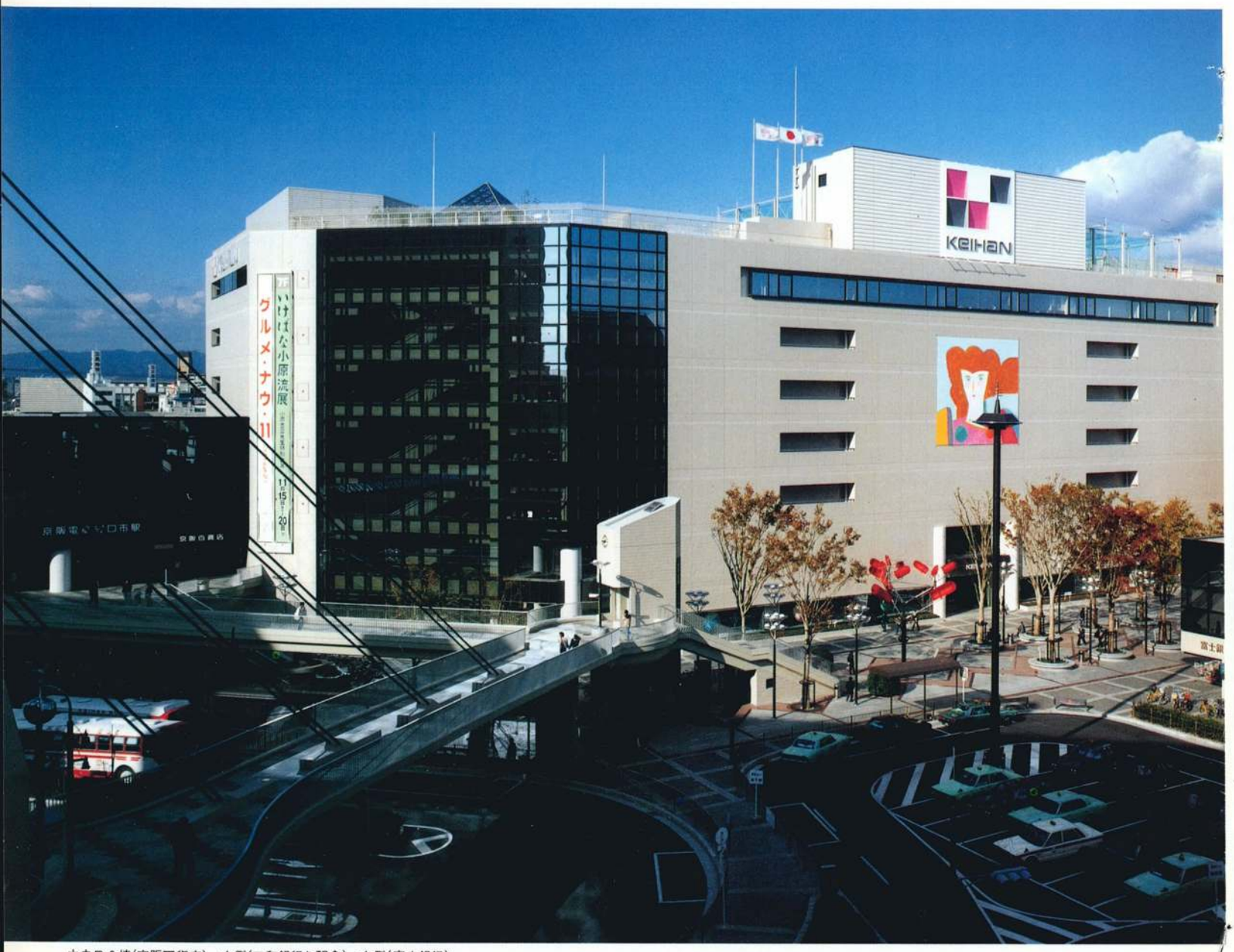
休載

省エネのための天井扇／長谷川幸久 —— 71
改修工事における仮設ゴンドラ工法／国守正二 —— 72
常設委員会本年の抱負／常設委員会委員長 —— 74
日本建築協会月間の動き（昭和60年11月分） —— 75

守口市河原地区市街地再開発事業B棟

京阪百貨店　三和銀行　富士銀行

設計監理　守口市都市再開発部　安井建築設計事務所
施　　工　竹中工務店・錢高組共同企業体



中央B２棟(京阪百貨店)　左側(三和銀行と駅舎)　右側(富士銀行)

守口市施行による京阪守口市駅前の再開発事業は、昭和52年の都市計画決定、56年の事業認可、58年の工事着工を経て、60年10月に全事業の完成を見るに至った。この事業は駅前の交通広場を中心に、西側のA街区に、ホテル、専門店、老人住宅、東側のB街区に、百貨店、銀行、文化センター（建築と社会60年５月号掲載済）および人の広場の各施設を整備し、都市機能の更新と、生き生きした街造りを目指すものである。

再開発区域の中に文化施設や老人住宅をとり入れたほか、積極的にコミュニティ広場を設けて、潤いのある都市空間を創り出しているのが、この街造りの大きな特徴である。

B街区の建物群は、その広場を取り囲むように、百貨店、銀行、文化センターの各棟が配置されている。百貨店やホールなど比較的壁面比率の高い建物が多いこともあって、タイルの壁面とハーフミラーのカーテンウォールの組み合せで各棟の外観を構成し、すっきりと簡潔で統一感のある街並み造りを目指した。銀行や文化センターなど、百貨店に比べボリュームの小さい建物については、壁面とカーテンウォールの構成比率や形などを工夫して、小さいながらもきちっと存在感のある外観を持たせるように努力した。

また人の広場の修景は、簡潔で、どちらかといえば、クールな建物外観に対し、親しみやすくヒューマンなスケールとディテールを持ったものとした。とりわけ、広場の中心に植えられたケヤキの並木は夏は涼しい木陰を、冬は暖かい日射しを、そこで憩う市民に与え、新しい守口の街にふさわしい都市的景観を形づくっている。

この街の集客力の要ともいうべき百貨店は、「きれいな百貨店」という店のイメージコンセプトにもとづき、内外装とも、色や材料、ディテールの多用を押え、シンプルななかにも整理された店造りを目指している。

トークティ守口と愛称のつけられたこの街が、市民に愛され、守口の都市化の核として発展することを期待している。　（安井建築設計事務所）





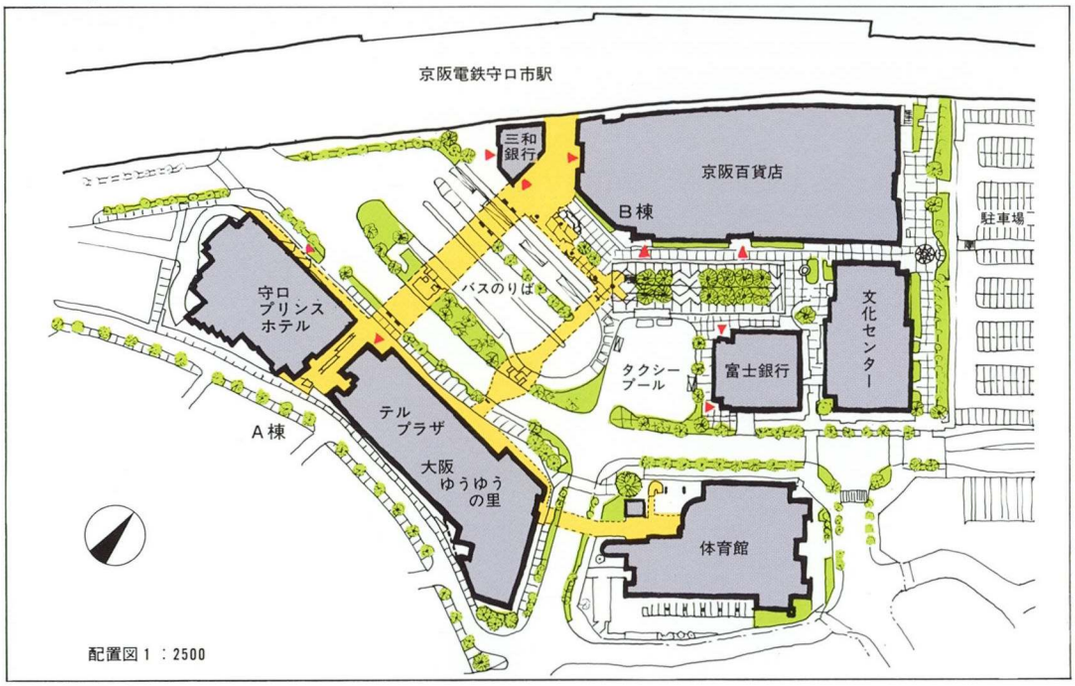
夜景





左側：三和銀行、駅舎入口　右側：京阪百貨店

2階ブリッジへの広場　右側：京阪百貨店



配置図1：2500

所在地	大阪府守口市河原町
敷地面積	11,386.80㎡
建築面積	B1、2棟　5,436.78㎡ （京阪百貨店・三和銀行） B4棟　857.57㎡ （富士銀行）
延床面積	B1、2棟　42,527.44㎡ （京阪百貨店・三和銀行） B4棟　2,873.52㎡ （富士銀行）
構造規模	B1、2棟　SRC造 B4棟　RC造
工期	昭和58年3月～60年10月
最寄駅	京阪電鉄守口市駅

撮影　島　修一

守口市河原地区市街地再開発事業Ａ棟

守口プリンスホテル　テルプラザ　大阪ゆうゆうの里

設計監理　守口市都市再開発部　久米建築事務所
施　　工　鹿島建設・大林組共同企業体



北東外観　右側がＡ１棟(守口プリンスホテル)　左側がＡ２棟(テルプラザ・大阪ゆうゆうの里)



撮影　ＳＳ大阪

航空写真　全景　手前左側がホテル、中央がテルプラザと大阪ゆうゆうの里(老人住居等)、右端が体育館、上方は百貨店、銀行、文化センター

所 在 地　守口市河原町１番地他
敷地面積　6,461.28㎡
建築面積　5,215.06㎡
延床面積　39,570.39㎡
構造規模　ＳＲＣ造、Ｂ１、12Ｆ
工　　期　昭和58年３月～昭和60年８月
最 寄 駅　京阪電鉄守口市駅

京阪線守口市駅前再開発のＡ棟は、地上部で二つに分かれ、通称西側をＡ１棟、東側をＡ２棟と呼んでおります。建物の用途は、Ａ１棟がホテルと貸事務所、Ａ２棟に専門店群、老人マンション、権利者住宅が配置されております。計画の基本理念は、この複合用途のひとつひとつが、単独使用が可能な上、相乗効果を発揮し、駅前に明るいにぎわいを創出することと致しました。

Ａ１棟のホテルについては、地階が自走式駐車場とサービス部分、１階がエントランスロビー、レストラン等、２、３階が宴会、結婚式関係諸室、４～11階が客室であり、12階にレストラン、５階屋上にプールを配した、都市ホテルのオーソドックスな構成となっております。また４、５階の南側貸事務所には専用入口から専用エレベーターにてアプローチできます。

Ａ２棟は、地階が機械室、マグネット店舗のサービス部分、１、２階が専門店群、３、５～12階が老人部分、４階が権利者住宅となり、３～12階部分には、下階の店舗とは別動線で到達できます。なお、３階には食堂、浴室、診療等老人マンションの共用部分が、また５～12階は老人住居部分が配置されております。

形態は駅前広場の広さから複雑さをさけ、シンプルさで近代性を表現し、色彩は淡いベージュを基調として、定住者である老人にやすらぎを与え周辺の宅住地にとけ込むよう配慮いたしました。

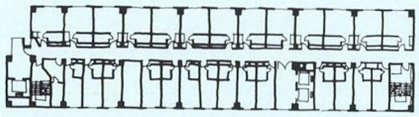
（久米建築事務所）

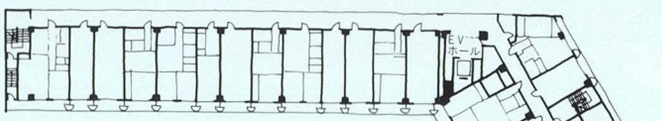


夜景　駅よりのブリッジ。右：守口プリンスホテル　左：テルプラザ・大阪ゆうゆうの里

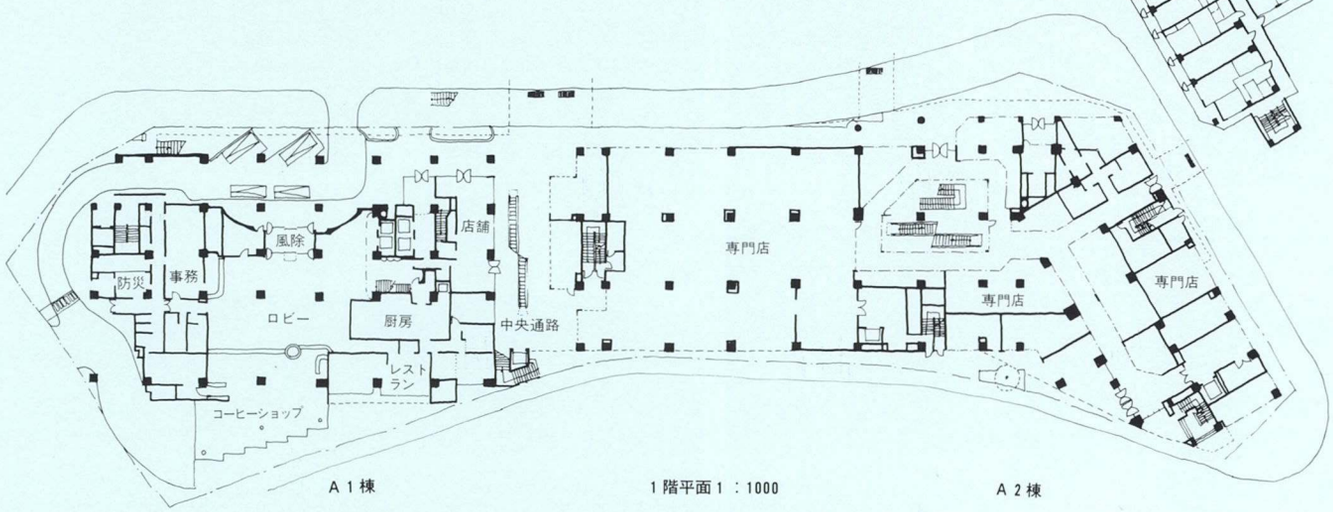


２階中央広場（テルプラザ）


ホテル客室基準階



ゆうゆうの里（老人住居）５～８階



Ａ１棟　　１階平面１：1000　　Ａ２棟

大月真珠本社ビル

設計監理　日建設計/大阪
施　　工　鴻池組



外観



エントランスホール



サロン

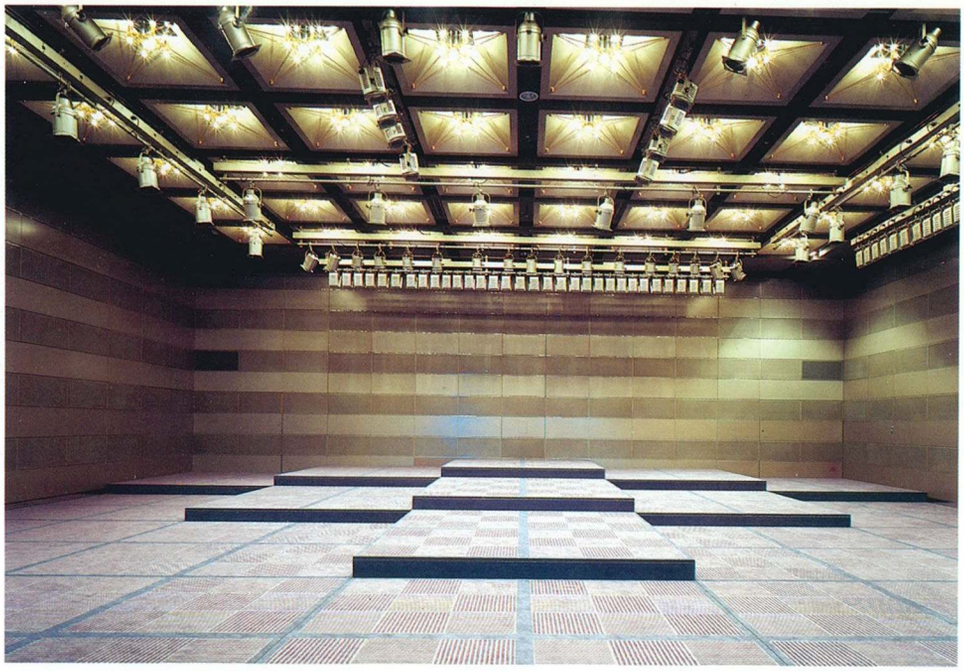
撮影　アリス・フォト

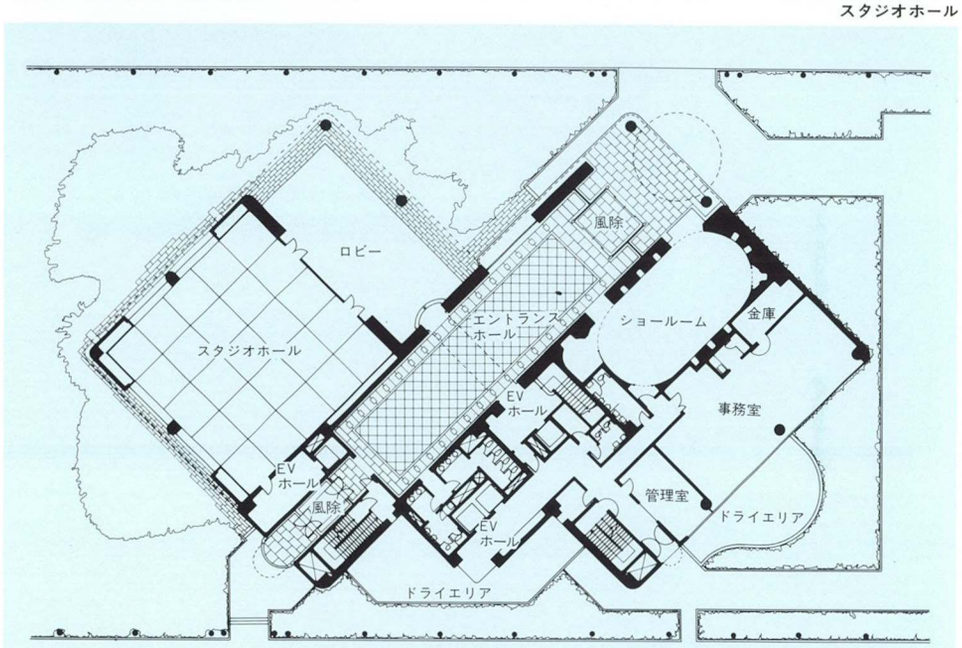
所 在 地　神戸市中央区港島中町６
敷地面積　4,290㎡
建築面積　1,768㎡
延床面積　8,993㎡
構造規模　SRC、B1、8F
工　　期　昭和59年６月～60年11月
最 寄 駅　ポートライナー南公園駅

神戸ポートアイランド、ファションタウンの一角に建設されたこのビルは、真珠の選別、加工を中心業務とする大月真珠の本社であります。
真珠の選別、加工には、演色性のない安定した光が必要であり、通常北側窓がその作業面とされます。今回の設計では、その北側窓面をできるだけ長くとることが求められ、建物の軸を街路に対して45°振り外壁をW型に構成することにより、目的を達することができました。
さらに季節、天候、時間等の移り変りで変化する天空光に対して、可能な限り均質な光を得られるように電動ルーバーの庇を設置し、このルーバーにより東面、南面の窓も加工の作業面として利用可能な条件を整えることができました。
ファションアベニュー側にはきびしい斜線制限がありますが、今回の設計では、５階から階段状にセットバックさせ、北面、東面にバルコニーを設ける手法で、敷地周辺連物の反射や色が、選別、加工作業に与える影響を極力小さくする効果もねらいました。
斜線の制約と内部機能の特殊性がこの建物の個性的な外観をつくったといえるでしょう。
建物の軸線を45°振ったことで生み出すことのできた空地は、くすの木、さつき等の緑で埋めつくしてうるおいのある雰囲気をつくり出しました。また街路沿いに設けた金属製のパーゴラは、そのメタリックな光沢により真珠の輝きを暗示させ、ゆたかな緑の中で快いコントラストをもって、ファションタウンとの整合性および周辺環境との調和を図っています。
１階には、多目的ホール（名称〝パルレホール〟）を設けていますが、このホールはスタジオ機能をもそなえ、アマチュアも気軽に使え、しかも観客と演者が一体となれる規模のホールとなっています。このホールは床が3.6ｍ×3.6ｍのグリッドに分割されており、そのユニットがそれぞれ高さ１ｍまで上下し、演出者の自由な発想にこたえられるような〝手づくりホール〟としての高い装置化がほどこされています。今後ファションタウンン内各企業や一般市民からも幅広く利用されることを期待されています。

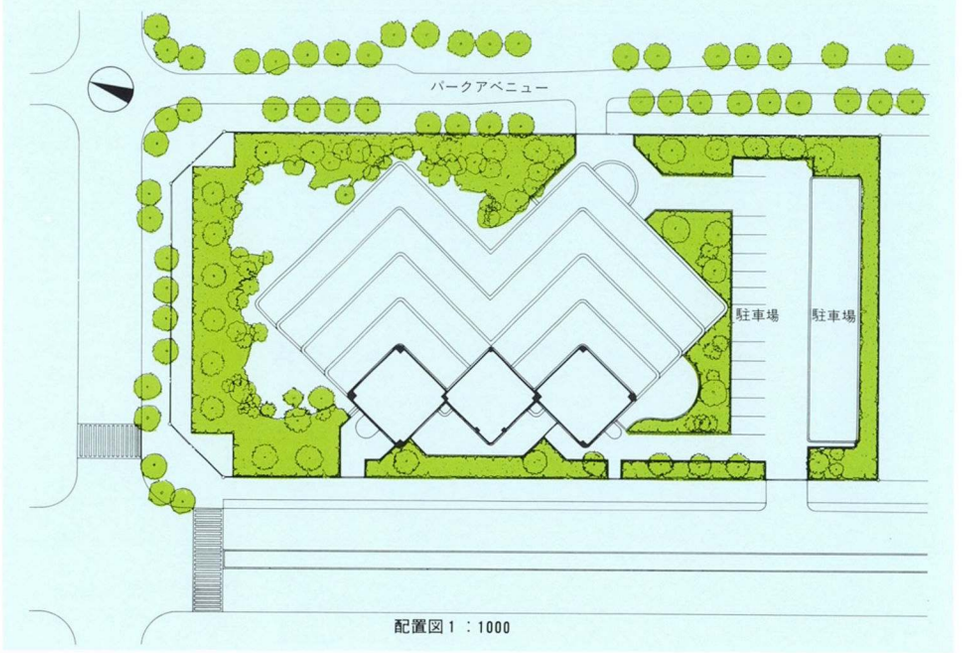
（日建設計／近藤　繁）


ホールロビー


スタジオホール



１階平面図１：600



配置図１：1000

鹿児島県交通安全教育センター

設計監理　鹿児島県土木部建築課・ＡＯＩ（アオイ）美建
施　　工　小牧建設・前屋敷組建設共同企業体

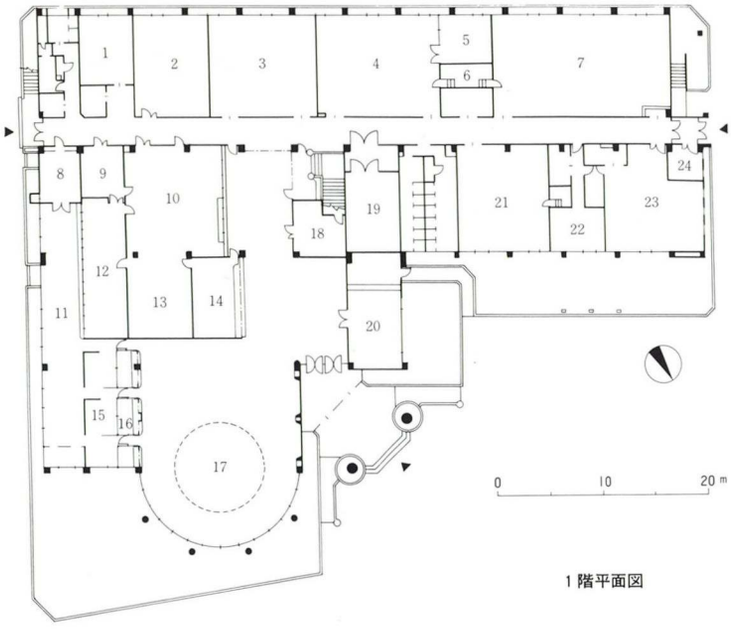
外壁：二丁掛磁器質タイル貼
低層部分庇：ボーダータイル貼
低層部分柱：ネオパリエ貼
PH階ルーバー：耐候性鋼（WPC）



正面全景



上空より、手前に西側全景、向こうに桜島を見る



1階平面図

1　交通相談室
2　更新時講習講師事務室
3　簡素化講習用教場
4　更新婦人学級用教場
5　授乳室
6　映写室
7　更新一般学級用教場
8　写真撮影室
9　休養更衣室
10　免許登録係事務室
11　ホール
12　登録窓口
13　更新台帳保管庫
14　証紙販売及び郵送交付申請窓口
15　適性検査室
16　受付検査窓口
17　待合ホール
18　申請用写真室
19　空調機械室
20　喫茶室
21　更新若年学級用教場
22　安管事務室
23　自動車安全運転センター鹿児島県事務所
24　交通事故相談室

所 在 地　鹿児島県鹿児島市南栄５－１－２
敷地面積　15,864.00㎡
建築面積　 2,680.15㎡
延床面積　 5,175.74㎡
構造規模　PRC３F、P１
工　　期　昭和59年７月～昭和60年８月
最 寄 駅　国鉄・指宿枕崎線坂之上駅



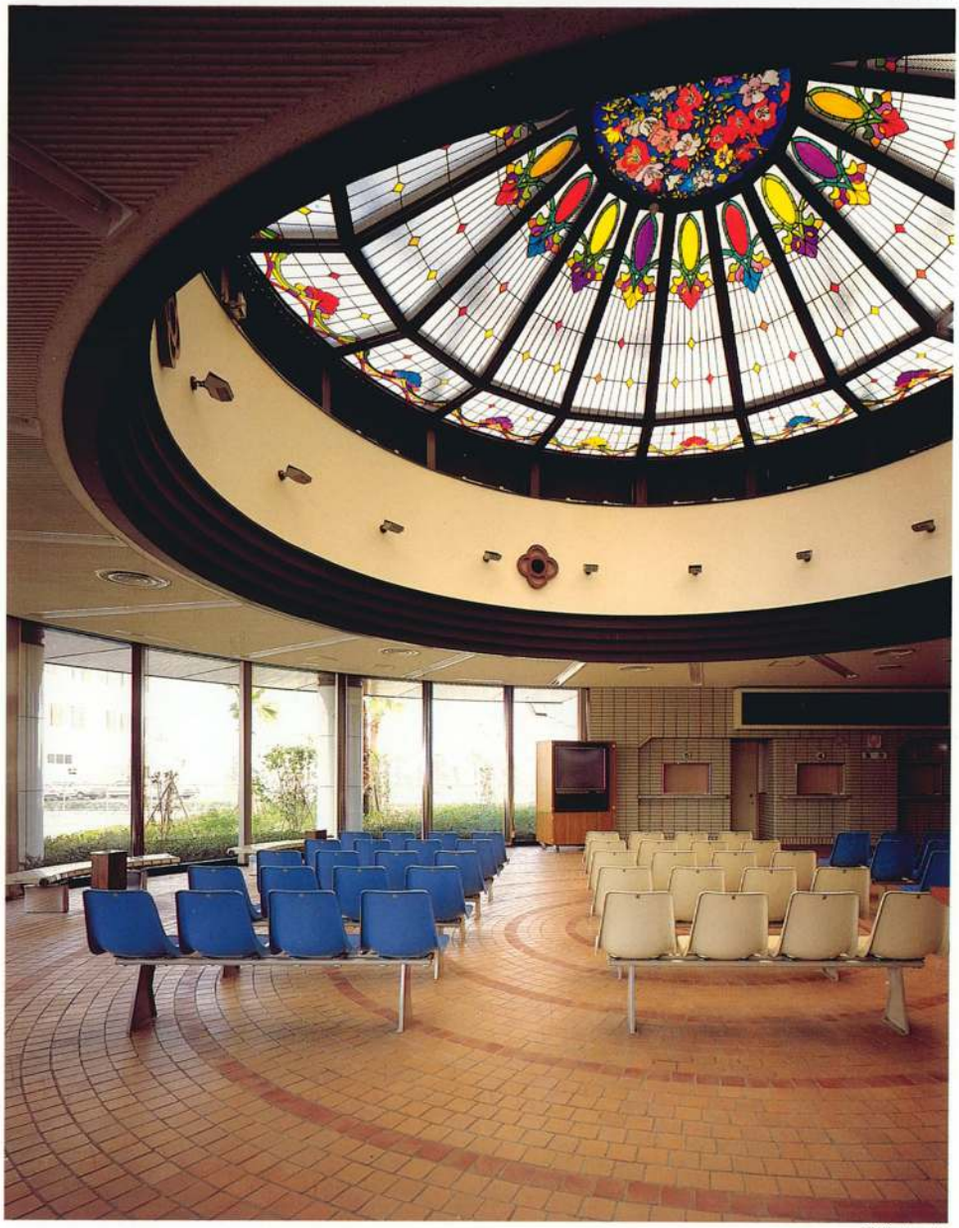
北側全景

交通事故の防止を図るためには、運転者の自覚と交通道徳を高めることが基本的な課題である。
鹿児島県交通安全教育センターは、県警察本部が、運転者教育を一元化し、教育資機材の整備充実を図り、運転者教育の高度化を推進すると共に、増加する免許業務の管理・行政処分業務の管理・免許試験業務の管理等を電子計算組織の導入により、円滑かつ迅速適正に処理し、県民サービスの飛躍的向上を図る目的で計画した施設である。
外観は、玄関・待合ホール部分をネオパリエの列柱のある軽快な低層とし、さらに待合ホール部分は円型のやわらかい表現とし、ホール部分には、ポリカボネート板の円型ドームをつくり、利用者の緊張感を柔らげている。教場・管理部門は３階



配置図

建とし、外観は落ち着いた桜ネズミ色の二丁掛タイル貼とし、さらに空調エネルギー負荷の軽減と二方向避難の確保のためのバルコニーが南国特有の光と影により、建物に彫りの深さを与えるよう配慮した。
機能上は、１階は運転免許所持者に対する更新時の受付・検査・免許登録の即時化・免許証の即日交付・更新時の講習を行う場であり、２階は運転免許課を中心にして違反者の聴聞・免許証の作成、あるいは受験業務の管理・免許業務の管理・行政処分業務の管理等を電子計算機の導入によって行う。３階は、行政処分を受けた者に対する矯正教育の実施・指定自動車教習所検定員・指導員等あるいは、安全運転管理者等に対する講習の実施及び、各種団体・事業所等の要請に基づく研修を実施する場となっている。
設計に当たって特に留意した点は、県警の建物であるということでややもすると堅い空間となりがちなため、低層部分の待合ホールは円型とし、内部・外観共にやわらかさ・親しみ易さを表現し、さらにホール中心に円型吹抜けで天井に県花のミヤマキリシマを図案化したステンドガラスを張り、利用者に対して明るく親しみ易い場としたことである。　（ＡＯＩ美建　古川　稔）



待合ホール

撮影　河野博之



堺筋より東面全景をのぞむ　　外壁　スチール型鋼カーテンウォール熱線反射ガラス　ALC版吹付タイル　一部アルミパネル

撮影　黒田青巌

TMビル

所 在 地　大阪市南区長堀橋筋２－34－１
敷地面積　214.20 ㎡
建築面積　200.556㎡
延床面積　1,713.229㎡
構造規模　鉄骨造、地上８階、地下１階
工　　期　昭和60年４月～昭和60年11月
最 寄 駅　地下鉄堺筋線長堀橋駅

設計監理　泉沢建築設計事務所
施　　工　金山工務店
設　　備　富士電業　ヤナセ設備工業

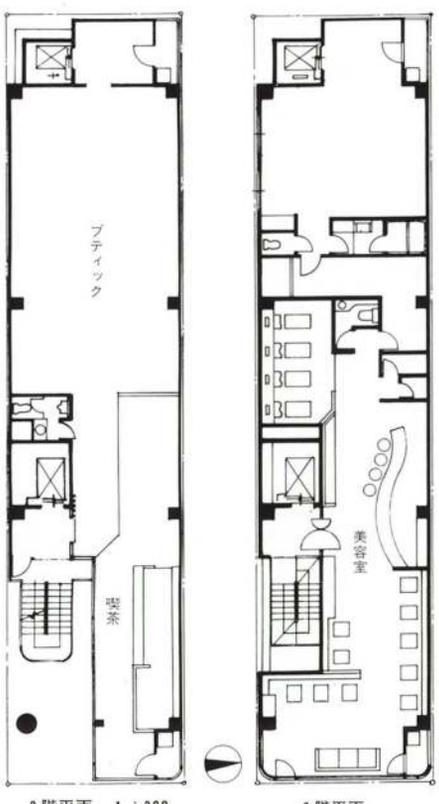
街並みと空を取り込んでみたい。そんな発想がこの建物の外観を決定。合わせて建築主のこれからの事業のベースとして、今後の飛躍を象徴する若さと力強さ、そして夜もその存在を主張できる建物、そんなことを基本として考え計画をしてみた。

外観の熱線反射ガラスは、空と街並みを写し出し、晴れた日、雲った日、雨の日とそれぞれに表情を変え、大阪の空をガラス一面に取り込み、街も街路樹もガラスの中に生きている。

横ラインの黒いカーテンウォールは、建築主の力強さを、曲線は建物にやわらかさを表現し、モノクロの色彩は、可能性を秘めた若さと、落ちつきを表現したつもりである。昼間、外部を取り込んでいた建物は、夜になると一転して建物の内から外に向ってその存在を主張し、都心という制限されたなかで、可能な限りの空間を創ってみたが、この建物が今後、建築主・テナントの手で内装をほどこされていくなかで、どのように変化していくか、見守って行こうと思う。

創る者にとっても、使う者にとっても、完全に満足できる建物はなかなかむつかしく、小さな点に問題を残しながらも、建物を創る難かしさを痛感している。

（森田　晶／泉沢建築設計事務所）



2階平面　1：300　　3階平面


アプローチ


2階喫茶室


3階美容室の一部

やすらぎの館

企　画　アーバンライフ建築設計事務所
設　計　ユソニアン一級建築設計事務所
施　工　新井・浜田共同企業体



夕景 北側

屋根：金属瓦葺　外装：50㎜二丁平タイル貼

所 在 地　大阪府伊丹市中央２－５－22
敷地面積　1,142.20㎡
建築面積　　895.53㎡
延床面積　4,758.64㎡
構造規模　ＳＲＣ、９Ｆ
工　　期　昭和59年４月～昭和60年９月
最 寄 駅　阪急電鉄伊丹駅

老齢化社会を迎え、保護から自立へと、老人問題が、社会と共に変化してきたことが、この計画の発想の出発点となっている。「やすらぎの館」は各種医療システム、大浴場、食堂等の附帯施設を入居老人のみが利用するのではなく、地域住民も共に利用できるよう配慮している。特に、この施設は、阪急電鉄伊丹駅のすぐ東側の市の中心部に立地しており、入居老人と地域の人々との交流を密にして、疎外から老人を社会環境の中に引き戻す福祉施設として、養老施設から脱皮できることを期待している。

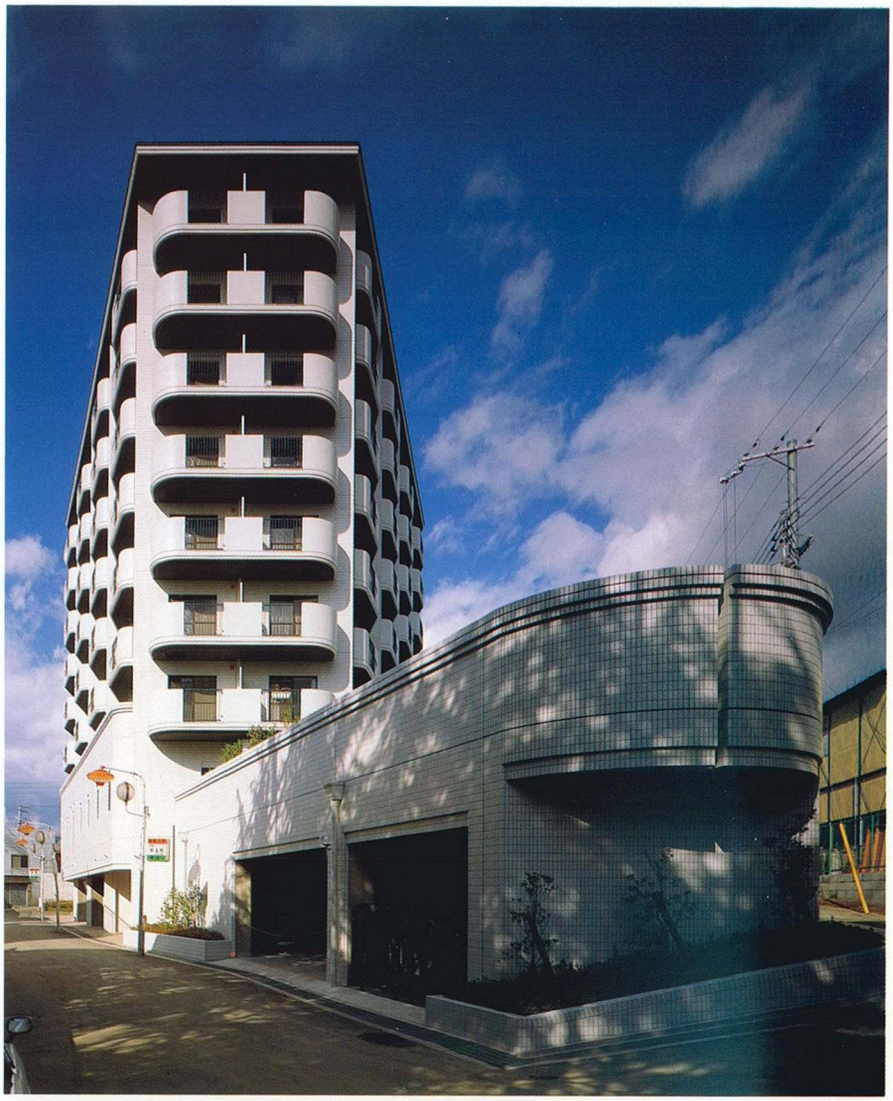
また、日常生活異常感知装置として、各住居内には、新開発装置で赤外線センサーによるライフコールを設置。入居者の生活リズムを館内のケアセンターが24時間見守ることができるようになっている。

（大森俊二／ユソニアン一級建築設計事務所）



配置・１階平面図




南側全景

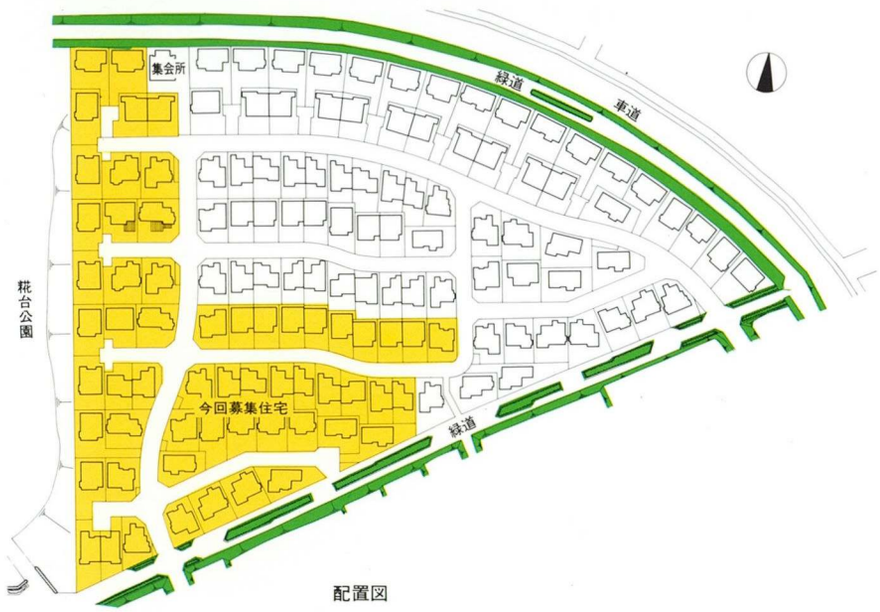

大浴場２Ｆ

撮影　金井輝明　樋口尚俊

GARDEN HOUSE 西神糀台第2

住宅・都市整備公団関西支社住宅事業第2部





配置図

協力業者(PR)

施工	藪内工務店
施工	岡工務店
施工	昭和工務店
施工	王子建設
施工	戎工務店
施工	宮田組
施工	日本ハウズイング
内装材	日本ハードボード工業
内装材	永大産業
内装材	段谷産業
浴室ユニット	INAX
瓦	日本モニエル
アルミサッシ	不二サッシ
アルミサッシ	吉田商事大阪支店
床・樋	松下電工
造園施工	豊水緑地興業
ガス	大阪ガス
外壁サイディング	東レグラサル
外壁サイディング	アサノスレート
外壁サイディング	久保田鉄工
玄関ドア	日本楽器製造
玄関ドア	アイカ工業
リシン	恒和化学工業
ホームセキュリティ	アイホン

所在地	神戸市西区糀台３丁目35番	公団担当	計　画	宇治原邦浩、川本得信
敷地面積	25,616㎡（住宅の専有敷地面積114㎡～205㎡程度）		建築設計	清水克己、永田幸夫、川村真次、岡田　博、加藤順章
建築戸数	133戸（１戸建、２戸１棟建）		衛生電気設計	鯰江敏夫、網谷　力、合田裕一、平本克己
住宅型式	基本的タイプ　４DK、４LDK、５LDK住戸により多目的スペース、収納スペース付		造園設計	正見清人、岩本一良
住宅専有面積	91㎡～127㎡程度	事務所	建築設計	一色建築設計事務所(東京)
施工期間	昭和60年３月～昭和61年３月		造　園	造景

神戸は港街としての歴史的背景をもつ異国情緒のある豊かな街であります。この神戸に新しい街を造る場合、どのような街とするかは常に大きな課題であります。明治・大正期には中央区北野町あたりの異人館街や東灘区神楽新田の「文化村」などが造られ、現代にも影響をあたえる神戸のイメージを形造ってきました。公団においても、これまでに多様化するニーズに対応しながら神戸にふさわしい街造りを進めてきましたが、今回、ガーデンハウス西神糀台第２を設計するにあたってはとくに神戸､本来のイメージを街造りに生かす**「神戸にふさわしい街造り」**を提案しています。

神戸らしさを設計面で考えると、異人館に代表される洋館の下見板張りや外壁に塗られた鮮かなパステルカー、ガラリ扉などは魅力あるデザイン要素であります。ガーデンハウス西神糀台第２ではこれらの要素を活用してデザインしています。下見板張りは横目サイデングで、ガラリ戸はガラリ風の既成雨戸で表現し、住宅の外壁は基調になる６色のパステルカラーとホワイトのコントラストが際立つ配色により街並を形成しています。24タイプの住宅の外壁の色彩については６色のパステルカラーをできるだけアト・ランダムに配置することによってアイデンティティをもたせ、屋根の破風、サッシ、雨戸、樋、玄関扉、屋外構作物の色彩をパステルホワイトで統一することによって、街並に統一性をもたせ、画一的でありがちな街並に個性と変化と調和をあたえています。

住宅内のインテリアについても４タイプにコーディネートし、外部の色彩とは関係なくアト・ランダムに個々の住宅に配色することにより、より個性化を計っています。インテリアのコーディネートは壁・天井をホワイト系とし、床・建具などの本部の色調を統一しています。白木を基調にしたナチュラルタイプ、ライトブラウンを基調にしたダークオークタイプ、ホワイトでまとめたホワイトタイプがそれです。工法も洋風建物にふさわしい枠組壁工法です。庭についても、日本庭園的な見て楽しむ静的な庭でなくアウトドアーリビング的な考えを取り入れ、屋外でのアクティブな生活を楽しんでもらうパーゴラとサンデッキ付の住宅も設けています。現在の神戸の感性をマッチした異国情緒のある洋館イメージの洒落た街、いわば「現代風のエキゾチックタウン」とでもいうべき街造りです。

今までの低層住宅群の街造りの手法についてはいろいろ試行されています。それぞれの居住者が個別の敷地に好みの個性的な住宅をばらばらに形成する手法から、明確なコンセプトをもった統一感のある街造りまであるのですが、今回のような後者の範中に入る手法については、公団など開発者の手腕により、より良質な街並形成ができるため、その社会的役割は非常に大きいし、それぞれ百戸程度の単位で特色のある街並を形成することは地域の活性化にも役立つと考えられます。

（住宅・都市整備公団　川村眞次）







1
2
3
4

1．緑道ごしにまちなみをみる
2．アウトドアーリビングが楽しめるサンデッキ付住宅
3．リビングルーム
4．ダイニングキッチン

撮影　島　修一

ショッピングプラザ　アスパ

設計　東畑建築事務所
施工　竹中工務店・福井建設共同企業体



北東外観



航空写真全景

撮影　ＳＳ大阪

所 在 地　京都府綾部市綾中町花ノ木30番地
敷地面積　13,255㎡
建築面積　 7,233㎡
延床面積　13,771㎡
構造規模　ＲＣ造、３Ｆ、Ｐ１
工　　期　昭和60年３月～昭和60年10月
最 寄 駅　国鉄山陰線綾部駅

国鉄山陰線綾部駅より少し離れたところに位置する敷地周辺は、古くからの民家が町並みを形成し、一歩踏み込むだけで都会とは違った落ちついた雰囲気のある土地柄である。

この土地での今回最初のショッピングセンター建設は周辺環境の主要な役割をになうであろうことを前提に、単なる商品の集まりではなく、人間相互の憩いの場、集いの場、情報交換の場として、住民参加の文化交流を積極的に営む施設とすることが最大のテーマであった。

敷地は三方道路に囲まれ、比較的高低差の少ない恵まれた条件で歩行者、車輌およびサービスの動線を明快に分離し、古くからの商店街に通じる道を歩行者のメインアプローチに、構外駐車場に面する部分を車輌のアプローチにすることで配置計画がなされた。

外観は、目立つことが要求される最近の商業施設であるが、周辺との調和を計るために、多くの色彩を使わず、シンプルを基本に横ラインと曲線とでやわらかな表現を与え、模様型枠を使い微妙な陰影をつけることにより、多少の変化をつけている。

内部は、吹抜けのあるセントラルコート、大小イベントホール、ダンス教室等の文化教室を配置し、文化交流を通じての住民一体の店づくりをめざしている。

今後、周辺の商業、文化の中心的存在として幅広く利用されることを期待している。

（馬杉隆博／東畑建築事務所）



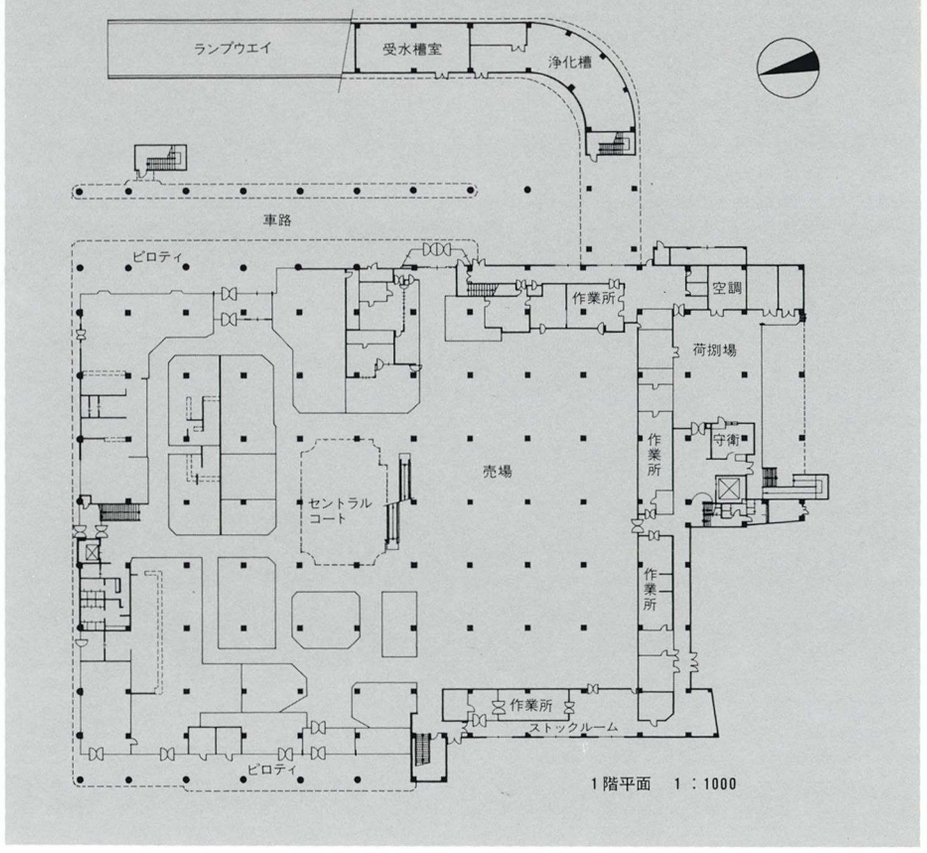
外壁ディテール



西側エントランス



セントラルコート



1階平面　1：1000

おやさとやかた南右第三棟

基本設計　宗教法人天理教教会本部
設計施工　竹中工務店

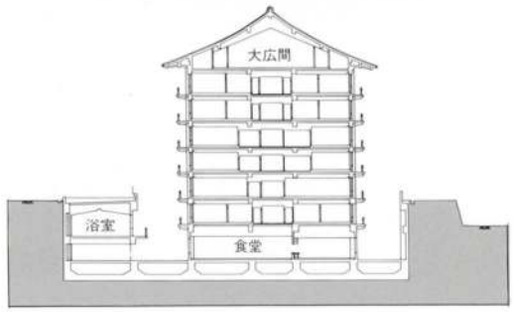


北西側全景

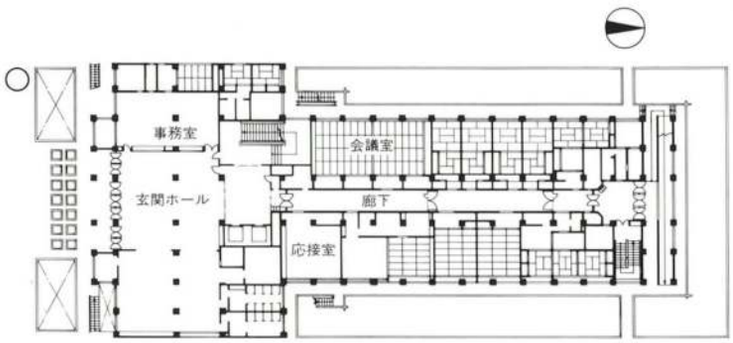
“大和は国のまほろば　畳なづく青垣　山籠れる大和しうるはし”と万葉の昔から詠われた、美しい自然につつまれた天理市の町なみは、信仰の息づく町である。

天理教教祖が在世中「今に、ここら辺り一面に、家が建て詰むのやで。奈良、初瀬七里の間は家が建て続き、一里四方は宿屋で詰まる程に。屋敷の中は、八町四方と成るのやで」と仰せられた言葉に従って、「ぢば」を取り囲む八町四方（一辺約873ｍ）に、68棟繋がった「おやさとやかた」を建てめぐらす計画が立てられ、昭和29年より着手された。このたび竣工した南右第三棟はその第21棟目に当たる。恒久的宗教建築の必要性から構造は鉄骨鉄筋コンクリート造とし、神殿その他の建物との調和より外観は日本建築様式とし、屋根も入母屋造り千鳥破風付き本瓦葺屋根とし、外部各階のバルコニーと共に軒の深い水平の陰影を強調したデザインとなっている。仕上材料は石、土、鉄、木を基本として全体をまとめ、日本古来の落ついた雰囲気を持たせている。おやさとやかたの用途は、天理教の修行、教化育成、福祉、学校教育、教義研究、教務等種々あるが、当南右第三棟は信者の修行の場として使用され、約1800人が宿泊できる。大・小和室が約150室あり、バス・トイレ付の身障者用宿泊室も用意されている。屋根裏には150帖の大広間があり、その他に修練室（128帖）、中広間（77帖）、小広間（44帖）、会議室（60帖）がある。又、地階には、352席の大食堂及び男女各々に大浴場と小浴場を持ち、多人数の信者に対応できるようになっている。

天理教の信仰の中心である「ぢば」に全国から集まる信者たちに、ふるさとに帰ったやすらぎと、心のよろこびを甦らせてもらえるところと成り得るよう願っている。　（高山廣二／竹中工務店）



断面図　1：1000



1階平面図　1：1000



正面全景

屋根　本瓦葺 5.5寸勾配
外壁　黄竜山石入色モルタル掻落し
　　一部アクリル系リシン吹付



夕景 北東側



配置図

所 在 地　天理市守目堂町255－1
敷地面積　13,429.72㎡
建築面積　3,516.16㎡
延床面積　22,889.44㎡
構造規模　SRC、RC、B2、6F、P1
工　　期　昭和58年1月～昭和60年9月
最 寄 駅　国鉄桜井線、近鉄天理線天理駅

撮影　金井輝明・庄野 啓



洛西コーポラティブ住宅

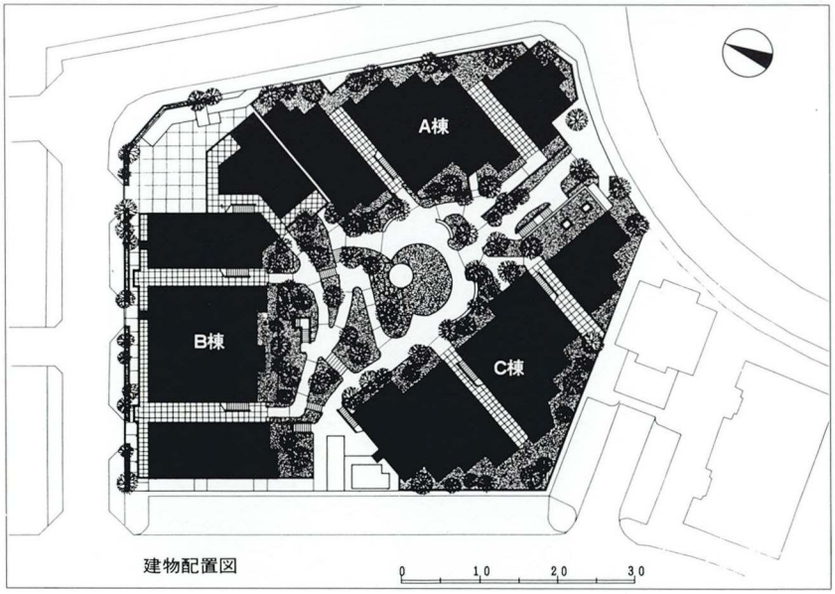
ユーコート



夜景

コーディネート　京の家創り会設計集団洛西コーポPJチーム
設　　計　ＮＯＭ建築設計室
京都建築事務所
稲石・砂地建築事務所
京都設計
福井一級建築事務所
サン設備計画（設備）
協力事務所　能勢建築構造研究所（構造）
造景（造園）
施　　工　松村組

事業主体　洛西コーポラティブ建設組合
住宅・都市整備公団関西支社
所在地　京都市西京区大枝北福西町４丁目
（洛西ニュータウン内）
敷地面積　3,315.79㎡
建築面積　1,819.42㎡
延床面積　5,866.70㎡
構造規模　RC造　A棟４F・B1、B棟５F、C棟３F
戸　　数　48戸　住戸規模62.78㎡～110.96㎡
工　　期　昭和59年10月～昭和60年10月
最寄駅　阪急京都線　桂駅



建物配置図

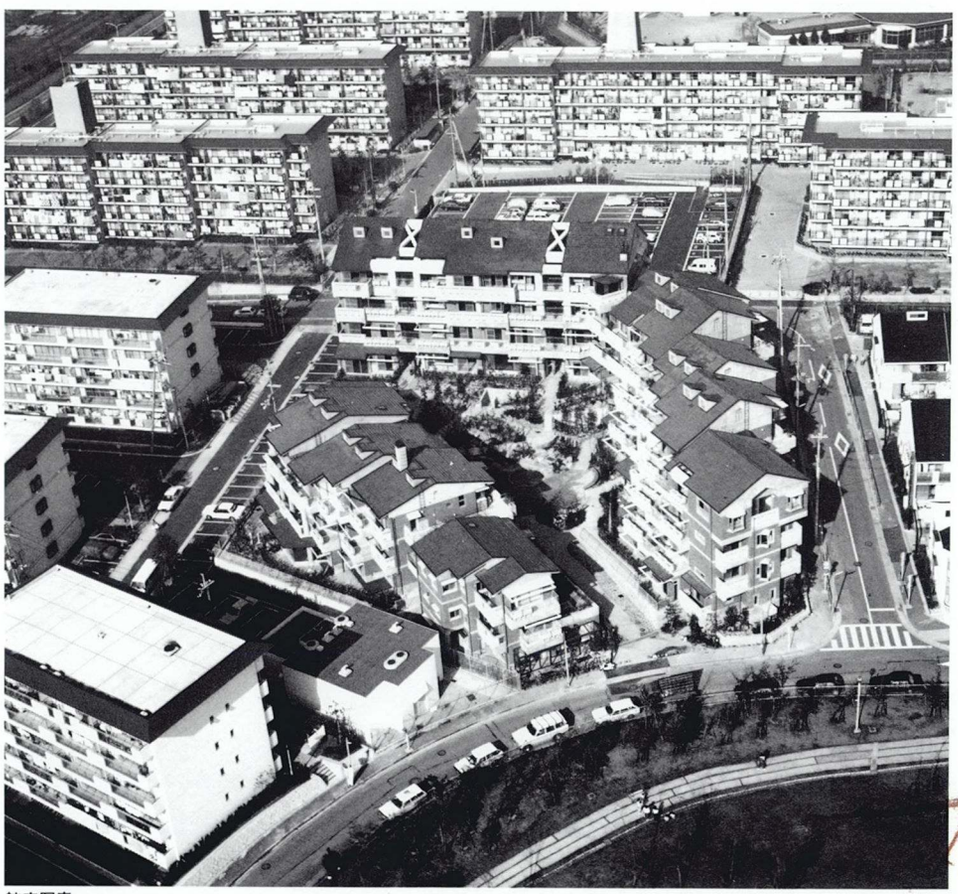


南西面外観（左：C棟、右：A棟、中央：B棟）

コーポラティブ住宅に相応しい住まいを、住み手の希望をいれながらいかにつくるか。これがユーコートの設計テーマであった。具体的には、中庭、集会所、住戸へのアプローチ等豊かなコモンスペースを実現すること。住戸への2方向アクセス、広いバルコニー、バルコニーに設ける菜園やプランター等積層住宅では得にくい接地性を盛り込むこと。さらに、多様な住要求に応えながら住み続けられる住まいをつくること。そして、それらを実現しながら建物にわが家らしさの表情を与えることであった。

その結果、盛り沢山のテーマは、不十分な点はあるにしても実現できたし、見ず知らずの人々が集まっての建設事業のプロセスにも評価できるものを残した。その点については住まいとまちづくりに果たすコーポラティブ住宅のポテンシャルの高さを感ずるが、一方で、現在の住産業のなかでこの方式による住まいづくりを一般化し定着させるためには、今後に課題を残した。ひとつには請負者や設計者への過重な負担であり、ひとつには住み手の多様な住要求を設計のなかでいかに整理し取捨するかということである。

（京の家創り会・洛西コーポプロジェクトチーム／梶山秀一郎）



航空写真

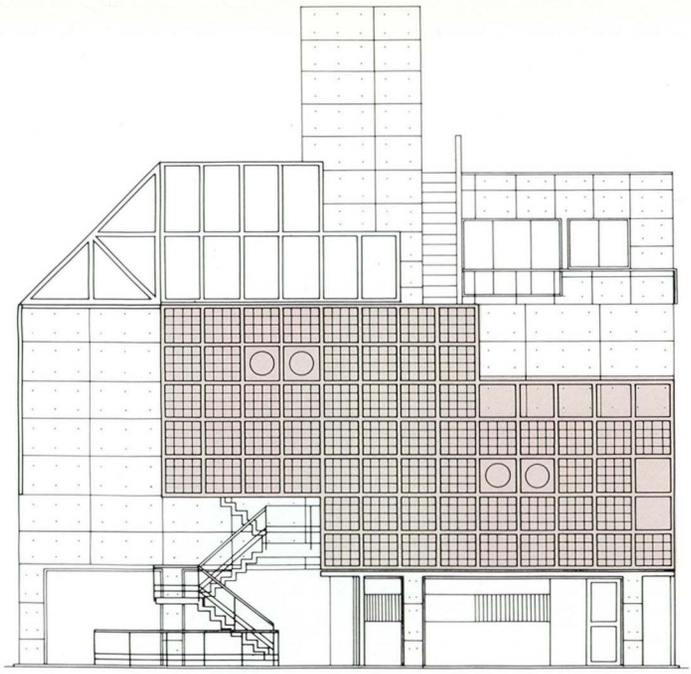
Gallery

まち・建築・ひと



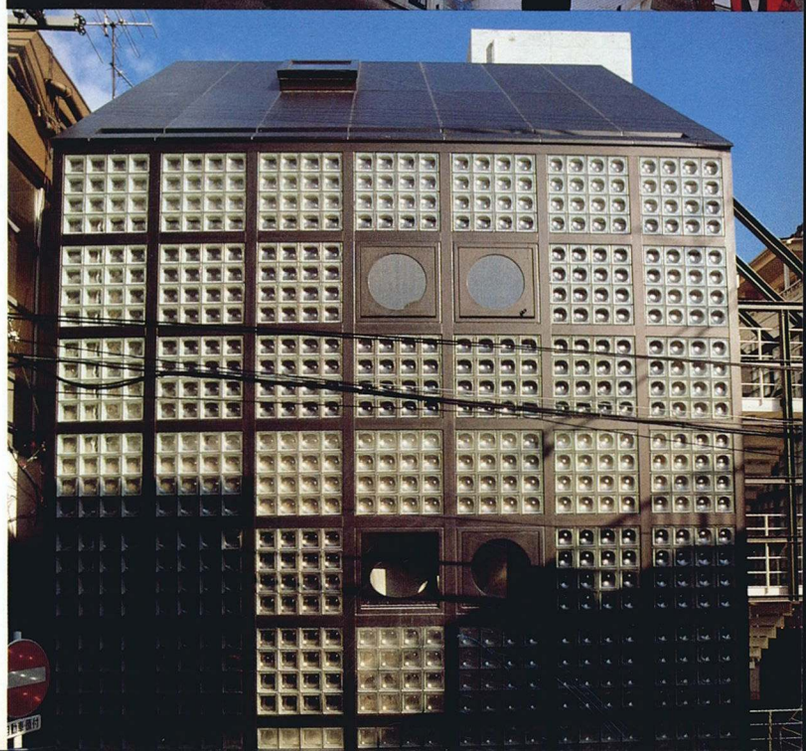
神戸「夜の街」から

サントモビル









日本の多くの都市は、再開発事業や道路整備の名のもとに、合理性と効率のみを追求した直線的で均質な空間をもつオモテの顔と、その反対に人間の欲望が赤裸々に渦巻く、雑然、混沌とした空間をもつウラの顔との二面を合わせもっている。けたたましいまでの色彩にあふれたウラの都市は、都市計画家や建築家に見放され、自然発生的にまるでアメーバーのように、エネルギッシュに空間を埋め尽くしてゆく。そこでは価値基準はたった一つであり、我も我もという利潤追求のみがエネルギーの源である。そして現代の最も充血した部分である商業空間の中で、その最たるものが歓楽街である。しかしこれらの空間は汚いから悪であると見放してしまって良いものではない。我々はこれらのすさまじいエネルギーを文化、あるいは建築というフィルターを通してもう一度見直す努力、作業が必要であると考える。すなわち混乱に正々堂々と立ち向かうことである。

この建物は神戸三ノ宮の歓楽街のど真ん中に建ついわゆる「飲屋ビル」であり計画の手法はごくオーソドックスなものである。要約すれば、私空間をどれだけ公空間に開放できるか、あるいは外部（公）空間をどれだけ内部（私）空間に取り込めるか、といった問題の模範回答である。すなわち、閉鎖的街並みの中でサンクンガーデンと呼ばれる、オープンスペースを設けることによって、歩行者にゆとりと潤いのある空間を提供することができる云々。

しかし重要なことは理論ではなくて実践であろう。クライアントの利潤の追求と公共の都市空間に対する配慮は、往々にして対立するものである。そこでクライアントをいかに説得するか、すなわち「都市の環境を作る主役は建築であり、個々の質を上げながら、しかも環境の形成に寄与する。」という極めて簡単なことを実現させることが、いかに至難の技であるかは、このような地域で建築設計を手掛けるたびに痛感することである。今回、我々のねばりとクライアントの理解により、かろうじてほぼ当初の計画通り実現できたことは、非常に喜ばしいことである。　（天藤　久雄）

所 在 地　神戸市中央区中山手通１丁目７番３号
構造規模　鉄筋コンクリート造一部Ｓ造、地下１階　地上４階
敷地面積　166.17㎡
建築面積　135.78㎡
延床面積　577.25㎡
工事期間　昭和60年２月～昭和60年９月

天藤 久雄（てんどう ひさお）
1945年　福井県生まれ
1968年　中島建築事務所入社
1975年　天藤建築設計事務所設立、現在に至る
主な作品
異人館倶楽部（1977年、神戸市中央区北野町）
（1980年JCD賞、複合空間部門奨励賞、第13回SDA賞）
北野らんぷ博物館（1981年、神戸市中央区北野町）
安宅ビル（1982年、神戸市中央区三宮町）
ムーンライトビル（1983年、神戸市中央区北長狭通）
百河豚美術館（1983年、富山県下新川郡）など

天藤建築設計事務所　神戸市中央区八幡通3-2-11芙蓉ビル東館　☎078-231-7201

企画編集　作品作風小委員会　松村孝治
撮　　影　GIN STUDIO

第31回工高生デザインコンクール入選作品

設計課題：郷土資料館

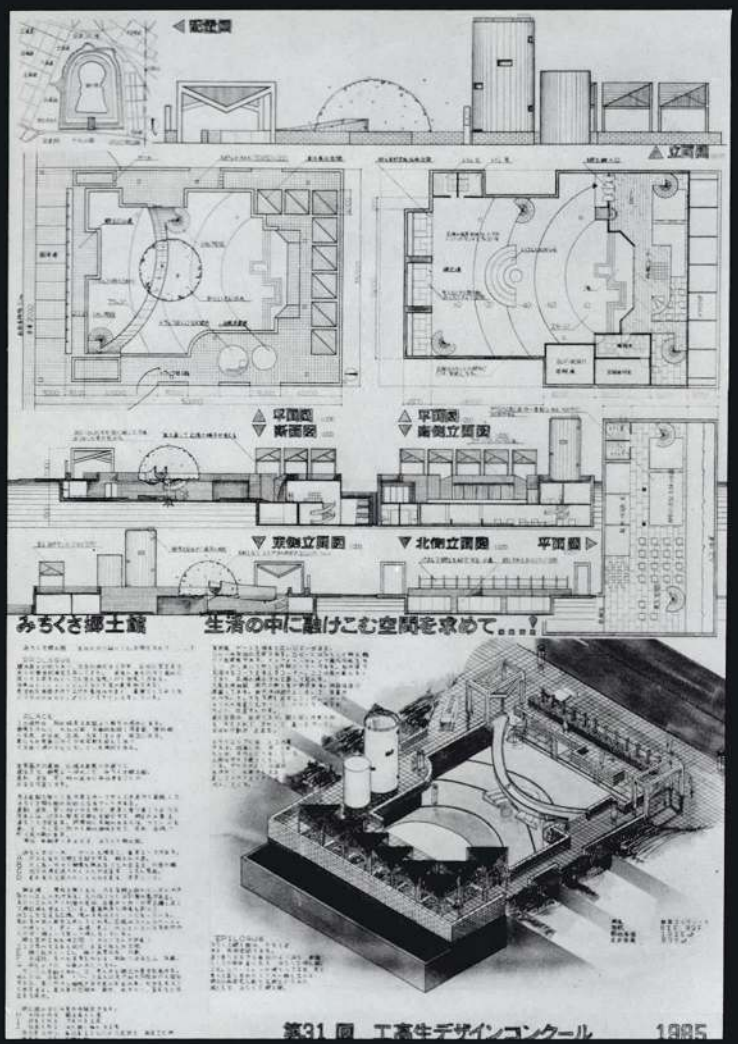
主　　催：日本建築協会

応募作品99点の中より入選作品10点を決定し、うち最優秀作品１点を選定した。

応募校数　16校　　応募作品数　99点
締 切 日　昭和60年９月20日
審 査 会　昭和60年10月12日
表 彰 式　昭和60年11月16日

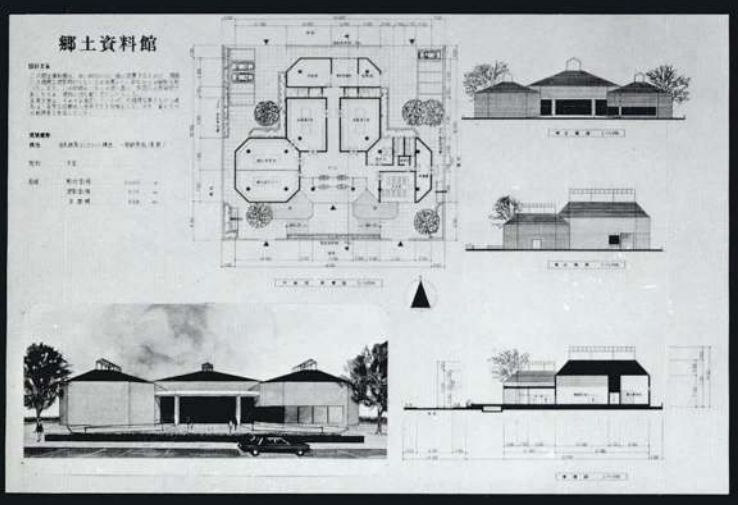
審査委員長　高口恭行
審査委員　赤崎弘平／大石義一／大泉研二／奥　俊信
加藤　力／狩野忠正／芝山　昭／谷　浩輔／原田　勲
松林祐爾／松山　新／三谷幸司／宮崎八郎／森本正一
（50音順・敬称略）

〔掲載順不同〕



◁入選・最優秀賞　森岡澄雄　（堺市立工業高等学校・３年）

郷土資料館とは、その街に住む人達が毎日利用するものとして考えた。街の人達が毎日利用できるよう通勤、通学、買物などの通り道に、さらによりみちの場を作り、人が気軽に出入できるように考えた。それがみちくさ郷土館である。忙しい人でも街の情報を知ることができ、時間のある人は散歩のついでに、おじいさんの部屋で一服するなど自分の都合で好みのコースを選ぶことができる。展示室のみが郷土資料館ではなく、街全体が資料館で、この建築物はその中心的な役割を果たすものとして考えた。



◁入選　西川隆弘　（大阪府立西野田工業高等学校・定時制・３年）

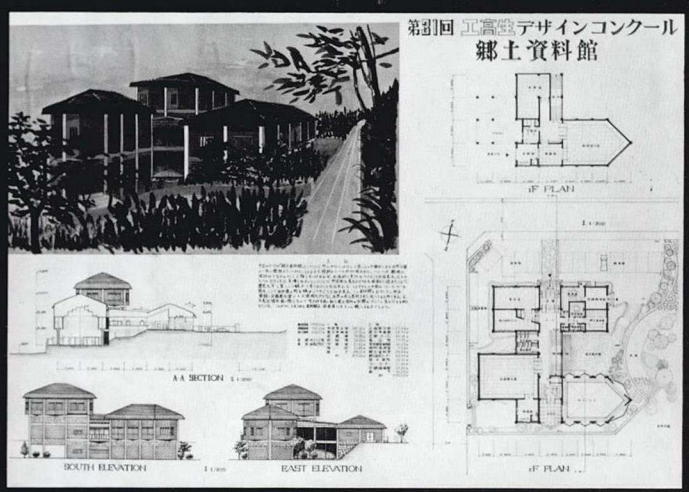
敷地は、かつて外国人居留地として開かれ、港町として発展した地域で、今もなお当時の雰囲気を残している場所を想定した。外観は洒落た洋風住宅風とし、全体に柔らかさと造形的な変化をつけるためハニカム形を基本形とし、大小３つの空間を結び付けた。また、車いすの利用者や来館者の動線を円滑にするため平屋建とした。所要室は、大小３つの空間の中に機能的に配置し、各展示室は、単独の展示室としての機能だけではなく、大規模な企画にも対応できるように連続させた。

審査総評

第一次審査に残った30点は、いずれも表現の密度が高く、内容的にも紙一重の差で、入選10点が選考されたことが印象的であった。しかしまた、「郷土」、つまり歴史性・地域性とかかわる提案が全般に稀薄であったため、このことをはっきりと問題にした数案が、いちだんと高く評価されることになった。最優秀の森岡君の案は仁徳天皇陵外縁に立地する点で少し気になるが全般に充実した作品であった。芝崎君、小幡君の作品もこの意味で充実している。佐藤君は造形的に非凡なものを感じさせる。佐野君のかかわる2作はアイデア偏重ともみえ、今回の課題になじまぬ部分が認められたが若さの勝利といったところだろう。御山君、田村君、箱田君、西川君はいずれも、よく練られたプランと堅実な表現で、入選を果した。惜しくも入選とはならなかったものの新井守君、黒岩真一君(他2名)、藤木智英君、森枝貴仁君の作品は、紙一重のものとして挙げておきたい。

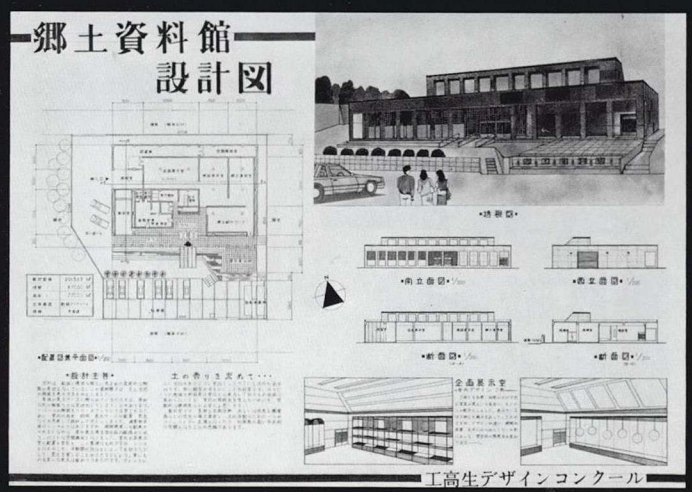
今回、模型写真を貼付した応募が数点あり、年々プレゼンテーションの高密度化がうかがえる。それはそれで嬉しいことなのだが、最も重要なことはどこまで思考を深めるか、という一点につきるのであって、その点、最優秀の森岡案は、やや表現にドロくさいところがあるものの、思考を十分に表現した、好作であったといえよう。最後に、酷暑とたたかって力作をもって応募された全ての参加諸君に満腔の敬意を表しておきたい。

(審査委員長・高口恭行)



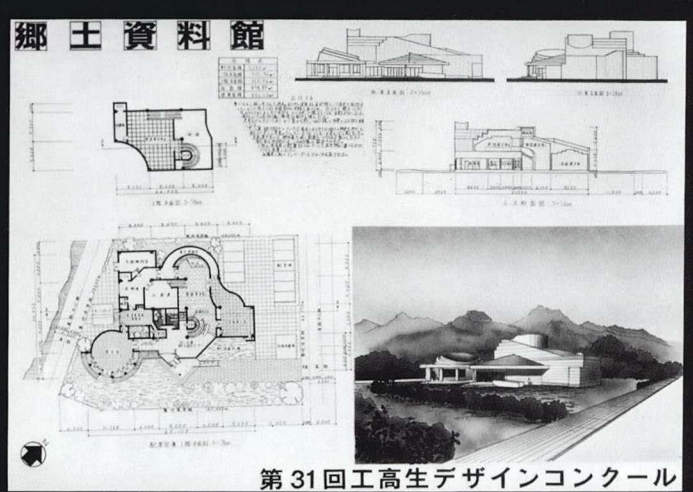
△入選　御山任功　(群馬県立桐生工業高等学校・3年)

人々が、自分たちの郷土を見なおすきっかけをつくる、そんな建物にしようと思った。工夫したことは、自然採光をどの様に取り入れるか、空間的に資料館という硬さをどう取りはずすか、また自分達の町をじっくり見るスペースをどう取り入れるかなどです。外観は時代を感じさせる様な、ずっしりとした重みのあるものにしたかった。今まで木造の建物しか設計したことがなかったので、構造自由という条件が気に入りました。今回昨年からの念願がかなえられ、魅力的な入選賞牌が手に入り、大変嬉しかった。



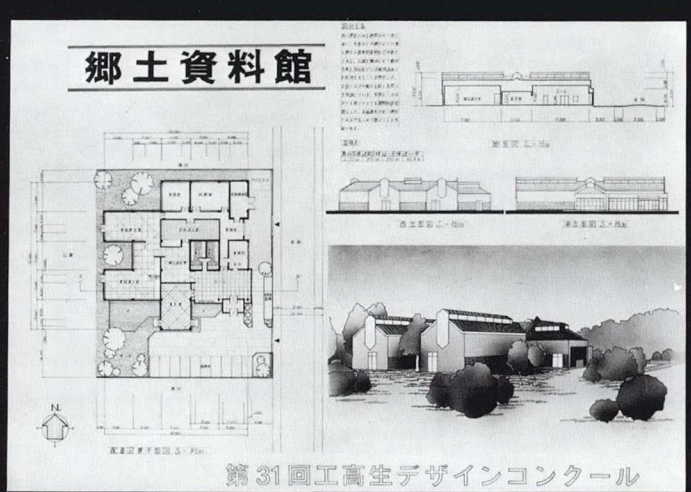
△入選　田村美紀　(群馬県立高崎工業高等学校・3年)

課題の主旨を念頭に設計しました。資料館として、観客動線と管理動線の空間的なさばき方が設計の重要な決め手となるので、この点への配慮が基調となっています。外観は博物館や美術館のような独特な趣に、黒格子をあしらうことによって現代的感覚をプラスしました。内部は、展示計画上のフレキシビリティを高めるため可動壁とし、デザイン的な展示ケースを設けることによって、個性的な環境を提供し、若者の目をひきつけ、郷土を認識させることに重点をおいて考えた。



△入選　佐藤典子　(群馬県立高崎工業高等学校・定時制・4年)

郷土資料館ということで、郷土の水と緑をテーマにし、建築物内外に淀むことのない水を、自然の小川のように、常設室Ⅰや階段廻りに計画しました。また建築物外観も水をイメージした曲線を用いた。敷地は緑の森林公園に隣接させ、敷地内にも出来る限り緑を配した。建物は若者向けにモダンで明るく、資料館というイメージを大切にし、重みを感じさせるよう外壁に石材を使用しました。より多くの人々に、この建物への見学や参加ができる様に身体障害者用のエレベーターを設置した。



△入選　箱田幸雄　(群馬県高崎工業高等学校・定時制・4年)

作品については、古い歴史のある街並みの一角にあることを想定し、外観は蔵のイメージを取り入れ、郷土の歴史的資料などが展示されるに相応しい建物とした。敷地は公園を西側に持ち、休日などには、家族連れにも利用されることとした。建物の正面には、池と樹木を配し、自然さを強調した。玄関ホールはガラス張りで、とても開放的な空間とした。企画展示室については、展示物がない期間、そのドアを閉じても、見学者の円滑な動線を確保できるものとした。

課題の主旨

「郷土」という言葉から、人々は多くのことを連想する。中でも、生まれ育った土地のイメージが特に強い。

都会に出た若者のUターン、Jターン現象に見られる「郷土」の見直し。また、都会の真中でくり広げられる祭などにみられるコミュニティ意識の芽ばえなど。どちらも、生活を通して身近な郷土を振り返る良い機会である。

郷土意識と仲間意識の定着をはかり、郷土再発見と新たな発展のための「場」として、この課題は、多くの人々が自分たちのまちを見直すきっかけがつかめるような若者らしい提案を期待している。

設計条件

1．敷　地：在住地域または自分の郷里などで、2,000㎡程度の適当な敷地を想定する。形状その他は自由とする。

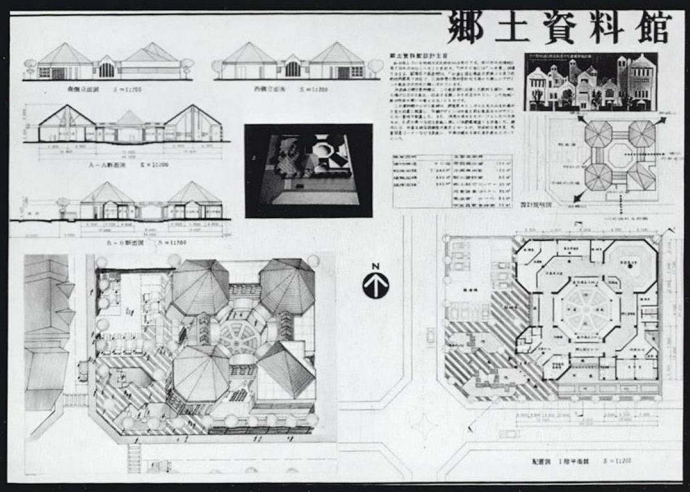
2．規　模：延べ面積900㎡以内。平家または2階建、構造は自由とする。

3．所要室：

（室名）	（面積）		
常設展示室	400㎡程度	収蔵庫	60㎡程度
企画展示室		荷解場	30㎡程度
郷土資料室		集会室（多目的に利用）	60㎡程度
郷土紹介コーナー		学芸員室・事務室	30㎡程度
展示準備室	40㎡程度	便所（男女別）・湯沸室	40㎡程度
		空調機械室	40㎡程度

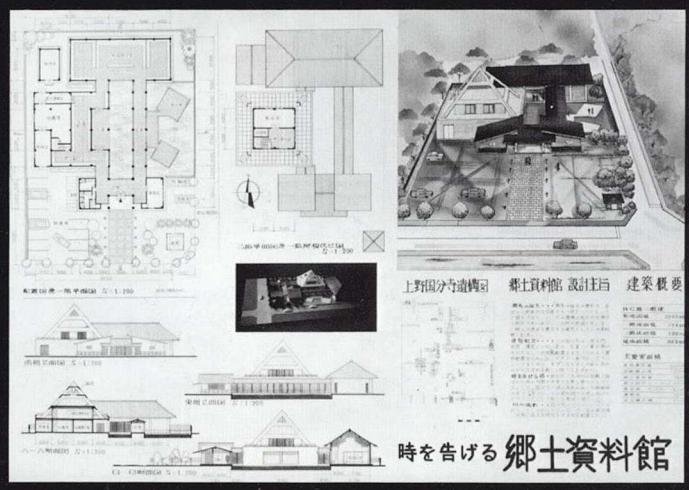
※その他、必要と思われる諸室は設けてもよい。

4．屋　外：屋外展示場（適宜）、自転車置場（20台程度）、駐車場（外来車10台程度、サービスヤード2台程度）を設け、その他、植栽計画を行う。



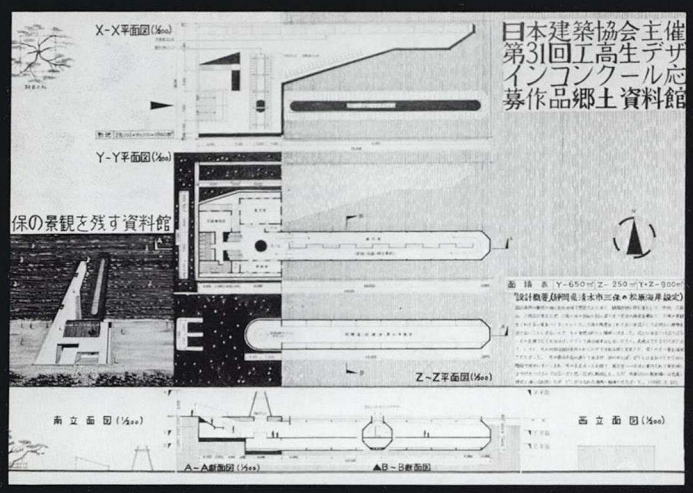
△入選　小幡秀和　（群馬県立前橋工業高等学校・3年）

郷土ということで身近かな自分の住んでいる所、すなわち『渋川』にこんな資料館があったら面白いなァと思って設計しました。敷地の選択が一番重要な事柄の一つなので、現地調査も試みた。いろんな特徴を持つ資料館をつくろうと思い、身近なものからリストアップをして、その中からいくつかを採用して出来上がったのがこの作品である。気に入った所は、屋根を山に例えてみたことと、中庭の水の広場がよく出来たことだと思います。入選は生涯忘れられない思い出の一つとなり、自分自身にとって誇りとなるでしょう。



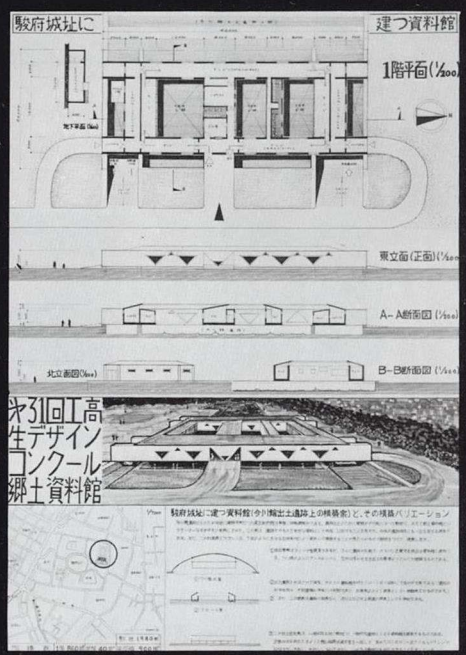
△入選　芝崎美歌　（群馬県立前橋工業高等学校・3年）

今まで住宅の設計しか着手したことのなかった私にとって、この『郷土資料館』の設計は、機能が優先されやすい住宅から見ると、自由な発想が出来ると思いました。この資料館をデザインするにあたって、郷土の国分寺の伽藍をもとに考えました。ピラミッド型の建物は元あった七重塔の屋根からヒントを得て、そこに鐘を吊るして鐘楼としました。私が入選できたことは、諸先生の援助を貸りなくてはなりませんでした。その先生方のもとで、この作品を制作できたことに感謝します。



△入選　佐野信二　（静岡県立静岡工業高等学校・定時制・3年）

敷地の場所を郷土性を出すという意図から、三保の松原を想定しました。海・砂浜・松林などの風景をこわさないための建築方法を、究極の形として、構造物を地下に埋める方法をとった。また、構造物を地下にうめることからくるデメリット、すなわち採光は、その一部を海上につき出すことによって、有効に解決されていると思う。応募の動機は、好きな設計の分野で何かを残したいと思い、今年のテーマに向って全力投球（2点）で設計した。入選は、先生のご指導によるものだと深く感謝しています。



▷入選　佐野信二　大原吉治　共同制作

（静岡県立静岡工業高等学校・定時制3年/2年）

駿府公園を友達と歩いていてひらめいたのがこの案である。県立美術館を建設しようとしたそのスペースに工事中、遺跡（今川館）が発見された。そのため工事が中止となり、美術館は草薙地区に変更され現在建築中である。遺跡が見える様な、郷土資料館を設計したらどんなに楽しいことだろうと思い、先輩と共同で案を考え図面化しました。県立美術館も私達の案のようなアイデアで設計すればよかったと思います。今はただ、入選したことで、先生と先輩に感謝したい気持でいっぱいです。

※上記入選者の感想文は、誌面の関係上委員会にて要約の上掲載しました。（文責・和田　康由／教育委員会委員）

●ニュース

第17回中部建築賞

昭和60年度（第17回）中部建築賞の入賞作品（一般部門10点）および入選作品（一般部門８点・住宅部門１点）が決まった。中部建築賞は、昭和60年３月31日までに中部圏で竣工した作品を対象とし、応募数は、一般部門が76作品、住宅部門が16作品であった。

入賞作品（一般部門10点）



名古屋国際センタービル
名古屋市中村区
設計／日建設計名古屋



豊田工業大学図書館・講堂　名古屋市天白区　設計／日建設計名古屋



名古屋港ポートビル　名古屋市港区　設計／村瀬卯市＋プロジェクトチーム



名古屋市鶴舞中央図書館　名古屋市昭和区　設計／名古屋市・丹羽英二建築事務所



稲沢市保健センター　愛知県稲沢市稲沢町　設計／徳岡昌克建築設計事務所



北陸学院短期大学チャペル兼音楽堂　金沢市三小牛町　設計／双星設計



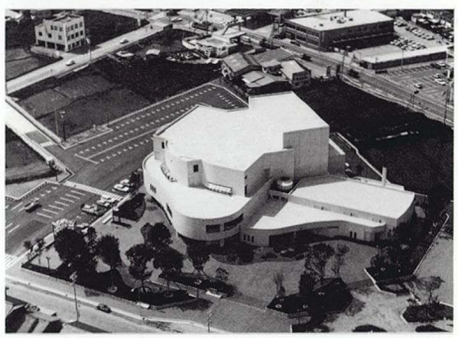
岐阜市文化センター　岐阜市金町　設計／岐阜市＋坂倉建築研究所



富山県高志リハビリテーション病院　富山市下飯野　設計／共同建築設計事務所

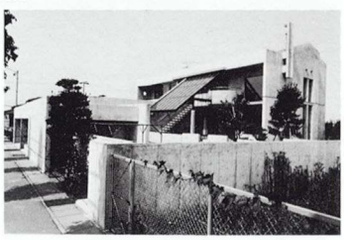


越前町役場庁舎　福井県丹生郡越前町　設計／品川建築事務所



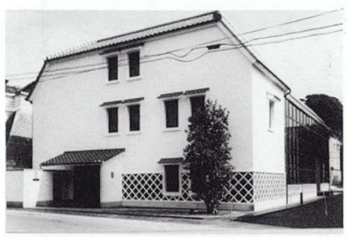
亀山市文化会館・中央コミュニティセンター　三重県亀山市東御幸町　設計／全日本テレビサービス

入選作品（住宅部門１点）



寺地新の家
金沢市寺地

入選作品（一般部門８点）



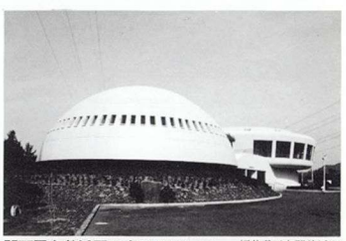
鈴渓資料館　愛知県常滑市小鈴谷



岡本病院　石川県小松市小馬出町



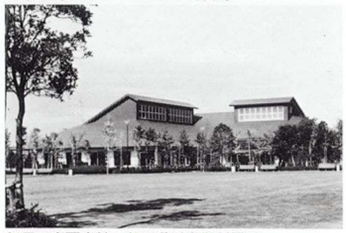
焼津市文化センター　静岡県焼津市三ケ名



関西電力美浜原子力ＰＲセンター　福井県三方郡美浜町



小牧市民病院　愛知県小牧市大字市之久田



新居町立図書館　静岡県浜名郡新居町

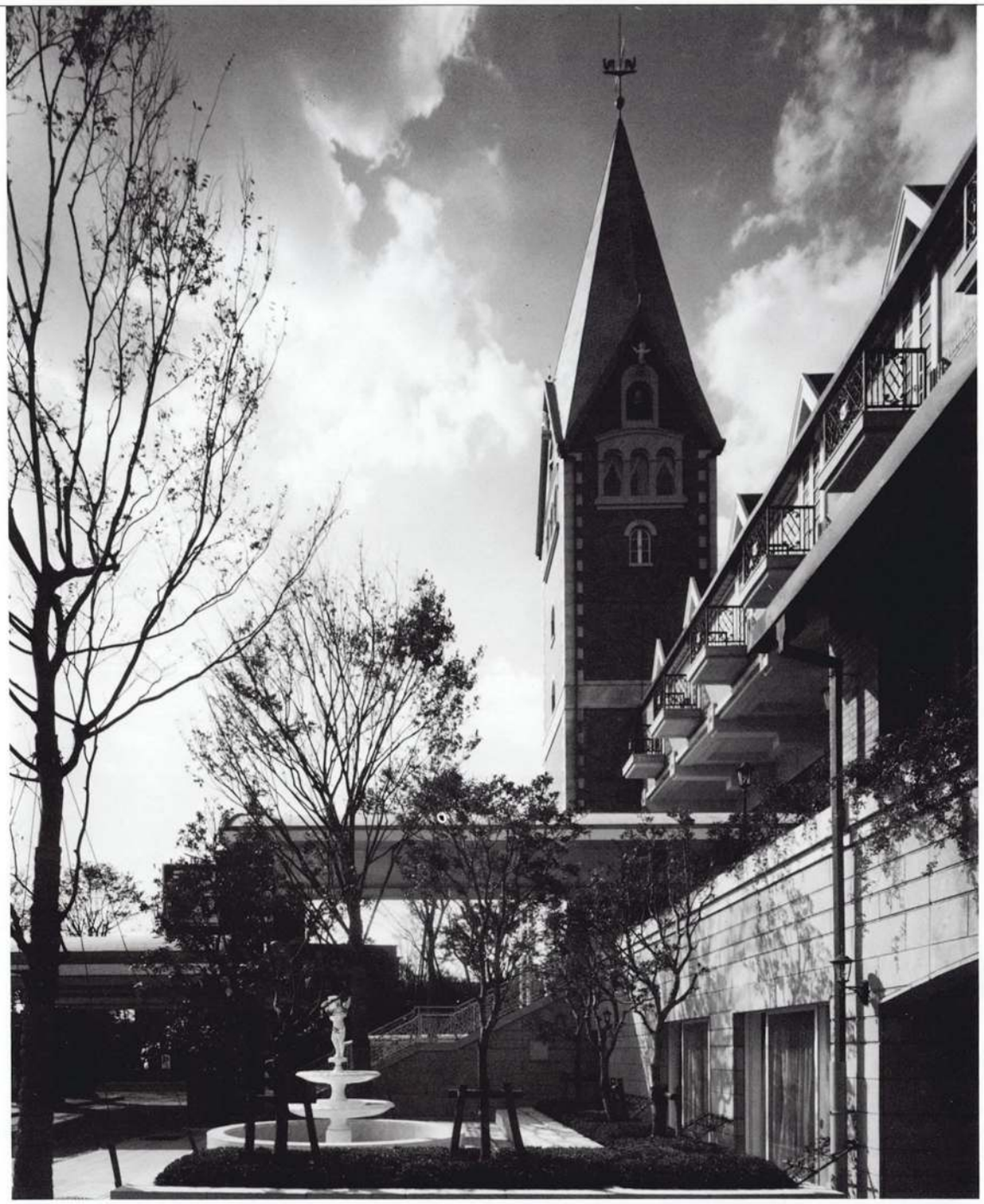


長野放送本社　長野市岡田町



鈴鹿市斎苑　三重県鈴鹿市地子町

——ヨーロッパの伝統美——



宇都宮玉姫殿　設計　Sim建築事務所

DAIWA CLASSIC ORNAMENTS

古き良きヨーロッパのあのロマンを偲ばせる美しい模様。優雅な雰囲気のなかに荘重な風格。
風見、階段・バルコニー手摺、門扉、面格子等の装飾金属製品、クラシックドア、腰パネル、庇などの各種アルミ製品。
イタリア**sädi**社との技術提携により天井レリーフ、壁面レリーフ、化粧柱etc.の装飾石膏セメント製品をはじめヨーロッパ直輸入家具、照明器具にいたるまで、大和金属工業は伝統の風格を存分にとり入れた数々の製品をお届けしています。

ANGEL METALWORK
大和金属工業株式会社　DAIWA sädi

本社・宝塚工場　〒665 兵庫県宝塚市高松町1－85　(0797)71-2731
東京営業所　〒150 東京都渋谷区東1－13－1　(03) 406-6521
Angelot　〒150 東京都渋谷区渋谷3－2－3　(03) 498-2291

資料請求券
'85 KS-11

設計者のプロフィール　42　関西の昭和生まれの建築家

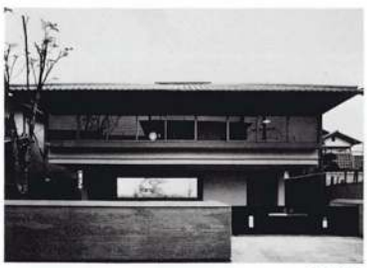
寺嶋繁久

Sim建築事務所

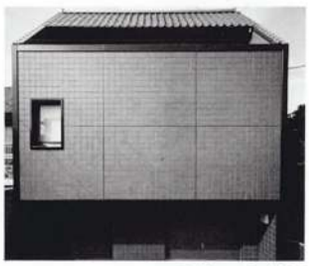
聞き手・編集委員　中井　進（日建設計）
プロフィール撮影　島　修一（STUDIO A・T）

略歴　てらしま　しげひさ

生年月日	昭和8年2月2日（52歳）
出身地	市都市
最終学歴	京都市立伏見高校昭和26年卒業
職場	Sim建築事務所代表取締役
事務所在地	〒604 京都市中京区東洞院通蛸薬師下ル　エステートビル
受賞	大阪府建築コンクール賞（千里山教育寮・1972）　第一回神戸建築賞（御影マンション・1973）　京都デザインフォーラム（照明・1981）　新住宅賞（野村邸・1983）
代表作品	松岡邸（豊中市）　岡村邸（枚方市）　吹上測量事務所（京都市）　宇都宮玉姫殿（宇都宮市）　千里山教育寮（吹田市）　関西テレビ山の家（滋賀県志賀町）
好きな空間建築物	日本の民家、集落、フランクロイド・ライトの作品



岡村邸



石川つづれ社屋



知識、知恵、センス

結婚式場「玉姫殿」を数多く手がけているというので、商業建築に手慣れた積極型の才走った人物を想像したが、イメージは少しずれ、むしろ朴訥な感じともいうべき、真面目で、骨太、手堅い雰囲気の人柄であった。玉姫殿の一連の設計について、施主からはそれぞれいろんな要求がありますからと、ややはにかみを含めて語る語り口には、ひそかな自信さえもうかがうことができた。施主である互助会は、全国的に一つの組織というわけではなく、互に関連しながら別々の組織として成り立っている。従って、前作の評判によって次の仕事に結びつくという形をとることが多く、寺嶋氏の、施主、あるいは時流の求めるものに応じた卒のない手堅さが、次々とこれを手がけることに結びついているのであろう。Ｓｉｍの仕事の中で玉姫殿の占める比率はかなり大きいものであるが、一連の住宅はもちろん、オフィス、レストランなど、仕事の巾は広範囲である。何でも貪欲にやるという積極性は、「どんな組織でも設計事務所としては対等である」との信念に基いているという。

昭和８年生れで、終戦後に京都市立第一工業学校に建築科が復興した時に、絵画部の先生に勧められて機械科より移ったのが建築をはじめるきっかけになった。当時の絵画部のグループ約10人が毎年の正月に先生を囲んで集まる。そのメンバーの中には出江寛氏もいる。昭和26年に竹中工務店に入社するが、折からの建築ブームの中で、現在のように分業ではなく、建具の原寸図に至るまで何でも独りでやらされ、それが身について貴重なものとなっている。ふりかえってみれば、かえって恵まれた環境であったのではないかという。「特に、平安博物館の屋根の葺き替えの為に冬の２ヶ月一人で実測したことがある。当時は何故こんなつまらないことをと思った」。その貴重な体験などが基で、寸法というものが身についたと往時をふり返る。22年間、竹中に在籍するが、もともと設計事務所を開くのが夢であり、また組織の中で役職上しだいに設計の実務より離れていくことに感ずることもあり、思いきって独立することになる。

毎年１回以上は、自分を見直す為にも、外国へ出かけることにしている。「ヨーロッパなどの建築をみていると、我々のやっている西洋建築の物真似がいかに薄っぺらなものであるかに愕然とする。伝統が建築の中に息ずいているのが感じられる。我々に本当に可能なのは、むしろ我々の中にある歴史文化を通じての表現ではないか」という。京都に育ち、現在、化野に住い、「自分のとりまく環境を大事にしたい」という寺嶋氏の、一連の屋根のある、端正で確かなプロポーションの住宅作品は、民家に対する造詣の深さとも重なって興味深い。

目標として、「建築の仕事を通じて社会に役立つことを心がけている」といい、所員にも、デザイン論をいう前に「まず人間が立派になることを教えている。昔の人が米一粒の大事さを教えたのと同じです」という。若い所員には、建物の３～５年後をイメージすることを示唆している。「教えてもらおうなどと思うのはだめで、常に自分のやりたい事をいっぱいもっている必要がある」と、苦労した自らと重ねて若い人への期待を述べる。また、設計には知識・知恵・センスが必要で、「センスとは集約する思想がないとだめで、これは難しい」ともいう。芸術性を押しつけることなく、建築家は、特別な存在ではないのだから、「もっと泥くさく、普通の人間で良いのでは」といい、「たかが50年、100年の周期で変るデザインの風潮など歴史からみるとたいしたことではない」という。何かふっきれたような他の建築家にはない種類の明るささえ感じられる。

現在、中国天津で、イタリアン・レストラン、ディスコを含んだ、水上公園のプロジェクトを進行中であり、「中国ということで特別な感じはもっていない。機会があればどんどんやっていきたい」といい、京都・大阪の事務所を東京へ拡げるのも夢だと語る。いわゆる作家タイプの建築家とは一味違った存在は、私達にとっても興味深く、また重いものではないか。

〔次号の登場者は三宗司郎氏（昭和設計）〕

状況としてのモラトリアム

寺嶋繁久氏設計の松岡邸を訪ねて——

本多友常



松岡邸を訪れたのは、夏も盛りを過ぎようとする暑い最中の一日だった。強い日射しは時の流れを停止させんばかりにふりそそぎ、起伏の多いあたり一面を均一な熱気で覆い尽していた。しかし敷地の中だけは、ひときわ多い緑がとり巻き、葉裏に小さな影を漂わせながら、わずかな風のゆらぎを捕えていた。そのほぼ中央あたりに、マンサード風の屋根をもつ住宅は位置している。道路からは見上げるような位置にあるため、背景には青い空がひろがり、建物の中央からはり出したエントランスの屋根が効果的な構成となって、折れ曲がりの階段を登って行くアプローチを見守っている。黒ずんで大地と一体となった石垣の上には密集した緑が覆い被さり、沈黙のうちに自然の重みを感じさせてくれる。最小限につけられた入口と階段は、その透間を縫うように登っており、スチール製の門扉や照明器具には丁寧なデザインが施され、やさしく緑の中に沈み込んでいる。このディテールに集約された物静かな主張は、サッシ、上り框、手摺、材料の使い方となって内部へ繋がり、建物全体の存在を支えている。

玄関を入ると、外部では自然の激しさに対抗していた建築的な要素は一転して、白いモノトーンな壁や床に同化して中性化される。そこでは設計上の主張は、空間の繋がり方やレベルの設定に注がれ、天井高を確保するために床のレベルを落したり、光の取り入れ方を変えることによって、異なる場の性格を創り出している。

リビングファニチャーの置かれたレベルからは、目前にまで迫ったくぬぎがテラスを突き抜けて生えており、林の中に居るような感覚を与えてくれる。建築以前からの植生を注意深く保存しているためであり、残された自然は驚くほどに手厚く扱われている。そのテラスから少し見下すような位置には庭の小さなふくらみができており、ところどころに彫刻が置かれ、登ってきた道路への視線を、庭の中央へ引き戻す巧妙な求心力として働いている。庭に出て振返ると、深い目地をとったタイルとＲＣの打放しがマンサード風の屋根のもとに重厚な落着きを見せ、二階部分ではベイウィンドーが軽ろやかに飛び出している。この外観は芸術家である住人がフランスに住んでいたころの気分を再現したいという希望に沿ったものだという。

近景として建物に向かうと、この希望が設計者の解釈として咀嚼され、二種類の材料の使い分けによって日本的なプロポーションに置き替えられ、建築化されていることがうかがわれる。それはプランニングにおいても同様で、フランス農家に多く見られる分棟配置が形成された頃の、縦横割型プランとはまったく異ったシークエンスによって、内部空間が構成されている。いわばこの建築に滞う仄な香りのエキゾチシズムは、ひとえに外観のシルエットを決定している屋根の形と、それに付随する窓や、英国に起源をもつといわれる張り出し窓のエレメントに負っているといえる。つまり内部とは切り離された文脈において、外側の殻が作られており、敷地に対する全体の構成からディテールに至る設計上の咀嚼は、外観において直喩へと転換されているのがこの建物の特徴だろう。

そしてその特徴こそが、建物に強い個性を与えていると同時に、重い十字架をも背負わせている。なぜならば、建築が造形として文化的意味を負うものであるならば、エキゾチシズムはつねに成立の時点から自己矛盾の海原へ身を投ずることと同義だからだ。絵画や彫刻が、好みの世界を越えたところに存在するように、建築もまた、形而上・下を問わず世界の拡大を求めている。その時「なぜ日本で、異国風のものを」という悪意のない問いは、個人的好みの選択を越えた解答を求めて迫ってくる。そして山崎正和が説くように「各国に文化伝統はあるが、われわれはそれらを等しく認め相対化してしまった」という現実に対する解釈をこの住宅もまた都市に対して表明し続けなければならないからだ。

しかしここに要求される論理性は、緑のベールと石垣の縁取りによって巧妙にもモラトリアムな世界へ封入されている。石垣によって切り取られ、緑によって浮遊したこの島は、街区に対しては確かに自然の潤いを与えてはいる。しかし、自己完結を目ざしている、という点においては、自から外界との連絡をせばめ、難解な自立の方法をとっているといわなくてはならない。そこには、当為の世界とは異なる感性が滞い、熟練による手馴れた技術がその感性を支えている。そこで選択される夢や解決や主張は、ある確かさをもって実現されている。しかし建築としての自己充足は、価値の多元化を本質とする現代においては、虚構とならざるを得ない逆説をつねにはらんでいる。そしてそこからの脱出は、新たな虚構への探索を意味したとしても、それが現代に生きるものの宿命として、甘受すべきものではないだろうか。ところが、同時に停留へのこだわりもまた現代的な選択である点が、限りなき論理循環への入口として、この作品が位置していると見るべきではないだろうか。灼熱に浮かび上がった緑のオアシスは、未知の惑星の海に浮かぶ小さな島のようにゆらめいていた。

（ほんだ　ともつね　竹中工務店設計部）

この人 13　新宮　晋 彫刻家

聞き手　伊藤郁郎(日建設計)

風と水と風流作家

新宮晋さんのアトリエは、箕面の山深く、目も鮮かな紅葉に身も心も染まってしまいそうな山道を車で20分ばかり走った所にある。作られる作品のスケールの大きさからして、さぞ賑やかな工場のような作業場を想像していたのとは全く逆に、極めて静かにひっそりと佇んでいる感じであった。一寸錨を下ろすつもりがもう10年になるとおっしゃる仕事部屋の窓辺には、見慣れた作品のミニチュアがいくつもおかれ、晩秋の陽を浴びて風と戯れている姿が印象的であった。

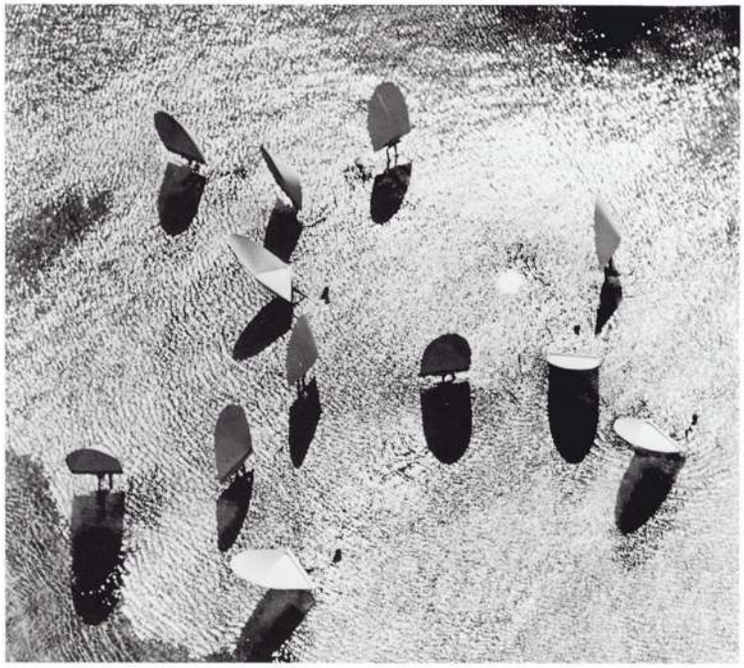


しんぐう　すすむ
1937年　大阪に生まれる
1960年　東京芸術大学絵画科卒業
ローマ国立美術学校絵画科で学んだ後、ヨーロッパ各地で個展を開き、帰国
以後、東京・大阪で個展
1971年　ハーバード大学視覚芸術センター客員芸術家として渡米、帰国後、能勢の現アトリエで創作活動
1979年　京都・田辺町の「雑創の森学園」の屋上造形で吉田五十八賞受賞
その他、受賞多数　国内外で活躍しておられる

自然との対話

「私たちは風を肌で感じることはあっても、風そのものを見ることは出来ない。さざ波や形を変える雲、揺れ動く草や木によって、その存在を知ることが出来る。」(processより)

新宮さんの作品は、風や水といった自然のエネルギーと一体になってまるで生きもののように動く。「出来上がった作品が思いもかけなかった動きをする度に新鮮な感動を覚える」と自分でいわれるように、自分の作った作品がどこまで自然に委ねることが出来るかということが、どこまで自然と共有感を持つことが出来、またそのことがどこまで創造性を自由に開放出来るかということの証しであるようだ。



白い風景　北海道立近代美術館

画家として油絵を描いておられた新宮さんが、たまたま木にキャンバスをぶら下げた時、風で動いたことに強い感動を受けられ、以後絵を離れて動く作品へとのめりこんでいかれたとのことで、この時がまさに新宮さんと自然とのはじめての出会いであったのだろう。私達が新宮さんの作品を見る時、その動きの気ままさ、複雑さについ見とれてしばらくとりつかれたように見入ってしまうことがある。「作品は自然の力を表現する手段であるけれど、作品が本当の意味で生命を持つのはそれを見る人の心においてであろう。即ち作品が我々の肉体に影響を与えている同じエネルギーによって動いているのを感じる時、それらが我々と同じ空間に同時に存在していることを強く意識し、強い親しみを作品に対して抱くに違いない」からである。淡々と語られる言葉の中に、自然に対する謙虚さと同時に自信に満ちた計算があるような気がする。

「いちご」「くも」という題の絵本がある。決して余技ではない。「いちごには、はてしない風景がある」と。鮮かな色彩と簡潔な言葉を通して、自然への思いは果てしなくふくらみ、読む者にひしひしと伝わってくる。「彫刻の仕事が少なくなったらいい絵本がもっともっとかけるのだが」と一寸残念そうにいわれた。

いいものを作らないと生き残れない

今や国内のみならず世界的に活躍されている新宮さんだが、「自分の仕事が理解される為には、時代の中で確実に生き残っていけるものを自信をもって作り続けていくしかない」と云い切られる。「今だかつてこれでいいと思ったことはない。やりたい事がありすぎるし、やれるうちにやっておきたい。アイデアは毎日出てくる。使うから出てくるのであって、蓄えておいても意味はない。そうして好い仕事にもめぐりあえるのである。」と最近作のモデルを前にして語られる様子には、名声に奢ることなくひたむきに先を見つめる姿があった。

新宮さんのあの大きな作品の製作は、材料や構造、力学や加工技術をもつ人々の分業と協力で出来あがっていくということだが、それは種々の現実的な制約から解放されることにより、自由奔放なイマジネーションを展開出来る可能性の幅を広げることになっているようだ。

今、出版と映画にも力を入れておられる。「どこかでこれまでの自分を小計したい」といわれるように、作品はなくなることがあってもイメージは消えることがないという意味で、溢れ出る感性を何かに留めおきたいということなのか。

本当にやりたいことはこれから始まりそうだ

再来年から作品をもって世界中をキャラバンして廻る予定とのこと。いわく、ウィンドサーカス。「風のある限り地球上どこへでも行くつもり。風景の中に作品をおいて、人と風土と風景と文化のミーティングの場を作る。色々な環境の中に作品をおくことにより、自分も作品もかわっていく。今や地球全体のこと、世界平和のことを考えているのです」と。壮大な夢である。恵まれた環境にとどまることなく、また美術館や画廊に逃げこむのではなく、どこまでも自然との触れ合いを求めてイメージは広がる。

黙っておられる時は少し気むずかしい顔、しかし一旦口が開かれると笑顔一杯で、とつとつと語られる眼の奥には、情熱とロマンが満ち満ちているように感じられた。

余談であるが、新宮さんは画家の小磯良平先生の遠縁にあたられ、またお弟子さんでもあった。その小磯先生が意外と機械等に興味をお持ちで、新宮さんも絵だけでなく、そのあたりの影響もずい分受けておられる等のエピソードも聞かせていただき、楽しいインタビューであった。

書　評

建築バカにならないで！

橋本敏子（生活環境文化研究所所長）

この本は、いわゆる書評の対象となる本ではない。建築家や都市計画家からいわせれば、まさに軽小短薄の代表の一つとして苦々しく思われる類に属するであろう。が、あえてここにとりあげてみたのは、最近の「街」への関心の高まりが何を意味しているかを示しているからである。

街、あるいは都市への関心は、文学作品の中の都市の分析や、都市人類学的な視点からみたもの、あるいは記号論から分析したものなど、都市と人間の関係が語られているものは数多い。その中で、最近もうひとつ加わったのが、マーケティング的な視点から都市をとらえようとする動きが目立つようになってきていることである。この本は、その新しい動きを、実用的な面から解読したものである。

全体の構想は、テキストとしての街の有効性を示す「街からトレンドを読む」、街に対する新しい視点を示した「街論」、街の今後の注目すべきポイントにふれた「これからの街はどこへゆく」、そして最後に「街をキーワードで読む」という具合になっている。

目次の大項目を示しただけではわかりにくいと思うが、全体を流れるのは、街がいかに今までのいわゆる「都市計画」的シナリオから程遠いかたちで開発されているか、その背景にはすさまじいまでの現代人の欲望があり、自分自身の「居場所さがし」が支えていることが読みとれる。

このことが最もよく示されているのが、街をとらえる新たな法則を提示した第2部の街論である。生活者の姿を通して、街がどのように実際に使われ、人間の居場所として存在しているかが、街の構造、記号論、経営論的にみた法則、時間による支配、といった点から語られている。例えば、街の構造論の中で、次のような話が登場する。「600メートル・ショップ」つまり街はずれの店が、何故注目をあびているかをとりあげている。

駅から15～20分の距離といえば、一般的には駅前周辺の盛り場ゾーンが途切れ、住宅地がはじまる、いわゆる街はずれにあたる（勿論、これは大都市圏での街はずれを想定しての話であるが）。このゾーンは、わざわざ目的がなければ、ついでに立寄るような場所ではなく、それだけに地価も相対的に安い。そのようなところに立地する店は、わざわざ尋ねてでも出かけたくなるような魅力と個性を持たないと成立しない。更に、せっかく見つけても、次には中に入りにくいしかけがされている場合が多いという。店内がみえない。入りにくい構造。看板も出さない。場合によっては、店が客を選んで入れる、といったこともあるらしい。このような、一見、今までの商売の逆をゆくような店が最近増えているという。

ここにみられるのは、従来の空間計画の論理で語られる都市とは異なった、現代という時代に生きる人間の欲望の対象を具体化する場としての〝街〟のありようである。大衆はいなくなった、分衆の時代だ、という。自分が選別し、あるいは選別されることに快感をおぼえる時代だともいわれている。

このような、時代に対する解釈に立てば、都市の、建築そのもののありようは、新たな相貌をおびてくる。誰のための何なのか。

この本を書いているのは、広告業者の大手、博報堂である。この事実に端的に示されているように、タウンウォッチングの視点の背景には、「消費」という大テーマが流れている。モノの消費から、文化的派絡の中の消費へという流れの中で、消費の舞台をどう作り出してゆくか、人々の行動はどのような方向に向かっているのか、関心はそこに向けられている。

この本の対象は、大部分が商業環境にかかわるものである。商業は変化が速いし、10年、20年というスケールで考えている他の建築や都市計画とはそもそもちがうのだ、という考え方もあろう。

しかし、今、誰が、10年、20年先が読めているだろうか。そのつもりの計画が、いかに現実の欲望によって崩されているかは、例をあげるまでもない。だからといって、そのような考え方が無力だというつもりではない。

問題は、建築家や都市計画家もまた現代に生き、生活している人間のひとりとして、時代の欲望をもっと素直にみる必要があるということだ。その上で、都市空間が、〝今〟を消費するための手段や装置に変わろうとしていることに対する、建築家、都市計画家としての解答がほしいと思うのである。

と、えらそうなことを書いてきたが、要は、たまにはこの手の異業種の語る柔らかな都市論を読み、建築バカにならないでいてほしいという、ささやかな老婆心で、あえて取りあげた次第である。

タウンウォッチング

時代の「空気」を街から読む

博報堂生活総合研究所著



PHP研究所刊　980円

新刊寸評

日本建築の再生

ポスト・アメリカンへ

石井和紘著

いつだったか忘れたが、テレビで、アメリカのポストモダニズムの建物、たとえば、フィリップ・ジョンソンのAT&Tビルやグレイブスのポートランド市役所などの建築の解説を女性アナウンサーと一緒になってやっていた若い建築家がいた。なかなか精力的な人だなァと思っていたが、後でその人が、ここに登場する石井和紘氏と知った。

その彼の考えは「ポスト・モダン」とは、モダンが大衆の生活機能に根ざしたのに対して、大衆の嗜好（テイスト）に基いているという。絵画でいえば、ポスト・インプレショニズム、つまり絵画におけるゴッホやゴーガンなどの後期印象派との類似で、モスト・モダンがとらえられるという。

アメリカが、ヨーロッパのモダンを「新しく自信に満ちてきたアメリカン・ナショナリズム」として吸収し、「新しきベビー級のアメリカ」となった。これに対抗するには、そのコピーやキッチュ（まがい物）でなく、今こそ、ポスト・アメリカンなのだというのが彼の主張である。

そのために、日本建築の伝統性や、近代性、数寄屋のコンセプトなどに学び、その例として、飛雲閣を模した直島町役場をつくった。外装は飛雲閣、内装は辰野金吾参照という。この辺で、ほんとうにアメリカに影響を与えることをしたい、それが「私のポスト・アメリカン」と結んでいる。

（M）　（中公新書　540円）

ポストモダンの時代と建築

磯崎新対談

今や誰もが、〝ポストモダン〟という言葉を共通のイメージで捉えられると感じている。しかし、建物を創る立場・方法・手段によって、さらに詳しい部分で様々のニュアンスを持ち得ることを、この対談集は語っている。そしてこの本は、様々な人間性・生きざまを通して語られる一つの時代の流れを、自分の中でもう一度組み直すことの出来る貴重な言葉の集まりだと言えよう。その言葉の裏の人間性を読むことで初めて理解出来るものが〝ポストモダン〟なのだろう。　（小林）

（鹿島出版会刊　2,300円）

私が読んだ本

少々偏りぎみを反省

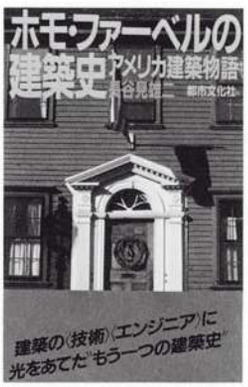
山形政昭（大阪芸術大学講師）

近代建築とりわけ明治大正の洋風建築をテリトリーとしていると、建築が生まれる時代背景、時の状況などの解読を、半ば歴史家もどきに試みることがある。もどきだから到底その筋の本家の精致な作業には及ばない類のものであるが、看板建築、和洋折衷式の特異な建築が出現する状況は、確かな時代背景に在るよりも、或る時代の断片的な表徴に見ることが多いようだ。

さてそういう意味で最近見たものに、兵庫県立近代美術館での「大阪神戸のモダニズム展」がある。そのサブタイトルに「都市と美術1920—1940」とあるように、当時勃興したモダニズム芸術・都市文化を多面的にビジュアライズしたものだったが、その図録が値打ちだったので、このコラムで触れることにした。頁を繰りながら会場を巡る気分を味わえるが、とりわけ美術運動と都市文化を対照した年表と、文献リストは有難いものだった。

雑誌特集ではブームのように近代美術のイズムを見直すものが組まれている。「現代思想」の臨時増刊は「総特集＝1920年代の光と影」で、多木浩二、小田基から淀川長治ら、柔硬とりまぜた内容はかなりの迫力だった。「芸術新潮」10月号はずばり「特集・百花繚乱のウィーン」で、ワーグナー、クリムト、ロースなど建築モダニストのレギュラー連はともかく、フロイス、マーラー、シェーンベルクらの絡みが物語られて、ウィーンへの興味を一層深めるものだった。ワーグナーの分かり易さに対して、とらえ難いガウディを扱った出版も目だつ。その中で一冊手にとってみたのが、中山公男、東野芳明ら12人のライターが各々のキャラクターでガウディを論じた「ガウディを読む」（現代企画室発行）で、10頁余りの節で多彩、多面的に切り込む内容が十分に鋭く、新鮮さを味わえた。

大阪についての話題のものでは、大阪の歴史研究会の江本義文ら共同執筆による「大阪近代史話」（東方出版）が最新刊行物。史実を小説的に気楽に読ませてくれる。たとえば〝伝統の寒天づくり〟では、高槻、茨木、能勢の山間地帯で明治期の農家副業としての伝統産業だったこと。〝淀川の変遷〟では、蒸気機関の外輪船すなわち〝川蒸気〟による定期航路が大阪—伏見間に明治３年より暫く運行されていたという。また商業では〝道修町の御三家〟や総合商社の母体となった〝関西五綿〟の隆盛についても、さわりが述べられている。これら話題は豊富だが、資料の紹介に欠けるのが残念。大阪史話では昨年末に出た「中世の大阪」（松籟社）が好著と聞いて読んでみた。頼朝が幕府を



開いた頃、摂津国に渡辺党なる郎党集団が興ったという。それは新興武家集団でありながら水運の要地を占めての商業活動や、四天王寺などの宗門社寺とも通じた複雑な性格をもっていた。その渡辺党の性格はそのまま中世の大阪の特殊な位置を示しているようであり、太閤の大阪城以前の大阪原風景を物語ってくれるものだった。

分野をかえて、アメリカ建築と、文化史関係で手軽なものはすぐに手を出すようにしている。これは日本の近代建築史のなかで、ガーディナー、ヴォーリズ、ライト、モーガン、レーモンドら米国人建築家の一連の仕事の背景を知るために少なからず役立つためと、それに幕末から明治期の日米交流の意外で勇ましい話が面白いためである。そのアウトラインについては数年前の中公文庫「世界の歴史・新大陸と太平洋」（中屋健一）や中公新書「カリフォルニア・ストーリー」（石川好）、それに木村毅の「明治アメリカ物語」（東書選書）などためになったものだが、そういう雰囲気を思い出しながら最近読んだのが長谷見雄二の「ホモ・ファーベルの建築史　アメリカ建築物語」（都市文化社）で、アメリカの世紀末から20世紀初頭にかけての建築史がユニークな視点で綴られている。アメリカ人をヨーロッパ人と対称的にフロンティア精神・チャレンジ精神に富んだ新しい人種、ホモ・ファーベルと規定して、世紀の転換点に新しい技術、コンセプトを積極的に建築に導入したところにアメリカ近代建築のユニークさがあるという。そういう状況の背景にはエジソンやベル、ライト兄弟らの発明発見物語とその技術の普及で急速に暮らしが変化してゆく都会風景があるという。機械化してゆく近代社会と、1883年ニューヨークに出現した大土木事業のモニュメント、ブルックリン橋の意味が対置されているのは興味がわいた。その技術の勝利と巨大さが、1900年代に超高層ビルの林立するニューヨーク的大都市のイメージの下地をなしたという。他にも新鮮な話題の多い異色の建築史誌だった。

おわりに、今もカバンに入れて持ち歩いているのが、角川文庫の「日本史探訪」で、対談形式の著述と写真の多い頁だてが読みやすい。11巻「キリシタンと鉄砲伝来」、18巻「海を渡った日本人」などおすすめできる。

こうして、このところの読みものを振り返ると、かなり偏りぎみの傾向で、自己反省を迫られるような心持ちである。やはり幅広く健全な読書とありたいものだ。

新刊寸評

広場と水辺の復権

これからの都市空間

木村尚三郎・上田篤監修
放送文化基金編

放送文化基金創立10周年記念行事として「都市空間のコミュニケーション」と題したフォーラムが、東京と大阪で、それぞれ「何が変わりつつあるか」、「何が求められているか」という副題で開催され、その討論内容をまとめたもの。監修二人のほかに、井上ひさし、堤清二、前田愛、吉田光邦、猪瀬博、石井威望、唐津一、三浦朱門、米山俊直、海野弘、計12人が、巨大都市のこれからのあり方を問い、活発な論議がなされている。

（堀畑）　（日本放送出版協会刊　1,500円）

おおさかの民家

杉本尚次著
田主　誠画

現在、国指定重要文化財民家は、全国で301件を超えている。その内、大阪府下では18件が指定されており、全国で第２位と多い。本書はそれら18件の他に、各市町村指定のものを含め50件が紹介されている。その内容は、「民家をめぐる様々な生活やその地域的特色をえがくようにした」（本文より）ものである。そして何よりも本書の魅力は、説明文と対で描かれている版画によって倍増されており、写真やスケッチと異なる民家の美しさが見事に表現できていることである。（永原）

（駸々堂出版刊　1,300円）

インダストリアル・デザインの歴史

ジョン・ヘスケット著
榮久庵祥二・ＧＫ研究所訳

伝統主義から機能主義へ、そして反モダニズム、反モダン・デザインへと移行しつつあるインダストリアル・デザインの歴史、及びその背景となった社会及び経済の状況、また専門職化される以前のインダストリアル・デザインにおけるライトやグロピウス、コルビュジェといった建築家達のこの分野での活躍など、建築に携わるものにとって非常に興味深く、建築デザインと無縁でないことを改めて認識させられる本書である。（永原）

（晶文社刊　3,200円）

骨材露出仕上げ用　プレコ・リターダー

フォセコ・ジャパン・リミテッド
神戸市中央区北長狭通4－4－18　Tel（078）391－6701～6

1．はじめに

近年、コンクリート建造物においては、現場打ちコンクリートに比べ、施工性やデザイン上の制約の少ないプレキャストコンクリートが重用されるようになってきた。プレキャストコンクリートの表面化粧の方法は、タイル張り、吹き付け仕上げ、砂り仕上げ等と多岐にわたっている。

ここに紹介する骨材露出仕上げ用プレコ・リターダーは、従来豊かな経験と高度な技術を必要とした骨材露出仕上げが、型枠への薬剤塗布だけで簡単に安定した品質の仕上げ面を作り、またメンテナンスの節約と優れた意匠性等多くの長所を持った興味ある材料といえる。

2．プレコリターダーの特徴

①エッチング（洗い出し）深度が均一でムラがない。
②エッチング深度を 0.3㎜～13㎜の範囲で自由にコントロールできる（写真－1参照）。
③溶剤タイプは速乾性で、かつコンクリートに流されない。
④型枠に溶剤タイプの塗布、開放部分に水溶性タイプの散布を行えば、一つのパネルの表裏両面が一度に骨材露出仕上げできる。
⑤骨材サイズが 2.0㎜以上の幅広い範囲で使用できる（写真－2参照）。
⑥骨材の形状が円形（例えば川砂利）から多角形（例えば砕石）のものまで幅広く使用できる（写真－1．2．3．参照）。
⑦変化に富んだデザインが可能（写真－4参照）。

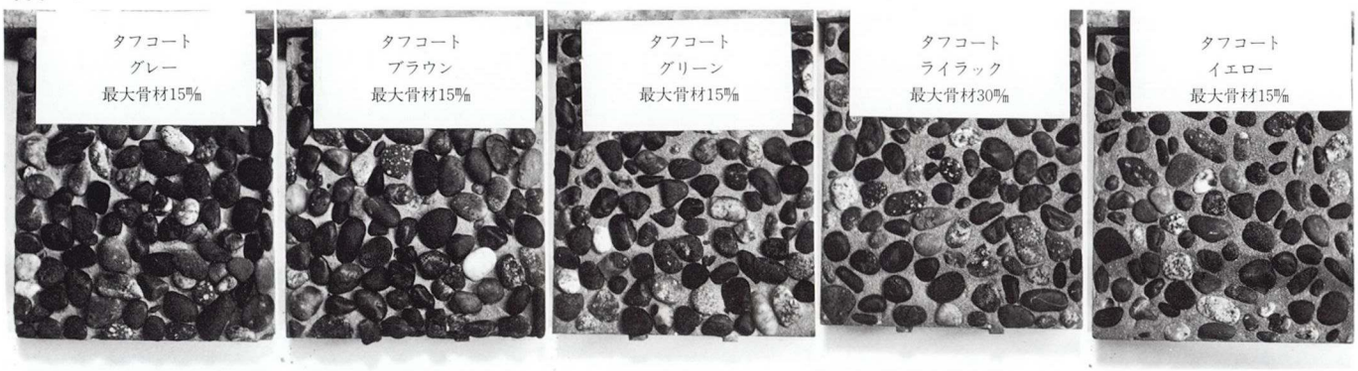
3．プレコ・リターダーの主な種類

a．型枠塗布用

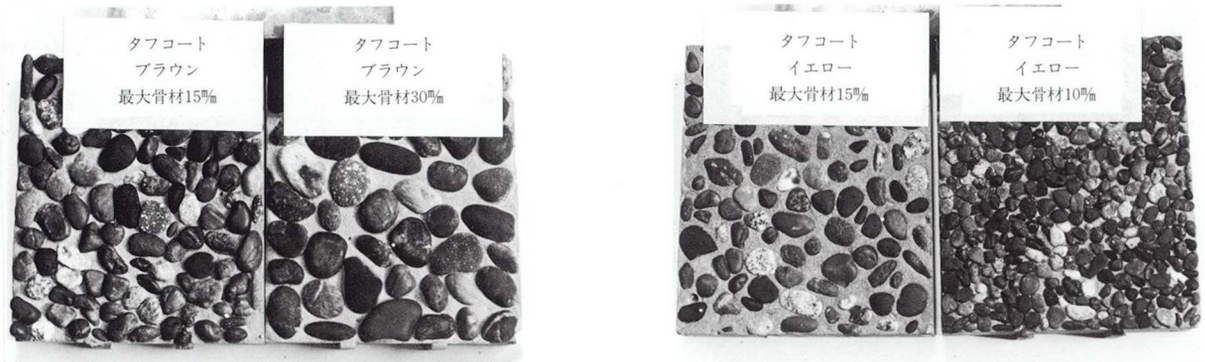
◦タフコート
溶剤タイプで現場打ちコンクリートにも使用できる常温養生用として開発された汎用リターダーで、浅いエッチングから深いエッチングまで6種類がある。

◦ヒートコート
溶剤タイプで蒸気養生用に開発された製品、凝結遅延効果がタフコートよりも長く、現場打ちコンクリートで型枠の除去まで3日以上

写真－1



写真－2



を要する場合にも使用できる。エッチング深度・5種類。

◦ハイ・ブイ

溶剤タイプで複雑な形状、または長尺の垂直打設、過度の振動締め固め等の用途向けに使用され、エッチング深度に5種類がある。

◦ミニ・エッチ

溶剤タイプで極く浅いサンドブラスト調の仕上げ面を作る。エッチング深度、1種類。

型枠塗布用＝溶剤タイプの色別エッチング深度

色　調	エッチング深度(mm)	骨材サイズ(mm)
ブ　ル　ー	0.3～ 0.6	サンドブラスト調
イ エ ロ ー	0.6～ 0.8	2.5～ 6.5
ライラック	0.8～ 1.0	9.0～13.0
グ リ ー ン	6.0	13.0～16.0
ブ ラ ウ ン	10.0	16.0～20.0
グ　レ　ー	13.0以上	20.0以上

b．散布用

◦ＥＡＣ－Ｓ

水溶性で水平面の骨材露出用とし、コンクリートの打ち継ぎ面の目荒し、複雑な配筋ケ所のレイタンス除去にも使用される。エッチング深度・2種類。

◦エクスポザール

水溶性、チキソトロピィ性で垂直面、傾斜面に使用し、エッチング深度に4種類がある。

散布用＝水溶性タイプの色別エッチング深度

色　調	エッチング深度(mm)	骨材サイズ(mm)
エキスポザール ライラック	0.8～ 1.0	9.0～13.0
ピ　ン　ク	2.0～ 4.0	13.0
グ リ ー ン	6.0	13.0～16.0
ブ ラ ウ ン	10.0	16.0～20.0
ＥＡＣ－Ｓ レギュラー	2.0～ 4.0	13.0以下
ディープ	8.0～10.0	13.0以上

4．プレコ・リターダーの使用方法

a．溶剤タイプ

①型枠にスプレーまたはブラシを用いてモールド・リリース（剥離剤）を塗布し、10分間の乾燥を行う。

②型枠に希望のエッチング深度（色調別）のプレコ・リターダーを、スプレーまたはブラシで塗布し、10分間の乾燥を行う。

③コンクリートを打設し、所定の養生を行う。

④ブラシがけ水洗い、または高水圧洗浄機による洗い出しを行う。

〔実施例を写真－5および6に示す〕

b．散布タイプ

①コンクリート打設後、表面水が引いた段階で、プレコ・リターダーを散布する。

②ブラシがけ水洗い、または高水圧洗浄機による洗い出しを行う。

〔実施例を写真－7および8に示す〕

5．プレコ・リターダーの用途例

◦プレキャストコンクリート板、現場打ちコンクリートの骨材露出仕上げ。

◦打ち放しコンクリート表面の梨肌仕上げ。

◦コンクリート表面の部分的な（模様または標指板）骨材洗い出し仕上げ。

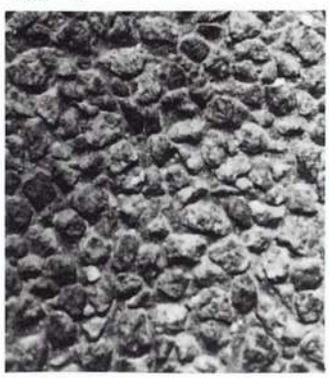
◦木目仕上げ、立体模様仕上げの補助的使用。

◦タイル、貼り石、レンガ等の貼り付け時の下地処理として。

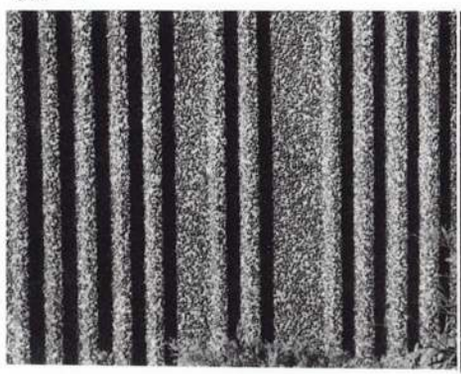
◦コンクリート打ち継ぎ面の表面処理。

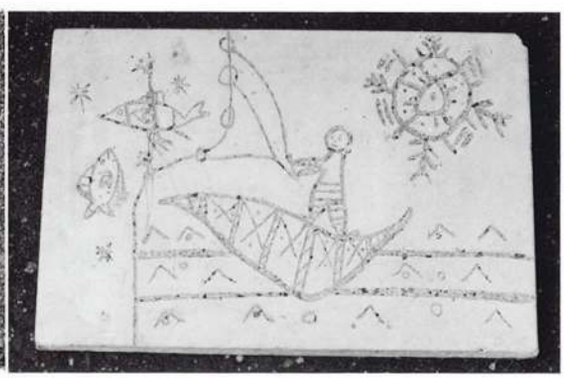
建材委員／長橋英彦（日本建築総合試験所）

写真－3



写真－4





写真－5



写真－6



写真－7



写真－8



生コンＪＩＳ改正に伴う粘土塊量の試験方法の改正について

星野善孝

1．はじめに

昭和28年に制定されたレデーミクストコンクリートの日本工業規格（ＪＩＳ　Ａ　5308）は昭和43年および昭和53年の大改正を経て今回（昭和60年３月１日告示）で３度目の改正をうけることになる。今回の改正は主に使用材料に関するものであり、本稿は改正点のうち骨材中に含まれる粘土塊量の試験方法について述べる。同規格附属書１の中で骨材中に含まれる粘土塊量の試験方法に注記として“洗い試験をした後の試料を用いて試験をするものとする”と付け加えられることになったが、これは以前から問題点として指摘されていた事項で、従来の試験方法では本来の粘土塊量のほかに骨材に付着した石粉・泥分等の微粉末が同時に測定されるためこの対策として補則されたものである。本稿では改正前後の試験方法の違い、両方法で実施した場合に生じる粘土塊量の差異および昭和60年８月１日以降当試験所で実施した改正後の粘土塊量試験方法による受託試験結果の一部などを順次紹介する。

2．改正の概要

2.1 改正前の試験方法の問題点

従来の試験方法によれば細骨材の場合ふるい目1.2㎜（粗骨材の場合5.0㎜）に残留する試料を水に24時間浸漬し、粘土塊を指でつぶした後ふるい目0.6㎜（粗骨材の場合2.5㎜）でふるい、それを通過するものすべてを粘土塊量として表わすことになっている。しかしながら、こうして得られた粘土塊量には最初試料をふるい目1.2㎜（粗骨材の場合 5.0㎜）でふるっても、なおかつ骨材表面に付着したままの微粉末などが含まれ、結果として粘土塊量を多く見積もることになる。

2.2 改正後の試験方法

前項で述べたような微粉末を取り除く作業として下記に示す方法で前処理を行ない、これについて従来の方法による粘土塊量試験を行なう。（操作方法……前処理）

採取した試料を覆うまで水を加える。次いで、水中で試料を激しくかき回し、微粉末を骨材から分離させた後、細骨材では綱ふるい1.2㎜、粗骨材では網ふるい５㎜上にあける。更に水を注ぐか、又はふるいの下端を水に浸して振とうするなどの操作を行ない、ふるいを通過する微粉末を除去する。

3．粘土塊量の実験例

3.1 改正前後の試験方法による値の比較

細骨材について

試料は昭和57年に京阪神地区の生コン工場から採取したもので山砂19試料、海砂24試料合計43試料である。試験はそれぞれの試料について改正前後の試験方法によって実施した。その結果を**図－１**に示す。この結果から、山砂、海砂ともに微粉末量の占める割合が非常に多いことがわかる。改正前の試験方法から得られた値は１％を超えるものが見られるのに対し、改正後の試験方法から得られた値は山砂で0.1％以下、海砂で0.2％以下となっており、ＪＡＳＳ　５の規定値（1.0％以下）のそれぞれ１/10以下、１/５以下と低い値になっている。

粗骨材について

試料は昭和56年に産地（近畿圏内）別に任意に選んだ生コン工場から採取したもので、いずれも砕石であり、数量は12試料である。試験はそれぞれの試料について改正前後の試験方法によって実施した。その結果を**図－２**に示す。これによると改正前の試験方法による結果はすべてＪＡＳＳ　５の規定値（0.25％以下）を超えているのに対し、改正後の試験方法による結果は最大値で0.27％、その他は規定値を下廻わり、これも細骨材の場合と同様骨材に付着する微粉末の量の多いことがわかる。

3.2 改正後における受託試験結果

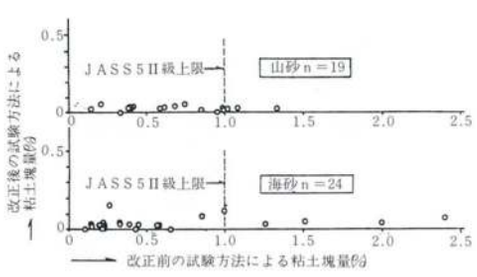
当試験所では、昭和60年８月１日より改正後の方法で試験を実施しており、その結果（11月末日現在）をまとめて**図－３**および**図－４**に示す。これによると細骨材については山砂の一部に多少の粘土塊がみられるものの、それでもすべて規格値の 1.0％を下廻っている。なお、海砂の95％の試料は 0.2％以下の値で殆んど粘土塊が認められない。また、粗骨材（砕石）については試料中約99％までが規定値の0.25％を下廻った値となっている。このように受託試験の結果においても細骨材、粗骨材ともに著しく小さな値を示し、おおむね、前項の結果と同じ傾向にあることがわかる。

4．おわりに

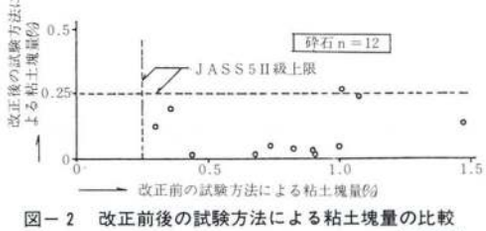
今回、粘土塊量の試験方法に注記として試験前の試料に水洗い操作が設けられたことにより得られる結果が大幅に小さくなることが明らかになった。したがって、今後粘土塊量としてはＪＡＳＳ　５の規定値を超えるものは少なくなると予想される。

特に京阪神地区で産する細骨材は、山砂については粘土塊量試験よりむしろ微粉末量を把握する洗い試験、海砂については塩分試験の重要性が増すものと考えられる。また、粗骨材については大半の骨材が洗い操作によって規定値を大幅に下廻わることが予測されるが、稀に長時間水に浸されることにより、もろくなる岩質のものもあり、このような石の混ざった骨材に対しては注意が必要であろう。

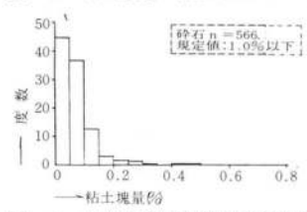
〔参考文献〕西、星野、尾谷：骨材中に含まれる粘土塊量について日本建築学会近畿支部研究報告集、昭和58年６月。



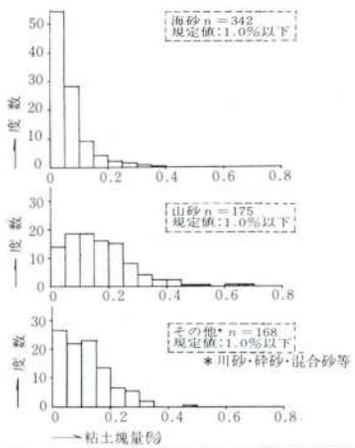
図－１　改正前後の試験方法による粘土塊量の比較（細骨材）



図－２　改正前後の試験方法による粘土塊量の比較（粗骨材）



図－４　改正後の粘土塊量試験結果（粗骨材）



図－３　改正後の粘土塊量試験結果（細骨材）

本試験所●所　在　地……〒565 吹田市藤白台５－８－１（阪急北千里駅より北西約１km、国立循環器病センター西隣）
●電　　話……(06) 872－0391(代)
●営業時間……平日：午前９時～午後５時、土曜日：午前９時～正午



「カベを飾る」という気分。
TOTOインテリアタイル。



Valentino Garavani

ヴァレンティノ・ガラヴァーニ

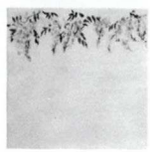
1932年、北イタリアのボゲーラ生まれ。パリ洋裁学院でデザインを学んだ後、ジャン・デッセのアトリエ主任を経て、ギ・ラロシュのアシスタントとなる。1959年、ローマに戻り、ヴァレンティノ・デザイン・ハウスを設立。1967年には白のコレクションを発表し、ニーマーカスの"オスカ賞"を受賞。以後、婦人物・紳士物のlineを網羅しつつ、アクセサリー、インテリアも手掛けている。



HARUO

ハルオ・宮内

1943年生まれ。ニューヨーク・プラット・インスティチュート・グラフィックセンター卒業。ニューヨーク・アートディレクターズクラブ会員。AIGA会員。1971年、プッシュピンスタジオ入社。日本人として初めて「TIME」「NEW YORK」などの表紙を手掛けた。現在、ニューヨーク、東京を中心にリビングアーティストとして活躍中。



David Hamilton

デビッド・ハミルトン

1933年4月15日、ロンドン生まれ。家具作り、建築、装飾の基礎を学んだ後、印刷、レイアウトに興味を持ち、フランスで"Elle"誌や"ル・プランタン"誌のアート・ディレクションを担当。ロンドンに帰ってからは、ヨーロッパのグラフィック界で最高の権威を持つ"クイーン"誌に入社した。1960年、写真に専念することを決心。その後の活躍は世界中の人が知るところである。

TOTOの新インテリアタイルは、「芸術空間」のコンセプトから生まれました。ただ単に空間をカラーコーディネートする次元を越えて、空間を彩るアート装飾へ。つまり「カベを飾る」気分。世界の著名アーティストによる内装タイルです。

新発売のTOTO外装タイルもご注目ください。

良いものだけを作りたい

TOTO

インテリアタイル

東陶機器株式会社　東京支社/〒105 東京都港区虎ノ門1-1-28　大阪支社/大阪市北区曽根崎2-3-7梅新第一生命ビル東館

■TOTOショールームへお出かけ下さい。●札幌(011)231-2271●仙台(0222)64-1010●新潟(0252)41-2255●富山(0764)24-4081●金沢(0762)31-1010●福井(0776)25-0588●東京(03)595-9680●TOTO銀座パビリオン(03)573-1010●横浜(045)312-1010●静岡(0542)54-2405●浜松(0534)56-7371●名古屋(052)232-1067●大阪(06)364-1181●神戸(078)391-8411●広島(082)246-8411●高松(0878)21-8001●北九州(093)951-2710●福岡(092)713-1010

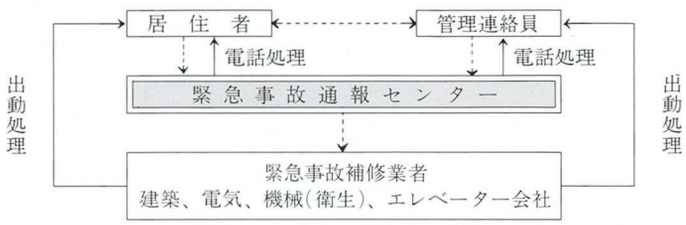
100万戸の大家さん（その2）

—トラブル・事故と住まい方の手引き—

永田幸夫／坂下貞次

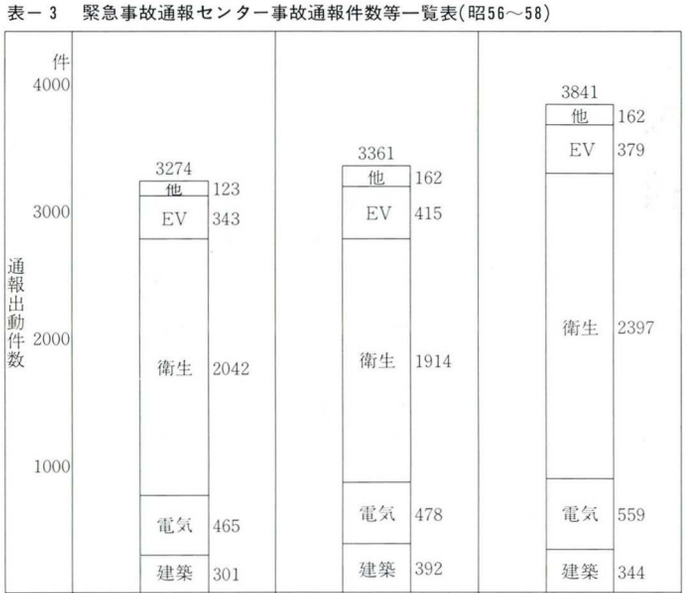
(ロ) 「公団住宅緊急事故通報センター」への通報実態

断水や水漏れ事故等で緊急を要する事故が、夜間や休日に発生した場合に備えて、いわば〝住まいの110番〟として昭和51年10月15日から設置されたもので、そのシステムは**図－5**のとおりです。



図－5

表－3　緊急事故通報センター事故通報件数等一覧表(昭56～58)



年度	昭56	昭57	昭58
補修内容ベスト5（件数）	1.衛生器具類水もれ (359) 2.EV・扉開閉不良 (163) 3.不注意による水もれ(149) 4.玄関扉の鍵取替ほか(149) 5.汚水管溢れ (141)	1.同左 (431) 2.雑排水管水もれ (338) 3.水道メーター水もれ(254) 4.汚水溢れ (245) 5.EV扉開閉不良 (181)	1.不注意による水もれ(462) 2.メーターパッキン不良 (396) 3.雑排水管つまり (359) 4.汚水溢れ (237) 5.雑排水溢れ (188)

凡例　　凡例　EV……エレベーター

通報センターでの過去3年間(昭56～58)の出動件数をまとめますと、**表－3**のとおりです。これを見ると、年間約3500件補修等のため緊急出動しており、このほかに通報が入ったが、電話応答で処理したものが、昭和58年度の実績で約3500件あり、合わせると年間約7000件の通報が入ったことになり、毎日約20件の通報を処理している計算になります。これは、夜間、休日のみの件数ですので、昼間も含めた全体のトラブル発生件数は相当な数になります。

また、通報内容を件数の多い順にベスト5をみると、エレベーターの故障や鍵の紛失・取り替えを除けば、他はすべて不注意のこぼし水や排水管等の設備関係の水もれが占めています。集合住宅が、いかにこの水の問題に悩まされているかがよく分かります。昭和58年度では、通報件数のうち約40%強が水もれ関係であり、給湯設備等の設備水準の向上と並行して、増えていることが表れています。

とくに〝不注意のこぼし水〟は、原因者がふきとったり自然に乾燥したりして、後から調査しても、その痕跡を認めがたく、また原因者も〝こぼし水〟だとすぐには認めない場合があります。やむを得ず本人の了解を得て床をめくり、コンクリートスラブが濡れていたり、水が溜まっていて、やっと白状する、なんてことがよくあります。

集合住宅はちょっとした不注意で、相隣関係が悪くなり、お互い気まずく生活しなければならないということがよくありますので、このような不注意事故は、大いに気をつけたいものです。

(ハ) 「保安業務日誌」からみたトラブル等の実態

大阪市内の大規模高層団地等には、エレベーターの集中管理等のため、保安要員が常駐しています。そのため夜間になって管理主任が不在になると、団地内の各種トラブルが保安室に持ち込まれるケースが多くなります。

表－4は、大阪市内の約2200戸の高層住棟からなる大規模団地の保安日誌の1年間のトラブル件数を整理したものです。その内容は、発生件数としては、業種別に見るとエレベーター、衛生、電気、建築の順に多いことが分かりますが、その他にある「苦情」65件、「動物飼育の苦情」12件が目立っています。これらは、先に述べた昔の〝大家さん〟的管理の一端をかい間見る気がします。

表－4　A団地トラブル発生件数(「保安業務日誌」より)　昭59 1/1～12/31

業種	内容	件数
建築	1 窓ガラス破損	4
	2 ベランダ水もれ	4
	3 鍵紛失	4
	4 その他	2
		計 14
電気	1 火災等警報器	25
	2 電灯関係	5
	3 TV共聴不良	4
	4 その他	1
		計 39
衛生	1 水もれ（不注意）	26
	2 風呂空ダキ	22
	3 水もれ（不可抗力）	14
	4 その他	29
		計 81
EV	1 警報器	130
	2 停止	64
	3 缶詰め	9
	4 その他	31
		計234
その他	1 苦情	65
	2 ボヤ	14
	3 動物飼育の苦情	12
	4 痴漢	7
	5 その他	34
		計132
計		500

住宅・都市整備公団協力業者（PR）

造園土木・設計・施工・管理
近鉄造園株式会社
取締役社長　中沢種次
本社　〒542 大阪市南区谷町9丁目5番15号
電話　06－762－6425

土木・とび土工・造園工事業
尊農社緑地株式会社
代表取締役　梅原功
本社　〒536 大阪市城東区野江1丁目11番1－201号
電話　06－932－1001

3．住まい方の手引き

以上、団地で発生する各種のトラブルの内容を分析しましたが、これらを防止する方策としてつぎの4点が考えられます。

① 正しい住まい方、使用方法についての居住者へのPR
② 住宅が本来の機能を発揮するための保守・点検
③ 住宅が本来の機能を発揮するための緊急的、計画的修繕
④ 住宅の社会水準の質的向上に伴う、性能upのための改良整備

ここでは、上記①の居住者へのPRである「住まい方の手引き」についてご紹介します。

「公団緊急事故通報センター」への昭和58年度の通報内容をもう一度、業種別に、発生件数の多い順に整理し(**表－5** 参照)、その中から、集合住宅特有のいくつかのトラブルについて、公団関係の機関が作成している「住まい方の手引き」の内容を紹介します。

(イ)「住まいのしおり」(A4判　48頁)

公団関西支社が編集し、公団賃貸住宅の居住者全員に対して、入居時に配布しています。その主旨は、冒頭のはしがきに書かれています（**手引き－1** 参照)。その内容は、

第1編　団地生活に必要な諸手続とルール
第2編　公団住宅の手引き
第3編　共同施設の手引き
第4編　団地生活の手引き
第5編　団地の管理と業務の処理体制

で構成されており、集合住宅の各部位、設備等の解説、使い方、トラブル防止のための心得、またトラブル発生時の処置等について記載されています。

その中で、団地生活において居住者が常に悩まされる「音、漏水、汚水・排水のつまり」については、**<手引き－2>**のような表現になっています。

（次回へつづく）

表－5　昭和58年度公団住宅緊急事故通報センター出動件数

区分＼業種		建　築	電　気	衛　生	エレベーター	その他
主な通報（ベスト5）	1	鍵の取り替え　(98)	報知器の誤報　(162)	不注意による水もれ (462)	扉開閉不良　(117)	団地内の苦情等 (イ)騒音・雑音に関するもの (ロ)犬・猫飼育に関するもの (ハ)不法駐車に関するもの (ニ)落書き・小便等の住民のモラルに関するもの
	2	屋上からの雨漏れ(76)	ヒューズ切れ　(126)	メーター、パッキン不良 (396)	押ボタン不良　(89)	
	3	浴室の漏水　(41)	テレビ共聴不良 (92)	屋内雑排水詰まり　(359)	缶詰め事故　(56)	
	4	外壁からの漏水　(28)	ブレーカー落ち (31)	汚水溢れ　(237)	照明不良　(37)	
	5	釜・浴槽不良　(25)	外灯不点　(29)	雑排水溢れ　(188)	機械設備不良　(26)	

注　(　)内は件数。58年度総出動件数3841件

<手引き－1>

はしがき

公団住宅は、集合住宅であることから、ここにお住まいになるためには、一般住宅と違った〝暮らしのルール〟が必要となります。

団地生活をするうえで是非これだけは知っておいていただきたいという事柄を簡単に解説する目的でこの「住まいのしおり」を作成しました。

目につきやすいところに置いて、活用していただくとともにめいめいがお互いの生活を尊重しながら、ルールを守って、快適な団地生活を送っていただくようお願いいたします。

<手引き－2>

【4】集合住宅としての団地生活上の注意

団地は、コンクリートの壁に仕切られた集合住宅で大勢の方が生活を営むところです。1戸建の住宅と違って、集合住宅では、皆さんのちょっとした不注意が意外なトラブルのもとになりかねません。

トラブルの起きたときは、当事者間で解決していただくことになりますが、お互いに不快な思いをしないためにも、次のようなことに十分注意してください。

1．音

コンクリートは、音に対して意外に敏感です。公団住宅は集合住宅の性格上ドアーの開閉音やトイレ浴室の流水音等はある程度聞えることは避けられませんが、音に対するトラブルを予防するためにお互いに気をつけましょう。

⊙小さなお子様のいらっしゃるお宅では、部屋にカーペットを敷くなどして、階下の住宅に音の響かぬよう注意しましょう。
⊙ステレオ、テレビ、楽器等は、近所の迷惑にならないよう音量にご注意ください。
⊙深夜、早朝のドアー、窓などの開閉音にはとくにご注意ください。

2．漏　水

公団住宅では、浴室、屋上屋根のみが防水層を施工してあります。したがって、防水をしていない台所、便所等で水をこぼされた場合、下の階へ漏水しタタミ、カーペット、家具等に被害を及ぼします。

⊙このような場合の損害賠償等については、当事者間で話し合って、いただかねばなりません。
⊙今までの例で多いのは、①玄関、便所の床を水洗いした場合。②浴室前で、洗濯機を利用され、排水ホースを浴室の敷居上へ乗せ浴室へ排水中にホースがはずれ、床に水がこぼれた場合。③バルコニーを水洗いしたり、植木鉢に水をやったりして下のバルコニーに水漏れして、干し物等をよごした場合などがあります。

したがって、次の点について十分ご注意ください。

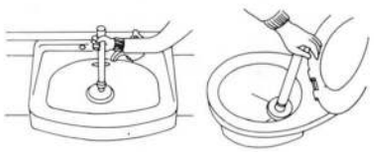
□玄関のそうじは打ち水を軽くする程度、便所は、雑布でふく程度にしてください。
□洗濯機は、排水ホースを長くして浴室に確実に排水出来るようにしてください。
新しい団地では浴室前などに洗濯機を置くための防水パン（強化ポリエステル製）を設置していますから、この上に洗濯機を置いて使用してください。防水パンはあまり強い衝撃を受けますと損傷しますので、ご注意ください。なお洗濯機のホースは防水パンの排水孔にしっかり固定してください。

3．汚水、排水のつまり

⊙公団住宅のトイレ、浴室、台所などの汚水管、排水管は、集合住宅の構造上、上下の住宅全部が共同で使用しております。どこかのお宅で、トイレに綿、生理用品、オシメ等を不用意に流したり、台所の流しのトラップ等をはずして排水して野菜くず等を捨てたりしますと、汚水管や排水管がつまり、汚水と汚物があふれ出て、大変なことになりますから十分ご注意ください。

●トイレ洗面器のつまり

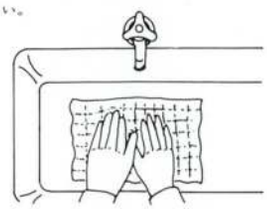
たいていのつまりは、ぱんてんを使えば直ります。コツは排水の穴を全部ふさぐ形にカップを押しつけ勢いよく上に引き上げることです。1回で駄目なら数回くり返してください。



●流し排水のつまり

流し排水のつまりも浴室排水と同様ですが、長期間の使用で個人の流しの横走り管だけでなく、外部の桝へ出るまでの共用横走り管までつまっている場合が多いので、このような場合は共用管を掃除しなければなりません。

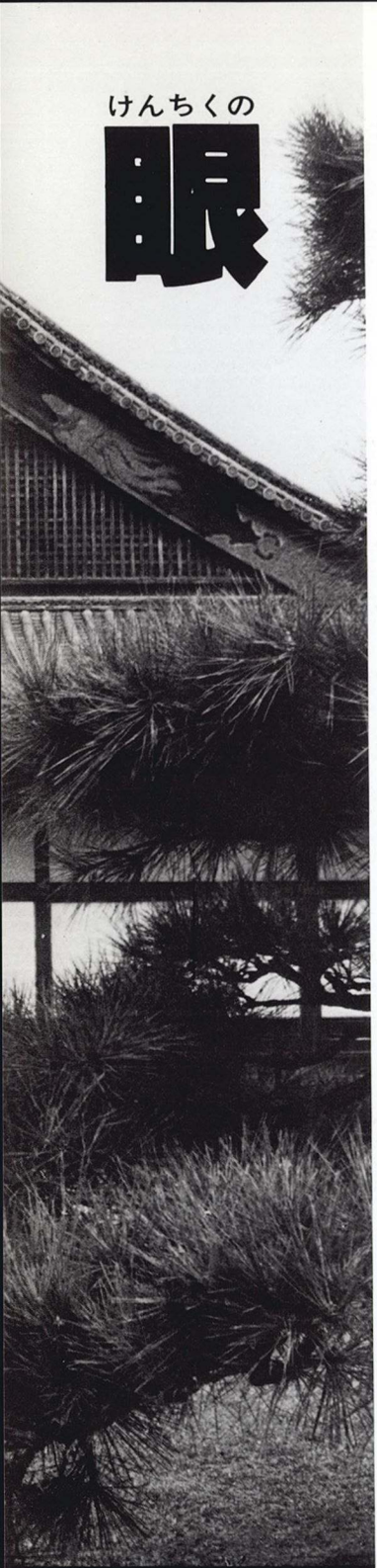
尚、多少のつまりでしたらぱんてんを使えば直りますが、ぱんてんがないときは下のように雑巾を使って排水口をふさぎ、ぱんてんを使う要領で直してください。



⊙台所で洗髪される方があるようですが、管がつまりますので絶対にやめてください。
⊙台所の排水口には時々熱湯を流し込んでください。

総合建設業
東亜建設工業株式会社
大阪支店
常務取締役支店長　中　西　栄　一
〒550 大阪市西区靱本町1－5－15（第二富士ビル）
電話　06－443－3061(代)

富士車輛株式会社
立体駐車場事業部
取締役社長　浅　野　正　敏
営業本部　〒542 大阪市南区三津寺町29番地(日動大阪ビル3階)
電話　06－212－1912(代)



けんちくの眼

個からの視点

最近の医学研究によれば、胎児は母親の体内にいる時から、母体の心臓の鼓動音はもとより、人の話し声を聞いたり明暗を感じたりして育つという。私たちを取り巻く環境認識の出発点として、個人の身体的な空間感覚の発達が重要だが、その原点となる胎内という環境が意外にも光や音に満ちた世界であったとはうれしい驚きだ。この身体的空間感覚が、やがて外界での生活の中で開花し、空間の知覚や隣り合う人との間合いから、より複雑な社会的空間での行動様式にまで発達していくのだ。

私たち環境の設計や計画に携わる人間は、立場上いつも全体像に対する眼くばりを要求され、また大きな骨組みや全体のバランスを意識せざるを得ない。しかしそれだけに、いつも個体が持つ空間感覚にも鋭敏でなければならないし、個から全体を見渡す視点と方向性を忘れてはならない。

――実は、卒業以来28年ぶりに母校の大学で環境設計を学ぶ若ものたちに接することになった。これは、その私の初めての講義の第一声。かつての若き日々、自身が通ったその教室で、言葉が心の内側の自分に確かめ、いい聞かせるかのように響いた。（T・A）

都市の美観を考える――その1

昭和も61年の年頭となった、1945年敗戦時から日本中の街が復興を初めて41年たった。大阪も、御堂筋沿いに目立つものは阪急ターミナルビルと、堂島、日生、ガスのビルくらいで、南のはてに高島屋ビルが見えるだけの寒々としたものだったことを思いだす。永い間かかった衣食の充実の後、やっと住宅が、1973年において、日本中で数の上では世帯数（2532万世帯）を上廻ったことは、同慶の至りであるが、ここに来て、都市環境の悪化が問題となり、各種公害の対策とともに、今、街の美観や、景観を考える時代に、やっとたどりついたといえよう。都市の美観では、個々の部分はすでに多数の先覚者によって優れた街並みとなっているところもないではない。しかし都市の景観形成や、住環境の整備には、金と土地を要すること、経済原理が機能しにくいこと、個人での対応に限界があることなど、社会の自然の流れにまかせておいても現実は、困難であるとの見方が大半をしめているようだ。そこで、日本一美的でないといわれている大阪の街を、どうすれば少しでも美しくできるかを、種々の目で見つめながら、よい提案や方法を引出し実現につなげればと考えている。（K・Y）

「売れ残り」の教訓

この頃売れ残りが目立つ。それも郊外のマンション、タウンハウスに多いようだ。設計も良いし、価格も手頃なようなのに売れない。一方では、何の変哲もない建売り住宅がどんどん売れている。この現象には、これからの住宅を考える上で、重要ないくつかのヒントが隠されていると思う。

一つは建築を創る者の理念と、住む者の意識のずれがあるということだろう。以前に住宅の好みに関する意識調査をしたことがあるが、その違いに驚かされたものだ。プロとアマの考えに違いがあるのは当り前かも知れないが、そのことに私たちが気がついていないとすれば問題なのだ。設計以前の企画の弱さが問われている。もう一つは、建売り住宅を５戸、10戸という単位で着実に売っている人たちは、建てながら頭の中に買い手の顔が浮んでいるという強さがある。この住宅供給プロセスの違いが決定的なのだと思う。大量供給の中でも、参加する住宅づくりの工夫が求められるところだ。さらに重要なのは、多くの人たちが住み方と環境のあり方に、明確な答えを見出しつつあることだろう。土や緑と接することを切に願い、その接し方に都会流と郊外流があることをすでに会得し始めているのだ。計画する側も、その点あいまいではすまなくなっている。（S・T）

建設業のイメージが悪くなる

近くに４ケ月ほど前から某有名メーカーがプレファブ住宅を施工中である。テレビのＣＭもなかなか立派、工事の進むにつれて仕上りもスッキリしてきた。しかし工事の過程で管理技術者の不親切さと気配りの無さで、このメーカーの評判を一挙にダウンさせた。工事に先立って、工事責任者が品物をもって丁重に挨拶に廻った。その後、土工事、基礎工事、鉄骨工事などの途中で、始めの約束に反して静かな住宅街の中で、あたり構わず騒音はたてるやら、私有舗装道路に重量制限を超えた重機類、重量トラックを乗り入れてデコボコ。挙句は水道管のパンクが二度、三度。漸く仕上工事に入って、近所の苦情もあってか責任者が丁重に出張ってくるが、もはや後の祭である。工事は某メーカーから一式下請、さらにまた、下請そして専業業者となっているのであろう。こうなればコストダウンに血眼になって、工事公害や迷惑はまるでかけ逃げである。

いま建設業界は各企業はもとより、業界全体が一丸となって建設労働者の資質・能力および労働安全の向上、ひいては社会的評価の確立に懸命になっている時、一企業の心ない営理不十分な些細な住宅工事からイメージが崩れてゆく。技術やデザインの良さも大切であるが、施工にあたる者にとって業界のイメージ・アップということは基本的な心構えの一つではなかろうか。（S・I）

東　孝光
大阪大学工学部教授

山田耕蔵
大阪府建築部建築指導課長

高田　昇
COM計画研究所代表

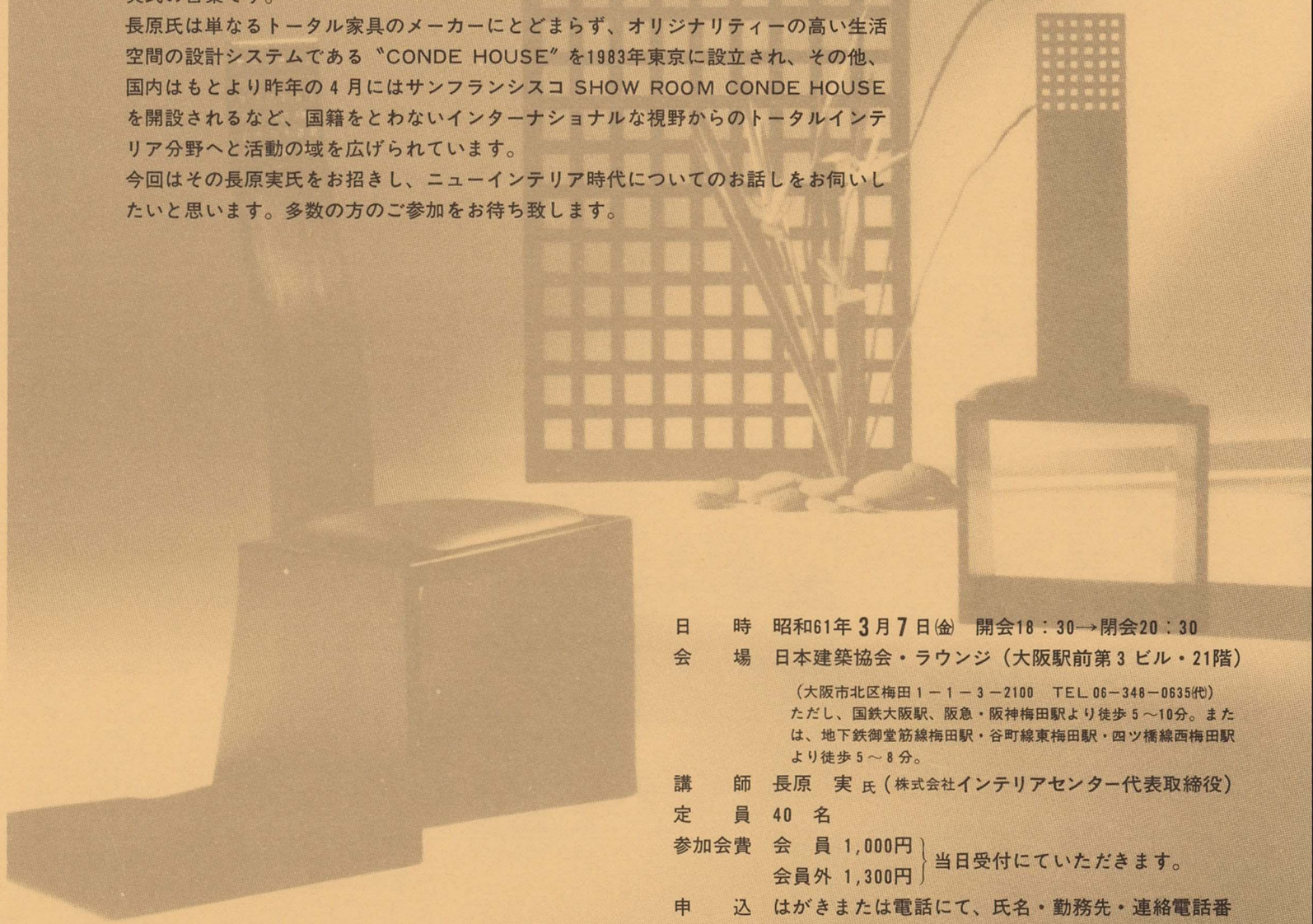
井上司郎
松村組取締役副社長

正月号から６月号まで上記の４氏が担当

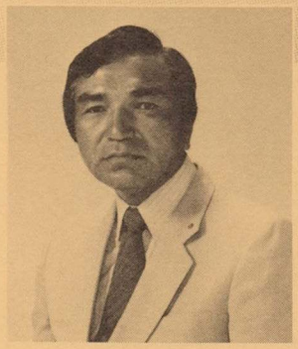
◀ニューインテリア時代の家具―長原 実に聞く―

……素材のこころを知り、その美しさを最大限に生かすためには、確かな技術とベストをめざすクラフトマンシップが必要です。100％の手づくりにこだわってはいません。先端技術と手づくりの調和を追求することで初めて国際的に通用する家具が完成されると考えています。……

北海道旭川にある㈱インテリアセンター社長でありデザイナーでもいらっしゃる長原実氏の言葉です。
長原氏は単なるトータル家具のメーカーにとどまらず、オリジナリティーの高い生活空間の設計システムである〝CONDE HOUSE〟を1983年東京に設立され、その他、国内はもとより昨年の4月にはサンフランシスコ SHOW ROOM CONDE HOUSE を開設されるなど、国籍をとわないインターナショナルな視野からのトータルインテリア分野へと活動の域を広げられています。
今回はその長原実氏をお招きし、ニューインテリア時代についてのお話しをお伺いしたいと思います。多数の方のご参加をお待ち致します。



日　時　昭和61年3月7日㈮　開会18：30→閉会20：30
会　場　日本建築協会・ラウンジ（大阪駅前第3ビル・21階）
（大阪市北区梅田1－1－3－2100　TEL 06－348－0635㈹）
ただし、国鉄大阪駅、阪急・阪神梅田駅より徒歩5～10分。または、地下鉄御堂筋線梅田駅・谷町線東梅田駅・四ツ橋線西梅田駅より徒歩5～8分。
講　師　長原　実 氏（株式会社インテリアセンター代表取締役）
定　員　40　名
参加会費　会　員 1,000円
会員外 1,300円　} 当日受付にていただきます。
申　込　はがきまたは電話にて、氏名・勤務先・連絡電話番号・返信用宛名・郵便番号・催し名称及び会員、会員外の種別を本会事業課までお申込み下さい。申込締切は2月末日。定員超過の場合は抽せんにて決定の上参加証をお送りいたします。（日本建築協会事業課：〒530 大阪市北区梅田1丁目1－3－2100　大阪駅前第3ビル・21階 TEL 06－348－0633）



■長原 実 氏 略歴

昭和26年　北海道立旭川公共職業補導所（現高等職業訓練校卒業。
昭和26年～37年　熊坂工芸㈱勤務。この間、昭和33年通産省産業工芸試験場デザイン科研修生。
昭和38年～41年　「旭川市海外派遣技術研修生」として西ドイツ滞在。箱物家具メーカー、家電メーカー・キャビネット工場、脚物家具メーカー、ドイツ国立木材技術大学（Rosenheim）にて、それぞれ研修を受け帰国。
昭和42年～43年　旭川市工芸指導所勤務。
昭和43年9月　㈱インテリアセンター設立。現在に至る。
■主な受賞
昭和54年　日本インテリアデザイナー協会賞
昭和60年　国井喜太郎産業工芸賞

謹賀新年

昭和61年元旦

(50音順)

青山幸夫

株式会社 青山建築積算事務所 代表取締役
〒550 大阪市西区京町堀1-10-19江南ビル 電話06(443)0430
〒610-11 自宅・京都市西京区大原野上里勝山町14-6
電話075(331)8682

井上秋次

井上窯業株式会社 代表取締役会長
〒543 大阪市天王寺区生玉町11番28号 電話06(771)2851代
〒659 自宅・芦屋市川西町4番23号 電話0797(22)5930

礒岩武

大機建材工業株式会社 代表取締役
〒666 兵庫県川西市久代6丁目1番16号 電話0727(70)8563
〒665 自宅・宝塚市中山台2丁目18番9号
電話0797(88)3698

浅井泰

株式会社 笠谷工務店 専務取締役
〒659 芦屋市業平町4－1 電話0797(22)0703
〒659 自宅・芦屋市翠ケ丘町13－5 電話0797(22)5291

飯田精次郎

共同設計株式会社 代表取締役
〒530 大阪市北区西天満5丁目10番14号 電話06(364)5836
〒560 自宅・豊中市本町2丁目2番24号 電話06(852)5775

市川繁雄

日本管工業株式会社 取締役社長
〒601 京都市南区西九条豊田町20 電話075(681)5101～6
〒606 自宅・京都市左京区下鴨芝本町37 電話075(781)0289

浅野昭夫

株式会社 浅野建築設計事務所 代表取締役
〒543 大阪市天王寺区城南寺町5－35 電話06(768)0201代
〒631 自宅・奈良市西登美ヶ丘6丁目4番5号
電話0742(46)4346

生島道春

社団法人 日本建築積算協会関西支部 支部長
〒542 大阪市南区鰻谷中之町62番地 市川ビル2F
電話06(245)6645

市川宏

株式会社 東畑建築事務所 取締役社長
〒541 大阪市東区伏見町5－19 電話06(202)0391
〒658 自宅・神戸市東灘区住吉山手4丁目4－32
電話078(811)0216

淺沼茂夫

株式会社 淺沼組 取締役社長
〒543 大阪市天王寺区東高津町12番6号 電話06(768)5222
〒168 自宅・東京都杉並区下高井戸3丁目17番1号
電話03(302)1922



京都二条城7点

指宿真智雄

株式会社 建築デザイン1級建築士事務所 代表者
〒564 吹田市江坂町1丁目23番101号 大同生命ビル
電話06(386)1311代
〒606 京都市左京区下鴨北野々神町8－5 電話075(781)6573

淺沼誠夫

株式会社 淺沼組 取締役副社長
〒543 大阪市天王寺区東高津町12番6号 電話06(768)5222
〒630-02 自宅・奈良県生駒市東松ケ丘7番30号
電話07437(4)5556

今井忠臣

イマヰ建設工業株式会社 代表取締役
〒547 大阪市平野区加美北5丁目11番12号 電話06(792)4425
〒547 大阪市平野区平野北2－9－15 電話06(792)4404

代表取締役会長 浅海正雄
代表取締役社長 浅海伸之

浅海電気株式会社
〒530 大阪市北区西天満3丁目7番4号 電話06(362)8701
〒665 自宅・宝塚市御殿山2丁目31番50—109号
電話0797(85)0745
〒665 自宅・宝塚市栄町2丁目10番26—712号
電話0797(81)1174

諫早信夫

フドウ建研株式会社 相談役
〒110 東京都台東区台東1—2—1 日本地所第二ビル
電話03(835)2661
〒541 大阪市東区平野町5—30 不動ビル 電話06(201)3737
〒157 東京都世田谷区南烏山2—18—4 電話03(300)3705

今西茂雄

株式会社 今西建築デザインルーム 代表取締役
〒550 大阪市西区南堀江1丁目22番17号 電話06(541)3051～3

安部康夫

安部建設株式会社 取締役社長
〒559 大阪市住之江区西住之江2丁目7番5号 電話06(678)3212～4
〒558 自宅・大阪市住吉区殿辻1丁目2－8
電話06(694)8774

泉沢哲史

株式会社 泉沢建築設計事務所 代表取締役
〒530 大阪市北区神山町14番3号 木津信ビル
電話06(364)9071代

取締役会長 今村騰
取締役社長 糸岡義太郎

中央電気工業株式会社
〒530 大阪市北区太融寺町3番24号
電話06(312)8881代表

謹賀新年

昭和61年元旦

(50音順)

今村祐三郎

社団法人　大阪建設業協会　専務理事
事務局長

〒540 大阪市東区京橋3丁目70　電話06(941)4821

大槻國秋

日本電設工業株式会社 大阪支店　常務取締役支店長

〒531 大阪市大淀区豊崎3丁目17—15　電話06(372)3531
〒658 神戸市東灘区西岡本6—5—23　電話078(411)1673

加藤忠三郎

株式会社　平田タイル　代表取締役会長

〒550 大阪市西区阿波座1丁目1番10号
電話06(532)1231代
〒601 自宅・京都市南区東九条北烏丸町24 電話075(691)1334

専務取締役 岩崎弘
常務取締役所長 寺西禮一

株式会社　教育施設研究所　大阪事務所

〒550 大阪市西区立売堀1丁目13番1号　電話 06(531)0913
大信ビル　電話 06(541)7301
〒630 自宅・奈良市法蓮立花町1046-2　電話0742(22)2217
〒661 自宅・尼崎市常吉字赤田9の5　電話 06(431)2101

大西孝夫

株式会社　日建設計　常務取締役
大阪本社代表

〒541 大阪市東区横堀2丁目38番地　電話06(203)2361

数井利美

株式会社　西村建築事務所　取締役社長

〒652 神戸市兵庫区荒田町2丁目1-8 楠六パレスビル
電話078(521)0205～0207
〒654 自宅・神戸市須磨区白川台2丁目39—13
電話078(792)5862

上西圭治

株式会社　大気社　代表取締役会長

〒530 大阪市北区中之島3—2—18 住友中之島ビル7階
電話06(448)3603
〒659 自宅・兵庫県芦屋市浜町12—14　電話0797(22)5949

岡橋作太郎

〒659 自宅・芦屋市春日町3—3　電話0797(22)4500

亀井晃治

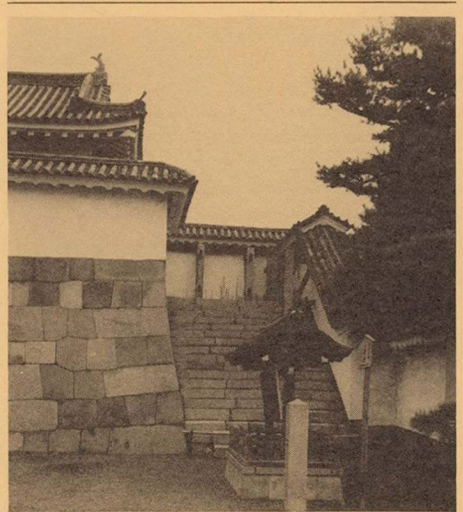
一級建築士事務所
株式会社 A.R.I.(あり)建築事務所　代表取締役

〒542 本社事務所・大阪市南区谷町7丁目3番4-203
新谷町第3ビル2F
電話06(768)1771代
FAX06(768)1406
〒631 自宅・奈良市中町1番地の479　電話0742(43)1226

植野寿雄

株式会社　寿建築積算事務所　所長

〒542 大阪市南区東清水町48つるのすビル 電話06(244)1561
〒588 自宅・堺市大美野5—9 電話0722(37)1162



亀田六夫

株式会社 増島製作所 大阪営業所　取締役所長

〒530 大阪市北区西天満3丁目13番18号 島根ビル
電話06(364)1951
〒560 自宅・豊中市刀根山元町8—12　電話06(855)5356

尾亀清四郎

株式会社　三晃空調　取締役会長

〒530 大阪市北区西天満3丁目13番20号 電話 06(363)1371
〒573 自宅・枚方市岡山手町15—4　電話0720(41)3427

鎌谷秀男

修成建設専門学校　理事長

〒555 大阪市西淀川区大和田5丁目19-30 電話06 (474)1644
〒665 自宅・宝塚市千種3丁目8番23号 電話0797(72)1380

多井(オオイ)幸男

多井建築研究所　所長

〒541 大阪市東区今橋1丁目1番地　1番館ビル
電話06(226)0008
〒657 自宅・神戸市灘区曽和町3丁目1—11
電話078(821)6133

岡本行善

株式会社　昭和設計　代表取締役社長

〒550 大阪市西区新町1丁目5番7号　四ツ橋ビル
電話06(532)3421代
〒659 自宅・芦屋市岩園町35—7　電話0797(31)3201

柄谷順一郎

株式会社　柄谷工務店　取締役社長

〒660 尼崎市玄番南之町4　電話 06(411)1451
〒663 自宅・西宮市甲子園浦風町9—14　電話0798(41)0700

大井弘治郎

株式会社 大井建築設計事務所 代表取締役

〒550 大阪市西区京町堀1丁目10—8　福岡ビル
電話06(444)4521～2
〒562 自宅・箕面市百楽荘4丁目4—11 電話0727(21)4113

奥村紘行

奥村重兵衛株式会社　取締役社長

〒530 大阪市北区西天満5丁目3番7号　電話06(312)4131代
〒620 自宅・西宮市南郷町14番34号　電話0798(71) 0011

川岸繁夫

株式会社　川岸窯業商店　代表取締役会長

〒550 大阪市西区西本町1丁目13—33　電話06(532)0461代
〒563 自宅・池田市天神1丁目10—10　電話 0727(61)8598

謹賀新年

昭和61年元旦

(50音順)

川崎敬三

株式会社　近畿建設　取締役社長

〒550 大阪市西区江之子島1丁目2番2号 電話06(448)5601代
〒556 自宅・大阪市浪速区難波中3丁目9番3-407 電話06(632)7369

川瀬甲子雄

扶桑管工業株式会社　代表取締役

〒616 京都市右京区太秦和泉式部町12番地　電話075(861)1157
大阪支店 電話06(304)0777　東京支店 電話03(263)0501
〒565 自宅・吹田市津雲台6－7－2　電話06(834)1734

川出盛也

高砂熱学工業株式会社大阪支店　常務取締役 大阪支店長

〒530 大阪市北区芝田1丁目4番8号北阪急ビル
電話06(372)8411

河井覚弘

株式会社 河井建築事務所　所長

〒631 奈良市登美ケ丘4丁目8－10　電話0742(45)4378
〒631 奈良市登美ケ丘4丁目8－11　電話0742(44)8100

河裾和夫

螢光産業株式会社　代表取締役

〒531 大阪市大淀区本庄西3丁目9番20号
電話06(371)5146代
〒560 自宅・豊中市中桜塚4丁目6-4　電話06(852)4148

木下國男

内外パーキング施設株式会社　取締役社長

〒550 大阪市西区京町堀1丁目8番5号 明星ビル
電話06(441)0477代
〒665 自宅・宝塚市逆瀬台6丁目15番11号 電話0797(73)3228

汲川圭司

社団法人　全国鐵構工業連合会顧問
大阪鉄構建設業協同組合理事長
大阪鉄構建設業協同組合
〒543 大阪市天王寺区生玉前町1番21号 小山ビル　電話06(772)0182
連合会事務所
〒103 東京都中央区京橋2丁目10番2号 第2ぬり彦ビル9F
電話03(564)3711代

小北博一

株式会社 ジャス　代表取締役

〒565 大阪府吹田市古江台6丁目3番1号 健康の森
電話06(833)6611代
〒565 自宅・豊中市新千里北町1－1　C5－209
電話06(872)6461

小阪永一

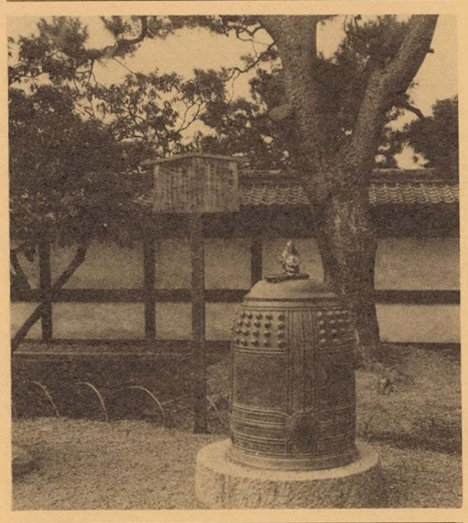
大信印刷株式会社　代表取締役

〒531 大阪市大淀区大淀中4丁目13－11　電話06(451)7631
〒553 大阪市福島区福島6丁目20－10　電話06(451)5346

小島勝巳

有限会社 小島勝巳建築事務所　代表取締役

〒541 大阪事務所・大阪市東区南本町4丁目41番地
イヨビル8階　電話06(252)8088代 FAX06(243)0640
〒103 東京事務所・東京都中央区日本橋本町4丁目14番地
山本ビル7階　電話03(661)0768代 FAX03(661)0769
〒166 自宅・東京都杉並区成田西1丁目16－17
電話03(315)5435



取締役会長　小西岬
取締役社長　橋本正章

株式会社 小西設計

〒550 大阪市西区立売堀1丁目12－16　電話06(532)4051

小林清

株式会社 新住宅社　代表取締役

〒530 大阪市北区中之島4丁目3番25号　電話06(443)6641代
ファックス06(443)6642
〒545 自宅・大阪市阿倍野区北畠3丁目1番7号
電話06(654)0584

取締役会長　小林四郎
取締役社長　代谷正元

住友電設株式会社

〒553 大阪市福島区福島7丁目22番8号 電話06(452)1151大代
〒662 自宅・西宮市西平町19－11　電話0798(74)6621
〒665 自宅・宝塚市仁川北3－13－20　電話0798(52)5971

取締役会長　河内義就
代表取締役　河内國利

有限会社 河内義就設計事務所

〒730 広島市中区八丁堀6番7号 チュリス八丁堀503
電話082(228)2271

鴻池藤一

株式会社 鴻池組　代表取締役会長

〒541 大阪市東区北久宝寺町4丁目27番地
ダイヤルイン電話06(244)3500(受付台)
〒603 自宅・京都市北区平野鳥居前町86 電話075(461)1526

佐々木森一

株式会社 佐々木建築事務所　代表取締役

〒550 大阪市西区京町堀1－3－22　電話06(443)0675
〒617 京都府向日市上植野浄徳11－19　電話075(921)0728

佐藤康

大鉄工業株式会社　取締役社長

〒532 大阪市淀川区宮原4丁目4番44号
電話06(394)1281代表
〒562 箕面市箕面6丁目9番36号　電話0727(22)3608

会長

佐野正一

株式会社 安井建築設計事務所　代表取締役社長

〒340 大阪市東区島町2丁目7番地　電話06(943)1371代
〒662 自宅・西宮市雲井町4の9　電話0798(72)1569

斉藤國義

株式会社 斉藤工業所　代表取締役

〒557 大阪市西成区岸里2丁目6番5号電話06(661)3325代
〒557 自宅・大阪市西成区岸里東1丁目21番3号
電話06(652)0208

謹賀新年

昭和61年元旦

(50音順)

雑賀幸夫

株式会社 大阪雑賀建築事務所 代表取締役

〒543 大阪市天王寺区上本町8丁目3番23号
電話06(772)4426・4436
〒573 自宅・枚方市香里ヶ丘7丁目11-16 電話0720(54)0004

菅谷節

大阪電気暖房株式会社 代表取締役社長

〒550 大阪市西区江戸堀1丁目9番25号 電話06(441)8231
〒158 自宅・東京都世田谷区等々力6丁目3番18号
電話03(703)1027

橘泰治

東邦パーライト株式会社 取締役社長

〒540 大阪市東区森ノ宮中央2丁目7番15号 電話06(941)9445～9
〒590-01 自宅・堺市若松台3丁26番3号 電話0722(91)2267

堺徳吾

西日本建設業保証株式会社 取締役社長

〒550 大阪市西区立売堀2丁目1番2号 電話06(543)2553

杉浦敏郎

三機工業株式会社大阪支店 支店長

〒541 大阪市東区北浜2－22 電話06(202)3051代3071代
〒560 自宅・豊中市岡町南1－7－7 電話06(855)5995

立田清

有限会社 柳々堂 (建築専門書店)

〒550 大阪市西区京町堀1－12－3 電話06(443)0167～8
営業所：鴻池ビル 電話06(251)8233

志賀修一

フジタ工業株式会社 大阪支店 専務取締役 支店長

〒530 大阪市北区堂島2丁目1番16号 電話06(348)4510
〒567 自宅・大阪府茨木市下穂積4-11-39

田中優

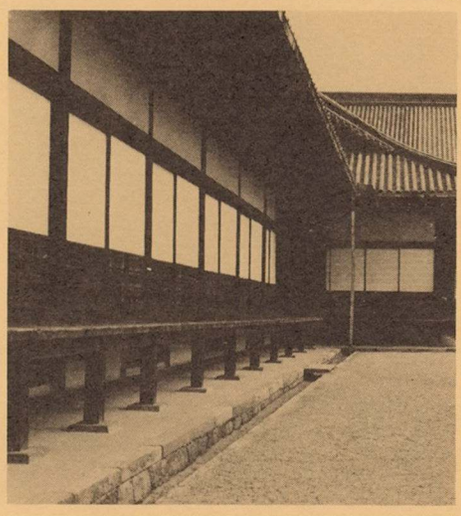
株式会社 ユソニアン一級建築設計事務所 代表取締役

〒530 大阪市北区東天満2丁目1番26号 福山ビル
電話06(354)2781～4
〒536 大阪市城東区成育4丁目20番2号 電話06(931)8857

立野一郎

株式会社 ユニオン 代表取締役

〒550 大阪市西区南堀江2丁目13番22号
電話06(532)3731代



四方靖郎

四方設計工務株式会社
一級建築士事務所 代表取締役社長

〒612 京都市伏見区深草関屋敷町32－2 電話075(642)9516
〒612 自宅・京都市伏見区深草関屋敷町32－2

知見義夫

春日設備工業株式会社 相談役

☎601 京都市南区西九条春日町48番地 電話075(671)5377代
〒601 自宅・京都市南区西九条春日町48 電話075(691)3860

名誉正会員

白石登喜男

株式会社 藤木工務店 常務理事

〒540 大阪市東区両替町1丁目13番地 電話06(944)1468
〒558 自宅・大阪市住吉区墨江1－7－39 電話06(671)3792

名誉会長

塚本猛次

株式会社 日建設計 最高顧問

〒541 大阪市東区横堀2丁目38番地 電話06(203)2361
〒665 自宅・宝塚市清荒神2－6－27 電話0797(87)1940

城口庸平

株式会社 大阪城口研究所 取締役社長

〒530 大阪市北区角田町2番15号 電話06(372)7151代

田村真二

株式会社 竹中工務店 常務取締役

〒541 大阪市東区本町4－27 電話06(252)1201
〒663 西宮市浜甲子園2丁目5－19 電話0798(41)4300

辻本豊

株式会社 ツジモトユタカ設計事務所 代表取締役

〒640 和歌山市東長町中の丁12－3 電話0734(26)2030代
〒640 自宅・和歌山市東長町中の丁12-3 電話0734(26)2030代

須賀好富

近畿大学理工学部建築学科 助教授

〒577 東大阪市小若江3－4－1 電話06(721)2332
内線271
〒577 自宅・東大阪市小阪3－4－B911
電話06(789)8114

取締役社長 高橋慶夫
専務取締役 上田宏二

株式会社 高橋上田設計事務所

〒550 本社・大阪市西区新町1－4－21 大幸ビル
電話06(533)0971～3
〒110 東京支所・東京都台東区上野5－3－7
宮代ビル3F 電話03(831)6108

津村芳仁

オリエンタルメタル製造株式会社 代表取締役社長

〒660 尼崎市昭和南通3丁目26番地 電話06(412)5131代
〒330 自宅・埼玉県大宮市高鼻町3丁目58番地
電話0486(41)0204

謹賀新年

昭和61年元旦　(50音順)

傳馬正明

ムツミ産業株式会社　代表取締役

〒550 大阪市西区靭本町1丁目17番15号
電話06(441)0378大代
〒558 自宅・大阪市住吉区長居東3丁目14番22—515
電話06(699)5326

野村文英

野村建設工業株式会社　取締役社長

〒541 大阪市東区高麗橋2丁目9番地　電話06(202)4791代

原精一

甲南建設工業株式会社　代表取締役

〒532 大阪市淀川区十三本町2丁目4番28号電話06(308)1551
〒662 自宅・西宮市名次町12番9号　電話0798(72)1504

名誉会長・名誉正会員

東畑謙三

株式会社　東畑建築事務所　取締役会長

〒541 大阪市東区伏見町5—19　電話06(202)0391
〒658 自宅・神戸市東灘区住吉山手4-4-35　電話078(851)5043

橋詰一雄

社団法人　日本建築協会京都支部　支部長
株式会社　橋詰工務店　取締役会長

〒604 京都市中京区押小路通柳馬場東入 建設会館分室
電話075(211)2857・2877
〒604 京都市中京区猪熊通三条上ル姉猪熊町326
電話075(801)2356代
〒604 自宅・京都市中京区猪熊通三条上ル姉猪熊町326
電話075(841)2803

原田重信

代表取締役会長

原田孝太郎

代表取締役社長

原田セメント化工株式会社
大統商事KK・泉州生コン工業KK

〒554 大阪市此花区西九条4丁目3—34　電話06(465)1212代
〒661 自宅・尼崎市塚口町3丁目41—8　電話06(421)4518

得田益男

得田電気株式会社　取締役社長

〒601 京都市南区東九条河辺町21番地　電話075(661)2727
〒606 自宅・京都市左京区北白川東伊織町10番地の3
電話075(722)3231

橋本晃芳

株式会社　鴻池組　専務取締役

〒541 大阪市東区北久宝寺町4丁目27番地　電話06(244)3545
〒659 自宅・芦屋市精道町4—1　電話0797(31)6766

伴一郎

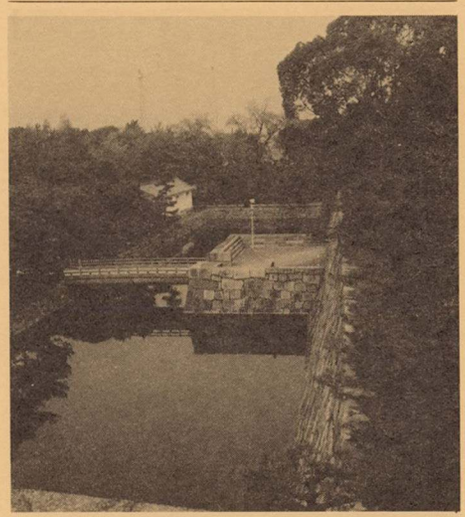
株式会社 西原衛生工業所大阪店 代表取締役社長

〒531 大阪市大淀区中津六丁目8番4号 電話 06(458)3628
〒563 自宅・池田市石橋3—11—14　電話0727(61)8652

内藤正克

株式会社 内藤建築設計事務所 代表取締役会長

〒675-13 兵庫県小野市上本町240 小野ビル　電話07946(2)4757代
〒675-13 自宅・兵庫県小野市久保木町1063　電話07946(2)4668



平城勧

株式会社 朝日工業社 大阪支社　常務取締役 大阪支社長

〒532 大阪市淀川区加島1丁目58番59号 電話06(302)2271～9
〒665 自宅・宝塚市中山桜台4—15—4　電話0797(89)3884

中原英雄

株式会社　創美設計　代表取締役

〒530 大阪市北区末広町3番21号 星和地所扇町ビル
電話06(312)3587代
〒565 吹田市桃山台4丁目3番1—808

福永薫

株式会社　建設技術センター　取締役社長

〒532 大阪市淀川区西中島5丁目7番17—602号
電話06(304)1148代
〒542 自宅・大阪市南区南船場4丁目7—3
電話06(251)3102

永井賢城

株式会社　久米建築事務所　取締役社長

〒106 東京都港区西麻布1丁目13番11号 電話03(403)0251大代
〒251 自宅・藤沢市鵠沼海岸2丁目8の26　電話0466(36)7706

名誉正会員

浜口幹三郎

株式会社　淺沼組　相談役

〒543 大阪市天王寺区東高津町12番6号 電話06(768)5222
〒631 自宅・奈良市二名町南登美ケ丘3336—7
電話0742(43)1091

藤井稔

阪神不動産株式会社　専務取締役

〒530 大阪市北区梅田2丁目2番25号　電話06(346)1173

長澤孝行

日本住宅パネル工業協同組合大阪支所　支所長

〒530 大阪市北区西天満5丁目6番10号 富田町パークビル
電話06(313)3321
〒598 自宅・大阪府泉佐野市佐野台20-52 電話0724(63)1260

林唯夫

株式会社　昭和設計　代表取締役副社長

〒550 大阪市西区新町1丁目5番7号 四ツ橋ビル
電話06(532)3421
〒565 自宅・吹田市青山台3丁目41—11　電話06(872)3608

藤木鐵三

株式会社　藤木工務店　取締役社長

〒540 大阪市東区両替町1丁目13番地　電話06(944)1468代

謹賀新年

昭和61年元旦　(50音順)

堀　元也

神戸材料株式会社　代表取締役社長

〒651 神戸市中央区熊内町2丁目1番37号
電話078(222)2251
〒657 自宅・神戸市灘区篠原北町2丁目1番9号
電話078(882)0755

名誉正会員
松本与作

建築家　第一生命保険相互会社 顧問技師

〒145 自宅・東京都大田区田園調布3-17-3 電話03(721)4723

薬袋公明

株式会社 日建設計 取締役社長

〒541 大阪市東区横堀2丁目38番地 電話06(203)2361

堀内史郎

第一工業株式会社大阪支店　常務取締役支店長

〒530 大阪市北区西天満3丁目6番14号 電話06(364)6661代
〒573 自宅・大阪府枚方市朝日丘町12-18電話0720(41)5396

三品哲夫

財団法人 大阪市建築技術協会　理事長

〒530 大阪市北区梅田1丁目2番2-401号 大阪駅前第2ビル4階
電話06(347)9703
〒560 自宅・豊中市上野東1-10-45-205 電話06(848)9067

水間義雄

株式会社 水間組 代表取締役社長

〒534 大阪市都島区東野田町1丁目1番4号
電話06(352)3121代
〒538 自宅・大阪市鶴見区今津南4-10-15 電話06(961)0785

前田敏男

財団法人　日本建築総合試験所　理事長

〒565 本所・大阪府吹田市藤白台5丁目8番1号
電話06(872) 0391
〒531 大淀分室・大阪市大淀区長柄西2丁目1番18号
電話06(351) 7217
〒592 堺分室・大阪府堺市浜寺石津町西2丁1番34号
電話0722(44)3912
〒612 京都分室・京都市伏見区中島前山町24番地の2
電話075(622)0713
〒675-01 加古川分室・加古川市別府町新野辺字畑下1311-3
電話0794(35)5811

三富　和

東海興業株式会社 大阪支店　常務取締役 支店長

〒530 大阪市北区堂島浜2-2-8 東洋紡ビル 電話06(348)5602

名誉正会員
取締役会長 **道田泰治郎**
取締役社長 **道田泰平**

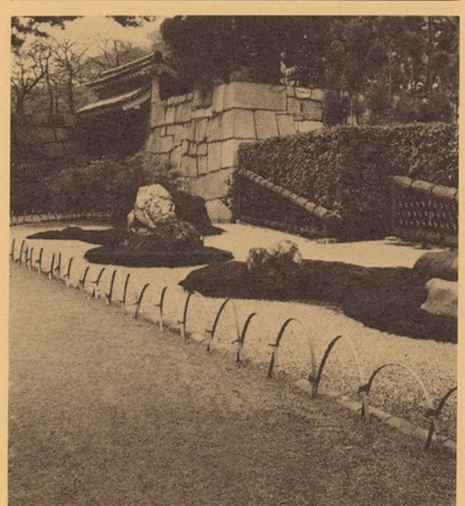
株式会社 道田工務店

〒660-01 川西市向陽台3丁目6番地の216
電話0727(93)3456代
〒660-01 自宅・川西市向陽台3丁目6番地の216
電話0727(93)3456代

前田平一郎

ゼネラル事務機株式会社　社長

〒550 大阪市西区靱本町3丁目2番7号 第1横井ビル
電話06(441)1462代
〒560 自宅・豊中市上野東1丁目16—21 電話06(849)5764



宮脇和正

財団法人 大阪住宅センター　理事長

〒530 大阪市北区中之島3—2—18 住友中之島ビル12F
電話06(447)0615・0616
〒658 自宅・神戸市東灘区深江本町3—9—1—907
電話078(452)2738

松田恒彦

株式会社 ART建築設計事務所　代表取締役所長

〒530 大阪市北区東天満2丁目3—10 田中ビル
電話06(357)5351代
〒546 大阪市東住吉区西今川2丁8—7 電話06(702)6738

村石全

浪速合板株式会社　代表取締役社長

〒556 大阪市浪速区幸町2丁目5番3号 電話06(568)3671
〒659 自宅・芦屋市岩園町25番15号 電話0797(34)0835

松村雄二

株式会社 松村組　取締役会長

〒530 大阪市北区天満2丁目1番3号 電話06(353)1131

三谷忠義

株式会社 三谷設計　代表取締役

〒694 島根県大田市久手町波根西777の1
電話08548(2)8121代
〒694 自宅・島根県大田市久手町波根西225の2
電話08548(5)8320

村上二郎

サンエス石膏株式会社　代表取締役社長

〒530 大阪市北区堂島2丁目4番17号 藤田ビル本館
電話06(344)6526～9
〒565 自宅・吹田市千里山西3丁目7番5号 電話06(384)1002

松本重太郎

松本金物株式会社 取締役社長
大阪建築金物卸商協同組合 理事長

〒543 大阪市天王寺区四天王寺1丁目5番47号
電話06(774)2200
受付案内台
〒542 組合事務所・大阪市南区島之内1丁目22番20号
大和ビル本館5階602号室　電話06(245)3187

三輪泰司

株式会社 地域計画・建築研究所　代表取締役所長

〒600 京都市下京区四条通高倉西入ル立売西町82番地
大和銀行京都ビル　電話075(221)5132代
〒540 大阪市東区石町1丁目1番地 天満橋千代田ビル2号館
電話06(942)5732
〒460 名古屋市中区丸の内3丁目18番30号 ツボウチビル
電話052(962)1224
〒612 自宅・京都市伏見区桃山南大島町95—45
電話075(601)3962

室谷山水

室谷商事株式会社　取締役会長

〒650 神戸市中央区北長狭通4丁目2—4 ツインズ元町ビル
電話078(331)0881
〒650 自宅・神戸市中央区山本通4丁目17—17
電話078(221)5050

謹賀新年

昭和61年元旦　(50音順)

両角保

浦安工業株式会社　専務取締役 大阪支店長

〒130 本社・東京都墨田区錦糸2丁目8—7 電話03(624)2441
〒530 大阪支店・大阪市北区天満2丁目3—5 電話06(351)7502代

森淳

三和電気土木工事株式会社　取締役社長

〒530 大阪市北区南森町1丁目4番19号 電話06(361)6451代
〒596 自宅・大阪府岸和田市別所町2丁目3番5号 電話0724(22)7710

八木喜美蔵

八木惣株式会社　代表取締役社長

〒593 堺市津久野町3丁28番10号 電話0722(62)1175
〒593 自宅・堺市津久野町3丁28番10号 電話0722(62)0722

八十島健二

株式会社 竹中工務店　取締役副社長

〒541 大阪市東区本町4—27 電話06(252)1201
〒663 自宅・西宮市甲子園二番町5—30 電話0798(41)0598

簀本弦三

株式会社 笹川組　取締役社長

〒520 大津市打出浜13—15 電話0775(23)2314
〒520-21 自宅・大津市一里山5—9—11 電話0775(45)3966

山内恒男

株式会社 石本建築事務所　大阪支所長

〒542 大阪支所・大阪市南区島之内1—20—19 丸善石油ビル 電話06(251)7507
〒102 本社・東京都千代田区九段南4-6-12 電話03(262)7161

山田保

株式会社 山田保建築設計事務所 代表取締役

〒733 広島市中区本川町2丁目6番11号第7ウエノヤビル2階 電話082(292)8211代
〒733 自宅・広島市西区己斐東2丁目12番27号 電話082(271)0690

山田恒治

株式会社 山田工務店　取締役社長

〒651 神戸市中央区雲井通4丁目1番3号 電話078(232)1800代
〒651-11 自宅・神戸市北区泉台4丁目9番12号 電話078(592)5902

山本永造

ヤマト電気エンジニアリング株式会社　取締役社長

〒530 大阪市北区西天満5丁目1番3号 電話06(364)3056代
〒562 自宅・箕面市桜ケ丘3丁目13—6 電話 0727(23)5176

山本一彦

株式会社 和光建築設計事務所 代表取締役

〒550 大阪市西区北堀江2丁目9番15号 電話06(531)4488
〒536 大阪市城東区森之宮1丁目4番204号 電話06(969)0788



山本貴士

朝陽電気株式会社 代表取締役

〒530 大阪市北区中之島3丁目2番4号 電話06(385)1361代 朝日ビルディング内
〒565 自宅・豊中市新千里東町2丁目5番 A1-404 電話06(871)0851

米倉豊夫

日本住宅パネル工業協同組合　理事長

〒113 東京都文京区本駒込6丁目15番7号 電話03(945)2311大代

和田眞一

株式会社 東和組　代表取締役

〒530 大阪市北区西天満4丁目5番14号 電話06(363)4051
〒659 自宅・芦屋市公光町3番8号 電話0797(22)3282

和中勝

株式会社 和中商店　取締役会長

〒531 大阪市大淀区豊崎5丁目8番11号 電話06(371)0731
〒150 東京都渋谷区桜丘町11—5 電話03(464)9723
〒453 名古屋市中村区黄金通3丁目34番地 電話052(481)7338
〒662 自宅・西宮市大畑町10—22 電話0798(67)7544

渡辺健一

株式会社 曽根組　代表取締役

〒676 本社・兵庫県高砂市曽根町2257の1 電話07944(7)1551代
〒541 大阪支店・大阪市東区伏見町2丁目15 ホンダビル 電話06(203)4415代
〒650 神戸支店・神戸市中央区北長狭通4丁目 高橋ビル 電話078(321)3471代

渡辺忠

東洋シャッター株式会社　取締役相談役

〒540 大阪市東区両替町1—12日生ビル 電話06(943)6571代
〒560 自宅・豊中市緑丘3丁目21番8号 電話 06(856)0983

渡部慶一

株式会社 松田平田坂本設計事務所 大阪事務所 所長

〒530 大阪市北区堂島2—2—25 電話06(344)7821
〒530 自宅・大阪市北区中之島5—3—92 ルイシャトレ中之島622号 電話06(448)5645

事務局一同

社団法人 日本建築協会



これからの住空間を求めて
これからの住空間―都市型集合住宅の事例にみる―

淀川リバーサイド／千里山ロイヤルマンション／ルーブル富士神宮外苑／ヴィルセゾン小手指／City 21 ルネ御苑プラザ／ステュディオ新大阪／ベル・パークシティ／パレ武庫川プルミエールⅠ／グロリア初穂ときわ台／広尾ガーデンヒルズ／ノバオリンピアードタワー／ルネ門前仲町パークステイツ／ポートピアプラザ／ザ・スクエア／テラス岡本／カサベルデ六甲／光が丘パークタウン／グランドパレス君影／ファミリートーク新北島／ハンディキャップ者配慮住宅／センチュリーハウジングシステム(CHS)／自然エネルギー利用システムパイロットプラン

これからの住空間・KEYWORD

本号特集編集幹事(＊印特別幹事)：＊川村真次／＊荻原正俊／足立啓／岡田信幸／奥村礼子／金澤成保／杉本章子／田中直人／中山徹／本多友常／山根勝利

これからの住空間を求めて
―集合住宅の事例に見る魅力ある都市集住への試み―

はじめに　近年の高齢化、情報化社会到来の状況の中で、さらに都市の活性化が求められる状況の中で、住宅をとりまく状況は、複雑かつ多岐にわたる様相を呈している。

従来の居住水準・住環境水準の向上に加えて、地域や都市の構成要素としての住宅を再確認する必要がある。また、住宅の供給についても、新規の建設、流通、管理までを含めた流れはもとより、中古の流通、管理をも含んだ総合的なシステムの充実が求められている。住宅供給は単に住宅を供給するだけにとどまらず、入居者に〝ライフスタイル〟を感知させ、新しい都市集住の魅力を実現する契機となる必要があろう。

本稿に紹介する実例は、かような視点から官民の第一線で、これからの住空間のあり方を求めて、そのプロトタイプを試みたと解釈されるものを、選択している。それぞれに提案するポイントは異なっている。多分に住宅を商品として、供給者から需要者に対して、いかに魅力あるメッセージに仕立てるかに力点が置かれているむきは否定し難いが、従来の住宅とはいかにして一味違う、味付けを施したものにするか、その実例としては参考になるだろう。これからの住空間を求めて、いかにあるべきかを語るにはいささか物足りないが、魅力ある都市集住の実現のために、集合住宅の場合にどのような動きがあるかが浮き彫りにできればと思っている。

本稿に紹介した実例は全部で22例あるが、その内容について若干の総括的な考察を加え、つぎのような点を指摘してみたい。

1 立地環境

大多数の事例は、就業、通学、公益施設の利用等の利便性が高い生活を享受しやすい都心部に位置している。地価の高い都心部においては、高層高密度の集合住宅形式とならざるを得ないようである。

都心部の大型住宅プロジェクトには、工場跡地や病院等の施設跡地に計画された再開発型の事例が多いが、前者の例においては、インナーシティ問題に対応するものとして、従来のまちの構造イメージを一新するものをめざし、後者の病院跡の例においては、従来の文教地区のイメージをまもり育てようとするところに計画のポイントが感じられる。その他、都心部では平坦地のみならず、残存する未開発地の傾斜地等を開発した事例もある。この場合、斜面という立地条件の制約を、逆に建築デザインの中でプラスの要素として活用し、アメニティの高い居住空間の演出を試みている。

2 自然環境デザイン

集合住宅の中に戸建住宅のもつゆとりや快適性をいかにして実現するか、これに対する各プロジェクトの解はいずれも自然環境の要素を重視している。その空間レベルは、住棟配置レベルから、中間領域レベル、さらに住戸レベルへと展開していくが、水や緑、花といった自然物に加え、彫刻やモニュメント等という造形物のコンビネーションの中に、太陽と自然の風の息づかいを各空間レベルの中で感じさせようとするしかけが見られる。この中で、樹木も新たに移植するのではなく、在来の大木を活用するというように、従前の地形や自然物を再生させる考え方に注目したい。住棟や駐車場の配置を平面的にまた立体的に工夫することにより、歩車分離をはかった中庭や緑道、遊び場等の創出を試みている。また住戸レベルにおいても、屋上や途中階にテラス、プレイロット、植え込み、砂場、水遊び場等を設けたり、積極的にテラスを屋外のリビングとして位置付けるとともに、住戸の玄関にポーチを設け、自然環境に融合する形で、戸建住宅のもつ快適性とゆとりの演出を図っている。

3 都市景観デザイン

集合住宅のデザインについても低層から高層、超高層までさまざまなバリエーションが展開されている。住宅といえども都市空間の中で、集合体としてのフォルムのイメージが問われるのは当然のことである。集合する集積メリットからすれば、住戸はもとより、住棟デザインに至るまで、一定の標準化のラインに基づくことがかつては合理的であると解釈されていたようであるが、今日大規模団地になるほど、ますます個性化が要求され、変化あるまちづくりも必要となる。同時に、多様なデザインボキャブラリーが氾濫しているが、それらに溺れることなく、外壁や屋根、屋外付帯施設の形態、色彩に統一感あるデザインが求められている。実例の中にも棟自体を塔状にしたり、スカイラインの単調さを救う外壁の色彩デザインを試みたものがある。今後とも、都市空間の中で集合住宅が他の建築物とともにどのような景観エレメントとなりうるかという問いかけは、よりよき魅力ある都市集住体の創造において不可決であろう。

4 住戸デザイン

住戸の規模については、永住できることをキャッチフレーズに、天井高や住戸専有面積を大型化したものや、高齢化社会への対応ということで専用庭、掘コタツ、便所、洗面所のある離れ付きの二世代同居可能住宅も見られるようになった。さらに、高齢者や障害者等のハンディキャップをもった人々を配慮した住宅の開発も進んでいる。自立や介助を容易にし、ハンディキャップをもった人々の身体状況の推移に対応して、住空間のシステムを変換させていく考え方は、まさに生涯住宅といえるが、同時に人々といっしょに暮らしやすい住宅となることをめざすインテグレートスペースでもある。今後の高齢社会において、施設福祉から在宅福祉のさけばれる中で、住宅の占める役割は大きく、これらの住宅開発のプロジェクトの成果が期待される。

住戸プランについてはフロンテージセービングによるプランニングのみならず、多様なプランバリエーションを用意し、3面採光、4面採光と多面採光を試みたものも多く見られる。この傾向は前述の自然環境を重視し、戸建住宅のもつゆとりと快適さをできるだけ取り入れようとする具体的な表れと解せられるが、ユーザーたる入居者に対し、多様なニーズ、志向に応える一手段としても注目される。もっとはっきりとこれらユーザーの選択プロセスを導入したものとして、内装、家具、間仕切、カラーコーディネーション等のオプション方式やメニュー方式、さらに構造躯体や主要設備といった、いわゆるインフラ以外はすべてユーザー自身で整えるといったスケルトン方式等がある。

〝注文建築〟という言葉でユーザーの方から何を注文するのか、あるいは建築家がユーザーに何を注文させるのかという本来の建築設計プロセスの中でやりとりされる一部に通じるものを、これらの方式に感じとることもできるが、価格という経済的側面や、家族構成変化やライフスタイルの変化、多様化という側面も見落とせないであろう。住宅を供給する側から見れば一つの商品であっても、ユーザーからすれば高価な商品であり、より少ない投資で住スタイルの多様なニーズの受け皿を得ようとする買い物行動であるともいえる。

したがって、住戸デザインについては、絶えずユーザーの声を反映させたものの研究開発や提案が求められるであろう。何か一味違ったプランニングや内装、設備が、我が家の〝らしさ〟を体感しうる道具となるのであれば、たとえば設備機器でも専門技術者やデザイナーの支援の中で、オリジナル設備の開発に努めることも一つの方向ではないだろうか。また、住戸デザイン、その他住宅プロジェクトに関わる多様な要素について、主婦をはじめ一般のユーザーからモニターし、その声を適確に計画に反映させることも一案と思われる。そして、住戸デザインの分野からは離れるが、集住体トータルのネーミングについても一般公募するなどの方法もユーザー参加の手法として注目されよう。

5 生活機能施設の計画

集住体は、住戸の集合のみでは完全に人格を与えられなくなっている。住戸自体の内容についても前述の通り多様なニーズに対応した動きがあるが、住戸と住戸、あるいは住戸群と外環境をつなぐ境界あるいはその内外の領域に、生活機能をより都市生活充実の視点から高次化させた施設の計画が目立つ。原始期においてはせいぜいエトランスホール、廊下程度であったものが、ラウンジ、インフォーメーションルーム、アッセンブリーホール等を備え、つぎにはスポーツセンターまがいのアスレチックジム、サウナルーム、室内温水プール、ダイビングプール、プレイロット、遊歩道、ジョギング

ロード等を室内外の施設として備え始めている。単に共用部分を充実化するという表現では収めきれないほどまでに、住空間の中に、健康を維持、増進させていこうという姿勢がうかがえる。

コミュニケーションづくりは、もはや集会所をつくるだけではなく、積極的にそこに集まり、共に自己や家族の生命の伸長、増進を図る中で、汗をかきかき、感じ合うしかけをつくる時代になっているのだろうか。総合開発的住宅プロジェクトにおいて、低層部にショッピングセンター、カルチャーセンター、図書館、医療施設、銀行、郵便局等の公益的施設を設けるという、ゲタバキ住宅的施設の複合化とは別のニュアンスを感じるのである。ある住宅デベロッパーの言葉を借りるならば、まさに〝ホテル並みのパブリックスペース〟を備えていますということになるのであろうか。一流戸建の独立住宅が、広い敷地に堂々とした門構えで、住み手の風格、スティタスシンボルを表象するものとすれば、これらの〝ホテル並み〟の施設群は、それに代わる機能を有しているのかもしれない。集住するメリットはいろんな形で発揮させうるが、健康な生活を志向する住み手のニーズに対応する施設が、このような形で一つのスティタスシンボルとして共有できることも魅力の一つに違いない。

今後は、高齢社会を迎えて、通りいっぺんの健康スポーツ施設だけではなく、ヤングからオールドまで多様な住み手のニーズに合致する施設の企画や運営が求められるであろう。もちろん、都市的スケールの中で、すでに設置されている公共・公益的施設との機能分担やそれら自体の有効な活用が図られるべきであることはいうまでもない。

6 新しい設備技術を反映したサービス

昨今の設備技術の革新を反映して、住宅内にもいろんな動きがある。とりわけ電子技術の発達に裏付けされたコンピューターによる制御システムやＯＡシステム、ニューメディア関係の諸システムの導入がいろいろと試みられている。これらの高価な技術を導入するベースには、やはり一定規模以上の住戸が集合しているということがあろうが、このメリットはハード面だけでなく、管理サービスというソフト面においても発揮されよう。住宅内の各種の生活機器やコントロールシステムを自動化したり、合理化することを可能とするＨＡ（ホームオートメーション）システム、電話回線を使って、住宅内の各種生活機器のコントロールを可能とするテレホンコントロールシステム、外部からの来客者を自動的にコントロールできるオートロックドアやガス漏れや火災を通報する等、防犯、防災上の効果が期待されるセキュリティシステム、双方向ＣＡＴＶ、衛星放送等のニューメディア対応の各システム等がさまざまなレベルで実施されつつある。これらの情報や制御システムとともに、空調やエネルギー供給システム等においても、集合のメリットを活用しようという動きがある。地熱源を利用して、オール電化システムを図ろうとしたり、パイロットプランではあるが、自然エネルギー利用システム（パッシブシステム）を試みているものもある。

このほか、設備技術だけではなく、住宅全体について、耐用性の高い住宅システムを、設計、生産、供給、維持、管理等の住宅供給の全過程にわたるトータルシステムとして開発していこうとする動きもある。センチュリー（百年）の耐用性もめざすということで、センチュリーハウジングシステム（C.H.S）とも呼ばれているものである。いかに素晴らしい集合住宅であっても、躯体、設備等の合理的な維持、管理が図られないと、その生活機能は発揮できない。この考え方をさらに現実の多くの集合住宅でも計画から維持管理までのトータルシステムの中で反映させていくことが望まれる。集合住宅の資産としての価値を低減させることなく、集住体としての魅力をより増大するためにも不可欠のことであると思われる。

これらの技術上の成果の導入とは別に、新しい集合住宅の中には、集合のスケールメリットを活かして、充実した管理サービスをセールスポイントにする例もある。ライフパックサービスと称して〝ホテル並みの管理サービス〟を提供するというものである。サービスの代価としての共益費等は当然アップするが、戸建住宅では享受できないメリットとして積極的に評価することができるかもしれない。サービスの内容、程度自体、今後の運営システムの具体的展開で個々に決定されるであろうが、高齢社会における単身（高齢）者等の生活空間として、従来の社会福祉施設とは違った住空間としての機能分担も期待できるのではないかと思われる。この点に関しては、今後のまちづくりの中で、各種公共・公益的施設の機能分担およびそれらの有効な活用が図られるべきであろう。

ある種のケア（サービス）が提供される住宅は、今後は程度の差やサービスの提供システムの差はあっても、いろいろと展開されることが期待される。すなわち魅力ある都市集住のためには、器作りもさることながら、器に入るべき人間の潤滑油となったり、生活機能を補完する適切な運営システムやサービスが不可欠であると思われる。

おわりに　概観してきた事例は都心部を中心に展開されてきたものが中心であった。本来あるべき住空間、これからの住空間を語るという視点からすれば、考察の切り口たるべき対象として、さらに国内外から範囲を拡げて検討すべきであろう。そしてこれからの住空間として、集合住宅だけを取り上げても、高層高密度のものだけではなく、タウンハウスのような低層低密度も入れて、多様な集住形態の中で検討がなされるべきであり、ユーザーたる居住者に対しても多様な選択肢を用意すべきである。多様な住宅（住戸）バリエーションの開発とともに、それらの空間を構成するエレメントやコンポーネント（構成材）についても、より互換性や耐久性が高く、デザイン性にすぐれたものの開発に努めなければならないであろう。新しい住宅関連機器類、材料等の出現により、住空間を構成する商品情報が氾濫している。ユーザたる居住者に適切なアドバイスを与え、多様な住ニーズを反映した住空間を実現するインテリアコーディネーター等の専門家の育成や活用も図られるべきであろう。と同時にユーザー自身が、住空間についての知識、見聞を高め、自らの住空間の創造に積極的にかかわり合うことも大切であろう。このため、官民を問わず、住宅を企画したり供給する立場から必要な情報提供や啓蒙活動も必要と思われる。そして住宅だけの話に限らず、都市空間の構成要素として関係の深い、交通機関や公園施設も含んだ生活関連施設の整備も合わせて推進されるべきである。

魅力ある都市集住は必ずしも一定のルールで達成されるものではなく、多様な生活スタイルの受け皿として、多様な価値観と方法論の展開の中で、混沌として醸成されてくるものと思われる。この中にあって、未来を洞察する示唆に富むオピニオンリーダーとしての建築家もまた大きな役割を担うものと思われる。

（編集幹事／**田中直人**　神戸市役所）

1

工場地帯から大型住宅団地へ　淀川リバーサイド

大阪市大淀区長柄東１丁目ほか

事業主体　大阪市、住宅・都市整備公団、大阪市住宅供給公社

土地利用

住宅用地	面積　16.4ha
道路	7.4
公園	9.6
教育施設	1.7
その他	0.5
合計	35.6ha

従前の土地利用

公共公益施設	道路	面積　2.5ha
	公園	1.5
	教育施設	——
	計	4.0
宅地	住宅店舗	4.5
	既買収	13.1
	工場	6.8
	計	24.4
その他		7.2
合計		35.6ha

住宅の建設計画

事業主体	種類	戸数
大阪市	賃貸	730戸
住宅・都市整備公団	賃貸・分譲	1,530
大阪市住宅供給公社	分譲	970
合計		3,230戸

昭和40年には300万人をこえていた人口が、以来減少を続けている大阪市では、この傾向に歯止めをかけるため、種々の住宅政策を実施してきたが、その政策の一環として、淀川沿岸の工場跡地を住宅団地に整備することが進められている。

淀川リバーサイド地区（大阪市大淀区長柄東１丁目ほか）の住環境の整備も、この政策に沿った重要なプロジェクトの一つである。昭和54年度から、特定住宅市街地総合整備促進事業により、事業に着手して５ヵ年を経過し、かつての大工場地帯は豊かなオープンスペースに取り囲まれた高層住宅団地に変容しつつある。

この特定住宅市街地総合整備促進事業は、大都市の既成市街地で、都市機能の更新、居住環境の改善および良好な住宅の供給を促進するため、国の助成を仰ぎ、住宅等の建設および公共施設の整備を総合的に行う制度である。工場跡地等の大規模な団地建設に適した制度であり、昭和54年度から発足し、大阪市内でもほかに高見地区、桜之宮中野地区で、事業が実施されている。

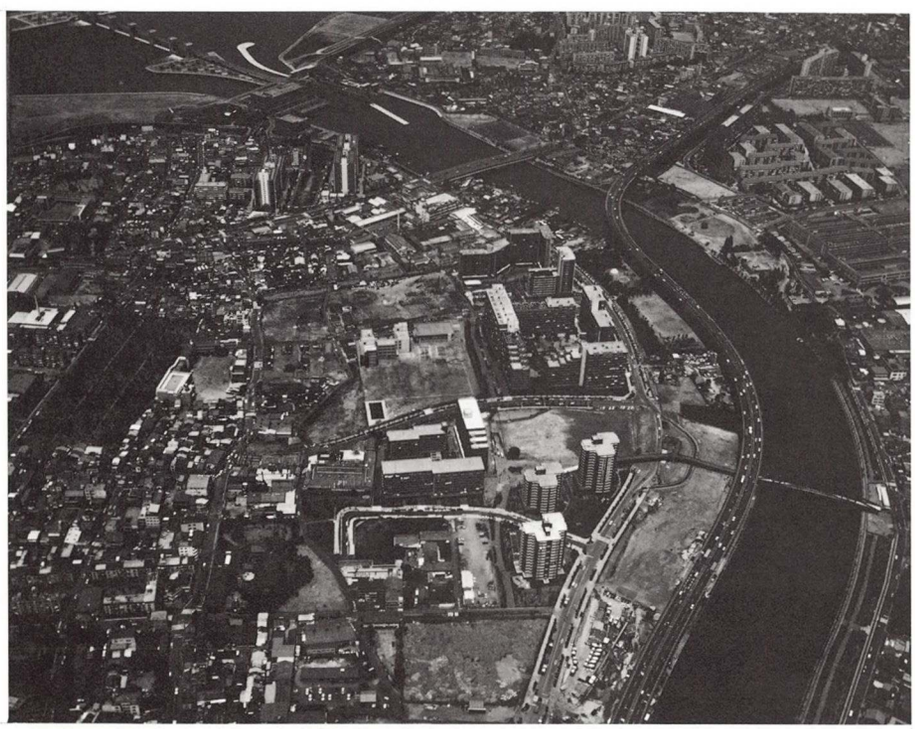
大阪市はこの制度により、当地区に3,230戸の住宅建設をし、約10,000人が住む住宅団地に整備し、この団地に作られる公園、中学校、住宅地のオープンスペースを緊急時の避難場所として整備する計画をたて、これらの公共施設の整備と、併せて地区の一部で進められている改良事業の施行に取りくんでいる。住宅・都市整備公団は、大阪市住宅供給公社とともに、住宅建設を受け持っている。

住宅団地のデザインの構想としては、地区西側の都市計画道路に沿って住棟を配置し、１階部分はショッピングセンターや、郵便局等の公益スペースとし、賑わいのある都市軸を形成させる。地区東側は塔状住棟を配置し、大川、毛馬桜之宮公園、長柄東公園のオープンスペースと、団地の中央部が一体となるような、空間の演出にある。

住棟のデザインは、三事業者の住棟に異和感が出ないように外壁の色彩を調整し、統一感あるデザインにしてある。住棟のスカイラインに変化をつけ、周辺への景観を配慮している。とくに公団住宅のスカイラインは、要所で段状になっており、淀川リバーサイドの景観の大きな特長になっている。ファサードに力量感が出るようディテールに工夫をし、高層高密度団地の単調さを避けている。

住宅・都市整備公団は3,230戸のうち、1,530戸を建設する予定で、すでに 1,255 戸着工している。（全体では1,903戸着工済み）　内訳は1,167戸が賃貸住宅、88戸が分譲住宅である。梅田までわずか2.5kmという都心立地で、豊かなオープンスペースに取り囲まれた住環境、永住できる大型住宅、これがこの地区での魅力で、得がたい住環境であると評判も上々である。都市を活気あるものとするために、都市の住環境をこれからどう整備していくのかという課題に、先鞭をつけた事業である。

（伊倉雅晴／住宅・都市整備公団関西支社淀川市街地整備事務所長）





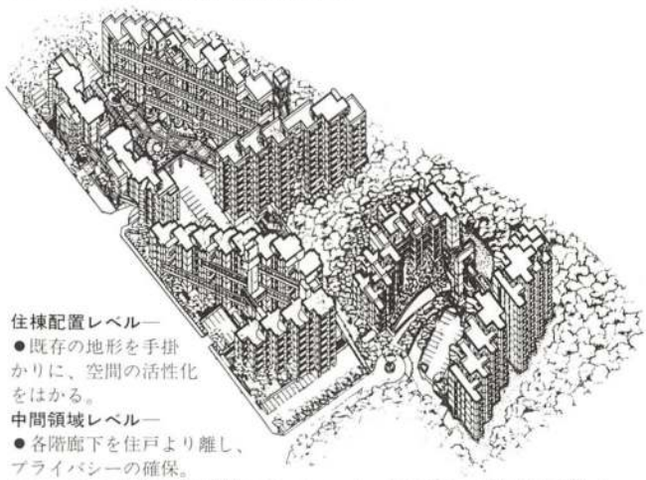


2

高密度立体路地型　千里山ロイヤルマンション1～4番街

大阪府吹田市千里山西4丁目、竹園1丁目

事業主体　川鉄商事株式会社
設計監理　遠藤剛生建築設計事務所
建築施工　株式会社錢高組・三木組共同企業体
敷地面積　21,357㎡
建築面積　9,223㎡（延床面積37,135㎡）
構造規模　SRC造一部RC造、地上11階、塔屋2階
住戸規模　73.60～129.0㎡　373戸　店舗9店
工　　期　昭和53年10月～昭和60年3月



住棟配置レベル—
●既存の地形を手掛かりに、空間の活性化をはかる。
中間領域レベル—
●各階廊下を住戸より離し、プライバシーの確保。
●4・7・10階等の廊下階にプレイロット、植え込み、砂場等を設ける。
●人工地盤と子供の水遊び場。
●植樹計画等。
住戸レベル—
●屋外のリビングとして機能するテラス。
●住戸前にポーチを設け、住戸のアイデンティティの表出の場としている。
●外部との関わりの多い住戸型式。



今日、コモンスペースを持った低層高密度集合住宅をタウンハウスと称している。また「低層高密度快適住宅」という人もいる。さしずめこの千里山ロイヤルマンションのコンセプトを少ない活字の中で、誤解が生まれることを承知の上で、あえて同様の言い方をするならば、「高層高密度立体路地型快適住宅」とでもいうのだろう。

集合住宅を概観すれば、住棟のフォルムはその団地自身、および周辺地域のアメニティのレベルと深く関わり、中間領域のしつらえは、すなわち居住者のその住宅に対する評価が確定する大きな要素になっている。また各住戸は日照・採光・通風等の基本的な要素を満足し、なお、その上に住戸ごとのアイデンティティや接地性の高さなどが評価の対象に上ってくる。これら種々の条件を満たすべく努力したのが、この計画の概要である。

しかし、この土地の特性は、北下がり斜面角度約30°、平地はすべて谷筋といった感じの土地であり、およそ住宅適地とはいい難かった。そのような土地だったからこそ、変化に富んだランドスケーピングができたともいえる。

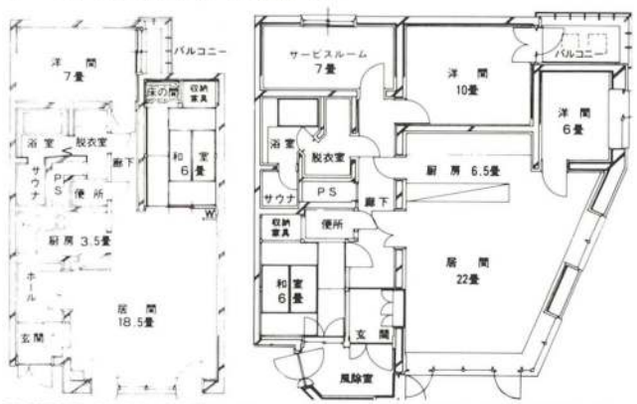
（中川恒雄／川鉄商事株式会社大阪住宅グループ）

3

地熱源の冷暖房　ルーブル富士神宮外苑

札幌市中央区宮ケ丘474－109

事業主体　株式会社興隆富士商
設計監理　やまと企画設計株式会社、株式会社北旭建築設計監理事務所
建築施工　木田建業株式会社、三共建設株式会社
敷地面積　1,471.089㎡
建築面積　812.142㎡（延床面積2,719,243㎡）
構造規模　RC造、地下1階、地上3階
住戸規模　18戸
工　　期　昭和58年3月～昭和58年8月



B-TYPE　2LDK専有面積83.998㎡　　F-TYPE　3LDK＋S専有面積130.104㎡

■地熱源による省エネ、アクア給湯冷暖房システムの設置——地熱は、空気や水にくらべ、冬でも外気温の影響は受けにくく、年間を通して安定した熱カロリーが得られる。地熱を利用するため、当然、暖房・給湯の維持費は安くなり、しかもガスや灯油を使わないので安全である。
■有線放送（BGM）の各室内への引き込み。
■全戸サウナ設置。
■24時間体制のホームセキュリティ。
■クルップ・ガレージ（SPH式）——敷地活用のため、地下に、多層循環方式のリフトを兼ね備えたガレージ。

都心に近く、北海道神宮、円山公園ときわめて環境に恵まれたマンションである。外観は自然の景観を映し出すミラーガラスとレンガタイル仕上げである。

テーマとして、北国でのオール電化システムをあげてみた。このシステム実現に当たっては冬期間の暖房を無視しては考えられず、安定したエネルギーの確保が重大であった。それを可能にしたのが、地熱源、アクア給湯冷暖房システムの設置にある。年間を通して安定した熱カロリーが得られ、維持費が安く、同時に冷暖房給湯の供給が約束され、また、火災、爆発等の不安もなく、大変好評を得ている。

（谷内一憲／株式会社興隆富士商営業部営業課長）

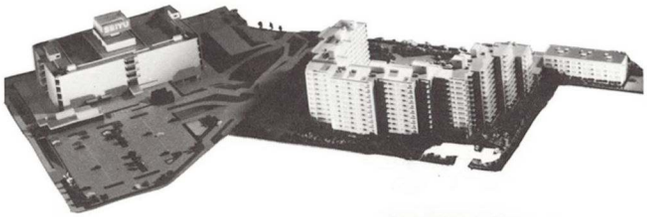


4

自然と都市が同居する ヴィルセゾン小手指

埼玉県所沢市小手指１－25－１

事業主体　西武都市開発株式会社
設計監理　圓堂建築設計事務所
建築施工　戸田建設株式会社
敷地面積　15,744.40㎡
建築面積　4,024.55㎡（延床面積31,481.79㎡）
構造規模　SRC造、A・B・C棟：地上11階、D棟：地上４階
住戸規模　総戸数294戸
工　　期　昭和58年９月～昭和59年11月









ヴィルセゾン小手指は、西武都市開発が、21世紀に向けた街づくりと多様なライフスタイルに対応した住空間開発の一環として開発に取り組んだもので、昭和59年11月に完成したものである。

この開発は、以下の２点を基本的な考え方にしている。

①単なるマンション建設だけではなく、ショッピングセンターから、文化施設、公共施設、情報発信・サービス施設まで、今までのノウハウを結集して各種機能を整備したプロジェクトで、「街づくり」の思想を貫いている。

②住宅に対するニーズがますます多様化、個性化する中で、将来のライフスタイルの変化に対応し、高品質・高感覚な住空間を提供する、新しいタイプの郊外型マンションのあり方を徹底的に追求したものである。

以上を基本に、内部空間および外部空間を創造した。

武蔵野に残された自然を生かし、さらにテーマ樹木であるシャクナゲやケヤキ１万本を植えて育てた自然の中に、敏感な都市が同居する、そんな街づくりをヴィルセゾン小手指は目指したのである。

その中核となる〝コミュニティフォーラム〟は、24時間体制で入居者の暮らしをバックアップしている。

●各戸と結ばれた情報盤による24時間のセキュリティシステム。

●24時間体制のホテルライクなサービス――来客の応対、外出時のメッセージ・荷物の預かり、クリーニングやDPEの受付、各種チケットの販売、催事案内など――。

●レンタルルーム（有料）――不意の来客の宿泊用、会議や集い――。

●音響ルーム、スタディルーム、多目的ホール（有料）――地域の集まりやパーティ、展覧会などの生活のひろがり――。

●OAルーム（有料）――在宅勤務を可能とする――。

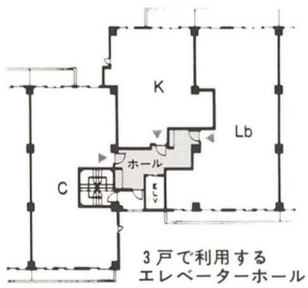
●屋上にパラボラアンテナを設置し、各戸を結ぶCATVケーブルを敷設して、CATV自主放送および衛星放送受信を可能としている。

この〝コミュニティフォーラム〟は、ヴィルセゾン小手指の入居者だけではなく、地域の人々にも開かれたものとなっている。

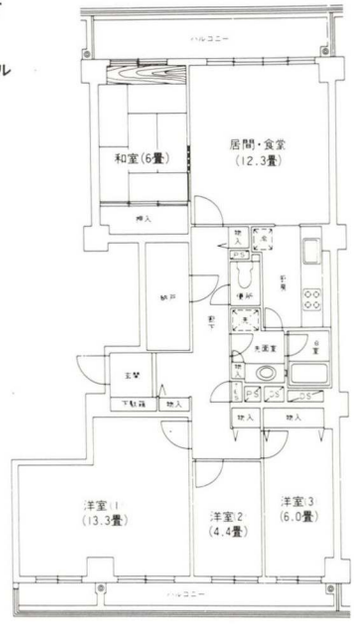
住空間へのニーズの多様化、個性化に対しては、住戸基本26タイプに加え、個性的な空間演出が可能なメニュータイプを採用した。また１フロア３戸・１コア33戸のクラスター方式の採用によって、エレベータを軸にした上下の結びつきを狙ったが、いわゆるご町内の連帯も生まれてきているようである。

昭和59年４月から販売を開始しているが、一般的な傾向としては、高質な生活を希求される方が多く、また今までにはなかったような客層の拡がりが感じられ、多様な住宅に対するニーズに対応し得る空間が提供できたのではないかと考えている。

（松儀恵之／西武都市開発株式会社企画室）



3戸で利用する
エレベーターホール



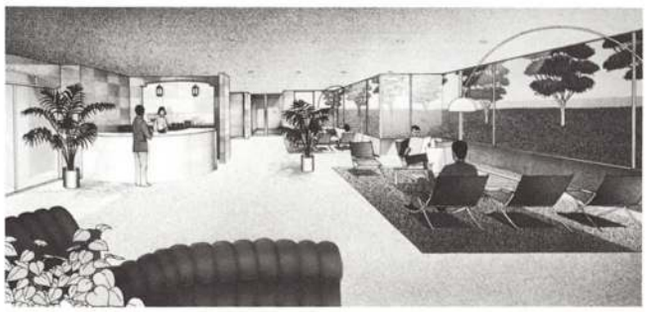
Laタイプ（４LDK）
専有面積109.95㎡
バルコニー面積19.52㎡

5

ニューメディアマンション City21 ルネ御苑プラザ

東京都新宿区新宿１－24－７

事業主体　総合地所株式会社
設計監理　株式会社日建ハウジングシステム
建築施工　株式会社熊谷組
敷地面積　1,667.97㎡
建築面積　992.68㎡（延床面積　11,167.33㎡）
構造規模　ＳＲＣ造、地下１階、地上14階、塔屋１階
住戸規模　303戸（住戸284、事務所12、店舗５、管理員室１、管理センター１）
工　　期　昭和59年７月～昭和61年２月





＊CNN＝24時間英語放送
＊＊BGV＝環境映像システム

都市は未来を呼吸する―未来を先取りしたマンションとして先進のニューメディア機能（双方向ＣＡＴＶ、ＣＮＮ*、文字情報システム、ＢＧＶ**、電話５回線等）を採用。

建物はホテル並みの内容としてロビーラウンジ、フロント等を設けるとともに、ホテル並みの各種サービスを提供し、ＯＡ機器もフロント内に設置。都心のフットワークの良さを最大限に利用できる立地に、居住用にもビジネス用にも快適性が満喫できる多目的空間を実現した。

（島津諄二／総合地所株式会社開発事業部）

6

ワンルームのはしり ステュディオ新大阪

大阪市東淀川区山口町288

事業主体　丸紅株式会社
設計施工　株式会社大林組
敷地面積　2,236.19㎡
建築面積　1,666.23㎡（延床面積16,336.79㎡）
構造規模　ＳＲＣ造、地下１階、地上11階、塔屋２階
住戸規模　ワンルーム形式12タイプ490室
工　　期　昭和47年12月～昭和49年４月



新幹線東京・大阪間が開通したのは昭和39年の春で、新大阪駅を足場に、ビジネスマンの行き来が激しくなった。新大阪駅周辺にはビルが建ち始め、ここに事務所を構え、東京との連絡基地とする企業が見られるようになった。

新幹線利用の出張者また単身赴任者にステュディオ（ワンルームのフランス語）の宿泊室をつくろう、これが〝ステュディオ・シリーズ〟の立案の発端である。

昭和49年４月、ステュディオ新大阪が誕生した。ホテルのムードと機能をもたせ、〝都市人間の拠点〟となることを願った。夕食も用意できる食堂、サウナ、温水プールを１階共用部分に設け、フロントではサービス（ベッドメーキング、掃除、洗濯）の取り次ぎをする。中庭、ロビーは来客の接待にも利用でき24時間開放されている。冷暖房は全館セントラル方式とした。

分譲対象者はターゲットを東京へも広げたため、入居者の３割は東京の人となり、490室は即日完売に近かった。社宅や事務所などにも利用されている。

ステュディオ新大阪の入居が始まってから10年以上を経過し、ワンルームマンションのスラム化が取沙汰されているが、ここでは維持管理を管理専門会社に移し、ソフト面でのサービスのノウハウを積み重ね、ワンルームマンションでありながら、所期の目的を質量とも維持している。

昭和49年当時は、地域冷暖房、集中冷暖房などが地域計画、建築計画に盛んにとりこまれていた。ステュディオ新大阪でもセントラル方式を採用したが、単身入居者から管理運用費面でのムダを衝かれることもあった。また共用施設としてつくったプールは利用頻度が少ない。この実態を見つめ、以後各戸冷暖房に切り替えるなどの試行錯誤を繰り返しながら、このシリーズは東京で虎の門、東銀座などに三カ所、大阪で新御堂を建設し、今後は主要駅にもつくっていく予定である。

（追矢史郎／丸紅株式会社大阪開発建設部部長補佐・談）

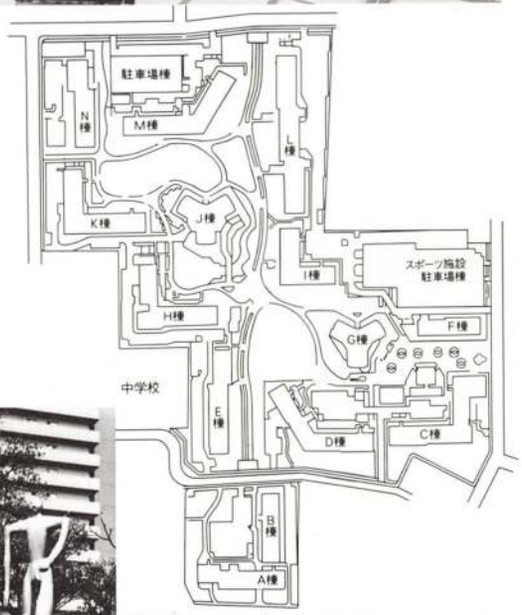
7

美しい公園都市の創出　ベル・パークシティ

大阪市都島区友渕町１－８－１ほか

事業主体　三井不動産株式会社、カネボウ不動産株式会社、株式会社デベロッパー三信、進和不動産株式会社、三鐘都市開発株式会社
設計監修　株式会社IDE建築事務所
建築施工　鹿島建設株式会社、三井建設株式会社、株式会社竹中工務店
敷地面積　152,590㎡
建築面積　43,000㎡（予定）（延床面積　378,000㎡）（予定）
構造規模　SRC一部RC造、地下０～２階、地上７～36階、塔屋０～２階
住戸規模　１LDK～５LDK
工　　期　昭和56年10月～昭和65年10月（予定）







彫刻▲



OAワークステーション▲ ベル・コンフォーツ▼



当計画は、梅田から北東約３kmという都心地に、約10年の歳月をかけ、約3600戸の集合住宅を中心とするニューシティを建設するものである。計画の策定にあたっては、以下の２点を基本方針として掲げた。

（１）　町村単位にも匹敵する大規模団地となるため、附帯施設をもつ複合型開発とする。施設については、単に利便性を提供するだけでなく、集合居住のメリットが生かせ、コミュニティ活動を促進するものや、都会のもつアメニティを享受できるものまで盛り込むこととし、今後増大するであろう余暇時間の有効活用に資するものとする。

（２）　建物配置を囲み型とし、それによって生ずる広い中庭空間から車を追い出し（ノーカーゾーン）、彫刻等の配置、都心では失われた水、緑、花卉といった自然の要素を再生し、ゆったりと憩える快適な場を創出する。

二つの方針は、美しい公園都市というコンセプトを打ち出すことにより、計画の独自性を高め、事業命題である大量販売に必要な、顧客の郊外からのＵターンを強く意識したものである。この方針のもとに、住居、商業、およびその混合といった三つの用途別ゾーニングを行い、住棟、施設の配置を計画。また中庭部についても、杜の広場、水と出会いの辻広場、芝生広場、ベルプラザ（団地のゲート広場）という性格付けをし、四つに区分した。

この二つのゾーン・マトリックスにおいて、ベルプラザは、住居と商業（居住者と来街者）の混合地域であり、玄関部となるため、大きな樹木、池、彫刻を配し、ゲートとしての空間を演出するほか、アメニティ、コミュニティ関連施設の配置密度を高め、賑わいと文化のプラザとして位置付けた。具体的には、商業店舗、鐘紡株式会社所有の美術品を主展示する鐘紡繊維美術館、児童・主婦のためのスタディルーム、カルチャールームといった教養施設、老人憩いの家、クリニック等の地域施設を導入した。このほか、プール、アスレチック、テニスなどのスポーツ施設も完備、健康ニーズにも対応するほか、主婦が学び、働けるＯＡワークステーション、多様な内容をもつライフサービスショップ（ベル・コンフォーツ）といった特色ある施設、情報化時代の先駆けとなるCATV施設も設け、多様なライフスタイル・ニーズに応えられるものとしている。

計画の進捗については、現在、住宅で約１／３が完成入居済み、中庭部、各施設については過半以上が未了であり、計画の全貌をかい間みる程度の状態となっている。

したがって販売についても、言わば計画（理念）を売っている段階であるが、結果は順調裡に推移している。とくに当初目論んだ郊外からのＵターンの顧客割合が多く、喜んでいる。

今後、計画者側が上述の意図をもってつくる諸施設のかなり、そして中庭部のほとんどは、住宅購入者の資産となり、管理運営の主体が購入者に移行することとなる。このため、これらの仕掛け、装置について、上手に使って、健康で快適な生活が享受できるよう、継続的にアシストしていく責務が計画者側にあると考えている。

（山田理秋／三井不動産株式会社大阪支店課長代理）

8

安全と健康を主コンセプトに **パレ武庫川プルミエールI**

兵庫県尼崎市西昆陽２―31ほか

事業主体　株式会社タケツー
設計監理　株式会社ＡＧ設計、吉川建築研究所
建築施工　清水建設株式会社
敷地面積　6,246㎡
建築面積　2,345.51㎡（延床面積13,938㎡）
構造規模　ＲＣ造一部ＳＲＣ造、地下１階、地上10階
住戸規模　177戸＋管理人室
工　　期　昭和57年７月～昭和58年７月

〝We are Life Co-ordinators〟の考えのもとに、「心地良い生活」を、住空間を媒体として提案しているが、「心地良い生活」をする住空間には、建物としてのハード面だけでなく、ソフト面も必要である。

そこで、住空間としてのマンションに、①保障システム、②安全性、③健康、④人脈ネットワーク、⑤情報システム、⑥活動性、⑦自由性、⑧自然、⑨文化、⑩利便性という10の要素を定め、それらを具現化したのが、〝パレ武庫川プルミエールＩ〟であり、昭和59年11月末に竣工した〝パレ武庫川プルミエールII〟である。

パレ武庫川プレミエールＩでは、全国初のコンピュータ制御によるセキュリテイシステムをとり入れて、この10の要素のうちの安全性を確保している。

また、〝ライフパックサービス〟は、10の要素のうちの利便性を満たすために、ホテル並みのサービスを目標にしてパレ武庫川プルミエールＩの入居と同時に開始した。利用は強制ではないが、入居者の約95％が何らかのサービスを利用しており、徐々に生活に密着してきているみたいである。内容的には、私どもとしても十分満足いくものではなく、また世の中が「サービス」をどのようにとらまえていくかによっても、今後刻々と変化していき、させていくものだと考えている。ただ、入居者との心の交流がない内容だけには、したくないと思っている。

（浅野智子／株式会社タケツープロジェクトオフィス）



▲パレ武庫川プルミエールＩ



ライフパックサービスの自然食品フェア▶

▼ライフパックサービスのガレージセール



9

テレコントロールシステム　**グロリア初穂ときわ台**

東京都板橋区南常盤台１―５―５

事業主体　株式会社初穂
設計監理　株式会社都市企画設計
建築施工　古久根建設株式会社
敷地面積　1,274.531㎡
建築面積　　506.834㎡（延床面積3,819.40㎡）
構造規模　ＳＲＣ造、地上９階、塔屋１階
住戸規模　65戸（住宅63戸、事務所２戸）　26.6㎡～75.78㎡
工　　期　昭和59年１月～59年12月

現在、住宅は確実にホームオートメーション化にあり、それは安全であり、便利さであり、住感覚の充実でなくてはならない。

そこで、電話回線を利用して、外出先からでも、防犯・防災の安全確認、玄関錠の施錠、浴室への給湯、エアコン・照明のON／OFFを遠隔操作するテレコントロールシステムを研究開発した。

すでに本システムを設置したマンションでの評判は良いが、より集合住宅のスケールメリットを生かし、ハード＆ソフトの充実したシステムづくりを目指している。

（佐藤克彦／株式会社初穂工事部主任）



10

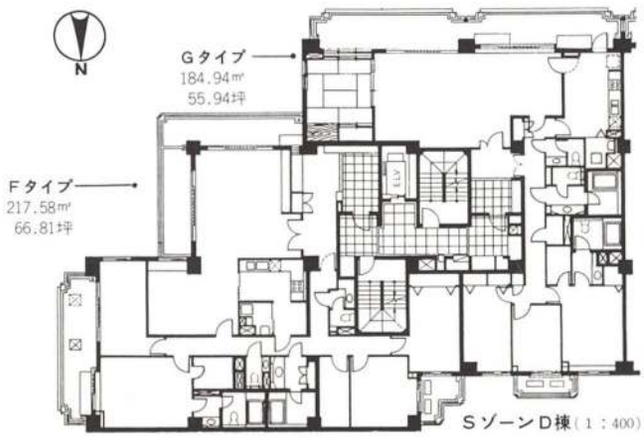
すまいとなる都市空間 広尾ガーデンヒルズ

東京都渋谷区広尾4－1ほか

事業主体　住友不動産株式会社、三井不動産株式会社、三菱地所株式会社、第一生命保険相互会社
設計監理　三菱地所株式会社、圓堂建築設計事務所
建築施工　広尾ガーデンヒルズ共同企業体(清水、大成、大林、鹿島、三井、三菱)
敷地面積　66,272㎡（うち住宅用地　57,255㎡）
建築面積　18,184㎡（延床面積　182,375㎡）
構造規模　RCおよびSRC造、地下1～2階、地上5～14階、塔屋1階、15棟
住戸規模　49㎡～362㎡　全戸数　1181戸
工　　期　昭和57年3月～昭和62年7月



		敷地面積	延べ床面積	棟数	階数	戸数	駐車台数	備　考
イーストゾーン	第1期	8,492㎡	30,246㎡	3棟	5~9階	227戸	158台	
ノースゾーン	第2期 第3期	18,437	44,510	4	7~12	333	216	
センターゾーン	第4期	17,873	29,997	2	14	162	116	店舗　1,464㎡ 集中管理センター
ウエストゾーン	第5期		32,220	3	14	272	177	
サウスゾーン	第6期 第7期 第8期	12,450	45,400	3	8~12	187	196	



広尾ガーデンヒルズの敷地は、昭和47年末に4事業主が日赤医療センターより譲り受けたもので、約6.6haの面積を有し、都心部より地下鉄日比谷線で20分弱の所に位置する。敷地西側は日赤医療センター、南側は聖心女子大学、そして周辺には順心女子学院、東京女学館等の学校も多く、港区と境を接する文教地区に位置する。

開発計画は超高層から低層まで種々の計画が立案されたが、昭和56年に現在の中高層によるマスタープランが実施に移され、約1200戸、15棟を8期に分け、第1期を58年8月、最終期を62年2月竣工として、現在最終工区（6、7、8期）を工事中である。すでに12棟、約1000戸の住戸が完成し、入居済みである。

本開発計画は、1200戸の住宅とその70%以上の台数を収納する駐車場を確保しつつ、「緑豊かな永住型都市住宅街」を計画することが目標であった。

販売企画上は、都心部であるがゆえ全戸高額なものにならざるを得ないわけで、そのグレードをどこに設定し、住戸規模のバリエーションをどれだけ広げるかが課題であったようである。また一般に億ションと呼ばれる高額物件は20～30戸単位のものが多く、1200戸もの団地状のものは購入者に受け入れられるであろうか、といった疑問もあったようである。

計画上からは、設定されたバリエーションが広すぎるため、調和のとれたコミュニティーを持つ住宅街になり得るか、そのコミュニティー単位をどうするか、また高級住宅団地とは何か、等々問題は多かった。

マスタープランの計画はそれら諸々の問題をふまえた上で、既存の団地イメージを払拭した集合住宅街を造ることを第一のコンセプトとして進めた。手法としては、敷地のゾーンニングあるいは住棟のグルーピングと呼ぶものを採用したのが、本計画の骨格といえよう。具体的には、敷地を5つのゾーンに分け、それぞれイースト、ノースウエスト、サウス、センターと名付け、ゾーンごとにそれぞれ特徴を持つよう計画した。各ゾーンは住戸の広さ、プラン、エレベーション、外装タイル等が異なり、おのおの個性的に計画されている。そうすることで入居者は1200戸の団地の住人という意識から、各ゾーン(おおむね200～300戸単位)の住人であるという意識に変わり、コミュニティー単位の規模としてもまとまりあるものとなった。各ゾーンはゾーン単位でほぼ同グレードのものとなり、コミュニティーの意識レベルもある範囲でそろえられたのではないかと思う。街の景観としても15棟の団地というイメージから、5つのゾーンの集合体が広尾ガーデンヒルズといえるものとなり、変化のある街づくりができたといえよう。ただし、5つのゾーンが独立してバラバラにならぬよう、全体としては外構計画、植栽計画で調和を計った。

街全体の景観づくりでは、台数にして860台強の駐車場の処理が問題であった。一般的に住戸数の50%程度の駐車場を屋外に求めた場合、緑地あるいは広場がなくなるのが通常であろう。ここではそのほとんどを地下あるいは半地下で扱い、その上部は植栽スペース、中庭、ショッピングプラザ等として計画した。駐車場の地下化は緑多い街のイメージを高める上で大きな役割をはたしたといえる。また事業4社の理解を得て、既存の大木を敷地内で移植しながら残せたことも、各工期竣工時点でただちに完成されたたたずまいを感じさせるのに効果的で、住宅地としての景観を整えた。

この計画のコミュニティー施設は、とりたてていえるものは計画していないが、住棟間の中庭、豊富な植栽、赤城石の石垣、噴水のあるプラザなどが住民共通の財産となり、コミュニティーの媒体となって、都心部ではあっても個々人の居住空間にとどまらず、外部空間を含めて街全体が「すまいとなる都市空間」となることを願っている。

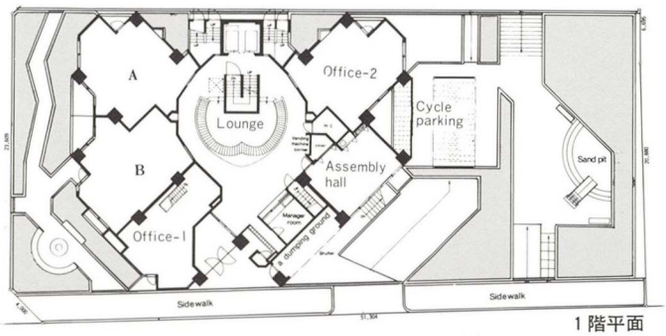
（伊藤肇／三菱地所株式会社第二建築部副長）

11

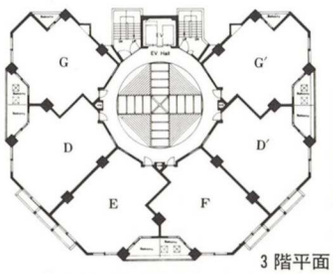
ホテル機能を装備する ノバオリンピアードタワー

大阪市天王寺区味原本町16－4

事業主体　株式会社カネイチビル
設計監理　株式会社ヘキサ
建築施工　不二建設株式会社
敷地面積　1519.68㎡
建築面積　583.27㎡（延床面積6633.95㎡）
構造規模　SRC造、地下１階、地上14階、塔屋１階
住戸規模　81戸
工　　期　昭和59年12月～昭和60年５月

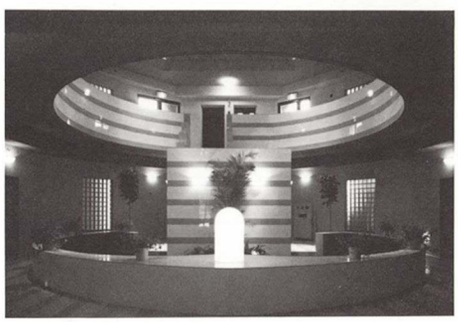


1階平面



3階平面（縮尺 1:700）


吹抜けを見上げる


ラウンジ



都市型集合住宅は、付近の都市空間にマッチしたフォルムで、より良好な環境を創り出さねばならない。広い空地と塔状建物は、その結果として出来たわけである。これからの集合住宅には、ホテル的な要素が要求される。吹抜けと天窓の下にあるラウンジは、空間、照明、音楽、仕上げに工夫をこらし、ホテルのラウンジの雰囲気を出して入居者、来客者のやすらぎの場、コミュニケーションの場を創った。管理人室ではなくインフォーメーションルームにし、カウンターで種々のサービスをさせたのもホテルから取り入れたものである。また、家族ぐるみでヘルシーなコミュニケーションをと、アッセンブリーホール、アスレチックジム、サウナルーム、プレイロット、遊歩道などを設けた。老人・病人・一人ぐらしなどいろいろな生活形態にも十分対応できるセキュリティーシステムで、従来の防災面だけでなく、健康管理までできるトータルなセキュリティーを導入した。

住宅供給者として、都市の中にマンションを建てるとは、その住空間が都市空間に影響を与えることであり、まち（都市）づくりなのである。私たちは大阪が好きだ。大阪の町をより良くするためにも都市型集合住宅の開発を考えている。

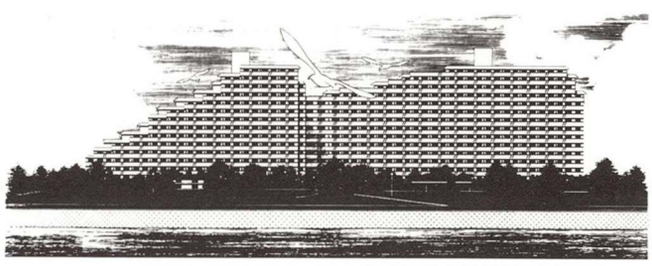
（末吉貞雄／株式会社カネイチビル開発部企画課）

12

公園を借景にして ルネ門前仲町パークステイツ

東京都江東区越中島１－３－１

事業主体　総合地所株式会社
基本設計　株式会社東急設計コンサルタント
設計施工　株式会社長谷川工務店
敷地面積　13,568.26㎡
建築面積　4,847.71㎡（延床面積40,648.87㎡）
構造規模　SRC造、地上14階、塔屋１階
住戸規模　467戸（管理人室１戸含）
工　　期　昭和59年７月～昭和61年１月



郊外から都心へ――ここ数年首都圏のマンションライフの志向が都心回帰（Ｊターン）の傾向を見せるなかで、当計画のコンセプトは、「都心にいて、郊外なみの水と緑に囲まれ、ゆとりある空間に住まいたい」というまさしくマンション購入者の理想ともいえるコミュニティづくりをめざした。

東京駅より2.5km圏の交通至便な好立地に、全体配棟は、敷地内のプレイロット、和風庭園、洋風庭園という三つのオープンスペースが、隣接する越中島公園に有機的につながる計画とした。住戸のメインタイプは公庫の付く価格内で、ゆとりある３LDK・81㎡のスペースを実現させている。

居住空間は、高さへの広がりを考慮し、リビングの天井高平均2.7m、建具高1.9mを確保した。また、内装材とキッチンはモノトーンと茶系のものを用意し、入居者の選択に任せている。

（蓑田俊彦／総合地所株式会社住宅事業第一部）

13

海側の新しい生活居住圏　ポートピアプラザ

神戸市中央区港島中町6－14

事業主体　三菱地所株式会社、三菱商事株式会社、
　　株式会社大林組、川鉄商事株式会社
設計監理　三菱地所株式会社
建築施工　株式会社大林組
敷地面積　31,502㎡
建築面積　10,153㎡（延床面積102,984㎡）
構造規模　高層住棟　SRC造、地下1階、地上25階、塔屋1階
　　中層住棟　RC造、地上8階、塔屋1階
住戸規模　平均87.43㎡
工　　期　昭和57年4月～昭和59年8月（第1期分）

神戸ポートアイランドは、水深約12ｍの三宮地先の海を六甲の山を削った大量の土砂で埋め立てて、昭和50年にできた人工島である。昭和56年に神戸市主催の神戸博があり、この大イベント開催を機に新交通システムのポートライナーをはじめ各種の都市施設が整備された。

本計画はその博覧会用地の跡地利用として神戸市によって昭和54年に行われたポートアイランド高層住宅用地コンペに4事業者で応募当選した案に基づいている。

敷地はポートアイランドの南側、インターナショナルスクエアに位置しており、海・山の景観は絶佳である。

この計画は当所より、古くからの神戸の山側の生活居住圏に対して、海側の新しい生活居住圏を提供することが企図されていた。すなわち、未来志向型の行動的な生活イメージを持つ都市生活者の生活環境にふさわしい文化・教養・スポーツ・健康といった能動的な都市施設を、イベント・語り合い・憩いのための各種の広場とともに計画に取り込み、それに加えて海・山を臨むリゾート性を兼ね備えた魅力的な高層集合住宅地を形成することであった。

①　環境　：　北に六甲山系、東・西・南に神戸の海を臨む眺望。ポートライナー、市民病院、ユニバーシアードスポーツ施設、国際交流センター、ポートピアホテル、ファッションタウン等々の国際級の都市施設に囲まれ、類を見ぬ都市景観を備えているが、本ポートピアプラザも4本のポイントタワー型25階建住宅棟を計画して街区のスカイライン形成の一翼を担っている。

②　敷地内都市施設　：　ポートピアプラザは都市生活を享受するための都市施設を併設している。その対象延床面積は7000㎡を超え、内容は物販店舗・飲食店舗・カルチャー教室等の諸施設、クリニック等のメディカル施設、25ｍプール、５ｍまでの水深を持つダイビングプール、トレーニングジム、ダンスフロアーを含むスポーツ棟である。そのほかに居住者用共用スペースとして和室集会室2室、図書室、プレイルーム、コミュニティルームなどがある。なお、駐車場は平面駐車場および2段式機械駐車場を現在220台ほど設けているが、最終的には約2倍とする見通しである。

③　広場　：　施設系ゾーンは東西に長く約100ｍもあるので、この南側に大・中・小の公園広場を結びつけている。大と中の広場はこの敷地内居住者のみならず、周辺外部に居住する人々にも開かれた空間である。大きい広場はクスの巨木をシンボルツリーとした障害物の少ないパブリック空間であり、周辺市民にとって利用頻度の高いオープンスペースとするとともに施設群への高い吸引力を期待したイベントパークである。中の広場は噴水のある池とパーゴラに覆われた明るく落ち着いたセミパブリックスペースである。このほかに当敷地内居住者のための小公園…児童遊園と、2階建施設棟の屋上を利用した各住棟間を繋ぐ遊歩道を設けている。

④　住棟・住戸　：　完成時の住宅棟数は25階の高層棟2棟・8階建の中層棟2棟計約850戸ほどで、このうち約半数が竣工している。この住宅団地では高層住宅の戸数の比率が約4対1と高いのが特徴であり、そのため防災計画の重点もここにおかれている。各棟とも3階に1階のエレベーターホールと廊下を設けたスキップアクセス形式を採用し、廊下に面する居室を持つ住戸を約10%に押さえ、全体としてプライバシーが高く、採光重視型のプランとなっている。中層棟にはメゾネットのアトリエ住宅もあるが、高層・中層とも、大型公庫付マンションでオプション（カーペット・タイル・キッチン・洗面化粧台材）を可能としている。

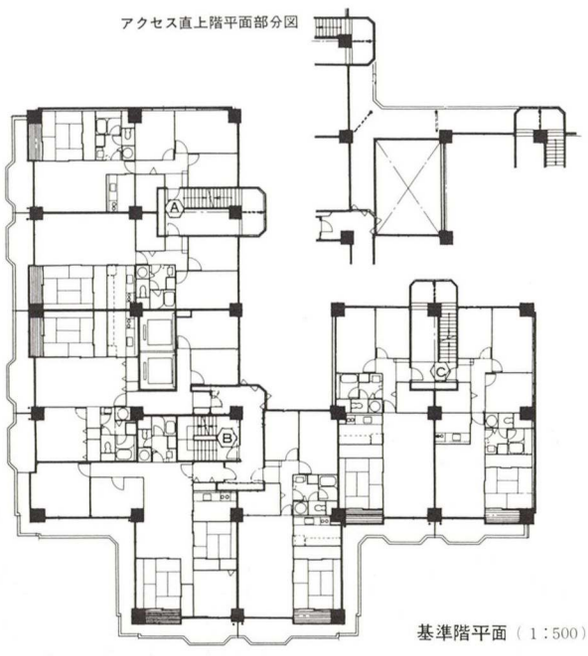
（大嶋顕世／三菱地所株式会社第二建築部参事）







アクセス直上階平面部分図



基準階平面（1：500）

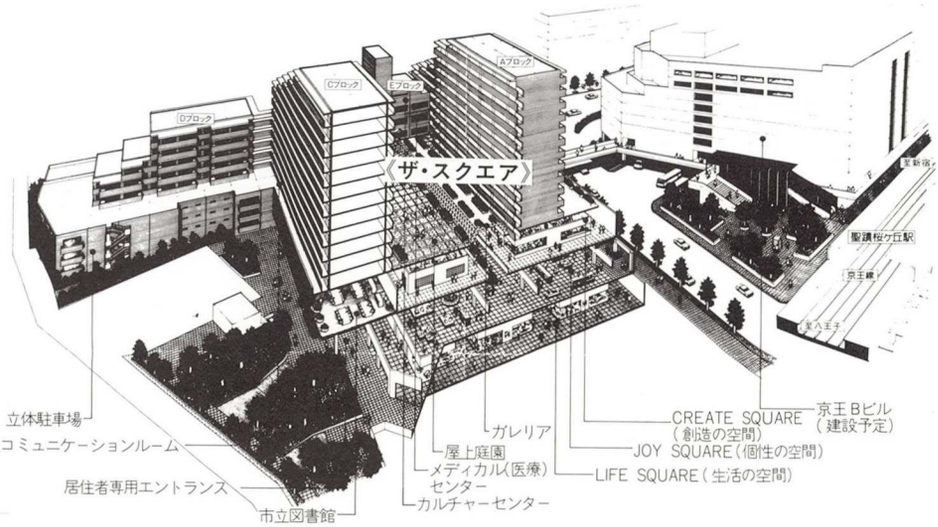
14

生活のソフト面を重視して　ザ・スクエア

東京都多摩市関戸291－8

事業主体　株式会社小松原研修事業団
設計施工　東海興業株式会社
敷地面積　11,181.480㎡
建築面積　8,785.753㎡（延床面積56,188.673㎡）
構造規模　SRC造、地下1階、地上14階、塔屋1階
住戸規模　363戸
工　　期　昭和57年11月～昭和59年3月





本プロジェクトは、多摩市聖蹟桜ヶ丘駅前における総合開発計画の一環として計画されたものである。計画にあたってのテーマは、「人の生活する街」としてこの建物を、ハード面のみにとらわれずソフト面からも充実させるべく開発した。

建物は住宅（363戸）と業務用施設に大別され、業務用施設はさらに、公共施設と民間施設に分けることができる。公共施設としては多摩市立図書館（現在のところ多摩市最大規模）、商工会館、民間施設は、店舗（約100店舗）、銀行、クリニック（住民のホームドクターとして位置づけている）、カルチャーセンター、幼児教育センター等が入居しており、日常生活に必要なものは、ほぼそろっている。

さらにこれらを有機的に機能させるべく、ソフト面の開発を行い、このザ・スクエアという一つのまちをネットするローカルメディアとして、ＣＡＴＶを全戸全建物に組み込み、運用しているが、メディアの性質上、運用コストをかけることができないと判断し、視聴者には一切費用負担をさせないというシステムをつくりあげている。

また、市立図書館に関しても、開館日・開館時間等は、既存の図書館と異なり、市の協力を得て商業施設の開業時間に原則的に合わせていただき、十分に機能を発揮できるよう配慮している。今後、京王電鉄の開発が進行するに従い、ペディストリアンデッキで他の建物とも連結される予定になっている。

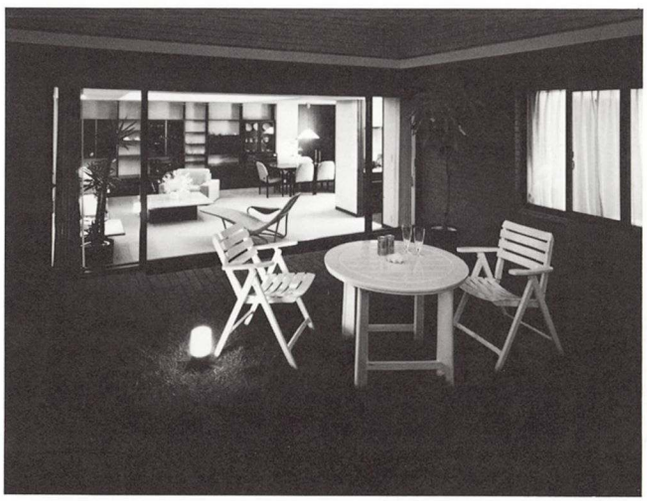
（川又康徳／株式会社小松原研修事業団）

15

外部空間をとりこむ　テラス岡本

東京都世田谷区岡本1－1185

事業主体　日本ランディック株式会社
設計監理　株式会社共同制作
建築施工　戸田建設株式会社
敷地面積　4,296.32㎡
建築面積　1,570.52㎡（延床面積3,365.12㎡）
構造規模　RC造、地上6階
住戸規模　30戸（他に管理事務室1）
工　　期　昭和60年1月～昭和60年11月



テラス岡本は、世田谷区岡本の緑豊かでゆるやかな南斜面を活かして建築される。計画のコンセプトは、セキュリティや管理サービス等の面で集合住宅としてのメリット・機能性を維持しつつ、順郊外地としての立地環境に見合った開放性・接地性を具体化したものとなっている。

特徴的なことは、各住戸とも33㎡を超えるまとまりのあるテラスがＬＤに連続していることにある。このテラスという形で積極的に外部空間を取り込むことによって、視覚的にも実際生活の上でも快適性を高めることを主眼とした。

（里見昌俊／日本ランディック株式会社住宅事業部）



縮尺1：300

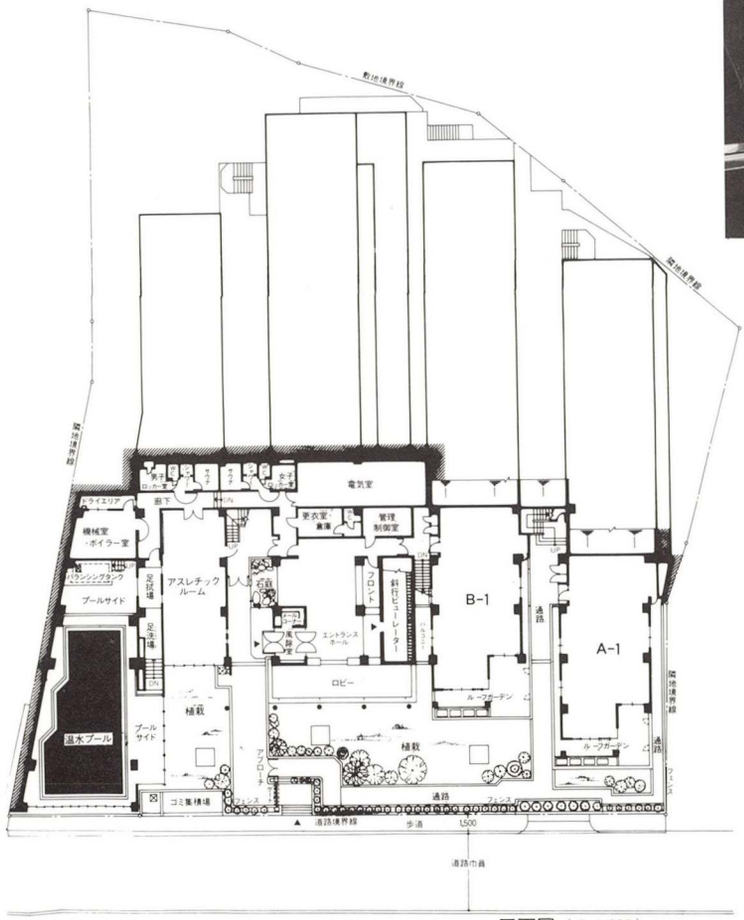
16

傾斜地を生かす階段式集合住宅 カサベルデ六甲

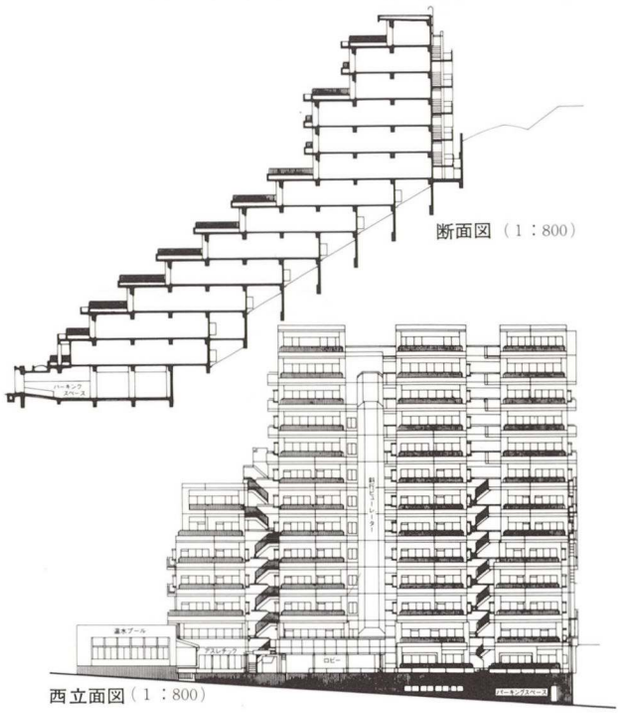
神戸市灘区鶴甲３－13－15

事業主体　浪花株式会社
設計監理　ＮＡＫ建築事務所
建築施工　株式会社奥村組
敷地面積　2,869.55㎡
建築面積　1,707.70㎡（延床面積6,259.06㎡）
構造規模　ＲＣ造、地下１階、地上13階
住戸規模　40戸
工　　期　昭和57年８月～昭和59年12月





平面図（１：600）



神戸の地域特性といえる六甲山麓の傾斜地を利用した階段式集合住宅で、設計の基本構想は英国建築家テッド・レヴィによるものである。

各階ごとに生じる下階屋上をルーフガーデンとして利用することと併せ、一戸建ての縦列配置で三面採光とし、居住性の向上をはかった。

近年、健康に対する関心が高まっているが、高額な販売価格からユーザー像を想定し、それらの人々の最大関心事である〝健康〟について焦点を絞り、付帯設備の充実をはかっている。すなわち、四季を通じて利用することのできる室内温水プール、アスレチックジム、サウナなどを設けた。これらは健康診断からトレーナーによる指導まで、一貫した健康づくりができるようシステム化されている。また、単に運動施設としてのみならず、住民のコミュニケーションの場として有効に利用されている。

（森本博／浪花株式会社専務取締役）







17

フリープラン賃貸住宅 光が丘パークタウン

東京都練馬区光が丘３

事業主体　住宅・都市整備公団東京支社
建築施工　株式会社内野工務店
建築面積　451.5㎡（延床面積2,106.00㎡）
構造規模　ＲＣ造、地上５階
住戸規模　61㎡～71㎡(専用面積)　30戸
工　　期　昭和60年３月～昭和61年３月

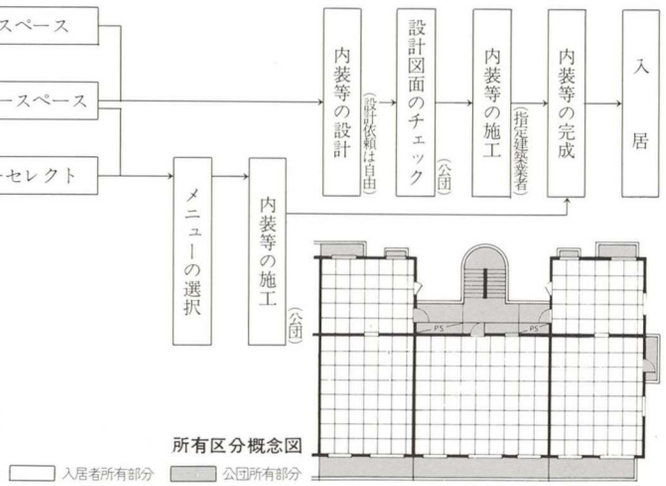
	専用床面積	戸　数
71㎡型(Ａ)中間住戸	71.54㎡	10
71㎡型(Ｂ)妻住戸	71.66㎡	10
61㎡型(Ｃ)中間住戸	61.52㎡	10

近年、公団住宅においても、賃貸住宅がその手軽さゆえか人気があるが、入居者はおしきせのプラン、内装等に我慢しなければならない。また分譲住宅では、内装等は、ある程度自由になるが、自分が触れることのできない、躯体、土地等もかなりの額で買っている結果となっている。このような、賃、分の二大供給体制の中で、それぞれの不満を解決すべく、躯体、土地等は、公団が所有、管理し、そのスペースを賃貸し、入居者は、その中で自由に、設計、施工できるというシステムを提案した。

（丸山耕三／住宅・都市整備公団東京支社市街地設計課）



光が丘パークタウン



所有区分概念図

入居者所有部分　公団所有部分

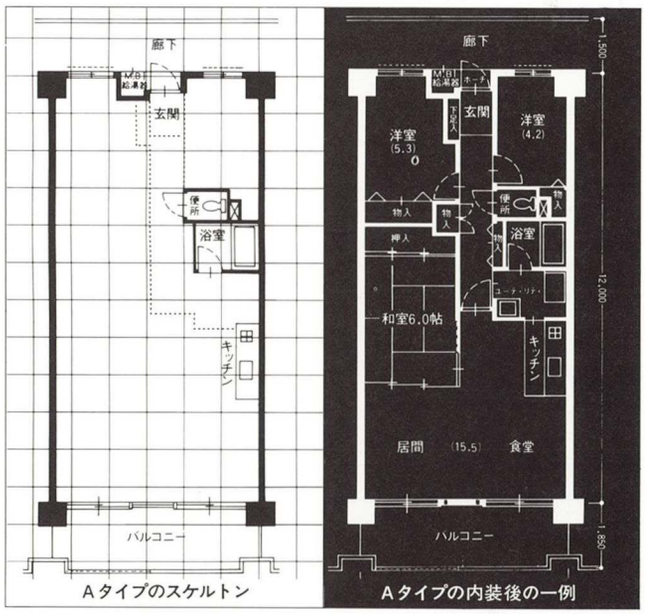
18

スケルトン方式 グランドパレス君影

神戸市北区君影町１－２－12

事業主体　株式会社南インターナショナル
設計監理　株式会社ＮＡＫ建築事務所
建築施工　株式会社地崎工業大阪支店
敷地面積　6,443㎡
建築面積　2,577㎡（延床面積14,329㎡）
構造規模　ＳＲＣ造、地下７階、地上８階、塔屋１階
住戸規模　168戸
工　　期　昭和58年10月～昭和60年７月





Aタイプのスケルトン　　Aタイプの内装後の一例

たとえば、ファッションの世界において〝大流行〟という現象がなくなり、個人個人がみずからの感性に従い選択してゆく〝多品種小量生産〟の時代背景にあって、ディベロッパーとして集合住宅をとらえるとき、みずからの帰結として〝スケルトン方式〟が浮かんでくるものと確信している。

〝グランドパレス君影〟の場合、個々さまざまに楽しんでいただいたが、身体障害者の方々のために、室内はもとより、共用部分も一部変更したのが、クライマックスといえよう。

これからもスケルトン方式における一住戸の適性最小規模・水廻りの合理的配置等問題点を修正し、コストパフォーマンスの高い集合住宅づくりを目標に進んでいきたい。

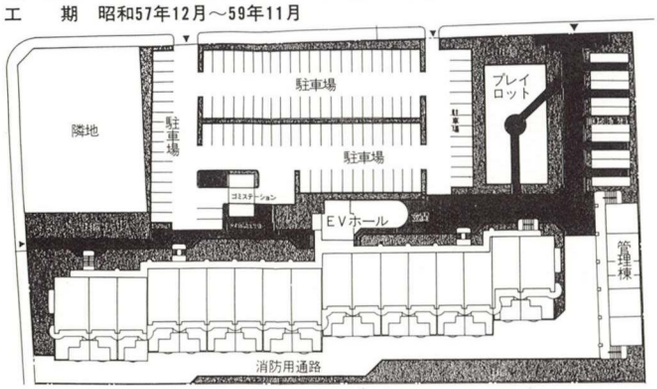
（江川秀樹／株式会社南インターナショナル開発部課長）

19

二世帯同居「離れ付き住宅」 ファミリートーク新北島

大阪市住之江区新北島4

事業主体　大阪市住宅供給公社
設計監理　大阪市住宅供給公社、小河建築設計事務所
建築施工　戸田建設株式会社
敷地面積　9,790.70㎡
建築面積　2,581.53㎡（延床面積18,189.14㎡）
構造規模　ＳＲＣ造、地上14階、塔屋１階
住戸規模　205戸（うち離れ付き住戸は１階の17戸）
工　　期　昭和57年12月～59年11月



配置図―１階のこの17戸は離れ付き住宅となっている



１階住戸平面（１：300）

大阪市住宅供給公社は、高齢化社会への対応の一環として、専用庭をもった「離れ付き住宅」をこれまでにも森之宮コーポ（城東区）、大和川コーポ（住之江区）において実施し、好評をえている。

ところで、ファミリートーク新北島は、名称を一般公募して決めたもので、家族の語らいの場となることを願ってつけたものである。ここでは、過去の経験を生かして、離れにも便所・洗面所を設けるとともに、掘コタツが取り付けられるようにしている。16～34㎡の専用庭が付いていることもあって、二世帯同居にも適し、老人の憩いの場としても大いに活用されることを期待している。

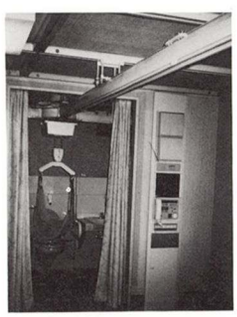
（奥尾光佑／大阪市住宅供給公社企画部推進課長）


離れと専用庭

20

ハンディキャップ者配慮住宅

事業主体　新住宅開発プロジェクト　高齢者・身体障害者ケアシステム技術研究委員会
建築施工　積水ハウス、積水化学、東陶機器、サンウェーブ工業、不二サッシ、松下電工、松下電器、明電舎、日本産業機械工業会
所 在 地　●パイロットプラント　130㎡
製品科学研究所
（茨木県筑波郡谷田部町）
●居室ユニット　24㎡
国立リハビリテーションセンター
（埼玉県所沢市）


▲国立リハビリテーションセンターの居室ユニット

国際障害者年に続いて、高齢者問題世界会議が開催されるなど、福祉社会への流れは、生活の原点となる住宅が、どうあるべきかをあらためて問うているようにみえる。

国際障害者年を中心とした前後10年間で、身体障害者が居住する空間的な条件を、建築バリアフリー設計として明確にしてきた。また、施設福祉から在宅福祉への方向の中で、高齢者が住み慣れた住宅に可能な限り長く暮らす時間的な条件を、健康高齢者が自立して生活するための安全配慮設計と、障害程度が高くなった高齢者が必要な介助をたやすく得るための効率配慮設計として整理しつつある。

21世紀に向けての住宅は、Average manを対象の住宅と、身障者住宅といったPurpose design 住宅とのゼグリゲートした構成から、内部障害者、慢性病等の在宅ケアを必要とする人の空間配慮の条件を含め、前述の条件を特別な条件と考えないで、総合的にインテグレートしたあらゆる年齢、健康状態に対応できる生涯住宅がひとつの目標となるべきであろう。

昭和55年度に始まった新住宅開発プロジェクト・高齢者、身体障害者ケアシステム技術の開発は、生涯住宅のための共通基盤技術としてフレキシブル住宅技術の確立を目指してきた。技術がハンディキャップ者を補うことによって自立を可能とし、介助をたやすくするとの立場から、工業生産プロセスとオープンシステムを手段に、性能レベルをフレキシブルに変換できる可変型に組織した高品質住宅の条件を把握しようと試みた。

具体的には、移動機能を軸に、①セルフケア、②レジデンシャルケア、③パーソナルケア、④ナーシングおよびメディカルケアが必要となる各性能レベルの住宅をハンディキャップ者配慮住宅としてシステム化をはかり、各性能レベルを構成する住宅および住宅部品の技術開発目標であるデザインガイドラインを設定、これをもとに、積水ハウスほか８社が部品の共同開発を行い、さらに昭和58年度にパイロットプラントを筑波製品科学研究所に建設した。

昭和59年度には、第二次試作として国立リハビリテーションセンターに居住ユニットを組み立て、使用実験を行っている。

技術開発目標を実現することに困難は少ない。社会開発目標となる21世紀に向かって作るべき住宅が、医療システム、福祉サービス等も位置づけてクリアに示されねばならない。

（岩井一幸／製品科学研究所システム設計課長）

21 センチュリーハウジングシステム（CHS）

C.H.Sは、一言で言えば『耐用性の高い住宅システム』であり、単体の建築物ではなく住宅の設計・生産・供給・維持・管理等の住宅供給の全過程にわたるトータルシステムである。センチュリー（百年）とは、耐用性の高い住宅の開発を目指す象徴としての表現である。

〈C.H.S住宅のメリット〉

① 増改築、設備の交換等が、今までの住宅よりも簡単に行えるため、居住水準の低下（住みにくくなる）を招くこともなく、住み替えや建て替えを行わなくとも長期間にわたって住まうことができる。

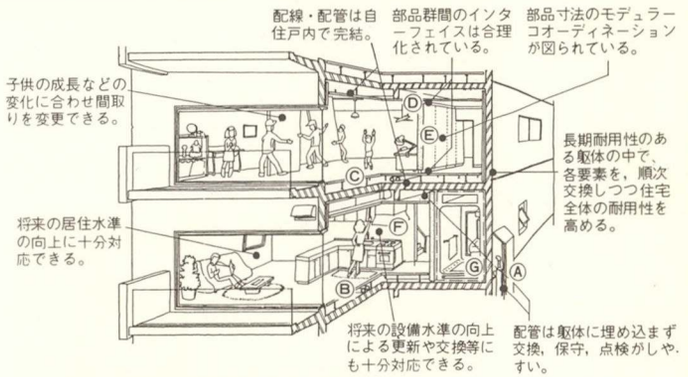
② 現在の住宅の多くは、軀体の物理的耐久性に比べ、設備部分等の耐久性が短かったため、住宅の機能面での低下が大きかったが、C.H.S.住宅では、住宅の機能（住みやすさ・使いやすさ・美しさ等）を保つための適切で合理的な維持・管理が実施しやすくなり、そのコストも低減できる。

③ 以上の二つのことから、住んでいる住宅の資産価値の低下を減少させ、初期投資と維持・管理費等を合わせたトータル的な投資効率の向上が期待できる。

〈C.H.S住宅の概要〉

① 住宅の機能的耐久性向上の観点から、家族構成の変化に対応した住宅の可変性が提案されている。

② 居住水準については、5期5ヵ年計画を見通した水準が提案されている。



③ 住宅を構成する各部品群の耐用年数を5つのレベルに整理し、レベルに応じた適切な部品群の交換システムが確立されている。

④ 各部品群の耐用年数のレベルに応じたインターフェイスの構法上のルールを確立しており、部品群の更新の際の交換・互換性が高められている。

⑤ 部品群の交換・互換を前提とした住宅の維持・管理に関わる要件を整理し、住宅産業の合理化の方向を含めて、BL制度等の部品産業施策・在来構法住宅の合理的施策など、具体的な住宅生産行政と結び付いた提案となっている。

⑥ 広く普及を図る観点から、部分的適用等をも可能とした弾力的システムとなっている。

（千葉達司／建設省住宅局住宅生産課）

22 自然エネルギー利用システムパイロットプラン

わが国のエネルギー事情が厳しい中で、家庭におけるエネルギー消費量が増大しつつあり、住宅内における自然エネルギーの積極利用が求められている。

これに応えるため、通産省は昭和55年度より5ヵ年計画で進めてきた「新住宅開発プロジェクト」の中で、「自然エネルギー利用住宅システム技術の開発」を行った。これは、パッシブシステムを利用して室内環境を快適に保ち、エネルギー自立住宅を確立しようとするものである。

技術開発課題	自然エネルギー利用住宅システム技術の開発 家庭における自然エネルギーの利用を促進し、国民の生活水準を犠牲にすることなく、1990年代に予想される「エネルギーの谷間」を越える
開発の必要性	①家庭内におけるエネルギー消費量の増大 ②石油情勢のひっ迫による自然エネルギー利用の促進の要請 ③多様な分野の技術の結集が必要
開発目標・効果	①家庭における自然エネルギー依存率を引き上げ、ソーラーシステムと相まってエネルギー自立住宅を供給 ②既存エネルギー設備により給湯・冷暖房を行うに要する費用とほぼ同程度のシステム価格 ③地域特性、各種の住宅構造に適用可能なシステム
技術開発のポイント例	①集熱機能と断熱機能を併せ持つ建材の開発（選択透過フィルム・ガラス、複合サッシ、複合ブラインド等） ②蓄熱材の性能向上および制御の容易化（潜熱蓄熱建材、土壌長期蓄熱システム等） ③無動力熱移送法の開発（新型ヒートパイプ、空気対流システム等） ④自然エネルギー利用冷房システムの開発（除湿冷房等） ⑤最適システム開発（シミュレーションプログラム等）

静岡県御殿場市東田中字原に建設されたパイロットプラント（エンジニアリングモデル）は、これまで本プロジェクトで行ってきた単室モデルによる実験成果などをもとに、さまざまな要素を複合的に組み合わせた実験モデルである。

このエンジニアリングモデル実験の目指すところは、(1)冷暖房の非運転時に、どこまで快適な室内気候形成が可能であるか、(2)冷暖房時のエネルギー消費をいかに軽減し得るか、について実験的に把握するとともに、シミュレーションプログラムを検証し、さらに、コンピューターシミュレーションによる評価・分析を通じ、パッシブシステムの要素技術に対する設計条件の最適化手法の確立を図ろうとするものである。

3棟のエンジニアリングモデルは、それぞれ熱的に独立した東西の居住室間（EゾーンとWゾーン）よりなり、いずれも異なった集熱・蓄熱・熱移送・放熱形態をもつシステムおよび部材によって構成され、それぞれ時間的・空間的に異なる熱供給が行われる。それらの熱的な挙動は自動計測装置によって、計測・記録され、比較解析される。

昭和60年度の本プロジェクトの事業は、5ヵ年にわたる研究開発成果の評価および普及であるが、自然エネルギー利用住宅の実用化のためには、開発された各要素部材の信頼性向上、経済性をはじめとして克服すべき課題もあり、今後とも関係各位の一層の努力を期待するところである。

（曽根邦男／通産省住宅産業課）

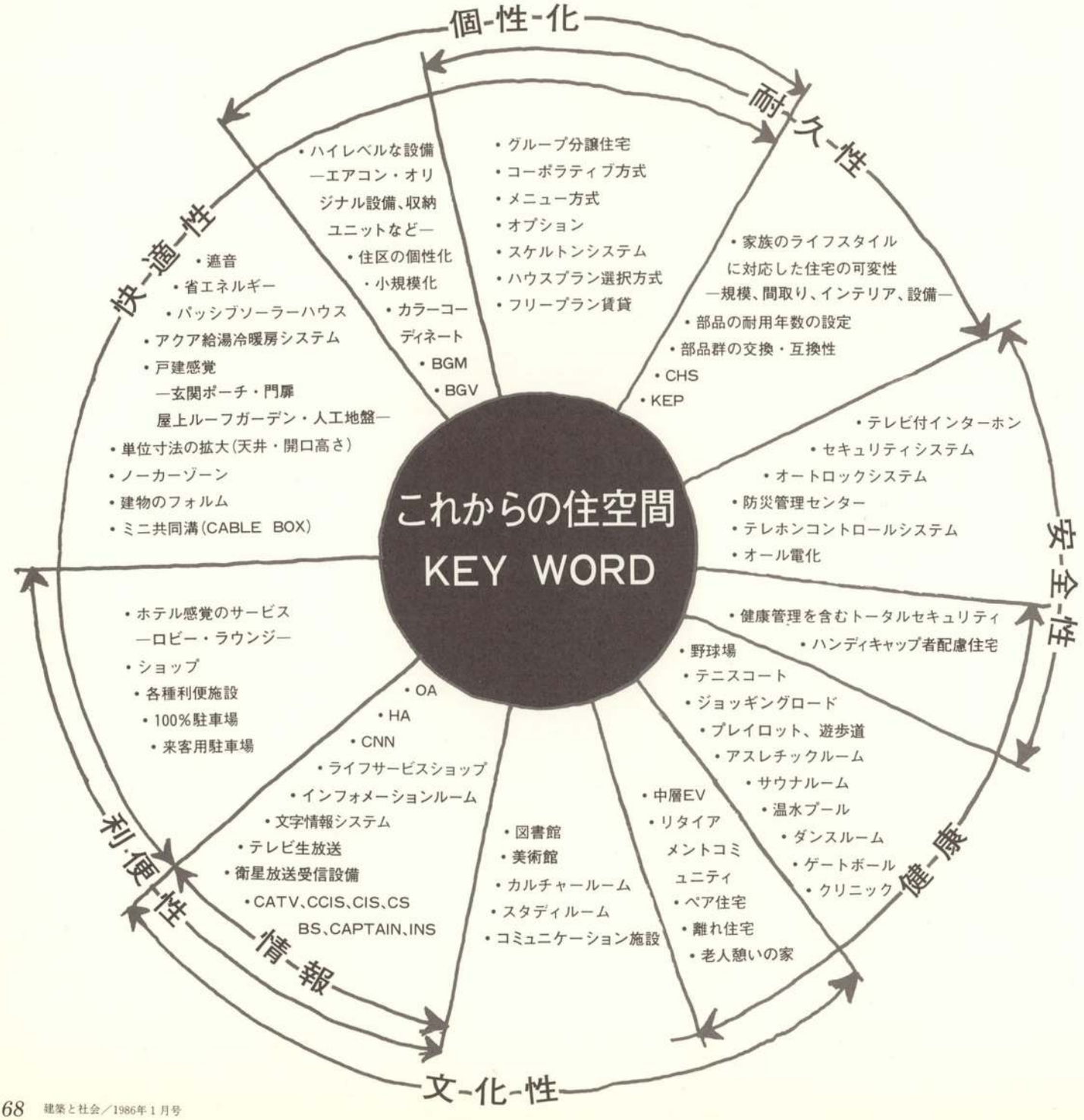
これからの住空間・KEY WORD －都市型集合住宅－

一世帯一住宅が達成されて以来、住宅は「量から質の時代」に移り、現在では、住宅需要者のニーズも多様化、高度化しており、これからはあらゆる面での質のよさが求められるようである。今回紹介したこれからの住空間を先どりする具体例から、そのKEY WORDを拾い出し分類してみても、図に示す通りで、個性化、耐久性、安全性、健康、文化性、情報、利便性、快適性など先どりしている諸要素は多岐にわたっている。

これからの住空間はどう展開されるのか、これらの諸要素に従って論じてみよう。

■耐久性、個性化

生活水準の向上に伴い、住意識も向上し、集合住宅需要者のニーズも多様化している。質についても、物理的性能はもちろんのこと、これからは個性だとか美しさ、味といったかなり個別の要求が強まり、それらに対応することが必要であると思われる。また一方、物理的耐久性の面では、構造体とその他建物構成材の耐久性が異なることから、仕上げや間取り、設備が古くなって使用に耐えられなくなり、みっともない補修を余儀なくされたり、取り壊して改修しなければならないこともあるわけで、これらをスムーズに更生する手



法が求められる。

入居時はもちろん、入居後も好みの仕上げや間取りや設備が簡単に得られる住宅、永く使用に耐える住宅、言い替えれば、常に好みの住宅を造るためにスムーズに改装・修復のできる住宅で、いつになっても値うちのある住宅が着目されている。

■安全性、快適性

プライバシーを重視してとじこもる設計を優先させた今までの集合住宅は、防犯の面では割合安心できたが、それゆえに味気ない生活を余儀なくされているし、床や壁1枚で他人の住宅と接するがために、集合住宅特有の不満（たとえば騒音など）を生じさせている。そこで、もう一歩進んで、互いに気のおけない近隣関係で接することができる戸建て感覚の住まい心地をもった集合住宅を形成することが求められている。

一方、安心した生活を営むべき対策として、各種の防犯設備の普及が上げられるが、これも一つの時代の要請だといえる。

■健康、文化性

生活水準の向上に伴い、これからは健康や余暇をどう過ごすかといったところも重視される。

日頃の健康管理面では、常設のクリニックを設けたり、セキュリティシステムで健康管理をするなどの事例が見られ、住空間の中に医療までが組み込まれる状況にある。また健康づくり面では、テニスコート、アスレチック、温水プール、サウナルーム、ジョッギングなどの諸施設を設ける例も見られ、これからは都市における健康な生活を維持するため、諸施設が住空間の一要素として組み込まれていくものと考えられる。

健康の維持や出生率の低下により、今後は老齢化社会を迎える。住空間にもおのずと対応が迫られ、諸施設としてはペア住宅、離れ住宅、老人専用マンションなどがすでに派生してきているが、今後はまだまだきめ細やかな対応が必要であろう。

余暇の過ごし方の多くは、健康づくりを兼ねてのスポーツと文化的な行為であるが、これらについても、身近で簡単に、みずからできる諸施設が普及してきている。図書館、美術館、カルチャールーム、スタディールームなどの設置例がこれで、これからは、市民がみずから文化的で健康的な生活を営むことのできる住空間が要望されることになるであろう。

■情報、利便性

産業革命以来といわれる今日の技術革新は目まぐるしいものがあるが、とりわけエレクトロニクス技術の急速な進歩によって社会や家庭の情報化が進み、家庭電化製品や設備機器も住宅そのものと合体してシステム化しつつあり、ハウスオートメーションとして今後さらに推進されると考えられる。

しかし、現段階では住宅計画に十分馴染んだ事例は少ないといえる。これは、計画者および使用者がまだ使いきれない状況にあるのではないかと思われるが、ここ数年のうちに普及し、一般化し、各計画に組み込まれていくであろう。その場合に長期を見越したイメージを持つことが最も大切なポイントになると考えられる。

一方、サービス施設についても、これからの計画においては、住宅の付属施設の域を越えた感覚での検討が必要となっている。

◆

以下、KEY WORDに示した供給方式や、ニューメディア関係の新しい語句を紹介してみよう。

❶フリープラン賃貸住宅制度

公団のフリープラン賃貸住宅制度は、躯体部分（スケルトン）を公団が所有し賃貸の上、内装・造作は住み手の自己所有とする。住み手は、退去時、新たに入居する人に内装等を譲渡する制度である。公団からみれば、賃貸住宅の経営であり、個人はあたかも区分所有法の専有部分のみを購入することになる。完成品としての賃貸住宅より約15%家賃が安くなり、自己負担額が必要であるが、自由な造作・内装が行えるというメリットがある上、社会財的性格を有する躯体の維持管理の不経済性からも免れるわけである。

〔制度の概要〕

• 所有および管理区分

公団の所有および管理		入居者の所有および管理
躯体等	土地および屋外附帯施設	内装等
躯体 屋根防水 外部金物 外部仕上げ 屋内共用配管等	土地 通路・道路 給排水処理施設 集会所等	屋内の造作 内装仕上げ 建具 屋内設備等

• 管理組合の結成

入居者は、管理組合を結成し、日常の共同生活維持に必要な組合員相互間の調整業務、建物内の清掃等は管理組合が行うこととする。

• 入居者が退去する場合の内装等の再譲渡

入居者がこの賃貸住宅から退去しようとする場合は、公団が募集した入居希望者と当該入居者との間で内装等の譲渡契約を締結する。

• フリープラン賃貸住宅による家賃等

内装、屋内設備等を入居者の所有とすることにより、現行賃貸住宅の家賃より約15%程度低くなる。

❷ グループ分譲住宅、コーポラティブ住宅

この住宅は「グループをつくり、自分たちで協同して住宅を持とうとする人たちに対して、グループの立案した計画をもとに、住宅を建設する」もので、さまざまなコーポラティブハウスのニーズにこたえるため、資金づくり、土地さがし、グループづくりなどについていろんな方法が用意されている。

この住宅には、つぎの特色がある。

(1)よいコミュニティができる。

入居者がお互いに協同して住まいづくりをすすめるので、入居後もスムーズな近所づきあいが期待できる。

(2)入居者自身の希望が生かせる。

設計段階から参加するので、住宅の間取り、仕上げ、設備、そして共用施設等に自分の希望が生かせる。

❸ KEP住宅

KEPとは、"Kodan Excellent interior Planning system"の略称。住宅生産の合理化・工業化の中で、住宅の相当部分をオープン部品によって構成するシステム。(1)多様性、(2)可変性、(3)互換性、(4)合理性、(5)省力化の5つのメリットを追求しており、公団関西支社では、神戸ポートアイランドで建設。好評を博した。

KEPによるすまいは、①好みや経済力に見合った部品が選べ、ライフスタイルに合った個性的なすまいがつくれる。②家族構成の変化や成長の度合いに合わせて、間取り変更が容易にできる。③新部品との交換ができ、すまいの寿命を伸ばすことができるなどのメリットがあるが、なんといっても、④良質で多様なニーズに対応できるすまいを比較的簡単に設計・施工でき、より多く需要者に安価に供給できるのが大きなメリットである。このシステムによるすまいづくりは、部品分割・寸法・接合のルールに従い、構造体に内装や設備のサブシステムを組み込んだり、移動したり、取り替えたりすることによりすまいを構成する。

❹ハウスプラン選択方式

宅地に予め用意されたプランの中から、好みの住宅を選んで応募できるのが「ハウスプラン選択方式」である。選択される住宅プランのほとんどは「モデル住宅」として先行建設し、この「モデル住宅」の仕上げや性能を確かめた上で選択できるようにする。この方式は土地と建物の組み合わせを選択する自由が　　に与えられると同時に、住宅選定がなされてから建物を建設する方式であるため、選定から引き渡しまでに相当の時間があり、通常の募集方式よりも住み手側の資金計画がたてやすいというメリットがある。

❺ニューメディアの代表選手

略　称	名　　称	内　　容	主 な 機 能 等
CCIS	① COMMUNITY CABLE INFORMATION SYSTEM	地区内にはりめぐらされたケーブル網を情報伝送路とする地域生活情報システムを総称したもの。情報伝送用ケーブルは光ファイバーケーブル、同軸ケーブル、電話用ケーブル等が目的や用途に応じて使いわけられる。(多摩CCIS実験、東生駒Hi-OVIS等)	(管理サービス系) ・防災集中監視 ・防犯集中監視 ・共用設備集中監視・制御 ・諸施設等集中管理 ・住宅等集中管理 etc (放送サービス系) ・テレビ、FM再送信 ・自主放送サービス ・ペイテレビ ・静止画サービス ・文字多重 ・高品位テレビ etc (情報処理サービス系) ・ファクシミリ ・メモコピー ・放送応答サービス ・テレショッピング ・ホームバンキング etc
	② COAXIAL CABLE INFORMATION SYSTEM	テレビ共聴システムなどに用いられる同軸ケーブル(COAXIAL CABLE)を情報伝送ケーブルとして使用する総合情報システムのことをいい、基本的な内容は①と同じである。	
CIS	③ CABLE INFORMATION SYSTEM	概念的には①と同じであるが、①が生活情報全般を対象とした総合情報システムであるのに対し、どちらかというと防災・防犯および(団地内)共用諸設備等の集中管理を中心としたシステムをさすことが多い。(光が丘パークタウン、武庫川レインボータウン等)	
	④ COMMUNITY INFORMATION SYSTEM	基本的内容は③と同じであるが、「CABLE」という言葉が入っていない分、「有線方式」であるという意味が薄れている。しかし実際には有線方式でシステムが構成されているのがほとんどで、しいていえば、①に比べて機能拡大型として使われることが多い。	
CATV	⑤ COMMON ANTENNA TELEVISION	共用の集合アンテナによるテレビ共同受信システムのことをいい、「ビル共聴」と呼ばれるものなどはこれに相当する。	テレビ(VHF、UHF)およびFMの同時再送信
	⑥ COMMUNITY ANTENNA TELEVISION	⑤の拡大発展型で、規模の比較的大きなシステムをいい、自主放送等の機能を持ったものもある。(地域共聴などはこれに相当する)	
	⑦ CABLE TELEVISION	⑥をさらに発展させたもので、映像系(テレビ)を中心とした各種生活情報を有線にて、比較的広域に伝送する多目的情報システムのことで、現在CATVといえばこれをさすことが多い。	CCIS / CIS } と基本的には同じ
INS	⑧ INFORMATION NETWORK SYSTEM	NTTが計画している高度情報通信システムのことで、広域有線通信網と高性能情報処理装置により、各種情報(音声系中心)の伝送・処理をするもの。主として1対1の情報伝送を得意とし、CATVのような1対多数の情報伝送は不得手である。	・オフィスオートメーション ・テレビ会議 ・在宅勤務 ・テレショッピング ・ホームバンキング ・テレコントロール　etc
CAPTAIN	⑨ CARACTER AND PATTERN TELEPHONE ACCESS INFORMATION NETWORK	センターにおける文字図形情報を、電話回線を使い端末から呼び出して受信するシステムで、INSの中の一部を変形発展させたようなものといえる。	各種文字図形等情報の選択受信および処理
CS	⑩ COMMUNITY SATELLITE	「通信衛星」のことで、主として企業間の業務用通信に用いられる人工衛星である(離島通信や緊急時の電話回線等にも利用)。原則として1対1の双方向通信。	特定企業間の業務用通信
BS	⑪ BROADCASTING SATELLITE	「放送衛星」のことで、従来型のテレビ、FM放送(BS-2、昭和59年1月打ち上げ)のほか、将来(BS-3、昭和63年打ち上げ予定)はPCM音声、静止画、文字多重、高品位テレビ、ペイテレビ等の放送サービスも計画されている。	映像、音声放送系の各種サービス(全国一斉同時放送) 電波障害の解消

(まとめ　編集幹事/ **川村真次・山根勝利**　住宅・都市整備公団)

設備の頁

135
省エネのための天井扇

長谷川　幸久

1970年代のエネルギー危機以来、米国においては天井扇需要が急増し、現在では年間1,000万台近くの販売があるという。この天井扇普及には種々の要因があるが、省エネルギーの助長、インテリア装飾性が、とくに大きな要因と考えられている。

この天井扇の機能面での特徴として、

①大直径の羽根（一般に90～130cm）による大風量および室内空気の攪拌効果
②正・逆回転切り替え（インテリア型のみ）
③低騒音
④天井吊り下げによる省スペース性

が特筆すべきものであろう。

近年、日本国内においても天井扇の効用が徐々に認められ、店舗を中心として、インテリア性の高い天井扇が普及する気運が高まっている。

天井扇の風速分布と有効床面積

天井扇は直径が大きな羽根（90～130cm）を、比較的低速度で回転（最低10～最高300r.p.m）させるため、風量が多く（10～250㎥/min：測定はIEC 385による）、室内対流が広範囲に発生する。

写真1は松下精工の温度分布一気流分布実験室において、当社130センチ型天井扇を正回転＝下向き風向、強ノッチ（約230r.p.m）で運転したときの気流分布をメタアルデヒドにより可視化したものである。また**図1**は同天井扇の風速分布を図示したものである。明らかに、天井扇の風速が広範囲に渡っていることが分かるであろう。

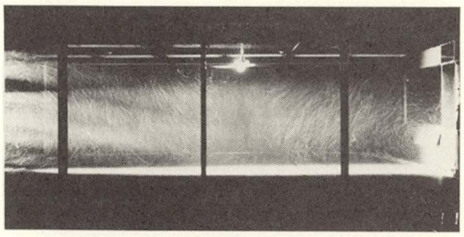


写真1

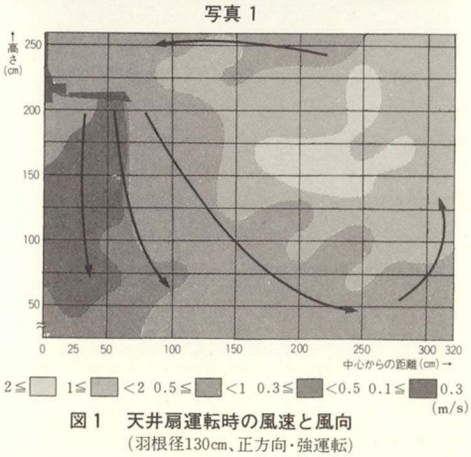


図1　天井扇運転時の風速と風向
（羽根径130cm、正方向・強運転）

一般に天井扇の有効床面積は、「夏季、正回転＝下向き風向、強ノッチ運転で涼風が得られる範囲」を目安としている。一般的な天井高240～270cmでの130センチ型天井扇1台の有効床面積は、半径約2.5m以内（約6坪）としている。

天井扇の省エネルギー効果

夏季における省エネルギー効果　夏季における天井扇の運転効果は、送風に当たり、涼を得るのみでなく、冷房機器の補助として、気流により体感温度を低減し、冷房機器の設定温度を上げる（ある時期には冷房を不要とする）ことにある。

この件に関し、〝AIR CONDITIONING, HEATING AND REFRIGERATION NEWS〟*に「Ceiling fans shown to expend ASHRAE summer comfort zone」という表題で興味深いレポートが

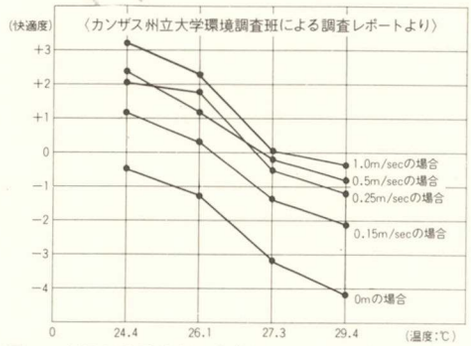


図2　室温と送風速度の変化にともなう快適感の変化

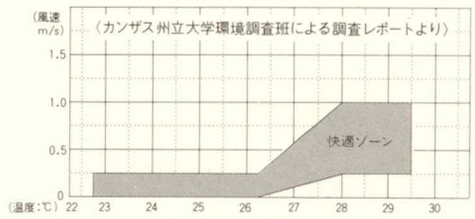


図3　室温と送風速度による快適ゾーンの変化

掲載されている。これはカンザス州立大学環境調査班が被験者256人を使い天井扇の効果を実験したもので、その結果を**図2**および**図3**に示す。

これによると、天井扇停止時、被験者が快適であると感じた室温は、26.1℃（79°F）であったものが、天井扇により0.25～1m/secの送風を行うことにより、29.4℃（85°F）まで上昇している。すなわち、体感温度は約3.3℃（6°F）低く感じていることとなる。このことからレポートにおいては、The National Bureau of Standardsにおける〝1°Fの変化により、エネルギー需要は3％変化する〟という見積もりから6(°F)×3%=18%の省エネルギーにつながると換算している。

また、0.15m/secの風速は、ほとんど人体に感じられないものであることから、羽根の動きを目でとらえることにより〝Placebo effect〟が働き、いわゆる夏の風物的イメージによる心理的効果により、涼しく感じているものとして、天井扇の視覚効果にも言及している。

さらに、大きな直径の羽根がつくる強弱のある気流も、快適性を増すことが考えられると記述しており、夏季の省エネルギー効果が高いことを明確に言及している。

冬季における省エネルギー効果　天井扇における重要な機能の一つに、逆回転＝上向き風向によるサーキュレーション機能がある。

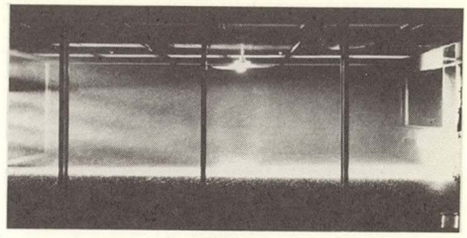
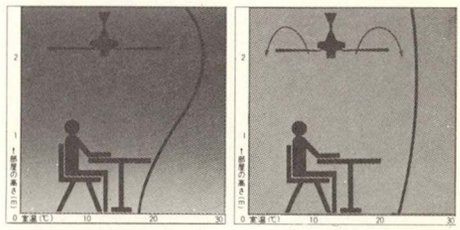


写真2

この逆回転＝上向き風向により、人体に直接送風することなく、室内対流を起こし、暖房時、天井付近の比較的高温の空気を攪拌し、室内温度分布を均一化させ、暖房機器の設定温度を下げることにより、省エネルギー効果をあげるものである。また、暖房時の足元が寒く、頭部が暑いといった不快感を低減することにも効果がある。

写真2は、当社130センチ型天井扇を逆回転＝上向き風向、弱ノッチ（約60r.p.m）で運転したときの気流分布を可視化したものである。写真から、室内全般に渡り、対流が生じ、比較的風速が均一であることが分かる。したがって、羽根の回転数を条件にあわせて設定すれば、人体に影響を与えない対流を生じせしめることが可能である。

逆回転による室内温度変化の一例として当社人工気象室（洋室8畳）の実験結果を**図4**に示す。この実験において、天井扇停止時、天井面付近と



シー・ファン静止時
※エアコン暖房(3,200kcal/h)・暖房開始2時間経過後

シー・ファン運転時
※運転4分経過後（強・逆転）

図4　室温分布の変化

足元付近の最大温度差は約10℃あったものが、天井扇回転時には2～3℃まで減少した。

省エネルギーの実際　省エネルギー効果に関しては、暖房負荷条件、断熱性、天井高さ、広さ、換気回数などの条件による異なるが、大阪市内のレストランを例として挙げると、約18.6%の省エネルギー効果が得られると算出する。（当社調べ）

- 全面積／188.57㎡　室容積／471.43㎥　天井高／2.5m
- 使用空調機器／圧縮機25kw、送風機7.7kw、暖房能力80,000kcal/h
- 運転期間／11～3月
- 運転時間／2,265h
- 電力消費量／天井扇なし　60,462kwh
  天井扇6台設置　49,224kwh
  $\frac{60,462-49,224}{60,462}=0.186$

あとがき　本稿においては、天井扇の機能および省エネルギー性に関して述べたが、実際のニーズは、天井扇の機能面と、そのインテリア装飾性＝独特の雰囲気とが複合してつくり出されるもので、今後一層の普及を遂げるものと期待している。

参考文献
*〝AIR CONDITIONING, HEATING AND REFRIGERATION NEWS〟February 14, 1983. USA
「Ceiling fans shown to expened ASHRAE summer comfort zone」

（はせがわ ゆきひさ　松下精工株式会社家電扇風機事業部技術部係長）

施工材料の頁

134

改修工事における仮設ゴンドラ工法

国守　正二

既存建築物の改修工事では、材料を含めた工法の研究、耐久性の研究、さらに総合的な体系化などが各分野において積極的に進められているが、改修工事そのものはすでに日常的な行為として定着しつつある。

現時点でのそれぞれの分野に関する成果はひとつの通過点としてのものであり、相互に有効な整合性に富んだデータ蓄積に至るには、かなりの年月が必要と思われる。

このような状況の中で、すでに改修工事の必須条件として概念的に形成されているいくつかの要素がある。そのうちのひとつに仮設計画が挙げられる。

仮設計画は、改修工事の成果（安全性、経済性、作業性）を左右する重要な部分を占めている。その中で、足場選定は通常、工事内容と建物環境および形状によって決定される。工事内容は改修目的に沿って決定され、仕様と工法が決まり、総合的な仮設計画が組み立てられてゆく。全体的な整合性や調和が欠けると経済性や作業性が低下することがしばしば見受けられる。改修工事は建物を使用したままで工事が行われるため、現場ごとに異なる特殊条件が発生しやすい。この特殊な条件（安全性に関することが多いが）を解決するための配慮が、仮設計画に求められている。

高所作業における安全性、作業性、経済性

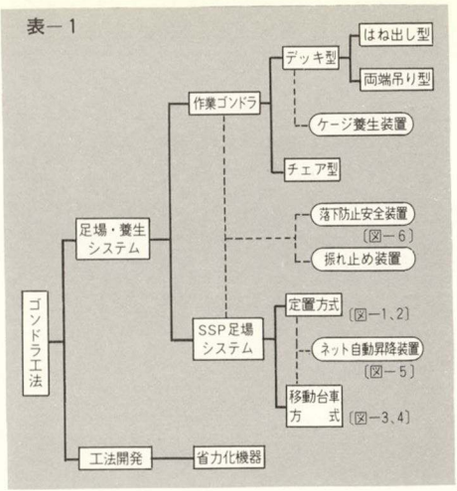
高所作業の三要素（安全性、作業性、経済性）を満足させるためには、つぎの３点の整備が必要である。

1）作業足場＝作業性と安全性向上、居住性の確保
2）養生（保護）＝第三者保護、居住性確保、近隣対策
3）工法＝作業効率向上、工期短縮（省力化）、安定品質

一般的にゴンドラの種類は比較的知られているが、具体的応用事例はあまり知られていない。ゴンドラ足場を他の機能と結びつけた「ゴンドラ工法」として捉え、種々の装置や部材の開発によって、その機能の幅を拡大させてゆくことが有効に活用するためのキメ手と言える。

現在、整備されている足場、養生システムの構成内容を表したものが**表－１**である。

表－１



組み合わせにより対応力向上をはかる

最近の改修現場では、まず安全対策と経済性の両立が不可欠である。相反する要素を両立させるには、工法を含めて問題解決にあたることが必要であろう。これはゴンドラ工法のテーマそのものとも言える。

ゴンドラの用途は多種の工種にわたるが、複合、大型工事においては飛散、飛来防止を目的としたネット養生（SSP足場システム）が一般的になっている。

工事の規模、工種、環境、工期などに対し経済的に対応するためには、いくつかの型と方式と装置の用意が必要となる。表－１に示すものは基本的な型と方式と装置であり、これらを組み合わせることによって、対応力は数段向上するものと思われる。また、おのおのの方式、装置は**図－１～６**に示す。

「仮設システムのスペシャリスト」の育成

改修工事でまず直面する問題は、仮設足場であることは言うまでもないが、環境の異なるおのおのの物件に対し、最も適切な仮設計画を講じるには、つぎの要件を保有することが必要である。

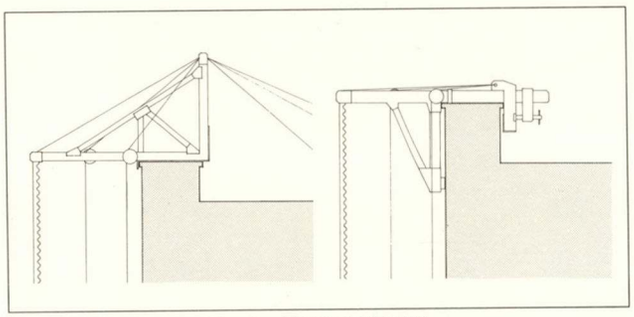
1）仮設機材全般にわたる知識と選択能力
2）当該現場の作業特性を見抜く能力
3）作業ごとの危険予知能力
4）法的知識
5）生産性を向上させる機械化導入能力
6）作業効率を考えた配員計画力

新築工事の場合は、その規模に応じて複数の専門職が対応しているが、改修工事の場合は、その工事規模から考えてもそれだけの人員的余裕がないのが現実と言える。したがって、最少の人員、できれば一人のスペシャリストの育成によって、改修工事がかかえる仮設問題を解決することがひとつの解決策になると思われる。このスペシャリストの育成は企業にとっても大きな戦力であり、この分野の質的向上にも必要であると思われる。

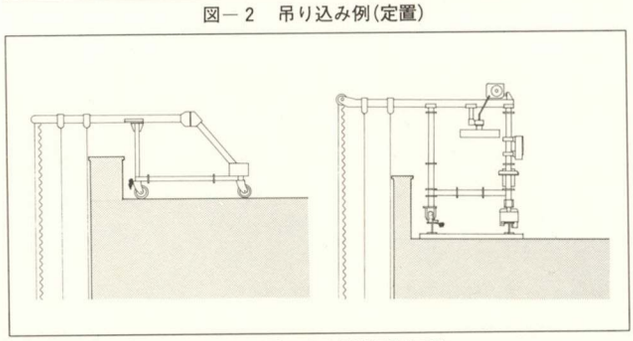
（くにもり　まさじ
日本ビソー株式会社大阪支店長）



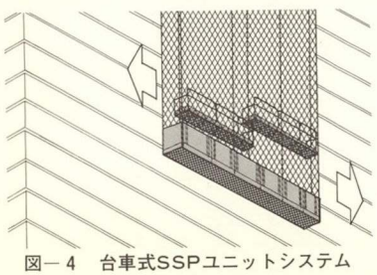
図－１　SSP足場システムの外観



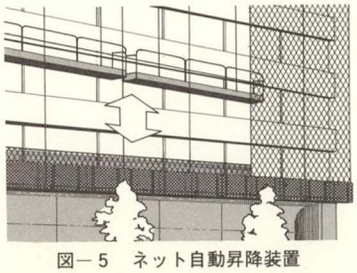
図－２　吊り込み例（定置）



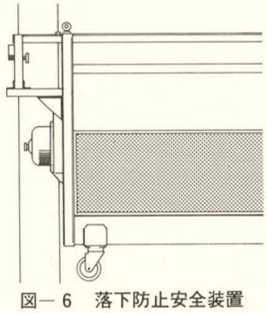
図－３　吊り込み例（移動台車）



図－４　台車式SSPユニットシステム



図－５　ネット自動昇降装置



図－６　落下防止安全装置

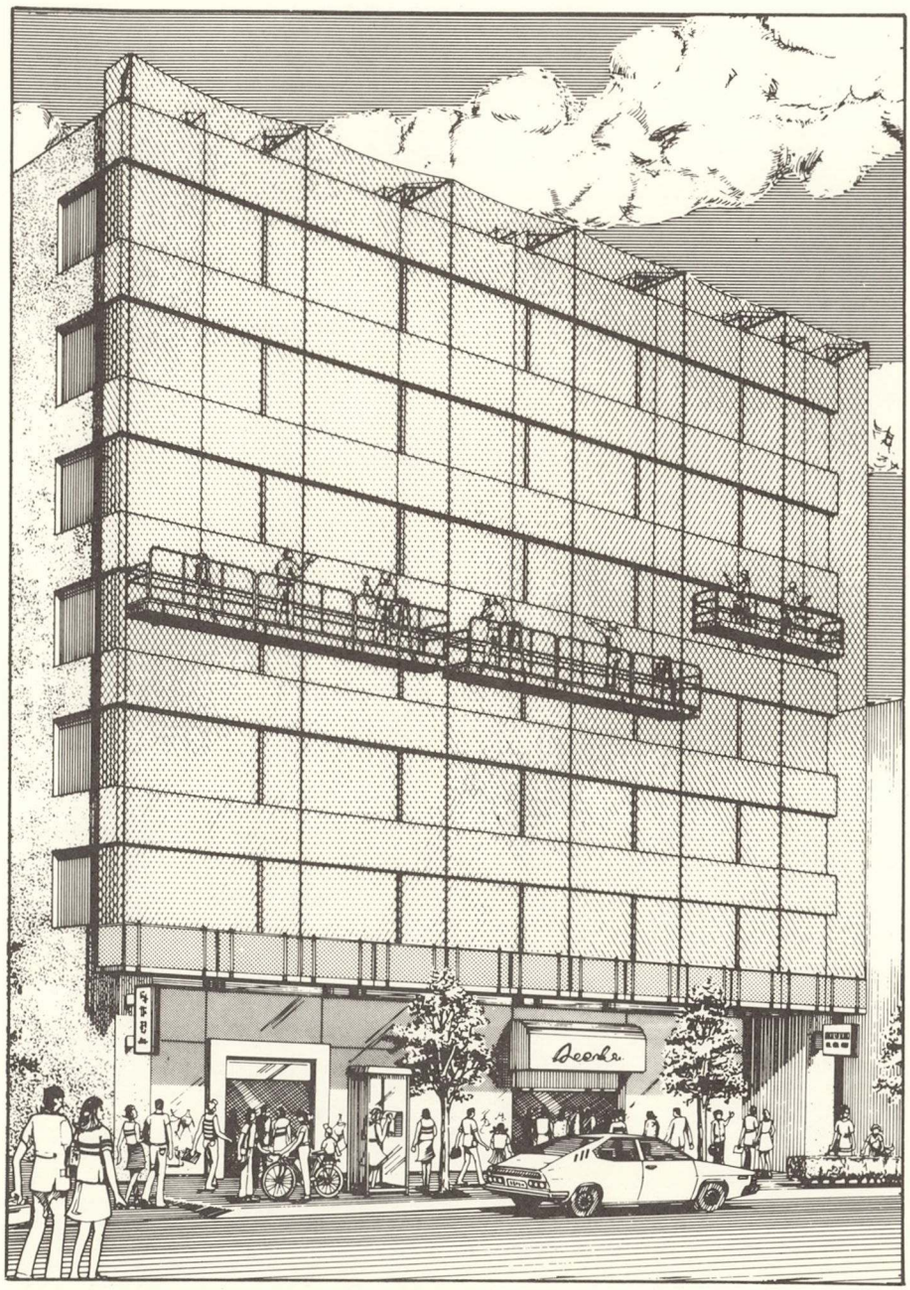
BISO GONDOLa

人の集まる建物の外壁改修工事に

いい仕事、いい足場。

ビソーレンタルゴンドラ

特許工法 SSP足場システム



改修工事はスマートに行いたいもの

新築と異なって、現在使用中の建物の改修工事は、あまり目立たなくやりたいもの。ＳＳＰシステムはゴンドラとネットの組みあわせによるシースルー工法ですから、施主やテナントの方々によろこばれています。

飛散公害と第三者傷害をふせぎます

ＳＳＰシステムは一種の空中養生システムですから、歩道や車道を全く占拠しません。その上、工事にかかわる工具・材料・斫り屑等の飛散と落下をふせぎますので、隣家や通行人の方々にご迷惑をおかけしません。

1階廻りの店舗営業に支障をきたしません

市街地ビルの場合、1階部分はお客様の出入口であるばかりでなく、テナントの方々の店舗として使われています。ＳＳＰシステムは１階廻りを全く占拠しない足場システムですので、通常どおりの営業が可能です。

日照や眺望…生活環境をさまたげません

工事だからといって、窓が暗くなってはこまります。その点、ＳＳＰネットの透光率は80%以上。光と風と眺望をほとんどさえぎることはありません。工事中であっても快適な生活環境を維持できるシステムです。

防犯はもとよりプライバシーを守ります

足場を伝ってののぞきや盗難も心配です。ＳＳＰシステムはワイヤーで吊られた足場システムですから、その点安心です。また、使用するネットは防炎認定品ですので火災に対しても安心してご使用いただけます。

コストの低減と工期の短縮が可能です

部材が少なく、架払しも短期間でできますので人手や運搬に係るコストの削減ができます。また、新開発の長尺ゴンドラ(5.4・7.2m)との組みあわせによる作業のスピードアップで施工日数が大幅に短縮できます。

日本ビソー株式会社

本社　〒107 東京都港区南青山1-1-1 ☎03-475-0800

東京支店☎ 03-317-2255　千葉支店☎0436-22-6561　神戸営業所☎078-251-1631　福岡支店☎092-621-1771
日本橋支店☎ 03-553-4466　名古屋支店☎052-915-4666　広島支店☎082-238-1810　仙台支店☎0222-86-8060
横浜支店☎045-473-6666　大阪支店☎ 06-331-1011　岡山支店☎0862-44-0831　札幌支店☎011-821-0001

日本建築協会

月間の動き

昭和60年11月分

評議員会

定時評議員会にかえて書面表決

議事　昭和61年度評議員選出数決定の件

企画委員会

12日　3時～5時　於本会会議室
出席者　佐野会長、三品委員長ほか4名
議事　創立70周年記念事業企画の件

編集委員会

5月号「防災」(仮称)特集第2回編集幹事会
5日　2時～4時　於本会会議室
出席者　小川恵三特別幹事ほか3名
議事　「防災」特集の企画

第8回作品作風小委員会
6日　4時～10時　於本会会議室
出席者　井上委員長ほか6名
議事　(1)　新建築調査表の選定
(2)　「Gallery」掲載状況・予定
(3)　作品評欄について
(4)　「建築と社会」全体と作品頁への意見・疑問

5月号「公共建築」(仮称)特集第2回編集幹事会
13日　6時～8時半　於本会会議室
出席者　吉羽逸郎特別幹事ほか9名
議事　特集号の内容について

委員会
14日　4時～5時半　於本会会議室
出席者　北村副委員長、水口・遠藤幹事
議事　(1)　11月号「村野藤吾の一断章」、「伊勢湾をめぐる東海の諸問題」特集経過報告
(2)　12月号「第32回青年技術者」、「これからの住空間」特集経過報告
(3)　1月号「屋根」特集経過報告
(4)　2月号「インテリジェントビルの計画と設備」特集の企画－設備分科会の報告－
(5)　3月号特集の企画－「現在のデザインの動向」(仮称)特集案－
(6)　4月号特集の企画
(7)　5月号「建築防災と法」(仮称)特集の企画、「官庁営繕」特集の特別企画
(8)　作品作風小委員会の提案
(9)　収支状況報告

第2回計画分科会
18日　6時～9時　於本会会議室
出席者　足立委員ほか7名
議事　(1)　「これからの住空間」特集の原稿検討
(2)　「現在のデザインの動向」特集の企画

第3回構造分科会
20日　4時～6時半　於本会会議室
出席者　真塚幹事ほか4名
議事　(1)　「構造の頁」の企画
(2)　構造特集の企画について

第七回施工材料分科会
21日　4時～7時半　於本会会議室
出席者　水口幹事ほか3名
議事　(1)　「施工材料の頁」の企画
(2)　「屋根」特集について
・事例紹介の掲載作品選定
・データシートの収拾状況報告

5月号「防災」(仮称)特集第3回編集幹事会
25日　2時～4時半　於本会会議室
出席者　山田剛司特別幹事、広江・南出委員
議事　「防災」特集の企画の具体化

第8回広告企画小委員会
26日　4時～5時半　於本会会議室
出席者　井上委員長ほか8名
議事　(1)　11月号「村野藤吾の一断章」、「伊勢湾をめぐる東海の諸問題」特集広告収入報告
(2)　12月号「第32回青年技術者」特集広告報告
(3)　正月号「これからの住空間」特集広告経過報告
(4)　2月号「屋根」特集・「インテリジェントビルの計画と設備」特集報告
(5)　3月号「現在のデザインの動向」特集広告企画
(6)　収支状況報告

第8回投稿欄小委員会
27日　6時～8時　於本会会議室
出席者　中馬副委員長ほか3名
議事　2月号以降の企画

事業委員会

第5回若い会員の集い小委員会
5日　6時半～9時40分　於本会会議室
出席者　石川副委員長ほか7名
議事　(1)　前回事業委員会の報告
(2)　本年度第2回～4回の企画
(3)　第5回以降の企画

第6回広報小委員会
6日　6時～9時　於本会会議室
出席者　原見副委員長ほか6名
松下電器山中氏ほか3名
議事　(1)　前回の事業委員会の報告
(2)　本年度の事業企画

第5回見学会小委員会
7日　6時～7時半　於本会会議室
正楽井副委員長ほか7名
議事　(1)　前回の事業委員会の報告
(2)　9月及び10月の見学会実施報告
(3)　11月以降の見学企画

委員会
14日　0時～2時　於本会会議室
出席者　三品委員長ほか5名
議事　(1)　各小委員会の事業報告ならびに事業企画
(2)　本年度建築関係団体合同忘年懇親会報告

若い会員の集い分科会
14日　6時半～8時半　於本会会議室
出席者　大川主査ほか2名
議事　「照明と造形」展、初日の講演会について

建材委員会

21日　3時半～5時半　於本会会議室
出席者　牧田委員長ほか15名
材料説明　「プレコ・リターダー」担当：長橋英彦委員
議事　(1)　今後の検討建材
(2)　今後の「新建材紹介コーナー」掲載
(3)　その他

出版委員会

19日　4時～5時半　於本会会議室
出席者　須賀委員長ほか5名
議事　(1)　選書とプロのノウハウの経過報告
(2)　今後のテーマと執筆者選定
(3)　創立70周年記念事業の出版
(4)　その他

工高生デザインコンクール

表彰式
16日　2時～3時半　於本会会議室
出席者　高口審査委員長、片倉教育委員長ほか5名
入選者　堺市立工高生ほか9名及び引率教諭10名
見学会　大阪市立東洋陶磁美術館（4時～5時）

講習会

第41回建築工事実務講習会
27日　9時～17時　於建設交流館
科目講師
施工計画　㈱大林組本店建築工務部次長　金田　宏氏
仮設見積　㈱大林組本店建築工務部工務課長　安立俊夫氏
積算業務　㈱竹中工務店大阪本店見積課長　黒川征一郎氏
聴講者　71名

若い会員の集い

「照明と造形」展 ―岡 幸男の世界―
開催期間　**11月30日～12月6日**　於本会会議室
講演会　**30日**　6時半～8時半　於本会会議室
参加者　22名

目神山の家々とカトリック大阪教区を訪ねて
……石井 修氏とともに
9日　1時半～5時　於阪急甲陽園
参加者　26名

見学会

済生会中津病院の見学
21日　2時～4時半　於大阪市北区芝田
参加者　20名
施設概要
建築主　社会福祉法人恩賜財団 済生会支部大阪府済生会
設計・監理　建築計画総合研究所
施工　鹿島建設株式会社大阪支店
工期　昭和58年10月～61年5月(二期工事)

建築クラブ

朝食会
12日　8時半～10時　於大阪グランドホテル
講師　作句作家連盟会長　楠本 憲吉氏
演題　「味のある話」
出席者　81名

役員会
12日　10時～10時半　於大阪グランドホテル
出席者　塚本代表ほか5名
議事　(1)　新年宴会開催の件
(2)　2月以降のスピーカーについて
(3)　事務局職員新年会補助の件

忘年懇親会

第3回実行委員会
19日　4時～5時　於本会会議室
出席者　三品委員長ほか10名
議事　賛助景品申込状況、抽選方法等の決定、役務分担

大阪21世紀計画特別懇談会

22日　3時～5時　於大阪府健保会館
出席者　各会選出委員並びに事務局
オブザーバー　大阪府建築指導課長山田耕蔵氏
議事　(1)　前回委員会の報告
(2)　今後の運営、その他

建築業務基準委員会

5日　2時～4時　於日本建築士会連合会
出席者　構成団体各委員
議事　建築業務基準について

11月の入会者（敬称略）

〔団体会員2社〕
㈱掛谷工務店　　東横工業㈱大阪支店
〔個人会員8名〕
川口順弘（竹中工務店）　積光一吉（都島工高）　出雄隆（都島工高）
目黒廣道（長谷川工務店）　森本友造（三協樹脂建材）　山本幸一（湯浅電池）
吉田公彦（長谷川工務店）　吉羽逸郎（大阪府建築部）

会員の率直な意見を支えとして —編集委員会—

編集委員長 井上　滉

佐野会長の方針の一つでもあります雑誌は、分厚く、見やすいように編集するということで、それまで1冊平均75頁のものを平均90頁として、現在会員の皆さまのお手もとへ届いています。またカラー写真をできるだけ多く掲載して、楽しい内容にしていますが、そうした分だけ経費は増加しています。しかし「建築と社会」が良い雑誌になったという率直なご意見もいただいています。経済的負担は委員会としまして一番頭が痛いところですが、こういうご意見に支えられて何とか頑張りたいと思います。

今年から1年間、表紙は、東畑名誉会長のご厚意で、同事務所の吉田氏がヨーロッパを訪問されたときの作品を掲載させていただきます。表紙に見劣りしない立派な内容の雑誌として会員諸兄から喜ばれ、一人でも多くの方々が会員になられるならば、本望とする次第です。

創立70周年に向けた活力ある企画を —出版委員会—

出版委員長 須賀好富

出版委員会はほぼ月に1回のペースで開かれ、新しい企画、執筆者の選定などを行っている。その結果、昨年中に出版されたものは「プロのノウハウ」シリーズで4冊、「技術選書」シリーズで1冊、その他1冊であった。数字の上では低調であったが、それぞれの内容はユニークで会員の皆さんに喜んでいただけるものと自負している。一方、新年度に持ち越した企画は多く、楽しみを今年に期待したい。できれば年10冊程度発刊できればと思っている。

売り上げの方であるが、両シリーズで計16,000冊強を数え、やや低迷から脱した感があるが、これは委員の先生方、学芸出版社の努力のお蔭と感謝している。

協会創立70周年までには、「プロのノウハウ」を中心として活力ある企画をしていきたいと考えている。

新年にあたり会員諸氏の出版事業に対する暖かいご支援を期待する。

広い社会での存在となりたい —事業委員会—

事業委員長 三品哲夫

本協会にとって、その顔とでもいうべきものが会誌「建築と社会」であるとするならば、当事業委員会の諸活動はそれを支える肢体といえるでしょう。手足を常に適切に動かすことによって、血液の流れ（会員の交流）が活性化するものであります。

幸いに昨60年では、理事・担当委員のご尽力によって、久方ぶりに会員増強の成果の兆しが見られ、また会誌内容も一段と充実して参りました。この勢いにさらに弾みをつけるためにも、当委員会の事業企画でもより新たな発想が必要で、その責は大きいものと考えます。

ようやく定着しかけた会事務所のより積極的な活用策をはじめ、本協会がただ建築界の内輪だけでなく、建築周辺や、さらに広い社会での存在となれますよう、委員挙って本年も努力を傾けたいと存じます。会員諸兄の一層のご支援とご助言をお願い申し上げます。

過去の積み重ねをステップに —建材委員会—

建材委員長 牧田顯治

当建材委員会は、昭和24年の創設以来、37年をけみし、新建材の情報を、正確・迅速に皆様にＰＲしてまいりました。本誌の「新建材紹介コーナー」への掲載も、昭和51年の掲載開始以来、累計127件に達しております。

昨年度からは、従来の委員のほかに数名の委員を増加して、総勢29名で、より精細に、より実践的な角度から審議いたしております。本年も、昨年同様より研鑽を重ね、業界のために貢献してまいりたいと思っております。よろしくご指導賜りますよう、お願い申し上げます。

◀「建築と社会」誌バックナンバーのおしらせ

バックナンバーがそろっております。購入ご希望の方は日本建築協会まで(電話06—348—0635)お申し込み下さい。バックナンバーは特価以外¥ 750(58年4月号以降は¥ 950)です。なお、郵送料は実費いただきます。年間購読のお申し込みも応じます。

＊印は欠号

巻＼号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
昭和41年(47集)	＊都市住居	地下街	空気調和設備	建具金物	建築法規	国立京都国際会館	第13回青年建築家	1970年万国博会場計画	＊造園	最近の地下工法	市街地改造	公害と都市・建築
昭和42年(48集)	＊国立劇場	建設機械	日本建築協会50周年記念号	社会と建築	都市と流通空間	住宅と設備	生産施設	モントリオール万博	建設資金	最近の外装	第14回青年建築家	建築と生命
昭和43年(49集)	都市生活	都市のいこいの場	＊50周年記念事業記録号	＊幼児施設	＊教育施設	＊医療施設	都市交通施設	都市供給処理施設	群としての住居	都市のアクセサリー	第15回青年技術者	新都市計画法の諸問題
昭和44年(50集)	＊建築産業の構造と方向	鉄筋コンクリート構造耐震設計の再検討	計画と住民—中部からの報告	＊老人とすまい	建築史の方向—現代によみがえる過去—	建築行政に期待するもの	転換しつつある住宅生産	＊解決をせまられる公害問題	＊海洋開発	＊民家の系譜と保存計画	＊第16回青年技術者	＊九州からの報告
昭和45年(51集)	現代社会とは何か	建築と安全	＊日本万国博と技術開発	＊設計のシステム化	＊グッドデザイン運動	高層建築問題	欧米における契約	建築家の課題と責任	＊工事計画	ディベロッパー	第17回青年技術者	＊山陽・山陰からの報告
昭和46年(52集)	住宅—60年代の総括と70年代の展望	都市エネルギと無公害化ビル	建築基準法	都市生活とみどり	＊企画と設計のプロセス	解体工学	都市と港湾	転換期のニュータウン	＊軟弱地盤と震災	変貌する建築生産	第18回青年技術者	＊自然とレジャ空間
昭和47年(53集)	冬季オリンピックと札幌	600号記念号	インテリアデザイン	＊都市交通問題	＊水利用	量産住宅の設備	＊一般号(桂中学)		都市住環境へのアプローチ	＊都市防災	第19回青年技術者	北陸の新建築
昭和48年(54集)	建築教育	＊泉北ニュータウンのコミュニティ施設	＊大阪大林ビルディング	＊レジャーと施設	＊大阪国際ビルディング	＊老人コミュニティ	住宅—建築家のすまい	＊新用途地域制と環境	構造と施工	仕上と材料	第20回青年技術者	＊ヨーロッパのまちづくり
昭和49年(55集)	歴史的環境保全	明日の建築はどうなるか	保養所作品	既成市街地の住宅地整備の方策	北摂ニュータウン計画	建築生産と流通機構の変容	ビルの省エネルギ化	高層プレハブ住宅の構造設計	＊みどり	＊屋根防水工事の失敗例とその対策	第21回青年技術者	ビル防災に関する12章
昭和50年(56集)	図書館	＊東海の新建築	＊インテリア	PC板を使用した工業化住宅	＊社会・建築・法	都市の景観と施設	建築とプレストレストコンクリート	生活排水処理施設のあり方	＊人間環境としてのターミナル	騒音対策と防音材料	第22回青年技術者	＊集合住宅の設備
昭和51年(57集)	証言'76—建築デザインの動向	＊建築基礎構造の問題点	医療施設	＊床工法と材料	＊建築防災と法	＊市街地整備	工場建築と設備	鉄骨構造のジョイント	集住体のハードとソフト	＊結露防止対策と断熱材料	第23回青年技術者	設備からみた建築の問題点
昭和52年(58集)	＊デザインの動向—部分と全体	兵庫県—その風土と建築・建築界	●日本建築協会60周年記念号●ニュータウンの管理	コンクリートの品質管理と行政指導の方向	＊日影規制と法	＊身障者施設	照明設備	埋立地における構造問題—大阪南港と芦屋浜を例として	日本住宅公団と建築作品	ミニ乱開発から計画的ミニ開発へ	建築における省エネルギー化	第24回青年技術者
昭和53年(59集)	デザインの動向—新旧のコントラスト	＊水	医療施設—病院建築と情報システム	外壁塗装材料	＊電波障害と建築	組合方式による集合住宅計画	住宅設備	新しい耐震設計	CAD—設計とコンピュータ	＊一般号	第25回青年技術者	ビル環境
昭和54年(60集)	＊転換期の再開発	大阪南港ポートタウン	商業空間	コンクリートのひびわれ	日影規制	ホテル建築と情報システム	＊農村施設の変貌	建物の終局強度の検討	庄内のまちづくり	80年代のインテリア	第26回青年技術者	建設業の労務事情
昭和55年(61集)	80年代の都市と建築—まちづくりの歴史と展望	＊●今後の省エネルギーの趨勢●建築金物	＊●最近の銀行建築●安井建築設計事務所作品集	住宅の耐久性	建築行政と法規	最近の防水工法	＊都市景観とアメニティ	屋内体育施設の設備	水ぎわのまちづくり	今後の外装吹付仕上材	●第27回青年技術者●転機にたつマンション・集合住宅	設計のための新耐震設計法
昭和56年(62集)	職能論	中国の論文—北京の都市計画	＊ポートピア'81	台所まわりの計画と設備	シーリング材の知識	災害と法—安全な環境をめざして	都市住宅—住まい手からの発想	●建築物と風—デザイナーのために●日建設計作品集	住宅・都市整備公団—関西における都市整備を中心とした新公団の役割	間仕切壁の性能評価	第28回青年技術者	障害者の暮らしやすい環境と設備
昭和57年(63集)	新たな商業空間の展開	省エネルギーと開口部	医療施設—地域医療と設備計画	近畿の地盤と地質	都市景観—まちなみ美観への誘い	大阪市庁舎(第1期)	音とホール建築	大スパン構造	＊昭和設計作品集	●絵本にみるすまいとまちづくり●オーエムホテル日航ビル	●第29回青年技術者●地方の庁舎建築	風土・空気と人間
昭和58年(64集)	＊関西の建築文化を考える	マイコンの建築への利用	＊多様化する運動施設	建築と品質管理	計画におけるコミュニケーションとプレゼンテーション	大阪駅とターミナルビル	維持管理と設備更新	東海の将来と文化を考える	オフィス・インテリアの変革	プレストレスト(鉄筋)コンクリート構造	●第30回青年技術者●大阪城国際文化スポーツホール	集合住宅と生活音
昭和59年(65集)	21世紀への関西—魅力あるまちづくりを問う——	関西の超高層ビル	ビルのリフレッシュー内外装補修技術の現状と発展—	建設産業とロボット開発	住環境と法制度	●まちの活性化と商業空間●京都駅南口再開発ビル(アバンティ)	消防設備のポイント	みどりとそれをとりまく人々	高齢化社会と生活空間	床の構工法	●第31回青年技術者●ディテールの思想	光応用システムと建築
昭和60年(66集)	大阪湾物語	東海の現在と近未来	●自由様式への道—建築家安井武雄●建築物の基礎を考える	情報化をめぐる建築・都市事情	ホール—それが生みだす文化—	建物の表情—最近の外壁材料	大阪国際見本市新会場	●建築と水の演出●神戸研究学園都市	都市と健康スポーツ	●接合●日建設計作品	●村野藤吾の一断章●東海特集	第32回青年技術者

雑誌の大きさは第48集からは現行のA4判変形、それ以前はB5判

賀　正

1986
設計事務所有志



株式会社 A.R.I 建築事務所

代表取締役所長　亀井晃治

本社事務所　大阪市南区谷町7丁目3番4-203号 新谷町第3ビル2F　TEL(06)768-1771(代)
テレファックス(06)768-1406

アトリエ　東大阪市上石切町2丁目14－35　TEL (0743) 73−6137

株式会社 東建築設計事務所

代表取締役　東　秀保

大阪市北区天神橋2丁目5番18号 南森町センタービル4F　電話 06(358)5598・3497

株式会社 伊東建築設計事務所

代表取締役　竹原永一郎

〒556 大阪市浪速区幸町2丁目2番20号(清光ビル) 電話(562)4343〜5

株式会社 伊藤建築設計事務所

取締役会長　伊藤鑛一
代表取締役社長　鋤納忠治

本　社　名古屋市中区錦3丁目3-6(日経錦別館)　電話〈052〉951-1110(代)
東京事務所　東京都千代田区神田美土代町7(久保ビル)　電話〈03〉294-6061(代)



株式会社 泉沢建築設計事務所

代表取締役　泉沢哲史

〒530 大阪市北区神山町14番3号(木津信ビル)　TEL(06)364-9071(代)

株式会社 浦辺建築事務所

代表取締役　松村慶三

大阪市北区梅田1丁目12番39号・新阪急ビル〒530　電話 06(341)1727
東京事務所　電話 03(263)9758　　福岡事務所　電話 092(761)2206

株式会社 久米建築事務所

取締役社長　永井賢城

本　社 東京都港区西麻布1丁目13番11号　電話 03(403)0251大代表
大阪事務所 大阪市西区江戸堀1丁目10番8号 帝人殖産ビル　電話 06(444)1161代　表

株式会社 小西設計

取締役会長　小西岬
取締役社長　橋本正章

本　社　大阪市西区立売堀1丁目12番16号　電話(532)4051代表
大阪事務所　大阪市西区阿波座1丁目15番15号(第一協業ビル)　電話(532)4051代表
東京事務所　東京都千代田区神田鍛冶町3－3(大木ビル内)　電話(256)9301代表
広島事務所　広島市中区大手町2丁目7番1号(三葉ビル)　電話(246)0144

株式会社 篠田川口建築事務所

代表取締役社長　川口喜朗

株式会社 協同設備事務所

取締役社長　川口喜代枝

〒461 名古屋市東区泉1-21-21　TEL (052)962-7581(代)　(052)971-2255(協同)

株式会社 昭和設計

建築・都市・上下水道
調査計画・設計監理

代表取締役社長　岡本行善
代表取締役副社長　林唯夫

本社事務所　大阪市西区新町1丁目5番7号 四ツ橋ビル　TEL代表 532－3421
神戸事務所　神戸市中央区八幡通4丁目2番17号 郵船航空ビル　TEL078－251－0651
東京事務所　東京都港区赤坂3丁目12番5号 赤坂田町ビル　TEL 03－583－2086

株式会社 AAA(スリーエース)総合設計

代表取締役社長　浅井潤一
代表取締役所長　浅井謙

大阪市南区東清水町66(朝日プラザ心斎橋東ビル2F) 〒542 TEL06(245)7300(代)

株式会社 創美設計

代表取締役　中原英雄

大阪市北区末広町3番21号 星和地所扇町ビル6階　TEL 大阪(06)312−3587代表

株式会社 大建設計

取締役社長　吉田周
常務取締役 大阪事務所長　木村喬夫

大阪市西区江戸堀1−12−8 安田生命大阪ビル　電話 06−441−9351(代)
東京・横浜・名古屋・京都・九州・室蘭

株式会社 東海設計

代表取締役社長　小坂忠勝

本社　名古屋市中区栄3丁目7番1号（伊勢町ビル）〒460 TEL052-261-2651(代表)
東京事務所　東京都中央区京橋1丁目14番4号(東信ビル) 〒104 TEL 03-561-0815(代表)

株式会社 東畑建築事務所

取締役会長　東畑謙三
取締役社長　市川宏

本社 大阪事務所　大阪市東区伏見町5丁目19　電話 (06)202-0391
東京事務所　東京都千代田区永田町2丁目4番3号（永田町ビル）電話 (03)581-1251
名古屋事務所　名古屋市中村区名駅3丁目25番9号(堀内ビル) 電話(052)571-8471
九州事務所　北九州市小倉北区魚町1丁目4番21号 電話(093)541-6531
(清和ビル)

株式会社 長田建築事務所

長田正雄

〒542 大阪市南区上汐2丁目4-12　ケーエスビル　電話 768−6121

株式会社 日建設計

取締役社長　薬袋公明
大阪本社代表　大西孝夫
土木業務所代表　松本澄

〒541 大阪市東区横堀2丁目38
電話 06-203-2361(大代表)

日積工務株式会社

代表取締役　生島道春

本　　社　〒542 大阪市南区島之内1丁目14番27号(宇野ビル)　TEL(06) 251−3195代表
東京支所　〒111 東京都台東区東上野1丁目3番8号(石沢ビル)　TEL(03) 836−1271代表
名古屋支所　〒460 名古屋市中区錦2丁目9番25号(豊島第2ビル)　TEL(052)221−7561代表
本社分室　〒542 大阪市南区鰻谷中之町62番地(市川ビル)　TEL(06) 245−7685代表
㈱京都日積　〒602 京都市上京区今出川通室町東入今出川町333番地(第2高橋ビル)　TEL(075)441−5690

株式会社林設計事務所

代表取締役　林　茂

大阪事務所　〒531 大阪市大淀区長柄中3丁目1番8号　電話 (06) 351−6831
和歌山事務所　〒646 和歌山県田辺市稲成町東皆代231番地の6　電話 (0739) 22−8227

株式会社安井建築設計事務所

取締役社長　佐野正一

本　社　大阪市東区島町2丁目7番地　電話　06(943)1371(大代)
支　社　東京・名古屋・大阪・神戸・広島・福岡

株式会社横河建築設計事務所

代表取締役社長　小池正雄
取締役所長　河村栄蔵

本　　社　東京都目黒区下目黒1−2−18　TEL (03) 492−7441
大阪事務所　大阪市東区伏見町5−42(大和生命ビル)　TEL (06) 202−4509

賀　正

1986
建設業者有志

株式会社　あめりか屋

取締役会長　前野慶太郎

〒530　大阪市北区中之島四丁目3番25号　電話（06）444－1501

株式会社　淺沼組

取締役社長　淺沼茂夫

本社・大阪本店・大阪市天王寺区東高津町12番6号　電話 大代表（768）5222
東京本店・東京都新宿区荒木町5番地　電話 代表（357）0261
支店・名古屋・札幌・仙台・横浜・広島・福岡

株式会社　新（アタラシ）工務所

取締役社長　新昭一

本店・大阪市北区曽根崎新地2丁目6番11号　電話 代表 大阪（347）0110番
支店・東京都千代田区猿楽町2丁目1番14号　電話 代表 東京（291）3741番
支店・名古屋市中区大須4丁目1番71号（時計ビル）　電話 名古屋（262）1725番

技術と誠意で未来を築く

安藤建設株式会社大阪支店

取締役支店長　沖田幸作

大阪市福島区福島6丁目3番21号　電話 代表（453）2190
本社・東京都港区芝浦三丁目12番8号　電話 大代表 03（457）0111
支店・名古屋・仙台・静岡・九州・広島・横浜・札幌
営業所・千葉・横浜・水戸・盛岡・新潟・神戸・京都・沼津・札幌・宇都宮・北九州・熊本

株式会社　今西組

取締役社長　今西壽雄

本社　大阪市天王寺区上本町6丁目6番23-309号　電話06（779）3361
支店　東京都新宿区内藤町1番地　電話03（354）0581
営業所　京都・奈良・西宮・神戸・埼玉

株式会社 大林組

取締役社長　大林芳郎

東京本社・東京都千代田区神田司町2丁目3番地　電話 大代表(292) 1111番
本　　店・大阪市東区京橋３丁目３７番地　電話 大代表(943) 1131番
支　　店・札幌・仙台・横浜・北陸・名古屋・神戸・広島・四国・福岡

株式会社 奥村組

取締役社長　奥村俊夫

本　　社　大阪市阿倍野区松崎町２の２の２　電話 大阪(06)621－1101(大代表)
東京本社　東京都港区元赤坂１の３の10　電話 東京(03)404－8111(大代表)
支　　店　札幌・仙台・浦和・東京・横浜・千葉・新潟・名古屋・大阪・神戸・広島・高松・北九州・福岡

鹿島建設株式会社

代表取締役社長　鹿島昭一
大阪支店長　津垣昭夫

本　　社　東京都港区元赤坂１－２－７　電話 03 (404)3311(大代)
大阪支店　大阪市西区靱本町１－11－７　電話 06 (448)3311(大代)

海原建設株式会社

代表取締役　海原壹一

〒530 大阪市北区梅田1丁目2番2－300号(大阪駅前第2ビル3F)　電話06(346)1900番

株式会社 金山工務店

代表取締役社長　佐野友彦

本　　社　大阪市東区内淡路町１丁目２番地　〒540　TEL 06－942－5461代
東京支店　東京都中央区日本橋堀留町1丁目10番12号　共同ビル６F　〒103　TEL 03－663－7844代
京都支店　京都市下京区烏丸通り四条下る水銀屋町635番地　梓ビル9F　〒600　TEL 075－351－5841代
神戸支店　神戸市中央区加納町３丁目１番25号　広瀬ビル９F　〒650　TEL 078－392－1761代
堺支店　堺市三国ケ丘御幸通り８番地　三国ケ丘ビル２F　〒590　TEL 0722－22－3003
滋賀支店　滋賀県大津市皇子ケ丘１丁目２番３号　〒520　TEL 0775－24－1816
出張所　横浜・吹田

株式會社柄谷工務店

取締役社長　柄谷順一郎

本　　社　尼崎市玄番南之町４番地　電話大阪 06(411) １４５１(代)
営業所　大阪・西宮・神戸・高砂・豊田・三田・川西

株式会社 近畿建設

取締役社長　川　﨑　敬　三

本　　社　大阪市西区江之子島1丁目2番2号　電話　大阪06（448）5601代
滋賀支社　滋賀県栗太郡栗東町岡１９３の１　電話　0775（52）１３６１代

株式会社 熊谷組 大阪支店

取締役会長　牧　田　甚　一
取締役社長　熊　谷　太一郎
専務取締役大阪支店長　星　野　晴　彦

本　　社　東京都新宿区津久戸町17番１　電話03（260）2111番（大代表）
大阪支店　大阪市都島区片町２丁目10番５号　電話06（352）1151番（大代表）

五洋建設株式会社

代表取締役社長　水　野　廉　平
常務取締役大阪支店長　深　谷　林　三

本　社　東京都文京区後楽２－２－８　電話 03（816）7111（代表）
支　店　大阪市北区梅田２－２－25　電話 06（345）0631（代表）

甲南建設工業株式会社

代表取締役　原　精　一

大阪市淀川区十三本町２丁目４番２８号　電話（06）308－1551大代表
尼崎市南武庫荘２丁目７番２３号　電話　（06）437－9631代表
東京都中央区京橋３丁目13番10号（中島ゴールドビル）　電話　（03）564－5711代表
神戸市中央区磯上通５丁目１番24号　電話（078）221－6293代表
福岡市博多区博多駅前３丁目２番８号（住友生命ビル）　電話（092）471－７２７１
寝屋川・高槻・西宮・宝塚・堺

株式会社 鴻池組

代表取締役社長　鴻　池　一　季

本　社
大阪本店　大阪市東区北久宝寺町４－27　電話 大阪（244）3500（ダイヤルイン受付台）
東京本店　東京都千代田区神田駿河台2-3-11　電話 東京（296）7700（ダイヤルイン受付台）
支　店　名古屋・広島・福岡・鹿児島・松江・仙台・高松・札幌・横浜・神戸・京都・金沢

株式会社 金剛組

代表取締役　金　剛　利　隆

本　　社　〒543 大阪市天王寺区四天王寺１丁目14番29号　TEL 大阪06（779）7731㈹
関東営業所　〒350-02 埼玉県坂戸市仲町12番69号　TEL 埼玉0492（83）8030

佐藤工業株式会社

取締役社長　佐藤欣治・常務取締役大阪支店長　梅木正二

本　　社・東京都中央区日本橋本町４－８　電話　東京(661)1231(大代)
大阪支店・〒541 大阪市東区北浜1丁目25番地　電話　大阪(203)7221(代表)
支　　店・札幌・東北・関東・東京・横浜・北陸・名古屋・中国・四国・九州・東南アジア

清水建設株式会社

社　　長　吉野照蔵
常務取締役
大阪支店長　宮武保義

本　　社　東京都中央区京橋２－16－１　電話03(535)4111
大阪支店　大阪市東区本町４－15－１　電話06(263)2811
支　　店　名古屋・広島・高松・福岡・金沢・仙台・札幌・横浜

大末建設株式会社

取締役社長　佐伯正也

本　　社
大阪本店　大阪市南区島之内２丁目４番10号　電話 06（213）０５５５(大代)
支　　店　東京・福岡・名古屋・仙台・横浜・京都・神戸・広島・四国・沖縄

大成建設株式会社

取締役
社　　長　里見泰男
常務取締役
大阪支店長　平島治

本　　社　東京都新宿区西新宿1丁目25番1号 新宿センタービル　TEL 東京(348)1111大代表
大阪支店　大阪市東区北浜４丁目３８番地　ＴＥＬ大阪(203)1131大代表
支　　店　東京・名古屋・九州・札幌・東北・広島・横浜・北信越・四国

限りない未来への挑戦

大日本土木株式会社

取締役社長　田口栄

本　　店　〒500 岐阜市宇佐南１丁目６番８号　電話0582(72)3141
大阪支店　〒530 大阪市北区堂島二丁目2番2号 近鉄堂島ビル　電話06(341) 5931

株式会社 竹中工務店

取締役社長　竹中統一

〒541　大阪市東区本町４丁目２７　電話 大阪（252）1201番(大代表)

鉄建建設株式会社大阪支店

西日本業務担当
常務取締役　児島　章

常務取締役支店長　谷内与一

〒541 大阪市東区瓦町4丁目56番地（瓦町K.Tビル）　電話(201) 1881(代表)
本社・東京都千代田区三崎町二丁目五番三号　電話 東京(262) 3411(代表)

戸田建設株式会社

取締役社長　戸田順之助
常務取締役
大阪支店長　山口道博

本　社　東京都中央区京橋1丁目7番1号　TEL東京03(562) 6111
大阪支店　大阪市西区西本町1丁目13番47号　TEL大阪06(531) 6561
支　店　東京・関東・横浜・大阪・名古屋・札幌・仙台・広島・四国・九州

東海興業株式會社大阪支店

常務取締役支店長　三富　和

本　社　東京都中央区銀座7－13－10　電話 東京(545) 5111
大阪支店　大阪市北区堂島浜2-2-8 東洋紡ビル　電話 大阪(348) 5602
支　店　名古屋・仙台・札幌・福岡・横浜

飛島建設株式会社 大阪支店

取締役支店長　石原昭一郎

大阪市東区島町2－28－1　〒540　TEL 06（942）2481
本社/東京都千代田区三番町2　〒102　TEL 03（263）3151
支店/札幌・仙台・東京・横浜・名古屋・北陸・大阪・広島・福岡

南海建設株式会社

取締役社長　松川義一

本社　大阪市浪速区恵美須西3丁目14番22号　電話 06(644) 1212番
支店　東京都千代田区神田須田町1丁目5(新須田町ビル)　電話 03(251) 8431番
支店　大阪府岸和田市沼町18番1号(川長ビル)　電話 0724(23)2881番

明日をささえる

西松建設

本　社　東京都港区虎ノ門1－20－10　電話 03(502)0211
関西支店　大阪市東区釣鐘町2－41　電話 06(942)1131

限りない可能性を追求する

日本建設株式会社

社　長　積山　吉興

本　社　大阪市東区備後町2丁目58番地　TEL(06)226－0630(代)
東京本社　東京都文京区小石川2丁目6番22号　TEL(03)818－6081(代)
支　店　東京・大阪・名古屋・福岡・札幌・仙台・広島・沖縄

日本国土開発株式会社

取締役社長　石上立夫
常務取締役大阪支店長　北荘香也

本　社　東京都港区赤坂4丁目9番9号　電話(03)403－3311(大代表)
大阪支店　大阪市西区西本町1丁目10番10号(西本町全日空ビル)　電話(06)538－7351(代)

野村建設工業株式会社

取締役社長　野村文英

本　社　大阪市東区高麗橋2丁目9番地　電話(202)4791代表
東京本部　東京都千代田区大手町2丁目1番1号　電話(241)4171代表

株式会社 間組大阪支店

取締役支店長　山本惇

大阪市東区瓦町5丁目20番1号　電話(201)2751(大代表)
本　店・東京都港区北青山2丁目5番8号　電語(405)1111(大代表)
支　店・東京土木・東京建築・大阪・横浜・北関東・名古屋・福岡・仙台・北陸・札幌・広島・四国・東南アジア・アフリカ中近東

先端技術と建設をむすぶ

フジタ工業

大阪支店　大阪市北区堂島2丁目1番16号　電話 06(348)4510

不動建設株式会社

取締役社長　庄野勝

大阪本社　大阪市東区平野町5丁目30番地　電話 06(201)1121番
東京本社　東京都台東区台東1丁目2番1号　電話 03(831)9111番
支　店　北海道・東北・千葉・横浜・名古屋・神戸・広島・四国・南四国・九州・北九州

不二建設株式会社

取締役社長　山口慎一郎

大阪本社　大阪市西区西本町1丁目1番9号 〒550　電話06－541－5534代表
FAX06－543－0229
東京本社　東京都新宿区西新宿4丁目5番2号 〒160　電話03－377－5171代表
FAX03－374－2217

株式会社 藤木工務店

取締役社長　藤木鐵三

本　　社　〒540 大阪市東区両替町1丁目13　電話 06(944)1468(代)
本支店　大阪・東京・倉敷・四国・京都・福岡
営業所　埼玉・多摩・静岡・名古屋・宇治・泉南・岡山・徳島・新居浜・長崎

豊國建設株式会社

代表取締役社長　松丸哲也

本　社　大阪市北区天満橋2丁目3番1号　電話 06 (353) 1001
支　店　東京・京都・東北
営業所　北上・盛岡・二戸・新井・福井・敦賀・舞鶴・尼崎・加古川・滝野・益田・三隅

真柄建設株式会社

取締役社長　真柄敏郎
取締役大阪支店長　永井健次郎

本　　社　金沢市彦三町1－13－43　電話 金沢(0762)31－1266(代)
東京本社　東京都千代田区麹町5－1－6　電話 東京(03) 263－1211(代)
支店・営業所　北陸・東京・大阪・名古屋・福井・富山・新潟・大津・京都・神戸・福岡・立川・七尾・小松

地域社会に貢献する
総合建設

株式会社 前田組

取締役社長　前田敏彦

大阪府寝屋川市大成町1－1　TEL (0720) 24－1111

前田建設工業株式会社大阪支店

取締役支店長　川西光治

支　店　大阪市都島区東野田町2丁目4番20号　電話 大阪 (353) 7891(代表)
本　社　東京都千代田区富士見2丁目10番26号　電話 東京 (265) 5551(代表)

株式会社 松　村　組

取締役会長　松　村　雄　二
取締役社長　松　村　雄　吾

本　社・大阪市北区天満２丁目１番33号　電話 大代表 大阪(353)1131
支　店・東　京・名　古　屋・札　幌・仙　台・広　島・福　岡

三井建設 株式会社 大阪支店

取締役大阪支店長　高　尾　清　次

大阪支店　大阪市北区中之島３－４－18(三井ビル２号館) ＴＥＬ　06－446－1535
本　店　東京都千代田区岩本町３－10－１　ＴＥＬ　03－864－3456

村本建設株式会社

代表取締役　村　本　豊　嗣

奈良本店　奈良県北葛城郡広陵町安部５４７番地　電話 0745 (55)　１１５１(代表)
大阪本社　大阪市天王寺区四天王寺一丁目５番43号　電話　06(774)　２１１１(代表)
東京本社　東京都千代田区2番町3番4　電話03(238)2111(ダイヤルイン受付案内台)
東北・横浜・名古屋・三重・中国・九州

望月建設株式会社

取締役社長　望　月　小　太　郎

本　社　大阪市北区中崎西２丁目３番12号　電話 大阪 (375) 2345(代表)

株式会社 森　組

取締役社長　森　幸　彦

本　社　大阪市東区横堀２丁目１４番地　電話 ２０１－２７６１(代)
支　店　東京・名古屋・九州・奈良
営業所　仙台・新潟・横浜・甲府・京滋・神戸・広島・熊本・高松・徳島

株式會社 米田工務店

代表取締役　米　田　良　男

本　社　〒543 大阪市天王寺区逢阪1丁目1番7号 TEL 大阪(06)771-7771代表
FAX 大阪(06)779-2676

賀　　正

1986

団体・建材・設備工事・報道有志

財団法人 **大阪建築防災センター**

理事長　小　西　　岬

〒540 大阪市東区常盤町1丁目39(大阪フコク生命ビル5階)　電話 06 (943) 7253

株式会社　梅　　彦

取締役社長　松永嘉一郎

営業所　大阪市北区中崎西2丁目1番3号　電話 06 (312) 6171代
茨木工場　茨木市豊川3丁目1番6号　電話0726 (43) 5185代

各種硝子販売工事請負

株式会社 大阪硝子店

代表取締役 佐々木　廣

〒541 大阪市東区本町5丁目4番地　電話 大阪06(262)3536～8

大塚グループ

大塚オーミ陶業株式会社

代表取締役社長　大塚正士

本社　大阪市東区豊後町10番地　TEL 06 (943) 6695
支店　東京都千代田区神田司町2丁目9番地　TEL 03 (294) 1388
工場　滋賀県甲賀郡信楽町大字柞原字寿谷　TEL 07488 (2) 3001

建築用板硝子販売施工

キムラ硝子建材株式会社

代表取締役 木村喜則

〒540 大阪市東区内平野町2丁目28番地　電話 06(941) 4181(代)

もっとも信頼され、読まれている情報紙

創業31年

株式会社 **建設日報社**

代表取締役社主 重村 登龍

本 社 〒550 大阪市西区靱本町2丁目5番2号
電話 大阪 06 (444) 2405～9, (444) 6431～4

装飾合せグラス
レインボーグラス セーフティオパール

JIS表示許可工場 UL規格認承工場

株式会社 サトーセン

大阪工場 〒557 大阪市西成区津守3－6－39 TEL (06) 658－1305
東京工場 〒144 東京都大田区東糀谷5－12－7 TEL (03) 743－5851

よりよき環境へ技術で挑む――

株式会社 精研

クリーンルーム
バイオ関連設備
設計施工

取締役会長 木内清三
取締役社長 和田正八郎

本 社 大阪市南区瓦屋町2丁目11－16(オートセンタービル) 電話 768－5031(代)
東京支店 東京都千代田区九段南2丁目2－5(九段ビル) 電話 262－3241(代)
四国営業所 徳島県鳴門市撫養町小桑島前浜28－3(西谷ビル) 電話0886－85－0924(代)

東西アスファルト事業協同組合
西日本床工事事業協同組合

株式会社 タテバヤシ商店

代表取締役 舘林彦四郎

〒601 京都市南区西九条大国町37 電話 (075) 681－7221(代)
FAX (075) 681－7224

東亜工業株式会社

建設省計振発
第55号認可

東亜アスファルト防水事業協同組合

本 社 〒581 大阪府八尾市南太子堂6丁目4番27号 電話 0729－94－5682
営業所 東京・名古屋
工 場 大阪・東京・和歌山

東洋シヤッター株式会社

本社 〒540 大阪市東区両替町1－12(日生谷町ビル) 電話(06) 943－6571(代)
支店 〒106 東京都港区六本木6-3(第一地所麻布ビル) 電話(03) 497－2911(代)
〒980 仙台市二日町7－9(新光社ビル) 電話(0222) 62－5245(代)
〒454 名古屋市中川区山王1－2－30(時計ビル) 電話(052) 331－6171(代)
〒733 広島市西区小河内2－12(山肩ビル) 電話(082) 291－3773(代)

TAJIMA

田島応用化工株式会社

昭和61年1月1日より「株式会社タジマ」と社名変更致します。

東京営業所　〒101 東京都千代田区岩本町3－11　電話（03）866—6101
大阪営業所　〒550 大阪市西区京町堀1－10－5　電話（06）441—5951

田島ルーフィング株式会社
東西アスファルト事業協同組合

東　京：〒101 東京都千代田区岩本町3－11－13　電話（03）862—8531
大　阪：〒550 大阪市西区京町堀1－10－5　電話（06）443—0431

造園土木　　設計施工

株式会社 西川造園

〒573 大阪府枚方市北中振3丁目27番17号
TEL 0720—33—8998代

株式会社 西原衛生工業所大阪店

代表取締役社長　伴　一郎

大阪市大淀区中津六丁目8番4号　電話 大阪（06）458—3628

大阪で唯一の

PRESS

株式会社 日刊建設新聞社

代表取締役社長　中山敏夫

大阪本社　大阪市東区高麗橋1丁目3（東洋ビル）　電話 202—6861(代表)
社長室　大阪市東区高麗橋1丁目20（メゾン高麗橋）　電話 229—0341
分　室　大阪市東区高麗橋詰町26（ユニ高麗橋）　電話 941—6847(代表)

建設業界の情報は……日刊建設産業新聞
近畿圏の工事ニュースは……日刊建産速報

PRESS

株式会社 日刊建設産業新聞社

常務取締役大阪支社長　中村勝則

大阪支社　〒541 大阪市東区淡路町1丁目14(八千代ビル)　電話06(231)8171(代)
神戸支局　〒651 神戸市中央区八幡通4丁目2－9　電話078(291)0541～2
京都支局　〒602 京都市上京区河原町丸太町東入俵屋町460　電話075(211)1911
本　社　〒173 東京都板橋区板橋1丁目48－9　電話03(961)1691(代)

電算写植システム

日本写植印刷株式会社

代表取締役　神田都義

本　　社　〒545 大阪市阿倍野区阪南町７－５－30　電話06(606)1111代
東京営業所　〒160 東京都新宿区高田馬場3-12-6高田馬場西商店街ビル801号　電話03（360）6847
広島営業所　〒739-01 東広島市八本松町米満109－５　電話0824（28）6253
津山写植センター　〒708 津山市福田１３７２－１　電話08682(８)4377
日本写植センター　〒892 鹿児島市名山町４－７　三宝ビル　電話0992（26）4371

ビニロイド　防水　責任施工
アコシート　防水　責任施工
ACフロア35　責任施工
防熱工事設計施工
プラスオール
コーキング　製造販売

三星産業株式会社

〒550 大阪市西区京町堀１－10－８(大栄ビル)　Tel.〈443〉9721(代)
〒101 東京都千代田区神田小川町3-28(三東ビル)　Tel.〈292〉1961(代)
出張所：札　幌〈721〉6031・6307　仙台〈21〉5366(代)
名古屋〈931〉4574・3393　福岡〈78〉3361(代)

三協アルミニウム工業株式会社代理店　日立化成工業株式会社代理店
アルケン工業株式会社代理店　新明和工業株式会社代理店
豊和工業株式會社代理店　近畿車輛株式会社代理店
信越ユニット株式会社代理店　住友ゴム工業株式会社代理店

ムツミ産業

ムツミ産業株式会社

代表取締役　傳馬正明

〒550 大阪市西区靭本町１丁目17番15号　電話（06）大代表 441－0378番
出張所：東京・広島　　工場：大津・竹原

ムツミ

装美建材
金属建材

株式会社 山東建材

パーフェクトな
シロアリ退治に
フクビ防蟻防湿
システム
アリダンV工法

No.１販売部・No.２施工部

本　　社　大阪市西区北堀江１－１－１　電話（06)541-1861～9　FAX（06)541-0796
東　　店　東大阪市金物町３番１号　電話（06)723-2277～8　FAX（06)722-3273
山建ソービ　大阪市西区南堀江１(立花通)　電話（06)541-2152～3

デザインされた環境づくり

UNION

株式会社ユニオン

代表取締役　立野一郎

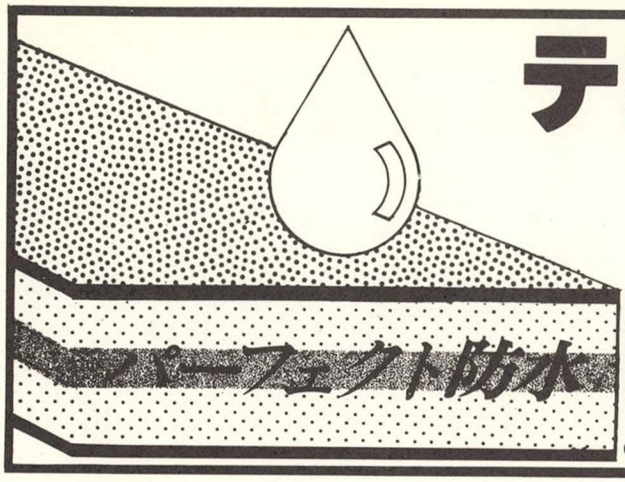
本　　社　大阪市西区南堀江2-13-22　〒550 電話 06(532)3731(代)
東京営業所　東京都墨田区石原４－３－１　〒130 電話 03(625)8131(代)
名古屋営業所　名古屋市東区筒井町1-14-9　〒461 電話052(935)6021(代)
虎ノ門ショールーム(17森ビル1F)東京都港区虎ノ門1-26-5　〒105 電話 03(508)2558(代)

営業品目　プール・浴場機器

株式会社ツルカメ

代表取締役　八和田桂司

本社　〒543 大阪市天王寺区寺田町2丁目2番12号　TEL 06(772)5307



テトカッパー防水層

防水専業の研究・経験から生れたすくない資源のパーフェクトな防水層です。
この防水層は（一層防水）施工するだけで、防水は完璧です。
温度変化に伸びがなく、柔軟性に富み、耐酸、耐薬品性に優れ、腐蝕しません。

カッパー防水帯　コーバータイト　新工法
オクロン防水帯　プレノテクト吹付工法

●お申込次第カタログ進呈

奥山化工業株式會社

本　社	東京都中央区銀座8—4—9	電話03（571）2703
大阪事務所	大阪市淀川区東三国6—1—41	電話06（391）1081-2
埼玉営業所	埼玉県桶川市東1—3—30	電話0487(74)2845-6
厚木出張所	神奈川県厚木市金田259	電話0462（21）1761
名古屋出張所	名古屋市南区若草町33	電話052（811）3660
九州出張所	佐賀県佐賀郡諸富町大字諸富津450	電話0952（47）2945

■防火・防煙シャッター　■軽量シャッター
■ステンレスシャッター　■クリスタルシャッター
■アルミニュームシャッター　その他特殊シャッターの製造

アフターサービスの24時間態勢完備

鈴木シャッター工業株式会社

大阪市北区茶屋町5番2号	電話大阪（06 市外局番）	371代表4151～6
北陸営業所　金沢市長田町119番地	電話金沢（0762 市外局番）	65—5135～6
神戸営業所　神戸市長田区大橋8-4-7	電話神戸（078 市外局番）	611—7971 631—2021

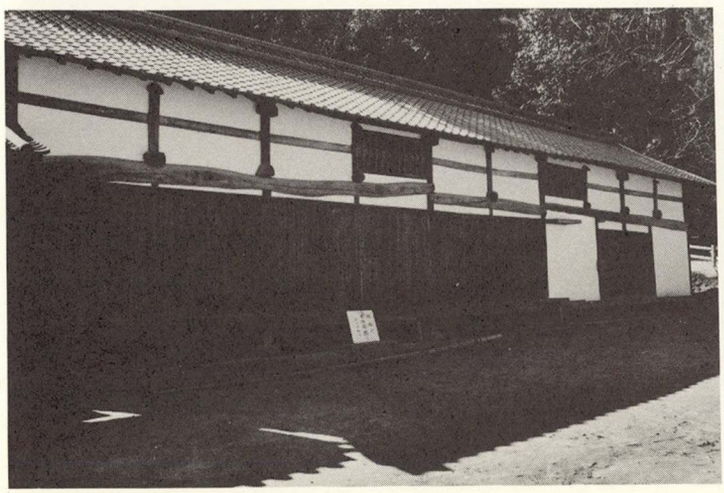
防火・防煙から避難装置まで
建築防災の総合メーカー

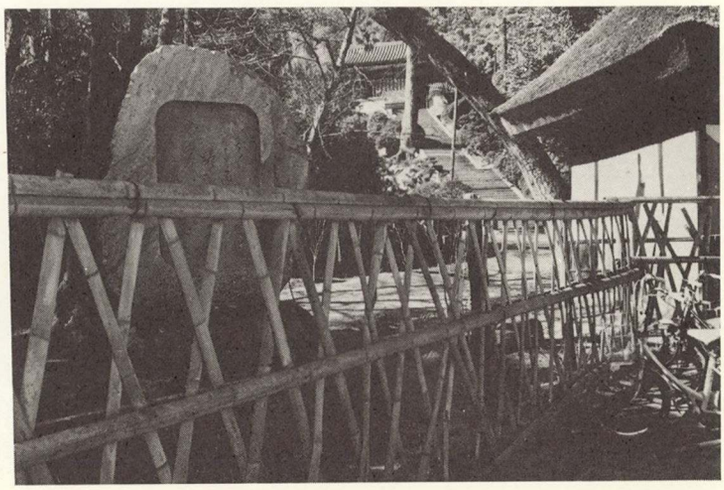
豊かな経験
最新の技術

東洋シャッター

東洋シャッター株式会社

本社：大阪市東区両替町1—12 日生ビル　☎（943）6571代表
東京・横浜・盛岡・仙台・水戸・静岡・岡崎・名古屋・富山・大津・京都・神戸・広島・高松・福岡他全国主要都市





空気調和・給排水・衛生・防災設備　設計・施工

株式会社 朝日工業社

本　　社　東京都港区浜松町1-25-7　電話（434）6171(大代)
大阪支社　大阪市淀川区加島1-58-59　電話（302）2271(代)
支　　店　北海道・東北・名古屋・中国・九州
営業所　釧路・函館・盛岡・横浜・静岡・京都・神戸

空気調和設備
衛生設備 設計施工

三建設備工業株式會社

大阪支店　大阪市北区紅梅町3番5号　電話（352）1131（代）
本　　社　東京都中央区日本橋蠣殻町1-35-8　電話（667）3431（大代）
支　　社　名古屋・仙台・札幌・広島・福岡・金沢・新潟・横浜

空調・衛生
防災・汚水処理 設計施工

株式会社 大阪城口研究所

取締役社長　城口庸平

大阪市北区角田町2番15号 電話 大阪372局7151(代)
京都市東山区大和大路正面上ル 電話 京都561局4944(代)
神戸市中央区下山手通6-2-8 電話 神戸341局5892

空気調和・衛生設備 設計施工

株式会社 三晃空調

本　　社　大阪市北区西天満3丁目13番20号　電話 06—363—1371
東京本店　東京都新宿区西新宿　新宿住友ビル　電話 03—344—1911
大阪本店　大阪市北区西天満3丁目13番20号　電話 06—363—1371
支　　店　仙台市大町2丁目2番10号　電話0222—61—3002
名古屋市中村区名駅南2丁目14番19号　電話052—581—8571
広島市中区紙屋町1丁目2番22号　電話082—247—4535
福岡市中央区大名2丁目4番22号　電話092—761—3795
出張所　青森・秋田・宇都宮・千葉・川崎・横浜・富山・福井・京都・神戸・松江・高松・下関・熊本・鹿児島・沖縄

電気・空調・衛生・防災・産業廃水設備
設　計　施　工

大阪電気暖房株式会社

本店・大阪本社　大阪市西区江戸堀1丁目9番25号　〒550 電話(06)441-8231(大代)
東京本社　東京都中央区銀座2丁目2番17号　〒104 電話(03)535-5251(大代)
支　　社　名古屋・福岡
支　　店　札幌・仙台・新潟・大宮・千葉・横浜・金沢・天理・岡山・広島・高松・熊本
営業所　帯広・函館・青森・秋田・盛岡・前橋・長野・静岡・豊田・津・富山・福井・京都・神戸・徳山・松山・高知・北九州・鹿児島・那覇
出張所　旭川・福島・松江・徳島・長崎・宮崎
海外支店　シンガポール・ホンコン・スリランカ

空調衛生・冷凍冷蔵・地盤凍結
よりよき環境へ技術で挑む——

株式会社精研

本　　社　大阪市南区瓦屋町2丁目11番16号（オートセンタービル1,2階）
郵便番号542　電話 大阪(06) 768—5031代表
メンテナンス部　電話 大阪（06）768—1 65 1代表
東京支店　東京都千代田区九段南2丁目2番5号(九段ビル2～4階)
郵便番号102　電話 東京(03) 262—3241代表

■給排水衛生　■冷暖房
■空気調和設備　■その他管工事一切の設計・施工

斎久工業株式会社

本　　社　東京都千代田区大手町2-6-2（日本ビル）
電話 03-(270)-7411(代)
大阪支社　大阪市北区中之島4-2-38　電話 06-(443)5041(代)
支　　店　札幌・岡山
営業所　仙台・千葉・横浜・名古屋・金沢・四国・広島・福岡
出張所　福井・倉敷・松山・宇都宮・静岡・苫小牧

新日本空調株式会社

大阪支店　大阪市北区堂島浜1丁目2番6号（新大ビル）
電話（06）344—6031（代）
本　　社　東京都中央区日本橋本石町4-2(三井第二別館)
電話（03）279—5671（大代）
名古屋・九州・広島・札幌・東海村・北陸・大分

空気調和設備
給排水・衛生水道
電気設備
厨房

環境衛生施設
荷役運搬機械
化学鉱山機械

三機工業株式会社

取締役社長　玉置純治郎
大阪支店長　杉浦敏郎

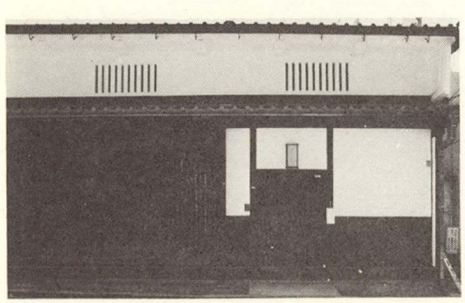
大阪市東区北浜2丁目22番地　電話 大阪(202) 代表3071
本　　店　東京・日比谷・三信ビル
支　　店　名古屋・九州・北海道・中国・東北・北陸・四国・シンガポール
営業所　横浜・静岡・豊田・岡山・金沢・新潟・香港

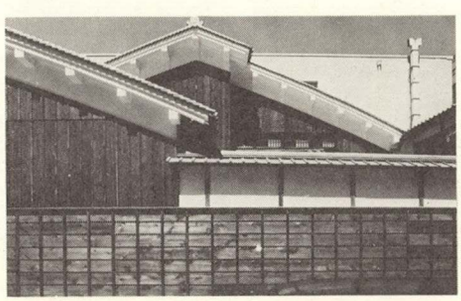
---

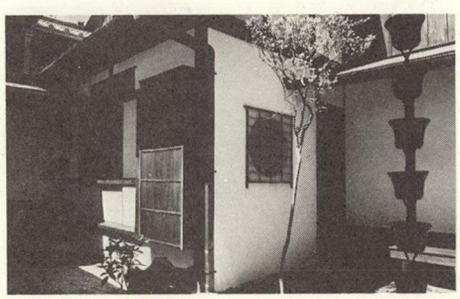
cleanair
一年中 秋のすがすがしさ！

創業1901
須賀工業株式会社

大阪市西区土佐堀1丁目2番30号 TEL.06-441-5171(大代表) 〒550







電気・計装工事 設計施工

栗原工業株式会社

取締役社長 栗 原 信 英

大阪市北区角田町1-1 東阪急ビル TEL06-313-1101
支 店 東 京・名 古 屋・舞 鶴・京 都・天 理
大 阪 南・神 戸・広 島・四 国・九 州

電気設備 設計施工

朝陽電気株式会社

代表取締役 山 本 貴 士

本 社 大阪市北区中之島3－2－4 朝日ビル TEL 大阪06 (385)1361(代)
大阪営業所 TEL 大阪06(385)1361(代) 京都営業所 TEL 京都075(311)1185(代)
東京営業所 TEL 東京03(574)0665 福岡出張所 TEL 福岡092(771)6168

電気工事設計施工

株式会社 三 興 社

代表取締役 土 井 敏 裕

本 社 大阪市北区西天満2丁目6－8(堂ビル7階)
電 話 (361) 3 6 7 1 (代)
支 店 東京都中央区日本橋箱崎町20番5号
電 話 (671) 1 4 7 8 (代)
出張所 川 崎・相 模 原・堺・滋 賀

電気設備工事設計施工

東光電気工事株式会社
大 阪 支 社

大阪支社長 横 田 幸 一

大阪市東区高麗橋五丁目二八番地 電話大阪 (202)0325～9番
本 社 東京都千代田区西神田1丁目4番5号
支 社 札 幌・仙 台・丸 ノ 内・名 古 屋・福 岡
営業所・出張所 全国主要都市2ヶ所

総合設備工事〈設計・施工〉
建築・電気・通信・送電線・プラント・計装・空調・土木

住友電設株式会社

取締役会長 小 林 四 郎
取締役社長 代 谷 正 元

本社 大阪市福島区福島7－22－8 Tel 06-452-1151(大代)
東京 東京都港区芝2－2－17 Tel 03-454-7311(大代)
支社 福岡・広島・名古屋・神戸・京都

限りなきクリーンに挑戦する!!
電気設備・クリーンルーム・冷暖房設備
給排水衛生設備・計装制御設備・立体自動倉庫
エネルギー集中監視システム・回転式自転車置場
設 計 施 工

三宝電機株式会社

取締役社長 嘉 納 伝 三

本 社 〒530 大阪市北区西天満2－6－8(堂ビル) TEL 06(364)1471
TELEX 523－3287
東京支店 〒105 東京都港区新橋2-16(ニュー新橋ビル) TEL 03(504)0231
TELEX 222－6724
名古屋支店 〒462 名古屋市北区金城三丁目12－14 TEL 052(991)5131
神戸支店 〒657 神戸市灘区岩屋中町1-2-9(エビスビル) TEL 078(881)5571

奉仕感謝の店
タイル工事施工

株式会社 川岸窯業商店

本 社 〒550 大阪市西区西本町1－13－33
電話 大阪 06(532)代0461 〒550
天理営業所 天理市丹波市新町50

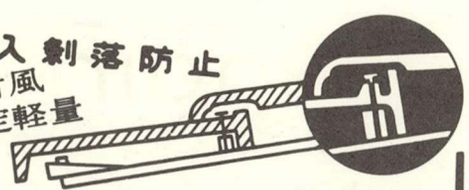
電気・計装・空調工事 設計施工

ヤマト電気エンジニアリング株式会社

取締役社長 山 本 永 造

本 社 大阪市北区西天満5丁目1番3号
TEL 06－364－3056 (代)
支 店 東京・神戸・広島・岡山
事業所 名古屋・岡山・札幌・苫小牧・浜松・滋賀
京都・高砂・三原・徳山・松山・新居浜・福岡・沖縄

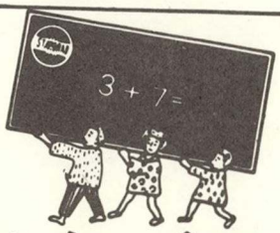
雨水浸入剝落防止
耐震耐風
安定軽量



ナニワ緩勾配瓦

3寸緩勾最適軽量水止付(空葺)瓦

ナニワ瓦株式会社
大阪市浪速区難波中一－三－一八
TEL〇六－六四一－五〇六五



Standard Board & Slate

フタバ工業

〒547 大阪市平野区加美北3－4－5 TEL 大阪06(792)5858(代)

模型製作

石 膏 模 型・アクリル模型 製作

宮岡建築模型製作所

〒103 東京都中央区日本橋浜町3-14-11
電 話 (03)669-7565 FAX (03)669-7565

商品は空気です。

熱と空気のエンジニア
株式会社
大気社

●営業種目
空気調和設備　給排水衛生設備　塗装設備　公害防止関連設備の設計・製作・施工

本社・東京本店　東京都新宿区西新宿2-6-1　☎03—344—1851(大代)　大阪本社 ☎06—448—3603(代)
大阪支社 ☎06—448—5851(代)　名古屋支店 ☎052—211—1535(代)　中国支店 ☎082—247—5541
九州支店 ☎092—431—2147(代)　営業所：北関東・横浜・神戸・京都・岡山・四国

給・排水・衛生・消火・暖冷房設備

株式会社 西原衛生工業所大阪店

大阪市大淀区中津6丁目8番4号　電話大阪(458)3628番
支店・営業所　福岡・京都・天理・川西

空気調和　搬送機設備
給排水衛生　設計施工

第一工業株式会社
大阪支店

大阪支店　〒530 大阪市北区西天満3丁目6番14号
電話　06—364—6661(代表)
本　社　〒100 東京都千代田区丸の内3丁目3番1号
電話　03—211—8511(代表)

空調・衛生・防災設備　設計並施工

日本管工業株式会社

本社及京都支店　京都市南区西九条豊田町20番地の1
電話(681) 5101～5・夜間専用(691) 1045
大阪支店　大阪市北区天満1-5-20　電話(06)352—3501(代)
三重支店　津市栄町2—111　電話(0592)26—3610(代)
四日市営業所　四日市市西末広町　電話(0593)53—7431(代)
滋賀営業所　大津市中央2丁目4-28　電話(0775)22—9738(代)

暖・冷房・空気温湿度調整装置
設計施工

高砂熱学

大阪支店　大阪市北区芝田1丁目4-8(北阪急ビル9階)
電話 大阪(372)2511　(代表)
本　社　東京都千代田区神田駿河台4丁目2番地

Carrier
冷暖房はキャリア
CARRIER

東洋キヤリア工業(株)デストビューター関西地区
日本冷熱工産株式会社
本社及大阪営業所　吹田市豊津町40番38号
電話大阪(384)1201～7

MODAIR
空気調和設備
換気・除塵設備　設計施工

東洋熱工業株式会社大阪支店

大阪市西区靭本町3—1—27　TEL(443) 8071
本社　東京都中央区京橋2丁目9　TEL(562) 1351
支店　名古屋・福岡

活字のない印刷

日本写植印刷株式会社

代表取締役　神田都義

本　社　〒545 大阪市阿倍野区阪南町7-5-30　☎06(606)1111代
日本写植センター　〒892 鹿児島市名山町4-7 三宝ビル　☎0992(26)4371
津山写植センター　〒708 津山市大手町8番5号 模範店会館　☎08682(4)1771
沖縄写植センター　〒900 南風原村兼城　沖縄印刷団地　☎0988(55)6100

ガス設備の設計・施工のご相談は
大阪ガス指定工事会社・大阪ガス住設機器特約店

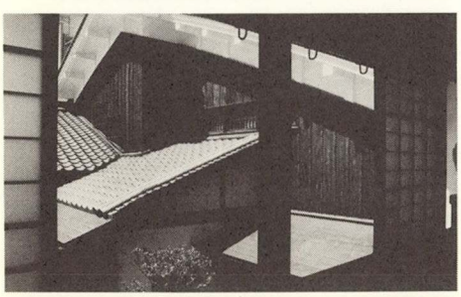
大晃設備株式会社

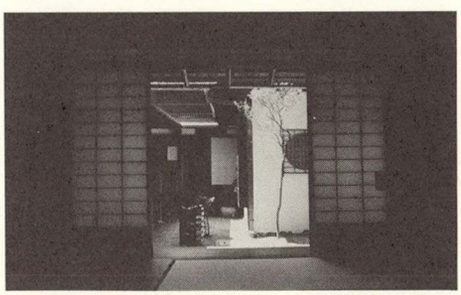
本社：設備部
大阪営業所　大阪市北区西天満5-11-12　電 06—313—1846
枚方営業所　枚方市甲斐田東町9—3　電0720—49—2128

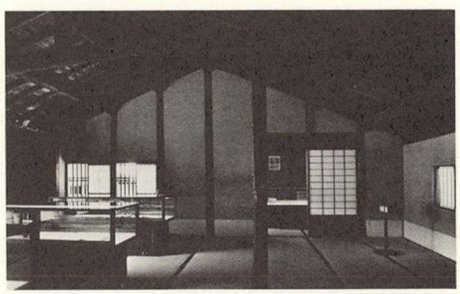
空気調和設備・給排水衛生設備・上下水道施設
環境衛生施設・公害防止施設／設計・施工・監理

山田工業株式会社

本　社　大阪市西区京町堀1—6—8　電話 06(443)8161(大代表)
(環境装置事業部専用)　電話 06(447)0831　(代表)
分析センター　大阪市淀川区三津屋南1-1-35　電話 06(308)1491
支　店　東京・名古屋・福岡
営業所　京都・神戸・姫路・広島・高松・松山







特殊壁装材製造販売　和室に最適
●聚楽壁紙●ホクシノン(無機質壁紙)
(株)ホクシンクロス
〒583 大阪府羽曳野市島泉８－173－1
TEL(0729)39－3610
工場　〒580　大阪府松原市三宅中8丁目1番9号
第一　〒639-11奈良県大和郡山市小泉町2744
第二　〒597　大阪府貝塚市王子５０１

岡田ペーパー株式会社
O.P.Co
大阪市西区北堀江２丁目５番20号
ＴＥＬ 06－531－4601(代)
06－541－2305(代)
フロアーサンディングシステム関連商品
研磨材料 & 研磨機器
布紙ペーパー & ジスクペーパー

営業種目
●防　水　工　事　塗布防水・シート防水・モルタル防水
●樹脂注入接着工法　各種樹脂注入接着補修工事
●亀裂補修工事　各種樹脂注入・充填・コーキング
●シーリング工事　シリコン・チオコール・ウレタン・アクリル
●吹　付　工　事　アクリル・リシン・弾性タイル・その他
◇建設業許可　大阪府知事許可（般－53）第51225号
◇日本シーリング工事業協会々員
大阪市北区末広町３－２１
星和地所扇町ビル201 S
TEL 06(315)0701
(株)特殊技研

建設業界をアシストする
ポゾリス
■コンクリート用混和剤　■無収縮グラウト材
■鉄筋コンクリート用防せい剤　■工業用特殊床材
製造元 日曹マスタービルダーズ株式会社
販売元 ポゾリス物産株式会社
本　社／東京都港区六本木３－16－26　☎ 03-582-8811
大阪営業所／大阪市東区北浜３－７　☎ 06-202-3294

デンカCSA　デンカセメント
セキサンバイル(S M.AC.PC.RC)
カネライトフォーム.ALC.鋼材
建築材料一式
浜宗産業株式会社
代表取締役 濱岡　浩
本　社　〒629-31 京都府竹野郡網野町字網野
ＴＥＬ　(07727)2－２２２０(代)
舞鶴営業所　〒624　舞鶴市福来１６０-1
ＴＥＬ　(0773) 76－0133(代)

省エネルギー時代の断熱用シート防水材
日立バイナリーシートP
日立バイナリーシートPは，日立防水シートに発泡ポリエチレンを独自の貼り合わせ技術で積層した，二重構造の断熱兼用二重防水シートです。
日立電線株式會社　本社 東京都千代田区丸の内2丁目1番2号(千代田ビル)

デンカCSAファミリー製品
●デンカCSA……コンクリートのひびわれ防止に
(膨張性混和材)
●デンカタスコン……鉄骨ベース、逆打部の充填モルタルに
(グラウト用無収縮材)
●デンカキューテックス……コンクリート躯体の漏水補修に
(止水・補修用急硬セメント)
●デンカES……地盤補強用薬液注入
(土質安定用急硬材)
●デンカΣ1000……コンクリートパイルの早期出荷とハイモメント製造用に
(製品用超高度混和材)
電気化学工業株式会社
近畿地区販売店
金森藤平商事株式会社
TEL 大阪（06）３３２－６８６１
TEL 東京（03）２７２－８５０１
小浦産業株式会社
TEL 大阪（06）４４３－６１８１
光洋物産株式会社
TEL 大阪（06）２５２－６０００
株式会社 トーゴー／本社
TEL 滋賀・守山（０７７５）８３－２３８１

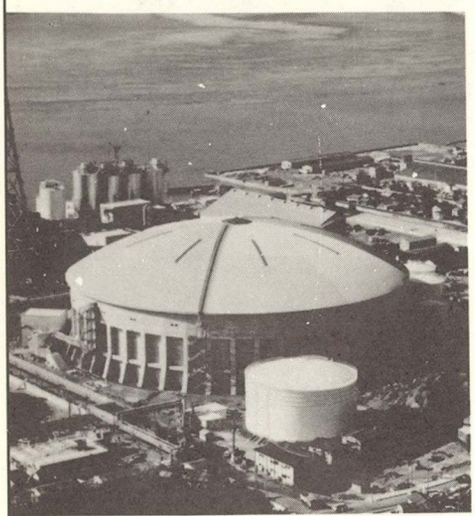
特　許・耐酸被覆鋼板
耐久建築屋根・外壁材料

オリエンタルメタル

半世紀の実績が誇る技術とアフターケアー！

長尺物・色彩豊富・責任施工

品　種・オリエンタルカラースーパーメタル(CSPM)
・オリエンタルスチールライト(ＳＴＬ)
・オリエンタルメタル(ＯＰＭ)



電発竹原火力石炭庫屋根に採用

波板規格　S小波・S大波・V波・ボックス波・Wジャンボ波・Vデッキ
SVジャンボ波・其の他

用　途　平板・波板・棟包・雨押類・谷樋・竪樋・軒樋
各種換気装置〔モニター・ベンチレーター・ムーバー・エキゾスター(強制)〕
ホーンタイト(防音壁)・其の他

※ カタログを御請求下さい

オリエンタルメタル製造株式会社

大阪本社　〒660　尼崎市昭和南通り３－26 松本ビル　電話大阪(06)412－5131(代)
営業部　〒660　尼崎市昭和南通り３－26 松本ビル　電話大阪(06)412－5131(代)
支店及工場　大阪・九州・名古屋・広島・東条・刈谷
姫路(東洋建材工業．株)
東京本社及工場　〒335　蕨市塚越５丁目６番32号　電話 蕨(0484)42－3115(代)
支店及工場　東北

今、建築が頼もしい！　計画→設計→施工→経営の

月刊 建築技術　総合技術誌　1986・2

No.414　定価￥1,000
1月17日
全国一斉発売!!

予定目次

- どう見る？これからの建築活動　小泉重信
- 分譲住宅の活性化めざして　鎌田宣夫
- タイル張り工法のいろいろ　伊藤哲也
- メーソンリー・フォーラム　山崎　裕
- 膜構造の技術開発指針　藤原保幸
- 土留工法のコストプランニング　須賀好富
- 建築の企画シリーズ　田中修一
- 電炉鋼材の問題点　北後　寿



材料と工法
読者コーナー
ニュース・ハイライト
建築家の良識
BRInews & topics

直接購読ご希望の場合の年間予約金　￥12,000(送料共)

現場に1冊　オフィスに1冊！
（好評発売中）　建築技術の本

好評発売中！
建築 設備読本　井上　博著
Ⅰ 給排水衛生設備篇
月刊「建築技術」連載でおなじみの，わかり易い説明文。設計者や現場マンに，建築技術者としてこれだけは知っておきたい93項目について，自筆の挿図と写真を豊富に使用しながら説き進めた新入社員の教育と中堅社員の整理に最適の書。
B5・180頁　定価3,200円・送料300円

新刊[5]好評発売中！　A5・340頁　定価3,800円・送料300円
建築構造間題快答集　建築技術編集部・編
好評シリーズ第五巻は新耐震設計法に関する質疑応答を実に二百二十問もあつめた労作。回答はすべて構造家懇談会技術委員会の専門家で，難問もわかりやすく回答されている。
[1] A5・430
[2] A5・385
[3] A5・373
[4] A5・340
各巻共 定価3,800円・送料300円
定価3,700円・送料300円

納まりやすく施工しやすい配筋の指導書
配筋読本　井上　博共　北小路宏著
B5・162頁　定価3,200円・送料300円

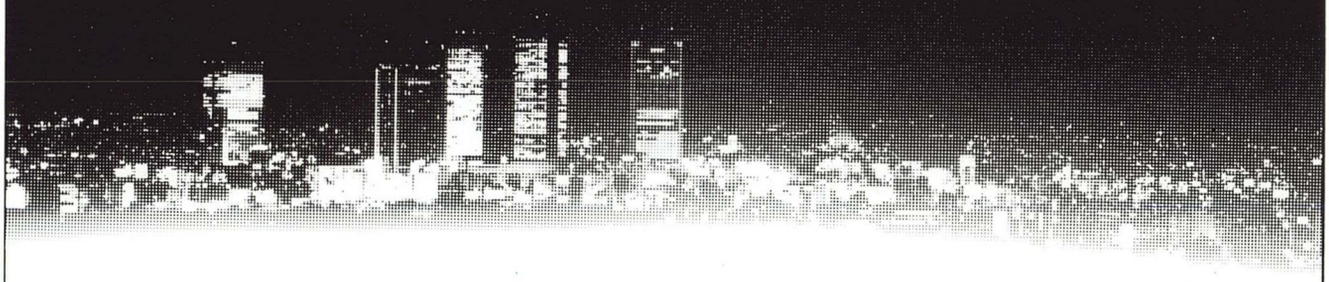
設計者と現場マンのためのわかる溶接
増補 溶接読本　井上　博著
B5・149頁　定価3,000円・送料300円

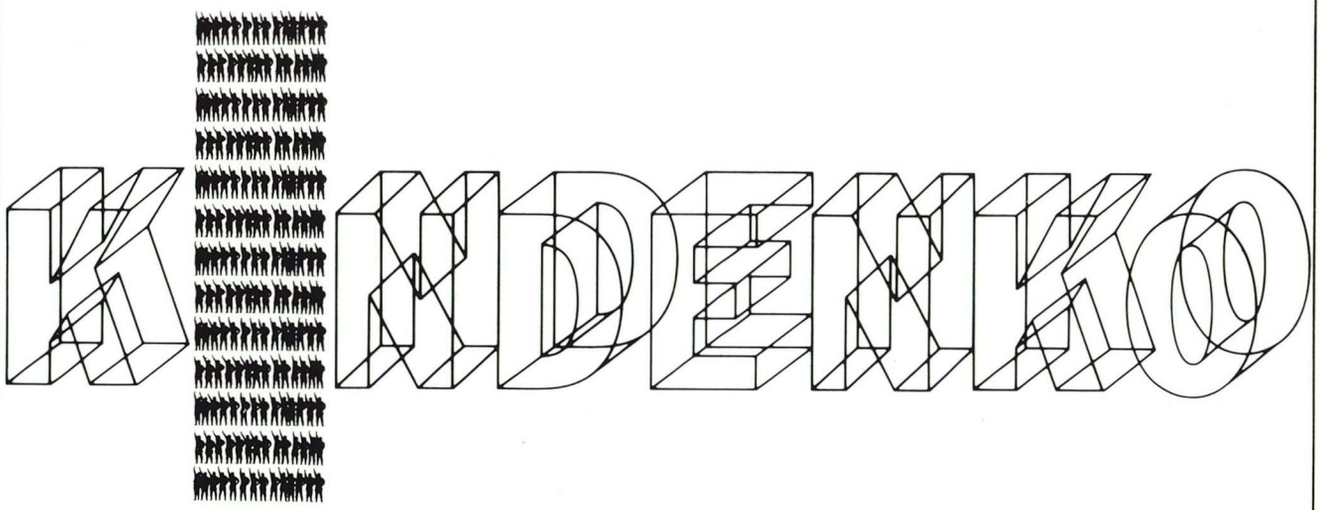
目と手で確かめた水と土の記録
増補 最新場所打ぐい工法　北中克己著
A5・325頁　定価3,500円・送料300円

㈱建築技術　振替口座 東京0-72417
東京03（363）4211(代)
〒160 東京都新宿区北新宿1-8-1 中島ビル８Ｆ

情報世紀を照準する…
近電工の全国ネットワーク。

いつでも、どこでも、どんな工事でも、情報とエネルギーと環境の全機能を築く、近電工の総合施工体制　。





電気・計装・空調・管・防災・土木

システムの信頼を高める

近電工

近畿電氣工事株式會社

大阪市大淀区本庄東2丁目3番41号 〒531 ☎06・375・6000

建築と社会　第67輯第1号
昭和61年1月25日発行（毎月1回25日発行）
昭和24年3月19日第3種郵便物認可
社団法人　日本建築協会　〒530　大阪市北区梅田1の1の3の2100　電話大阪(06)(346)0635
定価九五〇円（送料共）
表紙スケッチ・吉田隆一（説明目次頁）
正会員の購読料は会費に含めて徴収

KOKUYO



間仕切りにも機能があります。

コクヨプランナーウォールなら、不燃認定品で工期も短く、スイッチやコンセントなどの組み込みが容易。しかも、遮音性、デザインに優れています。

PLANNER WALL

コクヨプランナーウォールの特徴
●裏打材に石膏ボード等各部材共不燃材料を使用した構造になっています。また、耐火タイプと防火構造のタイプもそろっています。　●パネルは全面不燃性ボードで裏打ちされ、すぐれた遮音性が静かな環境をつくります。●高度にプレハブ化された製品は、施工現場にて特別な加工を必要とすることがなく、工程の短縮という設計思想が生産から施工まで随所に生かされています。

生きた空間づくりをめざす

コクヨ
プランナーウォールE型

コクヨ株式会社
●本社・大阪統括本部　〒537　大阪市東成区大今里南6丁目1番1号　☎(06)976-1221　●支店/仙台・名古屋・九州
●東京統括本部・ショールーム　〒108　東京都港区港南1丁目8番35号　☎(03)450-5111
●お問い合わせは……本社家具事業本部施設用品部まで